

CDP コーポレート完全版質問書 日本語仮訳

一般セクター質問のみ

気候変動・フォレスト・ウォーター・プラスチック・生物多様性質問／サプライチェーン質問を含む

【注意】

本書は CDP2024 コーポレート完全版質問書の日本語仮訳です。CDP 質問書への回答準備のための参考資料としてご提供するものであり、質問内容、選択肢など、正しくは CDP ポータルに掲載されている英語版を参照してください。本書を利用することに伴う直接・間接的に生じた損害、損失等に対し、CDP は責任を負いません。

バージョン管理

バージョン番号	リリース/改訂日	改訂の概要
1.0	2024年5月1日	CDP コーポレート質問書の公開
1.1	2024年5月16日	質問 1.5 に対する IFRS S1 20 のタグの追加 と TCFD のタグの削除

目次

目次	3
モジュール 1: イントロダクション	12
モジュールの概要	12
イントロダクション	12
(1.1) どの言語で回答を提出しますか?	12
(1.2) 回答全体を通じて財務情報の開示に使用する通貨を選択してください。	12
(1.3) 貴組織に関する概要と紹介情報を提供してください。	12
(1.4) データの報告年の終了日を入力してください。排出量データについて、過去の報告年における排出量データを提供するか否かを明記してください。	13
(1.5) 貴組織の報告バウンダリ(範囲)の詳細を回答してください。	13
(1.6) 貴組織は ISIN コードまたは別の固有の市場識別 ID (例えば、ティッカー、CUSIP 等) をお持ちですか。	14
(1.7) 貴組織が事業を運営する国・地域を選択してください。	14
(1.8) 貴組織の施設についての地理位置情報を提供できますか。	14
(1.8.1) 貴組織の施設についての地理位置情報をすべて提供してください。	15
生産・調達コモディティ	16
(1.22) 貴組織が生産および/または調達するコモディティに関する詳細を提供してください。	16
バリューチェーン・マッピング	19
(1.24) 貴組織はバリューチェーンをマッピングしていますか。	19
(1.24.1) 直接操業またはバリューチェーンのどこでプラスチックの生産、商品化、使用、または廃棄されているかについてマッピングしましたか。	20
(1.24.2) 貴組織はバリューチェーン上流(つまり、サプライチェーン)でどのコモディティをマッピングしていますか。	20
モジュール 2: 依存、影響、リスク、機会の特定、評価、管理	22
モジュールの概要	22
時間軸の定義	23
(2.1) 貴組織は、依存、影響、リスク、機会に関連して、短期、中期、長期の時間軸をどのように定義していますか。	23
依存、影響、リスク、機会を特定、評価、管理するためのプロセス	23
(2.2) 貴組織には、環境への依存や影響を特定、評価、管理するプロセスがありますか。	23
(2.2.1) 貴組織には、環境リスクや機会を特定、評価、管理するプロセスがありますか。	24
(2.2.2) 環境への依存、影響、リスク、機会を特定、評価、管理する貴組織のプロセスの詳細を回答してください。	24
(2.2.7) 環境への依存、影響、リスク、機会間の相互関係を評価していますか。	28
優先地域	28
(2.3) バリューチェーン内の優先地域を特定しましたか。	28
重大な影響の定義	29
(2.4) 貴組織は、組織に対する重大な影響をどのように定義していますか。	29
汚染物質管理手順(Wのみ)	30
(2.5) 貴組織では、事業活動に関連し、水の生態系や人間の健康に有害となりうる潜在的水質汚染物質を、どのように特定、分類していますか。	30
(2.5.1) 水の生態系や人間の健康に悪影響を及ぼす、事業活動に伴う潜在的な水質汚染物質について、貴組織ではどのようにその影響を最小限に抑えているか説明してください。	31
モジュール 3: 依存関係、リスク、機会の開示	33
モジュールの概要	33
リスク開示	34

(3.1) 報告年の間に貴組織に重大な影響を及ぼした、あるいは将来的に重大な影響を及ぼすと考えられる何らかの環境リスクを特定していますか。	34
(3.1.1) 報告年の間に貴組織に重大な影響を及ぼした、あるいは将来的に重大な影響を及ぼすことが見込まれると特定された環境リスクの詳細を記載してください。	34
(3.1.2) 報告年における環境リスクがもたらす重大な影響に脆弱な財務指標の額と割合を記入してください。	40
(3.2) 各河川流域には、水関連リスクの重大な影響にさらされている施設はいくつありますか。これは施設総数のどれぐらいの割合を占めていますか。	40
(3.3) 報告年において、貴組織は水関連の規制違反に関する罰金、執行命令、その他の処罰を受けましたか。	41
(3.3.1) 水に関連するすべての罰金の総額と金額を示してください。	42
(3.3.2) 報告年における、水関連の規制違反に対するすべての重大な罰金、執行命令、および／または罰則の詳細と、それらを解決するための計画を示してください。	42
(3.5) カーボンプライシングシステム(ETS、キャップ・アンド・トレード、炭素税など)の規制を受けている事業や活動はありますか。	43
(3.5.1) 貴組織の事業に影響を及ぼすカーボンプライシング規制を選択してください。	43
(3.5.2) 貴組織が規制を受けている各排出量取引制度(ETS)の詳細を記入してください。	45
(3.5.3) 貴組織が規制を受けている税制について、以下の表を記入してください。	46
(3.5.4) 規制を受けている、あるいは規制を受けると見込んでいる制度に準拠するための戦略はどのようなものですか。	46
機会開示	46
(3.6) 報告年度において、貴組織に実質的な影響を与えた、あるいは将来的に実質的な影響を与えると予想される環境上の機会を特定しましたか。	47
(3.6.1) 報告年において組織に重大な影響を及ぼした、あるいは将来的に重大な影響を及ぼすと予想される、特定された環境に関連する機会の詳細を記載してください。	47
(3.6.2) 報告年における財務指標のうち、環境機会の重大な影響に関連しているものとその割合について示してください。	50
モジュール 4: ガバナンス	52
モジュールの概要	52
取締役会の監督	53
(4.1) 貴組織には、取締役会またはそれに相当する管理機関がありますか。	53
(4.1.1) 貴組織では、環境課題を取締役会レベルで監督していますか。	53
(4.1.2) 環境課題に対する説明責任を有する取締役会の個人の職位(個人名は記載しないでください)または委員会を特定し、環境課題に対する取締役会の監督の詳細を記載してください。	54
取締役会の能力	55
(4.2) 貴組織の取締役会は、環境課題に関する能力を有していますか。	55
経営責任	56
(4.3) 貴組織には、環境課題に対する経営レベルの責任がありますか。	56
(4.3.1) 環境課題への責任を負う最高レベルの職位または委員会を記載してください。(個人名は含めないでください)	57
経営層の能力	58
(4.4) 貴組織の経営層は、環境課題に関する能力を有していますか。	58
インセンティブ	59
(4.5) 目標の達成を含め、環境課題の管理に対して金銭的なインセンティブを提供していますか。	59
(4.5.1) 環境課題の管理に対して提供される金銭的インセンティブの詳細を記載してください。(個人名は含めないでください)	60
環境方針	63
(4.6) 貴組織は、環境課題に取り組む環境方針を定めていますか。	63
(4.6.1) 環境方針の詳細を記入してください。	63
外部との協力体制とイニシアティブ	65
(4.10) 環境関連の協働の枠組みやイニシアティブに署名または参加していますか	65
政策エンゲージメント	67

(4.11)報告年において、貴組織は、環境に(プラスまたはマイナスの)影響を及ぼす可能性のある政策、法律、規制に直接的または間接的に影響を及ぼす可能性のある活動を行いましたか。	67
(4.11.1)報告年において、環境に(プラスまたはマイナスの)影響を及ぼす可能性のあるどのような政策、法律、規制に関して、貴組織は政策立案者と直接協働しましたか。	68
(4.11.2)報告年において、業界団体、その他の仲介組織または個人を通じ、環境に(プラスまたはマイナスの)影響を及ぼす可能性のあるどのような政策、法律、規制に対して間接的に協働しましたか。	70
コミュニケーション/情報開示	72
(4.12)報告年の環境課題への組織の対応に関する情報を、CDP の回答以外の場所で公表していますか。	72
(4.12.1)報告年の環境課題に対する組織の対応について、CDP の回答以外の場所で公表された情報の詳細を記載し、関連文書を添付してください。	73
モジュール 5: 事業戦略	75
モジュールの概要	75
シナリオ分析	75
(5.1)貴組織は、環境上の結果を特定するためにシナリオ分析を使用していますか。	75
(5.1.1)貴組織のシナリオ分析で使用したシナリオの詳細を説明してください。	75
(5.1.2) 貴組織のシナリオ分析の結果の詳細を説明してください。	78
移行計画	78
(5.2)貴組織の戦略には、気候移行計画が含まれていますか。	78
リスクと機会が戦略と財務計画に及ぼす影響	79
5.3 環境リスクと機会は、戦略および/または財務計画に影響を及ぼしましたか。	79
5.3.1 環境リスクと機会が貴社の戦略のどの部分でどのように影響を及ぼしたのか、説明してください。	80
5.3.2 環境リスクと機会が財務計画のどの部分でどのように影響を及ぼしたのか、説明してください。	81
CAPEX/OPEX の整合性	81
(5.4) 貴組織の財務会計において、気候移行計画に沿った支出/売上を確認していますか。	82
(5.4.1)貴組織の気候移行計画に整合した支出・売上の金額と割合を定量化してください。	82
(5.4.2) 報告年に、サステナブルファイナンス・タクソノミーの下で、適格かつ整合性のある活動に関連した支出/収益の割合を定量化してください。	83
(5.4.3) 貴組織のタクソノミーへの整合性に関連する追加的な情報および/または検証/保証情報を提供してください。	86
CAPEX と OPEX の動向	86
(5.9) 報告年における、貴組織の水関連の CAPEX と OPEX の動向、および報告年の次年度に予想される動向を教えてください。	87
環境外部性の価格設定	87
(5.10) 貴組織は、環境外部性についてインターナルプライシングを設定していますか。	87
(5.10.1)貴組織のインターナルカーボンプライシングの詳細を説明してください。	88
(5.10.2)貴組織のインターナルウォータープライシングの詳細を回答してください。	90
バリューチェーンエンゲージメント	92
(5.11) 環境課題についてバリューチェーンと協働していますか	92
(5.11.1)貴組織は、サプライヤーの環境への依存および/または影響に応じて評価し、分類していますか。	93
(5.11.2) 貴組織は、環境課題に関して、どのサプライヤーに優先的にエンゲージメントしますか	94
(5.11.5)貴組織の購買プロセスの一環として、サプライヤーは環境要求事項を満たす必要がありますか？	95
(5.11.6)貴組織の購買プロセスの一環としてサプライヤーが満たさなければならない環境要件の詳細と、導入されているコンプライアンス措置を説明してください	96
(5.11.7)貴組織の環境課題に対するサプライヤーエンゲージメントのさらなる詳細を回答してください。	97
(5.11.8) 環境に関する小規模農家とのエンゲージメントの詳細を記載してください。	100
(5.11.9)バリューチェーンにおける他のステークホルダーとの環境関連のエンゲージメントの詳細を記載してください。	101
協働の機会 [CDP サプライチェーンメンバーからの回答要請を受けているサプライヤーのみ]	103
(5.12)特定の CDP サプライチェーンメンバーと協働できる、お互いに有益な環境関連のイニシアチブを回答してください。	103

(5.13) 貴組織は、CDP サプライチェーンメンバーのエンゲージメントにより、相互に有益な環境イニシアチブを既に実施しましたか。	105
(5.13.1) 相互に有益な環境イニシアチブの実施を促した CDP サプライチェーンメンバーを明記し、イニシアチブの情報を提供してください。	105
モジュール 6: 環境パフォーマンス-連結アプローチ	108
(6.1) 環境パフォーマンスデータ算出のために選択した連結アプローチの詳細を記載してください。	108
モジュール 7: 環境パフォーマンス - 気候変動	109
モジュール概要.....	109
排出量算定方法と除外.....	109
(7.1) 貴組織は CDP に排出量データを今年初めて報告しますか。	109
(7.1.1) 貴組織は、報告年度中に何らかの構造的な変更を行いましたか、または、以前の構造的な変更を今回の排出量データ開示に織り込んでいますか。	109
(7.1.2) 報告年において、排出量算定方法、バウンダリー、報告年の定義に変更がありましたか？	110
(7.1.3) 質問 7.1.1 および/または 7.1.2 で報告された変更または誤りの結果として、貴組織の基準年排出量および過去の排出量を再計算しましたか。	110
(7.2) 活動データを収集し、排出量を計算するために使用した基準、プロトコル、または方法論の名称を選択してください。	111
(7.3) スコープ 2 排出量の報告に関する貴組織のアプローチについて説明してください。	113
(7.4) 選択した報告バウンダリー内にあるスコープ 1、スコープ 2 またはスコープ 3 の排出源で、開示に含まれていないもの(施設、特定の温室効果ガス、活動、地域など)はありますか。	113
(7.4.1) 選択した報告バウンダリー内にあり、開示に含まれていないスコープ 1、スコープ 2、またはスコープ 3 の排出源の詳細を説明してください。	114
スコープ 1、2、3 排出インベントリ.....	115
(7.5) 基準年と基準年の排出量を記入してください。	115
(7.6) 貴組織のスコープ 1 全世界総排出量は、何トン CO ₂ e でしたか。	116
(7.7) 貴組織のスコープ 2 全世界総排出量は、何トン CO ₂ e でしたか。	117
(7.8) 貴組織のスコープ 3 全世界総排出量を示すとともに、除外項目について開示および説明してください。	118
(7.8.1) 前年のスコープ 3 排出量データを開示するか再度記載してください。	119
(7.9) 報告した排出量に対する検証/保証の状況を回答してください。	121
(7.9.1) スコープ 1 排出量に対して行われた検証/保証の詳細を記入し、関連する報告書を添付してください。	122
(7.9.2) スコープ 2 排出量に対して行われた検証/保証の詳細を記入し、関連する報告書を添付してください。	122
(7.9.3) スコープ 3 排出量について実施した検証/保証の詳細を記載し、関連する明細書を添付する。	123
(7.10) 報告年における排出量総量(スコープ 1+2)は前年と比較してどのように変化しましたか。	125
(7.10.1) 全世界総排出量(スコープ 1 と 2 の合計)の変化の理由を特定し、理由ごとに前年と比較して排出量がどのように変化したかを示してください。	125
(7.10.2) 質問 7.10 及び 7.10.1 における排出量実績計算は、ロケーション基準のスコープ 2 排出量値もしくはマーケット基準のスコープ 2 排出量値のどちらに基づいていますか。	126
生物起源炭素.....	127
(7.12) 生物起源炭素からの二酸化炭素排出は、貴組織と関係がありますか	127
(7.12.1) 貴組織に関連する生物起源炭素からの排出量は何トン CO ₂ e ですか	127
排出量の内訳.....	127
(7.15) 貴組織は、温室効果ガスの種類別のスコープ 1 排出量の内訳を作成していますか。	128
(7.15.1) 貴組織のスコープ 1 総排出量の内訳を温室効果ガスの種類ごとに回答し、使用した地球温暖化係数(GWP)それぞれの出典も記入してください。	128
(7.16) スコープ 1 と 2 の総排出量の内訳を国・地域別で回答してください。	129
(7.17) スコープ 1 排出量の内訳として、回答可能な分類方法があれば回答してください。	129
(7.17.1) 事業部門別のスコープ 1 全世界総排出量の内訳を示してください。	129
(7.17.2) 施設別のスコープ 1 全世界総排出量の内訳を示してください。	130
(7.17.3) 活動別のスコープ 1 全世界総排出量の内訳を示してください。	130

(7.20) スコープ 2 排出量の内訳として、回答可能な分類方法があれば回答してください。	130
(7.20.1) 事業部門別のスコープ 2 全世界総排出量の内訳を示してください。	131
(7.20.2) 施設別のスコープ 2 全世界総排出量の内訳を示してください。	131
(7.20.3) 活動別のスコープ 2 全世界総排出量の内訳を示してください。	132
(7.22)スコープ 1 とスコープ 2 の総排出量を、貴組織の連結会計グループと、回答に含まれる他の事業体との間で分けてください。	132
(7.23) 貴組織は、CDP 回答に含まれる子会社の排出量データの内訳を示すことはできますか。	133
(7.23.1) スコープ 1 およびスコープ 2 の総排出量を子会社別に内訳を示してください。	133
(7.26) 本報告対象期間に販売した商品またはサービス量に応じて、貴組織の排出量を以下に示す顧客に割り当ててください。(CDP サプライチェーンメンバーからの回答要請を受けている場合のみ)	134
(7.27) 排出量を顧客ごとに割り当てる際の課題と、その課題を克服するために役立つことは何ですか。	135
(7.28) 今後、顧客ごとの排出量を割り当てられるようにする計画はありますか？	136
エネルギー関連活動.....	136
(7.29) 報告年の事業支出のうち何%がエネルギー使用によるものでしたか？	137
(7.30) 貴組織は、どのエネルギー関連活動を行ったか選択してください。	137
(7.30.1) 貴組織のエネルギー消費量合計(原料を除く)を MWh 単位で報告してください。	138
(7.30.6) 貴組織の燃料消費の用途を選択してください。	139
(7.30.7)貴組織が消費した燃料の量(原料を除く)を燃料の種類別に MWh 単位で示してください。	140
(7.30.9)貴組織が報告年に生成、消費した電力、熱、蒸気および冷水に関する詳細をお答えください。	141
(7.30.14)質問 7.7 で報告したマーケット基準スコープ 2 の数値において、ゼロまたはゼロに近い排出係数を用いて計算された電力、熱、蒸気、冷熱量について、具体的にお答えください。	141
(7.30.16) 報告年における電気/熱/蒸気/冷房の消費量の国・地域別の内訳を記入してください。	143
原単位指標.....	143
(7.45)報告年のスコープ 1 と 2 の合計全世界総排出量を売上あたりの CO2 換算トン単位で説明し、さらに貴社の事業に当てはまる追加の原単位指標についてお答えください。	143
その他の気候関連指標.....	145
(7.52) 貴組織の事業に関連がある、追加の気候関連評価基準をお答えください。	145
目標.....	145
(7.53)報告年において、有効な排出量目標はありましたか。	145
(7.53.1) 排出の総量目標と、その目標に対する進捗状況の詳細を記入してください。	146
(7.53.2)排出量原単位とその目標に対する進捗状況の詳細を記入してください。	149
(7.53.3) 排出量目標を設定しなかった理由、および今後 5 年間の排出量変化予測について説明してください。	153
(7.54) 報告年に有効なその他の気候関連目標を設定しましたか？	154
(7.54.1) 低炭素エネルギー消費または生産を増加または維持するための目標の詳細を説明してください。	154
(7.54.2)メタンガス削減目標を含む、その他の気候関連目標の詳細を説明してください。	155
(7.54.3) ネットゼロ目標の詳細を記入してください。	159
排出削減への取り組み.....	161
(7.55) 報告年内に有効であった排出量削減イニシアチブがありましたか？これには、計画段階及び実行段階のものを含みます。	161
(7.55.1) 開発段階ごとのイニシアチブの総数、そして実施段階のイニシアチブについては、推定排出削減量 (CO2 換算)をお答えください。	161
(7.55.2) 報告年に実施されたイニシアチブの詳細を以下の表に記入してください。	162
(7.55.3) 排出削減活動への投資を促進するために、どのような方法を用いていますか	164
(7.55.4)報告年内に、排出削減イニシアチブを実施しなかった理由は何ですか	165
製品レベルの排出量 (下記は、サプライチェーンメンバーからの回答要請を受けている場合のみ対象となります。)	166
(7.73) 組織の商品やサービスについて、製品レベルのデータを提供していますか。	166
(7.73.1) これらの製品による 全スコープの合計排出量が、全体に占める割合を示してください。	166
(7.73.2) データを提供したい商品/サービスに関して下表に記入してください。	166

(7.73.3) 商品および/またはサービスのライフサイクル上の段階について 下表にデータを記入してください。	167
(7.73.4) この製品に対して完了した、または予定された排出 削減活動について詳述してください。	168
(7.73.5) 7.73.4 に記載されたイニシアティブのうち、回答を要請している CDP サプライチェーンメンバー企業によって推進されましたか。	169
(7.73.6) どの活動が回答メンバーによって推進されたかを説明してください。	169
低炭素製品・サービス	171
(7.74) 貴組織の製品やサービスを低炭素製品に分類していますか。	171
(7.74.1) 低炭素製品として分類している製品及び/又はサービスの詳細をしめしてください。	171
プロジェクトベースの炭素クレジット	173
(7.79) 貴組織は報告年中にプロジェクト由来の炭素クレジットをキャンセル(償却)しましたか。	174
(7.79.1) 報告年中に貴組織がキャンセルしたプロジェクト由来の炭素クレジットの詳細を記入してください。	174
モジュール 8: フォレスト	176
モジュール概要	176
除外事項	177
(8.1) 森林関連データの開示について、除外項目はありますか。	177
(8.1.1) これらの除外事項の詳細を回答してください。	177
コモディティ量データ	178
(8.2) コモディティごとの開示量の内訳を記入してください。	178
(8.2.1) 組織が調達する動物性食品に含まれる大豆の詳細を記入する。	179
土地の利用面積量と所在地(コモディティ生産)	180
(8.3) 開示されたコモディティの生産に使用される、貴組織が所有、管理、または支配する土地の詳細を記入してください。	180
(8.4) 報告年において、貴組織が所有、管理、または支配する土地のうち、開示されたコモディティの生産に使用されなかったものがあれば記入してください。	182
(8.4.1) 貴組織が所有、管理、または支配している土地のうち、報告年に開示コモディティの生産に使用されなかった土地の詳細を記入してください。	182
コモディティ調達場所(コモディティ調達量)	183
(8.5) 調達したコモディティの原産地について詳細を記述してください。	183
バイオ燃料	184
(8.6) あなたの組織は、パーム油由来のバイオ燃料を生産または調達していますか。	184
(8.6.1) パーム油由来のバイオ燃料をどのように生産または調達しているか、その詳細を示してください。	184
目標	185
(8.7) 貴組織は、報告年において、開示されたコモディティの持続可能な生産/調達に関して、森林減少なしまたは転換なしの目標、あるいはその他の目標を設定しましたか。	185
(8.7.1) 報告年中に実施された森林減少なしまたは転換なしの目標の詳細を記入してください。	186
(8.7.2) 森林減少なしまたは転換なしの目標に貢献するものを含め、コモディティに関連するその他の目標の詳細と、それに対する進捗を記入してください。	187
トレーサビリティ	191
(8.8) 貴組織が調達量の原産地を特定するためのトレーサビリティシステムを有しているかどうかを示し、使用した方法とツールの詳細を説明してください。	191
(8.8.1) 貴組織がその調達量をトレースできるポイントの詳細を示してください。	192
森林減少なし、転換なし(DCF)の状態の指標と DCF を決定する方法	193
(8.9) 貴組織が開示するコモディティの森林減少なし(DF)または森林減少なし、転換なし(DCF)のステータスに関する評価の詳細を記入してください。	193
(8.9.1) 開示量に関して、設定した期限日以降の森林減少なし(DF)または森林減少なし、転換なし(DCF)ステータスを決定するために使用された第三者認証スキームの詳細を記入してください。	194
(8.9.2) 完全な DF/DCF 保証を提供しない第三者認証スキームの詳細を提供してください	195
(8.9.3) 指定された期限日以降の数量について、森林減少なし(DF)または森林減少なし、転換なし(DCF)のステータスを決定するために使用した生産単位のモニタリングの詳細を提供してください。	197

(8.9.4)指定された期限日以降の数量について、森林減少なし(DF)または森林減少なし、転換なし(DCF)のステータスを決定するために使用された調達エリアのモニタリングの詳細を提供してください。	198
森林減少なし、転換なし(DCF)に向けた現状と進捗状況.....	199
(8.10)開示するコモディティについて、森林減少やその他の自然生態系の転換のフットプリントをモニタリングまたは推定しているかどうかを記載してください。	199
(8.10.1)森林減少と転換のフットプリントのモニタリングまたは推定に関する詳細を記入してください。	200
(8.11)森林減少と転換を伴わない(DCF)と評価、決定されなかった数量について、報告年に DCF の数量の生産または調達を増やすための行動をとったかどうかを回答してください。	201
(8.11.1)森林減少や転換を伴わない(DCF)量の生産/調達を評価し、増加させるために報告年にとった措置の詳細を説明してください。	201
認証コモディティの販売量.....	203
(8.12)回答要請をしている CDP サプライチェーンメンバーに販売されたコモディティ量について、認証の詳細が入手可能かどうかを回答してください。	203
(8.12.1)回答要請している CDP サプライチェーンメンバーに販売した認証数量の詳細を提供してください。	204
排出量.....	206
(8.13)貴組織は、直接操業及び/又はバリューチェーン上流で発生した土地利用管理と土地利用変化による GHG 排出削減及び/又は除去を計算していますか？	206
(8.13.1)温室効果ガスの排出削減及び/又は除去強化につながった、直接的な事業活動及び/又はバリューチェーン上流において、貴組織が実施した活動の詳細を記述してください。	207
法令遵守.....	209
(8.14)森林規制および/または必須基準への自社および/またはサプライヤーの遵守を評価する場合、その詳細を示してください	209
ランドスケープ・管轄アプローチとイニシアチブ.....	209
(8.15)持続可能な土地利用の目標を共有するために、ランドスケープ(管轄区域を含む)の取り組みを行っていますか。	209
(8.15.1)持続可能な土地利用のための協働アプローチのエンゲージメントに関して、ランドスケープ・管轄地域の優先順位を決める際に考慮する基準を示し、それについて説明してください。	210
(8.15.2)報告年中の、持続可能な土地利用に対するランドスケープ/管轄アプローチによる貴社のエンゲージメントについて説明してください。	211
(8.15.3)貴組織の開示コモディティごとに、貴組織がエンゲージメントする各ランドスケープ/管轄区域からの開示量の詳細を提供してください。	214
社外活動.....	215
(8.16)コモディティバリューチェーンにおける森林減少、生態系転換、人権問題に関連する方針やコミットメントの実行を促進するため、その他の社外活動に参加していますか。	215
(8.16.1) コモディティバリューチェーンにおける森林減少、生態系転換、人権問題に関連する方針やコミットメントの実行を促進するため、参加しているその他の社外活動について説明してください。	215
生態系復元プロジェクト.....	216
(8.17) 貴組織は、生態系復元や長期保護に焦点を当てたプロジェクトを支援または実施していますか。	216
(8.17.1)プロジェクトの規模、期間、およびモニタリング頻度を含む プロジェクトの詳細をお答えください。また評価した成果をがあれば記載してください。	216
モジュール 9: 環境パフォーマンス – ウォーター.....	219
モジュール概要.....	219
除外事項.....	219
(9.1)水関連データの開示から除外されるものはありますか？	219
(9.1.1)これらの除外事項の詳細を示してください。	220
9.2 水に関する以下の側面について、貴組織の事業全体でどの程度の割合を定期的に測定・モニタリングしていますか。	221
総量.....	222
(9.2.2)全事業における水の総取水量、総排水量、総消費量、前年度との比較、および今後の予測値を回答してください。	222
水ストレス地域からの取水.....	222

(9.2.4)水ストレスのある地域からの取水の有無、その量、前年度との比較、および今後の変化の予測を回答してください。	223
水源別の総取水量	224
(9.2.7) 水源別の総取水量データを回答してください。	224
放流先別排水量	225
(9.2.8) 放流先別の総排水量をお答えください。	225
処理方法別排水量	225
(9.2.9) 直接操業内で、貴組織が排水を処理する最高レベルを示してください。	225
水への排出	226
(9.2.10) 報告年における硝酸塩、リン酸塩、殺虫剤、およびその他の優先有害物質の水域への貴社の排出量について具体的にお答えください。	226
施設レベルの水会計と検証	227
(9.3)直接操業とバリューチェーン上流において、水に関する重大な依存、影響、リスク、機会を特定した施設について回答してください。	227
(9.3.1) 質問 9.3 で言及した各施設について、地理座標、水会計データ、前報告年との比較内容をお答えください。	228
CDP サプライチェーンメンバーに及ぼす影響	230
(9.4)9.3.1 で報告された貴施設のいずれかが、回答要請している CDP サプライチェーンメンバーに影響を及ぼす可能性はありますか。	230
(9.4.1)9.3.1 で言及した施設のうち、回答を要請している CDP サプライチェーンメンバー企業に影響を及ぼす可能性がある施設を示してください。	231
水の効率と水の原単位	231
(9.5) 組織の総取水効率を数字で示してください。	231
(9.12) 貴組織の製品またはサービスについて、利用可能な水の原単位の値をすべて記入してください。	232
有害物質	232
(9.13) 規制当局により有害と分類される物質を含んだ貴組織の製品はありますか。	232
(9.13.1) 貴組織の売上高のうち、規制当局により有害物質として分類された物質を含む製品の売上高は何パーセントですか。	233
製品とサービス	233
(9.14) 貴組織が現在製造や提供をしている製品やサービスの中で、水の影響を少なく抑えているものはありますか。	234
水関連目標:水量、水質、WASH、その他	234
(9.15) 水に関する目標はありますか？	234
(9.15.1)水質汚染、取水量、WASH、その他の水関連カテゴリーに関する目標を設定していますか。	235
(9.15.2) 水に関する目標と進捗状況の詳細を示してください。	235
(9.15.3)水に関する目標を設定していない理由と、今後設定する計画を教えてください。	238
モジュール 10: 環境パフォーマンス - プラスチック	240
モジュール概要	240
目標	240
(10.1)プラスチック関連の目標を設定していますか、設定している場合、どのようなものですか。	240
活動内容	242
(10.2)貴組織が以下の活動を行っているかどうかを説明してください。	242
プラスチックポリマーの指標	243
(10.3) 販売したプラスチックポリマーの総重量を記入し、原材料の含有量を示してください。	243
耐久消費財および耐久消費財部品の指標	244
(10.4)生産、販売、および/または使用されたプラスチック製耐久消費財および耐久消費財部品の総重量とそれに含まれる原料を具体的にお答えください。	244
プラスチック包装の指標	245
(10.5) 販売および/または使用したプラスチック包装材の総重量を記入し、原材料の含有量を示してください。	245
(10.5.1)販売および/または使用したプラスチック包装材の循環性を回答してください。	246

使用済み製品管理のための指標.....	247
(10.6) 貴社が生産、販売、使用、および/または加工するプラスチックから発生する廃棄物の総重量を記入し、End-of-Life 管理経路を示してください。	247
モジュール 11:環境パフォーマンス - 生物多様性	249
モジュール概要.....	249
11.2 生物多様性に関するコミットメントを進展させるために、貴組織は報告年にどのような行動を取りましたか。	249
生物多様性指標.....	249
11.3 貴組織は、活動全体のパフォーマンスをモニタリングするために生物多様性指標を使用していますか。	250
生物多様性にとって重要な地域.....	250
11.4 貴組織は、報告年度において、生物多様性にとって重要な地域またはその近くで活動を行っていますか。	250
11.4.1 報告年度における、生物多様性にとって重要な地域またはその近隣における組織の活動の詳細を示す	251
モジュール 13: 詳細情報・最終承認	253
モジュール概要.....	253
(13.1) CDP 回答に含まれる環境情報(7.9.1/2/3、8.9.1/2/3/4、9.3.2 で報告済みでないもの)が、第三者によって検証および/または保証されていますか。	253
(13.1.1) CDP の回答のうち、第三者によって検証および/または保証されているデータポイントはどれか、またどの基準を使用したか、示してください。	253
詳細情報.....	257
(13.2) この欄には、組織の回答に関連すると思われる追加情報や背景を記入してください。この欄は任意であり、採点の対象ではありません。	257
最終承認.....	257
(13.3) CDP への回答に最終承認した人について、以下の情報を提供してください。	257
ウォーター・アクション・ハブ.....	258
(13.4) CDP がパシフィック・インスティテュートと連絡先を共有し、ウォーター・アクション・ハブのウェブサイト のコンテンツをサポートすることに同意しますか。	258

モジュール 1: イントロダクション

モジュールの概要

モジュールの概要	<p>本モジュールでは、貴組織のCDPへの開示に関する情報を提供してください。これによりデータ利用者は、貴組織の回答を、事業、時間軸、報告バウンダリといった背景事情にもとづいて解釈することができます。</p> <p>ここで回答いただいた内容は、質問書全体を通じて一貫して適用されるものです。後続のモジュールで表示される回答選択肢にも影響しますので、漏れなく正確にお答えください。</p> <p>またこの理由により、本モジュールでは全質問にお答えいただき、残りの質問書への回答を続ける前に、必ず保存を行ってください。</p>
----------	---

イントロダクション

(1.1) どの言語で回答を提出しますか？

質問内容	
前年との比較	変更なし(2023年提出ページ)
回答方法	選択肢: <ul style="list-style-type: none">英語中南米スペイン語ブラジルポルトガル語日本語中国語その他、具体的にお答えください

(1.2) 回答全体を通じて財務情報の開示に使用する通貨を選択してください。

質問内容	
前年との比較	質問の修正(2023 C0.4、F0.3、W0.4)
説明	CDPは組織に対し、依存、影響、リスク、機会に関連した財務数値を報告するよう推奨しています。単一の通貨で開示することで、比較可能な財務情報の収集が容易になります。これは、投資家や他のデータ利用者が、貴組織が回答した費用と便益を評価する際に有益です。
回答方法	選択肢: <ul style="list-style-type: none">通貨のドロップダウンリスト

(1.3) 貴組織に関する概要と紹介情報を提供してください。

質問内容	
前年との比較	質問の修正(2023 C0.1、F0.1、W0.1)
説明	こちらに記載いただく貴組織に関する情報は、データ利用者が、事業活動やセクター、環境課題や企業戦略との関連性の中で、貴組織の回答内容を理解するのに役立ちます。
回答方法	以下の表に記入してください:

1	2
組織の種類	組織の詳細
選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 上場組織 非上場組織 公営組織 半官半民組織 	文章記入欄[最大 5,000 字]

(1.4) データの報告年の終了日を入力してください。排出量データについて、過去の報告年における排出量データを提供するか否かを明記してください。

質問内容	
前年との比較	質問の修正(2023 C0.2、F0.2、W0.2)
説明	この質問により、時間的背景を明確にすることができ、組織の環境面での進捗について、一貫性をもった経年比較や評価を行うことが可能になります。これは、透明性と説明責任を高め、データ利用者が報告期間と関連した回答を解釈するのに役立ちます。
回答方法	以下の表に記入してください:

1	2	3	4	5	6
報告年の終了日	本報告期間と財務情報の報告期間は一致していますか	過去の報告年の排出量データを回答しますか	スコープ 1 排出量データについて回答する過去の報告年数	スコープ 2 排出量データについて回答する過去の報告年数	スコープ 3 排出量データについて回答する過去の報告年数
日付 [MM/DD/YYYY]	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> はい いいえ 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> はい いいえ 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 1 年 2 年 3 年 4 年 5 年 過去の報告年のスコープ 1 排出量データは回答しません 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 1 年 2 年 3 年 4 年 5 年 過去の報告年のスコープ 2 排出量データは回答しません 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 1 年 2 年 3 年 4 年 5 年 過去の報告年のスコープ 3 排出量データは回答しません

(1.5) 貴組織の報告バウンダリ(範囲)の詳細を回答してください。

質問内容	
前年との比較	新規質問
説明	この質問はデータ利用者が、貴組織の回答が貴組織の事業にどのように関連しているのか理解するのに役立ちます。この質問に対する回答で、どの事業体(会社、事業、その他の団体等)のデータを CDP 質問書で回答するかを設定します。
回答方法	以下の表に記入してください:

1	2
CDP 回答に使用する報告バウンダリは財務諸表で使用されているバウンダリと同じですか。	財務諸表で使用される報告バウンダリと CDP 回答での報告バウンダリにどのような違いがありますか。
選択肢: <ul style="list-style-type: none"> はい 	文章記入欄[最大 2,500 字]

<ul style="list-style-type: none"> • いいえ • 該当なし - 財務諸表を公表してません 	
--	--

(1.6) 貴組織は ISIN コードまたは別の固有の市場識別 ID (例えば、ティッカー、CUSIP 等) をお持ちですか。

質問内容	
前年との比較	質問の修正(2023 C0.8、F0.8、W0.7)
説明	ISIN コードとその他の市場識別 ID は、債券、先物、株式等の有価証券の識別に世界的に使われているコードです。貴組織固有の市場識別 ID を記入することで、回答の透明性が高まります。
回答方法	以下の表に記入してください。表の下にある「行を追加」ボタンを使って行を追加することができます。

1	2	3
固有の市場識別 ID	貴組織はこの固有の市場識別 ID を使用していますか	貴組織固有の市場識別 ID を記入してください
選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • ISIN コード - 債券 • ISIN コード - 株式 • CUSIP 番号 • ティッカーシンボル • SEDOL コード • LEI 番号 • D-U-N-S 番号 • その他の一意の識別子 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • はい • いいえ 	文章記入欄[最大 50 字]

[行固定、行追加]

(1.7) 貴組織が事業を運営する国・地域を選択してください。

質問内容	
前年との比較	ガイダンスの修正(2023 C0.3、F0.6、W0.3)
説明	この質問はデータ利用者が、貴組織の回答が複数の地域にまたがる貴組織の事業にどのように関連しているのか理解するのに役立ちます。この質問で国/地域を正確に選択することで、質問書全体における報告精度が向上します。

1
国・地域
該当するものをすべて選択してください [国・地域のドロップダウンリスト]

(1.8) 貴組織の施設についての地理位置情報を提供できますか。

質問内容

他の質問との関連性	質問1.8への回答にもとづいて、本セクションで次に続く質問が決まります。質問1.8の回答を修正すると、後続の質問に対して入力したデータは消去される可能性があります。この場合は、すべての関連質問のデータを必ず再入力してください。他の質問と関連している質問であるか否かについては、各質問のガイダンスに示しています。
前年との比較	変更なし(2023 SW1.2)
説明	この情報は、回答要請メンバーが、貴組織のデータと水ストレスマップ、および水ストレス地域のリスクエクスポージャーの種類を結びつけて理解するのに役立ちます。
回答方法	以下の表に記入してください:

1	2
貴組織の施設についての地理位置情報を提供できますか。	コメント
選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • はい、すべての施設について • はい、一部の施設について • いいえ、現時点ではありませんが、今後2年以内に行う予定です • いいえ、このデータはなく、収集する予定はありません • いいえ、これは機密データです 	文章記入欄[最大1,000字]

(1.8.1) 貴組織の施設についての地理位置情報をすべて提供してください。

質問内容	
他の質問との関連性	質問1.8の回答で[はい、すべての施設について]または[はい、一部の施設について]を選択した場合にのみ、この質問が表示されます。
前年との比較	変化なし(2023 SW1.2a)
説明	この情報は、回答要請メンバーが、CDPのデータと水ストレスが特に大きい地域を示すマップ、および水ストレス地域のリスクエクスポージャーの種類を結びつけて理解するのに役立ちます。
回答方法	以下の表に記入してください。表の下にある「行を追加」ボタンを使って行を追加することができます。

1	2	3	4
ID	緯度	経度	コメント
文章記入欄[最大500字]	数値記入欄[0から+/-90.000000までの数値を小数点以下6桁以内で入力してください]	数値記入欄[0から+/-180.000000までの数値を小数点以下6桁以内で入力してください]	文章記入欄[最大1,000字]

生産・調達コモディティ

セクション概要

セクション概要	このセクションでは、報告期間中に生産または調達したコモディティの詳細について尋ねています。森林減少や転換のないサプライチェーンに対する行動を推進するには、その量が開示情報に含まれるか除外されるかに関係なく、貴組織によって生産、調達される(使用、購入、消費を含む) コモディティの総量に関する透明性のある比較可能なデータが必要です。この情報は、[環境パフォーマンス - フォレスト]モジュールでの貴組織の回答に関する重要な背景情報をデータ利用者に提供します。
---------	--

(1.22) 貴組織が生産および／または調達するコモディティに関する詳細を提供してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問への回答に基づき、次に続く質問が決まります。質問1.22の回答を修正すると、後続の質問に対して入力したデータは消去される可能性があります。
前年との比較	質問の修正(2023 F0.4、F1.1、F1.5a)
説明	この質問では、報告期間中に生産または調達したコモディティの総量を明確にし、状況を説明することによって、組織の当該コモディティへの依存度を示します。この情報を報告することで、コモディティが組織にどの程度関連しているかについての背景情報がデータ利用者に提供されます。組織はこの情報を開示することで、コモディティへの自社の依存度について認識を高めるとともに、事業の透明性を促進することができます。これは、森林減少や転換のないバリューチェーンに向けて重要なステップとなります。

0	1	2	3	4	5
コモディティ	生産および/または調達	コモディティのバリューチェーン段階	バリューチェーンに大豆そのものや組み込み大豆(生産・製造に使用された)がありますか	生産および/または調達されたコモディティの総量を開示しますか	総コモディティ量(トン)
木材製品	選択肢: • 生産 • 調達 • 生産と調達	該当するものをすべて選択してください: • 生産 • 加工 • 取引 • 製造 • 販売	該当なし	選択肢: • はい、総量を開示します • いいえ、総量は機密情報です • いいえ、総量は不明です • いいえ、その他の理由(具体的にお答えください)	数値記入欄[0~999,999,999,999の数値を小数点以下2桁以内で入力]
パーム油			該当なし		
畜牛品			該当なし		
大豆			選択肢: • 組み込み(生産・製造に使用された)大豆のみ • 組み込み大豆(生産・製造に使用された)と大豆そのものの混合 • 大豆そのもののみ • 組み込み(生産・製造に使用された)大豆を調達しているかどうかはわかりません		

天然ゴム			該当なし		
ココア			該当なし		
コーヒー			該当なし		

6	7	8	9	10
総コモディティ量のうち、組み込み(生産・製造に使用された)大豆の量をトン単位で回答してください	総コモディティ量のうち、大豆そのものの量をトン単位で回答してください	総コモディティ量を別の単位からトンに変換しましたか	変換前の単位	使用した手法、換算係数、変換前の単位での総コモディティ量の詳細を回答してください
数値記入欄[0~999,999,999,999の数値を小数点以下2桁以内で入力]	数値記入欄[0~999,999,999,999の数値を小数点以下2桁以内で入力]	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> はい いいえ 	該当するものをすべて選択してください: <ul style="list-style-type: none"> 立方メートル ガロン 家畜の頭数[畜用品のみ] キログラム リットル ポンド 平方メートル 平方フィート ショートトン ロングトン その他、具体的にお答えください 	文章記入欄[最大2,500字]

11	12	13	14	15
コモディティ形態	調達コストに占める割合	コモディティに依存する売上の割合(%)	このコモディティは貴組織の売上において重要性が高いと考えられますか	開示しない理由
ドロップダウンリストから該当するものをすべて選択してください。	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 1%未満 1-5% 6-10% 11-20% 21-30% 31-40% 41-50% 51-60% 61-70% 71-80% 81-90% 91-99% 100% 不明 該当なし 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 1%未満 1-10% 11-20% 21-30% 31-40% 41-50% 51-60% 61-70% 71-80% 81-90% 91-99% 100% 不明 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> はい いいえ 	該当するものをすべて選択してください: <ul style="list-style-type: none"> 機密情報 データがない 内部リソース、能力、または専門知識の欠如(例: 組織の規模が原因) 当面の戦略的優先事項ではない 直近の買収・合併 事業売却 量が少ない 調達支出に占める割合が小さい 売上が少ない その他、具体的にお答えください

16	17	18
合併・買収完了日	開示しない理由の詳細	説明してください
[DD/MM/YYYY]	文章記入欄[最大2,500字]	文章記入欄[最大1,500字]

コモディティ形態(11 列目)

木材製品

- 板材、合板、加工木材
- セルロースベースの織物繊維
- 非再販製品(GNFR)
- 広葉樹丸太
- 紙
- 一次梱包材
- パルプ
- 製材された木材、ベニヤ、チップ
- 二次梱包材
- 針葉樹丸太
- 三次梱包材
- 未加工木材ファイバー
- 木質バイオエネルギー

パーム油

- 粗パーム核油(CPKO)
- 粗パーム油(CPO)
- 生鮮果房(FFB)
- パーム由来のバイオディーゼル
- パーム核粕(PKM)
- パーム核油誘導体
- パーム油誘導体
- 精製パーム油

畜牛品

- 牛肉
- 副産物(例:グリセリン、ゼラチン)
- 牛
- 皮革
- 牛脂
- 牛脂由来のバイオディーゼル

大豆

- 組み込み大豆
- 大豆粕
- 大豆油
- 大豆由来のバイオディーゼル
- 大豆派生品
- 全大豆
- その他、具体的にお答えください

バリューチェーン・マッピング

(1.24) 貴組織はバリューチェーンをマッピングしていますか。

質問内容	
前年との比較	気候変動、ウォーター：新規質問 フォレスト：質問の修正(2023 F2.2, F2.2a)
説明	この質問により、データ利用者は貴組織がバリューチェーンのさまざまな部分をどの程度可視化できているかを理解し、効果的なリスク管理、トレーサビリティ、サプライヤーエンゲージメント等の活動を促進することができます。さらに、この質問に対する回答は、データ利用者がバリューチェーンにおける行動に関して、その他質問の回答で報告されたサプライヤーのカバー範囲を解釈するのに役立ちます。

1	2	3	4	5	6
バリューチェーンのマッピング	マッピング対象となるバリューチェーンの段階	マッピングされた最上位のサプライヤー層	既知であるが、マッピングされていない最上位のサプライヤー層	小規模農家のマッピング	マッピングプロセスと対象範囲の詳細
選択肢: <ul style="list-style-type: none"> はい、バリューチェーンのマッピングが完了している、または現在マッピングしている最中です いいえ、しかし今後2年以内にそうする予定です いいえ、また今後2年以内にそうする予定もありません 	該当するものすべてを選択してください: <ul style="list-style-type: none"> バリューチェーン上流 バリューチェーン下流 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 1次サプライヤー 2次サプライヤー 3次サプライヤー 4次以上のサプライヤー 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 1次サプライヤー 2次サプライヤー 3次サプライヤー 4次以上のサプライヤー 既知のすべてのサプライヤー層がマッピングされています(2列目で「バリューチェーン上流」を選択した場合のみ表示されます。) 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 小規模農家は関連性があり、マッピングに含まれる 小規模農家は関連性があるが、マッピングに含まれない 小規模農家に関連性があるかわからないため、マッピングに含めていない 小規模農家は関連性がなく、マッピングに含まれない 	文章記入欄[最大2,500字]

7	8
バリューチェーン上流またはバリューチェーン上のどの段階もマッピングしない主な理由	貴組織がバリューチェーン上流またはバリューチェーン上のどの段階もマッピングしない理由を説明してください
選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 内部リソース、能力、または専門知識の欠如(例: 組織の規模が原因) 標準化された手順がない 当面の戦略的優先事項ではない 重要でないか、関連性がないと判断した その他、具体的にお答えください 	文章記入欄[最大2,500字]

(1.24.1) 直接操業またはバリューチェーンのどこでプラスチックの生産、商品化、使用、または廃棄されているかについてマッピングしましたか。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問への回答に基づき、次に続く質問が決まります。質問1.24.1の回答を修正すると、後続の質問に対して入力したデータは消去される可能性があります。
前年との比較	質問の修正(2023 W10.1)
説明	バリューチェーンにおけるプラスチックのマッピングは、組織がプラスチックの生産、商品化、使用、廃棄に対する認識を深めるための第一歩です。これにより、組織はプラスチックが環境や社会に与える影響、プラスチック関連のビジネス・リスクへのエクスポージャー、プラスチック廃棄物および汚染を削減する方法を理解することができます。プラスチックのマッピングに関する情報により、データ利用者は、プラスチックの影響、リスク、目標、その他の指標について報告された情報の正確性と完全性を信頼することができますようになります。
回答方法	以下の表に記入してください：

1	2	3	4	5
プラスチックマッピング	マッピング対象となるバリューチェーン上の段階	EOL(End-of-life)管理経路のマッピング	貴組織がバリューチェーン上のプラスチックをマッピングしない主な理由	貴組織がバリューチェーンにおけるプラスチックをマッピングしていない理由を説明してください
選択肢： <ul style="list-style-type: none"> はい、バリューチェーンにおけるプラスチックのマッピングが完了している、または現在、マッピングしている最中です いいえ、しかし今後2年以内にそうする予定です いいえ、また今後2年以内にそうする予定もありません 	該当するものをすべて選択してください： <ul style="list-style-type: none"> 直接操業 バリューチェーン上流 バリューチェーン下流 EOL(End-of-life)管理 その他、具体的にお答えください 	該当するものをすべて選択してください： <ul style="list-style-type: none"> 再利用の準備 リサイクル 堆肥化(産業/家庭) 廃棄物発電 焼却 埋立 不適切に管理された廃棄物 リーケージ その他、具体的にお答えください 	選択肢： <ul style="list-style-type: none"> 内部リソース、能力、または専門知識の欠如(例：組織の規模が原因) 標準化された手順がない 当面の戦略的優先事項ではない 重要でないか、関連性がないと判断した その他、具体的にお答えください 	文章記入欄[最大2,500字]

(1.24.2) 貴組織はバリューチェーン上流(つまり、サプライチェーン)でどのコモディティをマッピングしていますか。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、質問1.24の[マッピング対象となるバリューチェーンの段階]で、「バリューチェーン上流」を選択し、質問1.22の[生産および/または調達]の回答で「調達」または「生産および調達」を選択した場合にのみ表示されます。
前年との比較	質問の修正(2023 F2.2a)
説明	組織は、調達したコモディティの量に関連する環境への依存、影響、リスク、機会を効果的に特定、評価、管理するために、バリューチェーン上流(つまり、サプライチェーン/ポートフォリオ活動)のステークホルダーに関する知識を持っている必要があります。バリューチェーン上流のマッピングは、リスク管理、トレーサビリティ、サプライヤーとのエンゲージメント等、他の主要な活動を補完します。この質問に対する回答は、データ利用者がバリューチェーンにおける行動に関して、その他質問の回答で報告されたサプライヤーのカバー範囲を解釈するのに役立ちます。
回答方法	以下の表に記入してください：

0	1	2	3	4	5	6	7
コモディティ	この調達コモディティについてのバリューチェーンのマッピング	この調達コモディティに対してマッピングされた最上位のサプライヤー層	マッピングした1次サプライヤーの割合	マッピングした2次サプライヤーの割合	マッピングした3次サプライヤーの割合	マッピングした4次以上のサプライヤーの割合	この調達コモディティに対して、既知であるが、マッピングされていない最上位のサプライヤー層
木材製品	選択肢: • はい • いいえ	選択肢: • 1次サプライヤー • 2次サプライヤー • 3次サプライヤー • 4次以上のサプライヤー	選択肢: • 1%未満 • 1-25% • 26-50% • 51-75% • 76-99% • 100%	選択肢: • 1次サプライヤー • 2次サプライヤー • 3次サプライヤー • 4次以上のサプライヤー • この調達コモディティに対して、既知のすべてのサプライヤー層がマッピングされています			
パーム油							
畜牛品							
大豆							
天然ゴム							
ココア							
コーヒー							

モジュール 2: 依存、影響、リスク、機会の特定、評価、管理

モジュールの概要

モジュールの概要	<p>このモジュールでは、組織が環境課題を考慮する時間軸、組織が事業に対する実質的な影響をどのように定義するか、自社のセクターに関連する環境関連の依存、影響、リスク、機会を特定、評価、管理するために組織が導入しているプロセス、優先地域の特定に関する情報について尋ねています。</p> <p>水セキュリティについて開示している組織に対して、本モジュールでは、組織が水汚染を管理するために実施している手順に関する質問（セクション2.5）と、特定のセクターのみを対象とした鉱滓ダム管理に焦点を当てた質問（セクション2.6）への回答を求めています。</p> <p>これらの手順は、組織自身の認識や、組織に関連する正味のリスクの評価とは無関係に、環境課題に取り組むために重要であると考えられています。</p> <p>このため、CDPでは、組織自体が環境関連のリスクや機会にさらされていると考えているかどうか、またそれらがどのようなものであるかを開示する前に、これらの質問に回答するよう求めています。</p> <p>この情報により、モジュール3（リスクと機会の情報開示）で報告されたリスクと機会が網羅的なものであるとデータ利用者が確信することができます。</p>
----------	---

時間軸の定義

(2.1) 貴組織は、依存、影響、リスク、機会に関連して、短期、中期、長期の時間軸をどのように定義していますか。

質問内容	
前年との比較	フォレスト、ウォーター、プラスチック、生物多様性:新規質問 気候変動:質問の修正(2023 C2.1a)
説明	組織が定義した時間軸を理解することで、データ利用者は、依存、影響、リスク、機会の特定、評価、管理において環境課題を組織が考慮するさまざまな時間軸と、それが事業戦略や財務計画にどのように影響を与えるかを理解することができます。
回答方法	以下の表に記入してください:

0	1	2	3	4
時間軸	開始(年)	長期の時間軸に期間を設けていますか。	終了(年)	この時間軸が戦略計画や財務計画にどのように関連付けられていますか。
短期	数値記入欄[小数点やカンマを使わず、0~100の数値を入力]	該当なし	数値記入欄[小数点やカンマを使わず、0~100の数値を入力]	文章記入欄[最大 1,500 字]
中期		該当なし		
長期		選択肢: • はい • いいえ		

依存、影響、リスク、機会を特定、評価、管理するためのプロセス

(2.2) 貴組織には、環境への依存や影響を特定、評価、管理するプロセスがありますか。

質問内容	
前年との比較	気候変動、フォレスト、ウォーター:新規質問 プラスチック、生物多様性:質問の修正(2023 W10.2, C15.3, F-MM10.1/F-CO10.1)
説明	環境への依存と影響は、社会的および経済的機能を提供する自然の能力に変化をもたらす可能性があります。さらに、組織のリスクと機会を効果的に評価するには、環境への依存と影響を特定、評価、管理することが不可欠です。この質問により、データ利用者は、組織の環境への依存と影響についての認識を評価することができます。
回答方法	以下の表に記入してください:

1	2	3	4
プロセスの有無	このプロセスで評価された依存や影響	依存や影響を評価しない主な理由	依存や影響を評価しない理由を説明し、今後評価を行う計画があれば説明してください。
選択肢: • はい • いいえ、しかし今後2年以内にそうする予定です • いいえ、また今後2年以内にそうする予定もありません	選択肢: • 依存のみ • 影響のみ • 依存と影響の両方	選択肢: • 内部リソース、能力、または専門知識の欠如(例:組織の規模が原因) • 標準化された手順がない • 当面の戦略的優先事項ではない	文章記入欄[最大 2,500 字]

		<ul style="list-style-type: none"> •重要でないか、関連性がないと判断した •その他、具体的にお答えください 	
--	--	---	--

(2.2.1) 貴組織には、環境リスクや機会を特定、評価、管理するプロセスがありますか。

質問内容	
前年との比較	質問の修正(2023 C2.1、C2.2g、F2.1、F2.1b、F-MM10.2/F-CO10.2、W3.3、W3.3c、W10.3)
説明	多くの組織にとって、環境課題は現在および将来において重大な課題となります。この質問では、環境リスクと機会に対する組織の認識をデータ利用者が評価できるよう、組織に環境課題を特定、評価、管理するプロセスがあるかどうかについて尋ねています。
回答方法	以下の表に記入してください

1	2	3	4	5	6
プロセスの有無	このプロセスで評価されたリスクや機会	このプロセスでは、依存や影響の評価プロセスの結果を考慮していますか	リスクや機会を評価しない主な理由	リスクや機会を評価しない理由を説明し、今後評価する計画がある場合は説明してください。	依存や影響の評価プロセスに基づいてリスクと機会の両方を評価するプロセスがない理由について説明してください
選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • はい • いいえ、しかし今後2年以内にそうする予定です • いいえ、また今後2年以内にそうする予定もありません 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • リスクのみ • 機会のみ • リスクと機会の両方 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • はい • いいえ 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • 内部リソース、能力、または専門知識の欠如(例: 組織の規模が原因) • 標準化された手順がない • 当面の戦略的優先事項ではない • 重要でないか、関連性がないと判断した • その他、具体的にお答えください 	文章記入欄[最大2,500字]	文章記入欄[最大2,500字]

(2.2.2) 環境への依存、影響、リスク、機会を特定、評価、管理する貴組織のプロセスの詳細を回答してください。

質問内容	
他の質問との関連性	質問2.2または2.2.1の1列目[プロセスの有無]の回答で[はい]を選択した場合にのみ、この質問が表示されます。
前年との比較	質問の修正(2023 C2.2、C2.2a、C15.3、F2.1a、F-MM10.2a/F-CO10.2a、F-MM10.2b/F-CO10.2b、F-MM10.2c/F-CO10.2c、W3.3a、W3.3b、W10.2)
説明	バリューチェーン全体およびさまざまな期間にわたる環境への依存、影響、リスク、機会を特定、評価、管理するための包括的かつ反復的なプロセスがある組織は、機会を活かすだけでなく、長期的な不確実性と負債に対処するためのより良い備えができています。この質問では、組織の評価プロセスがどれほどしっかりしたものであるかをデータ利用者に示します。
回答方法	以下の表に記入してください:

1	2	3	4	5
環境課題	この環境課題と関連したプロセスでは、依存、影響、リスク、機会のどれを対象としていますか	対象となるバリューチェーン上の段階	対象範囲	対象サプライヤー層
該当するものをすべて選択してください： <ul style="list-style-type: none"> 気候変動 フォレスト ウォーター プラスチック 生物多様性 	該当するものをすべて選択してください： <ul style="list-style-type: none"> 依存 影響 リスク 機会 	該当するものをすべて選択してください： <ul style="list-style-type: none"> 直接操業 バリューチェーン上流 バリューチェーン下流 EOL(End-of-life)管理 	選択肢： <ul style="list-style-type: none"> 全て 一部 	該当するものをすべて選択してください： <ul style="list-style-type: none"> 1次サプライヤー 2次サプライヤー 3次サプライヤー 4次以上のサプライヤー

6	7	8	9	10	11a
評価の種類	評価の頻度	対象となる時間軸	リスク管理プロセスの統合	使用した地域固有性	使用したツールや手法
選択肢： <ul style="list-style-type: none"> 定性評価のみ 定量評価のみ 定性、定量評価の両方 	選択肢： <ul style="list-style-type: none"> 年に複数回 年1回 2年に1回 3年またはそれ以上の期間に1回 重要な事案が生じたとき 特定していない 	該当するものをすべて選択してください： <ul style="list-style-type: none"> 短期 中期 長期 	選択肢： <ul style="list-style-type: none"> 部門横断的かつ全社的なリスク管理プロセスへの統合 特定の環境リスク管理プロセス 	該当するものをすべて選択してください： <ul style="list-style-type: none"> 拠点固有 近隣地域 サブナショナル 国 地域固有性は無い 	該当するものをすべて選択してください： <ul style="list-style-type: none"> 市販/公開されているツール 企業リスク管理 国際的な方法論や基準 データベース その他

11b	12a	12b	13	14	15
使用したツールや手法	考慮されたリスクの種類や基準	考慮されたリスクの種類や基準	考慮されたパートナーやステークホルダー	報告年の前年以來、このプロセスに変更はありましたか	プロセスに関する詳細情報
以下のドロップダウンリストから該当するものをすべて選択してください。	該当するものをすべて選択してください： <ul style="list-style-type: none"> 急性の物理的リスク 慢性の物理的リスク 政策リスク 市場リスク 評判リスク 技術リスク 法的責任リスク 	以下のドロップダウンリストから該当するものをすべて選択してください。	該当するものをすべて選択してください： <ul style="list-style-type: none"> 顧客 従業員 投資家 地域コミュニティ 先住民 NGO 規制当局 サプライヤー 地域の水道事業者 地域のその他のコモディティの使用者/生産者 河川流域/集水地におけるその他の水利用者 その他、具体的にお答えください 	選択肢： <ul style="list-style-type: none"> はい いいえ 	文章記入欄[最大 3,500 字]

使用したツールや手法(11b 列目)	
企業リスク管理 <ul style="list-style-type: none"> COSO 企業リスク管理フレームワーク 企業リスク管理 社内の手法 ISO31000 リスクマネジメント規格 ランドスケープ規模の現地調査 	市販/公開されているツール <ul style="list-style-type: none"> Beef on Track BFC – Biodiversity Footprint Calculator BFM – Biodiversity Footprint Methodology BIM – Biodiversity Impact Metric Biological Diversity Protocol

<ul style="list-style-type: none"> • リスクモデル • ストレストテスト • その他の企業リスク管理がある場合は、具体的にお答えください <p>国際的な方法論や基準</p> <ul style="list-style-type: none"> • Alliance for Water Stewardship 規格 • 環境影響評価 • Global Forest Watch • IPCC 気候変動予測 • ISO14001 環境マネジメント規格 • ISO14046 環境マネジメント - ウォーターフットプリント • ライフサイクルアセスメント • パリ協定資本移行評価(PACTA)ツール • UN Water Global Analysis and Assessment of Sanitation and Drinking Water (GLAAS) • その他の国際的な方法論や基準がある場合は、具体的にお答えください <p>データベース</p> <ul style="list-style-type: none"> • FAO/AQUASTAT • Maplecroft Global Water Security Risk Index • 国別特有のデータベース、ツール、または基準 • 地方自治体のデータベース • UNEP Vital Water Graphics • その他のデータベースがある場合は、具体的にお答えください <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> • デスクリサーチ • 社外コンサルタント • 社内の手法 • 管轄/ランドスケープ評価 • マテリアリティ評価 • パートナーおよびステークホルダー・コンサルテーション/分析 • シナリオ分析 • 水源脆弱性評価 • その他、具体的にお答えください 	<ul style="list-style-type: none"> • Bioscope • BISI - Biodiversity Indicators for Site-based impacts • BNGC - Biodiversity Net Gain Calculator • CBF - Corporate Biodiversity Footprint • CBD - 生物多様性条約 • Circulytics • Collect Earth • EcoVadis • Ecolab Water Risk Monetizer • エレン・マッカーサー財団 Recyclability Assessment Tool • ENCORE • F4B - Finance for Biodiversity • GEMI Local Water Tool • Global Forest Watch Pro • Global Risk Assessment Services (GRAS) • IBAT for Business • IBAT - Integrated Biodiversity Assessment Tool • LEAP (Locate, Evaluate, Assess and Prepare) アプローチ、TNFD • Plastic Leak Project • Plastic Footprint Network • Preferred by Nature Sourcing Hub • RBA Country Risk Assessment Tool • ReCiPe • SEDEX • SIWI Water Tool • Starling • Sustainability Policy Transparency Toolkit (SPOTT) • TNFD - 自然関連財務情報開示タスクフォース • Trase • Understanding Packaging (UP) Scorecard • UNEP Vital Water Graphics • Water Footprint Network Assessment tool • Waterplan • WBCSD Corporate Ecosystem Services Review • WRI Aqueduct • WWF Biodiversity Risk Filter • WWF ReSource Tracker • WWF Water Risk Filter • その他の市販/公開されているツールがある場合は、具体的にお答えください
---	---

考慮されたリスクや基準(12b 列目)	
<p>政策リスク</p> <ul style="list-style-type: none"> • カーボンプライシングメカニズム • 国際法や二国間協定の変更 • 国内法の変更 • 操業許可取得の困難化 • 取水許可取得の困難化 • 水道料金の値上がり • これまで規制されていなかった汚染物質に対する規制基準の導入 • 世界的に受け入れられ、調和された定義の欠如 • 成熟した認証と持続可能性基準の欠如 • 河川流域管理が限定的またはその欠如 • 国境を越えた水管理が限定的またはその欠如 • 水利用効率、保全、リサイクル、またはプロセス基準の義務化 • 規制当局間の調整不足 • 環境規制の施行が不十分 	<p>評判リスク</p> <ul style="list-style-type: none"> • 社会的弱者や社会から疎外されたステークホルダー(非正規労働者など)の排除 • 人体の健康への影響 • パートナーやステークホルダーの懸念の増大、パートナーやステークホルダーからの否定的なフィードバック • 経済に対するシステムリスクを生じる、またはその一因になる可能性がある保険引受 • 経済に対するシステムリスクを生じる、またはその一因になる可能性がある投資 • 経済に対するシステムリスクを生じる、またはその一因になる可能性がある融資 • 環境に悪影響を及ぼすプロジェクトや活動(GHG 排出、森林伐採・転換、水ストレスなど)の支援に関するネガティブな報道 • 流域/集水域レベルでの水資源をめぐるステークホルダーの対立

- 保護地域の指定
- 排水の水質/水量の規制
- 法定取水制限/配水量の変更
- 土地保有権や水使用权に関する不確実性や対立
- その他の政策リスクの場合は、具体的にお答えください

技術リスク

- 水を大量に消費するエネルギー源への依存
- 既存の生産地の収量を増加できない
- データアクセス/可用性または監視システム
- 耐乾性作物品種の入手機会が限られる
- 土壌保全やその他の持続可能技術の入手機会が限られる
- 生物由来の化学物質への移行
- リユース可能な製品への移行
- リサイクル可能なプラスチック製品への移行
- 再生可能コンテンツの増加への移行
- リサイクルコンテンツの増加への移行
- 低排出技術および製品への移行
- 水利用効率性が高く、水集約度の低い技術および製品への移行
- 水を大量に利用する低炭素エネルギー源に移行
- 新技術への投資の失敗
- その他の技術リスクがある場合は、具体的にお答えください

市場リスク

- 認証を受けた持続可能原材料の可用性またはコスト増
- 原材料の可用性またはコスト増
- リサイクルまたは再生可能なコンテンツの可用性またはコスト増
- 顧客行動の変化
- 保険市場が縮小し、顧客がリスクにさらされ、与信のリスク・パラメータが変化する
- 環境に関する不確実なリスクにより、共同出資者や投資家を呼び込むことができない
- 上下水道・衛生サービス(WASH)を十分に利用できないこと
- リーケツジ市場
- 組み込み(生産・製造に使用された)コモディティの限定的な可視性
- ファンドの環境パフォーマンス結果不良に起因した顧客の減少(ファンドが気候変動関連の評価損を被った場合など)
- (需要弾力性を越えた)保険契約のリスクベース価格設定の上昇
- コモディティの原産地や合法性についての不確実性
- マーケットシグナルの不確実性
- その他の市場リスクの場合は、具体的にお答えください

法的責任リスク

- 訴訟問題
- 一時停止措置や自主協定
- 規制の不遵守
- 金融セクターにおける環境リスクの規制と監督
- その他の法的責任リスクの場合は、具体的にお答えください

- セクターへの非難
- その他の評判リスクの場合は、具体的にお答えください

急性の物理的リスク

- 雪崩
- 寒波/霜
- サイクロン、ハリケーン、台風
- 干ばつ
- 洪水(沿岸、河川、多雨、地下水)
- 氷河湖の決壊
- 熱波
- 豪雨(雨、霰・雹、雪/氷)
- 地滑り
- 汚染事故
- 鉱滓ダムの決壊および有毒物質の流出
- 嵐(吹雪、砂塵、砂嵐を含む)
- 地盤沈下
- トルネード
- 有害物質の流出
- 山火事
- その他の急性の物理的リスクがある場合は、具体的にお答えください

慢性の物理的リスク

- 酸性岩石排水および金属浸出
- 土地利用の変化
- 降水パターンと種類の変化(雨、霰・雹、雪/氷)
- 温度の変化(待機、淡水、海水)
- 風のパターンの変化
- 海岸浸食
- 生態系サービスの低下
- 水質の低下
- 地下水資源の枯渇
- 熱ストレス
- 生態系の脆弱性の増大
- 淡水域における環境汚染物質の増加
- 大気、土壌、淡水または海洋へのマイクロプラスチックまたはマイクロプラスチックの流出度の悪化
- 異常気象の深刻化
- 固形廃棄物処理地域の限定
- 砂漠化による土地の損失
- プラスチックからの有害物質の浸出
- 海洋酸性化
- 生物多様性にとって重要な地域内またはその隣接地域での事業
- 永久凍土の融解
- 衛生管理不足
- 降水または水文学的変動
- 自治体による上水の配給
- 生物多様性にとって重要な地域内またはその隣接地域にある保護地域
- 塩水浸入
- 土地資源の不足
- 海面上昇
- 季節要因による供給量変動または経年変動
- 土壌劣化
- 土壌浸食
- ソリフラクション
- 気温変動
- 採鉱地内または付近の絶滅危惧種
- 流域/集水域レベルでの水利用可能性

	<ul style="list-style-type: none"> • 水ストレス • 流域／集水域レベルの水質 • その他の慢性的物理的リスクがある場合は、具体的にお答えください
--	--

(2.2.7) 環境への依存、影響、リスク、機会間の相互関係を評価していますか。

質問内容	
前年との比較	新規質問
説明	自然関連の情報開示は、レポート利用者が組織の財務状況と将来見通しに関する統合された全体像を把握できるよう、可能な限り他のビジネスやサステナビリティ関連の情報と統合されるべきです。気候と自然に関連した開示情報の統合が特に重要です。気候と自然の間の調整、相乗効果、貢献、トレードオフの可能性を明確に特定することが重要です。この質問は、環境への依存、影響、リスク、機会間の相互関係を評価することが組織の評価プロセスの一部であることを示しています。
回答方法	以下の表に記入してください

1	2	3	4
環境への依存、影響、リスク、機会間の相互関係の評価の有無	相互関係の評価方法についての説明	環境への依存、影響、リスク、機会間の相互関係を評価していない主な理由	環境への依存、影響、リスク、機会間の相互関係を評価していない理由について回答してください
選択肢: はい いいえ	文章記入欄[最大 3,000 字]	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • 内部リソース、能力、または専門知識の欠如（例: 組織の規模が原因） • 標準化された手順がない • 当面の戦略的優先事項ではない • 重要でないか、関連性がないと判断した • その他、具体的にお答えください 	文章記入欄[最大 2,500 字]

優先地域

セクション概要

セクション概要	このセクションでは、組織の「優先地域」に関する情報を尋ねています。これらの地域は、バリューチェーン全体にわたる貴組織の活動が自然と相互作用する場所であり、その脆弱性を増大させる特定の特性のために、貴組織が優先的に対策を講じた場所を示します。このセクションは、自然関連情報開示タスクフォース (TNFD) の「戦略 D」に整合するよう、CDP 質問書に組み込まれています。これは TNFD の重要な概念であり、SBTN や ESRS 等の他のフレームワークや基準にも取り入れられています。TNFD ガイダンスでは、組織が推奨される情報開示の戦略 D に基づいて、優先地域を網羅したリストを開示することを推奨しています。
---------	--

(2.3) バリューチェーン内の優先地域を特定しましたか。

質問内容

前年との比較	新規質問
説明	自然関連の問題に効果的に対処し、経営の安定性を確保するために、組織は、現在および将来の健全性と回復力に問題がある生態系が存在する地域またはその周辺に優先的に注意を払う必要があります。生態系にとって要注意地域またはその付近、および組織が自然に関連する重大な依存、影響、リスク、機会を抱えている地域を特定して優先的に対処することにより、組織は最も緊急な行動が必要な地域に焦点を当て、プラスの影響をもたらせるよう、潜在的な可能性を最大限に高めることができます。
回答方法	以下の表に記入してください：

1	2	3a-b	4
優先地域の特定	優先地域が特定されたバリューチェーンの段階	特定された優先地域の種類	優先地域を特定したプロセスの説明
選択肢： <ul style="list-style-type: none"> はい、優先地域を特定しました はい、優先地域を現在特定している最中です いいえ、しかし今後2年以内にそうする予定です いいえ、また今後2年以内にそうする予定もありません 	該当するものをすべて選択してください： <ul style="list-style-type: none"> 直接操業 バリューチェーン上流 バリューチェーン下流 	該当するものをすべて選択してください： 要注意地域 <ul style="list-style-type: none"> 生物多様性にとって重要な地域 生態系の十全性が高い地域 生態系の十全性が急速に低下している地域、 水の利用可能性が低い、洪水による影響が高い、または水質が劣悪な地域 生態系サービスの提供にとって重要な地域 その他の要注意地域について、具体的にお答えください 重大な依存、影響、リスク、機会のある地域 <ul style="list-style-type: none"> 森林に関連する重大な依存、影響、リスク、または機会がある地域 水に関連する重大な依存、影響、リスク、または機会がある地域 生物多様性に関連する重大な依存、影響、リスク、または機会がある地域 重大な自然関連の依存、影響、リスク、または機会があるその他の場所を指定してください 	文章記入欄[最大3,000字]

5	6	7	8
優先地域のリスト/地図を開示しますか	優先地域のリストや地図を提供してください	優先地域を特定しない主な理由	優先地域を特定しない理由を説明してください
選択肢： <ul style="list-style-type: none"> はい、優先地域のリストまたは地図を開示します いいえ、優先地域のリストまたは地図はありますが、開示しません いいえ、優先地域のリストまたは地図はありません 	[ファイル添付]	選択肢： <ul style="list-style-type: none"> 内部リソース、能力、または専門知識の欠如（例：組織の規模が原因） 標準化された手順がない 当面の戦略的優先事項ではない 重要でないか、関連性がないと判断した その他、具体的にお答えください 	文章記入欄[最大2,500字]

重大な影響の定義

(2.4) 貴組織は、組織に対する重大な影響をどのように定義していますか。

質問内容	
前年との比較	質問の修正(2023 C2.1b、F3.1a、F-MM11.2a/F-CO11.2a、W4.1a)
説明	どのような組織への影響を重大な影響とみなすかを定義するために採用される指標や閾値は、セクター、バリューチェーン、または地域によって、開示者間で異なる可能性があります。したがって、組織がどのように潜在的な影響を重大であると判断するかについて明確な定義を示すことは、データ利用者に重要な情報を提供することになります。この質問は、開示者が何を組織への重大な影響とみなすかについての透明性を高めます。
回答方法	以下の表に記入してください。表の下にある「行を追加」ボタンを使って行を追加することができます。

1	2	3	4	5
影響の種類	定義の種類	重大な影響を定義するための指標	指標の変化	指標の変化率
選択肢: • リスク • 機会	該当するものをすべて選択してください: • 定性的 • 定量的	選択肢: • 資産価値 • 資本配分 • 資本支出 • 与信リスク • 顧客からの苦情 • 直接的な運営費 • EBITDA • 従業員の離職率 • 間接的な運営費 • 負債 • 市場シェア • 生産能力 • 売上 • 株価 • 株主価値 • 座礁資産 • 戦略的顧客 • その他、具体的にお答えください	選択肢: • 絶対値の減少 • 絶対値の増加 • 減少率 • 増加率	選択肢: • 1%未満 • 1-10 • 11-20 • 21-30 • 31-40 • 41-50 • 51-60 • 61-70 • 71-80 • 81-90 • 91-99 • 100%

6	7	8
絶対値の増減数	定義する際に考慮する尺度	定義の適用
数値記入欄[0 から 999,999,999,99 9,999 までの数値を小数点以下 2 桁以内で入力]	該当するものをすべて選択してください: • 影響の発生頻度 • 影響が発生する時間軸 • 影響が発生する可能性 • その他、具体的にお答えください	文章記入欄[最大 2,500 字]

汚染物質管理手順(Wのみ)

(2.5) 貴組織では、事業活動に関連し、水の生態系や人間の健康に有害となりうる潜在的水質汚染物質を、どのように特定、分類していますか。

質問内容	
他の質問との関連性	質問 2.5 に対する回答によって質問 2.5.1 が決まります。質問 2.5 の回答を修正すると、後続の設問に対して入力したデータは消去される可能性があります。その場合は、該当する質問にデータを再入力してください。

前年との比較	変更なし(2023 W3.1)
説明	水質汚染物質は、地表水域と地下水域の質、およびそれに依存する生態系にとっての脅威となります。この質問では、組織は、取り扱う物質と排出物の特性に関連する潜在的な水質汚染物質を特定および分類していることを示すことができます。企業は、自社の事業活動および製品に関連する潜在的な水質汚染物質を特定・分類し、これを効果的に管理できることが重要です。
回答方法	以下の表に記入してください： (*列/行の外観は、この質問または他の質問での選択に依存します)

1	2	3
潜在的な水質汚染物質の特定と分類	潜在的な水質汚染物質をどのように特定・分類していますか*	説明してください。
選択肢： <ul style="list-style-type: none"> • はい、潜在的な水質汚染物質を特定・分類しています。 • いいえ、潜在的な水質汚染物質を特定・分類していません。 • 不明 	文章記入欄[最大 1,500 字]	文章記入欄[最大 1,000 字]

(2.5.1) 水の生態系や人間の健康に悪影響を及ぼす、事業活動に伴う潜在的な水質汚染物質について、貴組織ではどのようにその影響を最小限に抑えているか説明してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、質問 2.5 で「はい、潜在的な水質汚染物質を特定・分類しています」を選択した場合に表示されます。
前年との比較	変更なし(2023 W3.1a)
説明	企業は、特定した水質汚染物質に関連する悪影響を最小限に抑えるために実施している行動と手順を説明できます。これによって、データ利用者は、水関連のリスクへの組織の取り組みを理解することができます。
回答方法	以下の表に記入してください。表の下にある「行を追加」ボタンを使って行を追加することができます。

1	2	3	4	5
水質汚染物質カテゴリー	水質汚染物質と潜在的影響の説明	バリューチェーンの段階	悪影響を最小限に抑えるための行動と手順	説明してください
選択肢： <ul style="list-style-type: none"> • 無機汚染物質 • 油 • 硝酸塩 • リン酸塩 • その他の栄養素や酸素を必要とする汚染物質 • 農薬 • その他の有機合成化合物 • 病原菌 • マイクロプラスチックとプラスチック粒子 	文章記入欄[最大 1,500 字]	該当するものをすべて選択してください： <ul style="list-style-type: none"> • 直接操業 • バリューチェーン上流 • バリューチェーン下流 • その他、具体的にお答えください 	該当するものをすべて選択してください： <ul style="list-style-type: none"> • 重要インフラおよび貯蔵施設の状態(漏出、流出、パイプの腐食等)およびそのレジリエンスの評価 • 資源回収 • 規制要件を超えるコンプライアンス • 統合型土壌廃棄物管理システムの導入 • 産業/化学品事故の防止、対策、対応 	文章記入欄[最大 1,500 字]

<ul style="list-style-type: none"> • その他の物理的汚染物質 • その他、具体的にお答えください 			<ul style="list-style-type: none"> • 製品使用に関するベストプラクティスの説明 • 水のリサイクル • 有害物質の削減または段階的使用停止 • サプライヤーに規制要件準拠を義務付け • 規制要件準拠を徹底するためのセクター固有のプロセスを用いた排水処理 • プロセスを行うための設備/方法のアップグレード • 手順を開発中/研究開発中 • 正式な手順はない • その他、具体的にお答えください 	
--	--	--	---	--

モジュール 3: 依存関係、リスク、機会の開示

モジュールの概要

モジュールの概要	<p>このモジュールでは、組織は、自社の直接操業やバリューチェーンの他の部分において、どの程度環境リスクにさらされているか、またどの程度環境機会に沿っているか、明確な認識を持っていることを示すことができます。</p> <p>CDPは、報告年度において組織に重大な影響を及ぼした、または将来的に重大な影響を及ぼすと予想される環境リスクを報告し、それらのリスクの潜在的影響の詳細と関連する対応戦略を開示するよう求めています。組織はまた、物理的リスクと移行リスクへのエクスポージャーの程度を示すことも求められています。</p> <p>また、このモジュールでは、報告年度において組織に重大な影響を及ぼした、あるいは将来的に組織に実重大な影響を及ぼすと予想される環境機会、および環境機会と自社の事業の整合性をどの程度とっているかを開示するよう求めています。</p> <p>残存リスク(何らかの対応後に残るリスク)だけでなく、固有のリスク・エクスポージャーに関する情報を提供することで、データ利用者は、潜在的な影響と組織の対応の適切性を検討することができます。将来見通しに関する記述やリスクに関する情報提供についてどのように組織として考えているかは、財務、法務、コンプライアンス部門にご相談ください。</p> <p><u>金融サービス企業への注記</u>:TCFD 提言では、金融セクターが金融活動の中で環境課題の影響を考慮することの重要性を強調しています。リスクと機会へのエクスポージャーを評価する際、金融サービス企業は、自身の業務活動に加え、融資、金融仲介、投資、保険引受活動への影響を考慮する必要があります。</p>
----------	---

リスク開示

(3.1) 報告年の間に貴組織に重大な影響を及ぼした、あるいは将来的に重大な影響を及ぼすと考えられる何らかの環境リスクを特定していますか。

質問内容	
前年との比較	質問の修正(2023 C2.3、C2.3b、F1.6、F3.1、F3.1c、F-MM9.5/F-CO9.5、F-MM11.2/F-CO11.2、FW-FS2.3、W2.1、W4.1、W4.2b、W4.2c、W10.3)。
説明	投資家やデータ利用者にとって、組織のリスクエクスポージャー、特に組織に重大な影響を与えることが予想されるバリューチェーン全体にわたる環境リスクを理解することが非常に重要です。これには、報告年にすでに影響を及ぼしたリスクと、将来影響を及ぼす可能性のあるリスクの両方が含まれます。重大な影響を伴う環境リスクが評価の際に特定されなかった場合は、そのようなリスクが組織に影響を及ぼさないと判断した経緯と理由をデータ利用者が理解できるようにすることも重要です。
回答方法	以下の表に記入してください

0	1	2	3
環境課題	環境リスクの特定	貴組織が直接操業やバリューチェーン上流/下流に環境リスクがないと判断した主な理由	説明してください
気候変動	選択肢: • はい、直接操業とバリューチェーン上流/下流の両方において特定 • はい、直接操業のみにおいて特定 • はい、バリューチェーンの上流/下流のみにおいて特定 • いいえ	選択肢: • 環境リスクは存在するが、事業に重大な影響を及ぼす可能性があるものはない • 評価中 • 内部リソース、能力、または専門知識の欠如(例: 組織の規模が原因) • 標準化された手順がない • 当面の戦略的優先事項ではない • データが不十分 • その他、具体的にお答えください	文章記入欄[最大 2,500 字]
フォレスト			
ウォーター			
プラスチック			
生物多様性			

[固定列]

(3.1.1) 報告年の間に貴組織に重大な影響を及ぼした、あるいは将来的に重大な影響を及ぼすことが見込まれると特定された環境リスクの詳細を記載してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、質問 3.1.の[環境リスクの特定]の列で「はい」のいずれかを選択した場合のみ表示されます。
前年との比較	質問の修正(2023 C2.3a、F1.6a、F3.1b、F-MM9.5a/F-CO9.5a、F-MM11.2b/F-CO11.2b、FW-FS2.3a、W2.1a、W4.2、W4.2a)。 プラスチック: 新規質問
説明	この質問への回答により、データ利用者は、貴組織に現在および将来影響を及ぼす環境リスクの概要を知ることができます。これらのリスクの現在および予想される財務上の影響に関する情報、およびそれらを管理および軽減するための対策は、投資を決める際の指針

	となるだけでなく、ビジネスのレジリエンスを強化し、環境ステewardシップを向上させるためのアクションを実行するための重要な要素です。
回答方法	以下の表に記入してください。表の下にある「行を追加」ボタンを使って行を追加することができます。

1	2	3	4	5	6
当該リスクが関係する環境課題	リスク識別ID	コモディティ	リスクの種類と主な環境リスク要因	リスクが発生するバリューチェーン上の段階	リスクが発生する国/地域
気候変動	選択肢: リスク 1-リスク 100	該当なし	以下のドロップダウンリストから選択してください。	選択肢: • 直接操業 • バリューチェーン上流 • バリューチェーン下流 • EOL(End-of-life)管理	該当するものをすべて選択してください: [国・地域のドロップダウンリスト]
フォレスト		該当するものをすべて選択してください: • 木材製品 • パーム油 • 畜牛品 • ココア • コーヒー • 大豆 • ゴム • 該当なし			
ウォーター		該当なし			
プラスチック		該当なし			
生物多様性		該当なし			
選択肢: • 気候変動 • フォレスト • ウォーター • プラスチック • 生物多様性					

7	8	9	10	11	12
リスクが発生する河川流域	リスクに関する組織固有の詳細	リスクの主な財務的影響	このリスクが組織に重大な影響を及ぼすと考えられる時間軸	想定される時間軸でこのリスクが影響を及ぼす可能性	影響の程度
該当なし	文章記入欄[最大 1,500 字]	以下のドロップダウンリストから選択してください。	該当するものをすべて選択してください: • 短期 • 中期 • 長期 • 当該リスクは、報告年の間にすでに当組織に重大な影響を及ぼしています • 不明	選択肢: • ほぼ確実 • 可能性が非常に高い • 可能性が高い • 5 割を超える確率で • 可能性がおよそ 5 割 • 可能性が低い • 可能性が非常に低い • 可能性が並外れて低い • 不明	選択肢: • 高い • やや高い • 中程度 • 中程度～低い • 低い • 不明
該当なし					
該当するものをすべて選択してください:					

[河川流域のドロップダウンリスト]					
<ul style="list-style-type: none"> 不明 その他、具体的にお答えください 					
該当なし					
該当なし					

13	14	15	16	17	18	19
報告年に、当該リスクが組織の財務状況、業績およびキャッシュフローに及ぼした影響	選択した将来的の時間軸において、当該リスクが組織の財務状況、業績およびキャッシュフローに及ぼすことが考えられる影響	リスクの財務的影響を定量化することができま	報告年における財務上の影響額(通貨)	短期的に見込まれる財務上の影響額一最小(通貨)	短期的に見込まれる財務上の影響額一最大(通貨)	中期的に見込まれる財務上の影響額一最小(通貨)
文章記入欄[最大 2,500 字]	文章記入欄[最大 2,500 字]	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> はい いいえ 	数値記入欄[0 から 999,999、999,999,99 までの数値を小数点以下 2 桁以内で入力]	数値記入欄[0 から 999,999,99 9,999 までの数値を小数点以下 2 桁以内で入力]	数値記入欄[0 から 999,999,99 9,999 までの数値を小数点以下 2 桁以内で入力]	数値記入欄[0 から 999,999,99 9,999 までの数値を小数点以下 2 桁以内で入力]

20	21	22	23	24	25	26	27
中期的に見込まれる財務上の影響額一最大(通貨)	長期的に見込まれる財務上の影響額一最小(通貨)	長期的に見込まれる財務上の影響額一最大(通貨)	財務上の影響額の説明	リスクへの主な対応	リスク対応費用	費用計算の説明	対応の詳細
数値記入欄 [0 から 999,999,999,999 までの数値を小数点以下 2 桁以内で入力]	数値記入欄 [0 から 999,999,999,999 までの数値を小数点以下 2 桁以内で入力]	数値記入欄 [0 から 999,999,999,999 までの数値を小数点以下 2 桁以内で入力]	文章記入欄 [最大 2,500 字]	以下のドロップダウンメニューからお選びください。	数値記入欄 [0 から 999,999,999,999 までの数値を小数点以下 2 桁以内で入力]	文章記入欄 [最大 1000 字]	文章記入欄 [最大 2,000 字]

リスクの種類と主な環境リスク要因(4 列目)	
政策リスク <ul style="list-style-type: none"> カーボンプライシングメカニズム 国際法や二国間協定の変更 国内法の変更 操業許可取得の困難化 取水許可取得の困難化 水道料金の値上がり これまで規制されていなかった汚染物質に対する規制基準の導入 世界的に受け入れられ、調和された定義の欠如 成熟した認証と持続可能性基準の欠如 	評判リスク <ul style="list-style-type: none"> 社会的弱者や社会から疎外されたステークホルダー(非正規労働者など)の排除 人体の健康への影響 パートナーやステークホルダーの懸念の増大、パートナーやステークホルダーからの否定的なフィードバック 経済に対するシステムリスクを生じる、またはその一因になる可能性がある保険引受 経済に対するシステムリスクを生じる、またはその一因になる可能性がある投資 経済に対するシステムリスクを生じる、またはその一因になる可能性がある融資

- 河川流域管理が限定的またはその欠如
- 国境を越えた水管理が限定的またはその欠如
- 水利用効率、保全、リサイクル、またはプロセス基準の義務化
- 規制当局間の調整不足
- 環境規制の施行が不十分
- 保護地域の指定
- 排水の水質/水量の規制
- 法定取水制限/配水量の変更
- 土地保有権や水使用権に関する不確実性や対立
- その他の政策リスクの場合は、具体的にお答えください

技術リスク

- 水を大量に消費するエネルギー源への依存
- 既存の生産地の収量を増加できない
- データアクセス/可用性または監視システム
- 耐乾性作物品種の入手機会に限られる
- 土壌保全やその他の持続可能技術の入手機会に限られる
- 生物由来の化学物質への移行
- リユース可能な製品への移行
- リサイクル可能なプラスチック製品への移行
- 再生可能コンテンツの増加への移行
- リサイクルコンテンツの増加への移行
- 低排出技術および製品への移行
- 水利用効率が高く、水集約度の低い技術および製品への移行
- 水を大量に利用する低炭素エネルギー源に移行
- 新技術への投資の失敗
- その他の技術リスクがある場合は、具体的にお答えください

市場リスク

- 認証を受けた持続可能原材料の可用性またはコスト増
- 原材料の可用性またはコスト増
- リサイクルまたは再生可能なコンテンツの可用性またはコスト増
- 顧客行動の変化
- 保険市場が縮小し、顧客がリスクにさらされ、与信のリスク・パラメータが変化する
- 環境に関する不確実なリスクにより、共同出資者や投資家を呼び込むことができない
- 上下水道・衛生サービス(WASH)を十分に利用できないこと
- リーケッジ市場
- 組み込み(生産・製造に使用された)コモディティの限定的な可視性
- ファンドの環境パフォーマンス結果不良に起因した顧客の減少(ファンドが気候変動関連の評価損を被った場合など)
- (需要弾力性を越えた)保険契約のリスクベース価格設定の上昇
- コモディティの原産地や合法性についての不確実性
- マーケットシグナルの不確実性
- その他の市場リスクの場合は、具体的にお答えください

法的責任リスク

- 訴訟問題
- 一時停止措置や自主協定
- 規制の不遵守
- 金融セクターにおける環境リスクの規制と監督
- その他の法的責任リスクの場合は、具体的にお答えください

- 環境に悪影響を及ぼすプロジェクトや活動(GHG 排出、森林伐採・転換、水ストレスなど)の支援に関するネガティブな報道
- 流域/集水域レベルでの水資源をめぐるステークホルダーの対立
- セクターへの非難
- その他の評判リスクの場合は、具体的にお答えください

急性の物理的リスク

- 雪崩
- 寒波/霜
- サイクロン、ハリケーン、台風
- 干ばつ
- 洪水(沿岸、河川、多雨、地下水)
- 氷河湖の決壊
- 熱波
- 豪雨(雨、霰・雹、雪/氷)
- 地滑り
- 汚染事故
- 鉱滓ダムの決壊および有毒物質の流出
- 嵐(吹雪、砂塵、砂嵐を含む)
- 地盤沈下
- トルネード
- 有害物質の流出
- 山火事
- その他の急性の物理的リスクがある場合は、具体的にお答えください

慢性の物理的リスク

- 酸性岩石排水および金属浸出
- 土地利用の変化
- 降水パターンと種類の変化(雨、霰・雹、雪/氷)
- 温度の変化(待機、淡水、海水)
- 風のパターンの変化
- 海岸浸食
- 生態系サービスの低下
- 水質の低下
- 地下水資源の枯渇
- 熱ストレス
- 生態系の脆弱性の増大
- 淡水域における環境汚染物質の増加
- 大気、土壌、淡水または海洋へのマイクロプラスチックまたはマイクロプラスチックの流出度の悪化
- 異常気象の深刻化
- 固形廃棄物処理地域の限定
- 砂漠化による土地の損失
- プラスチックからの有害物質の浸出
- 海洋酸性化
- 生物多様性にとって重要な地域内またはその隣接地域での事業
- 永久凍土の融解
- 衛生管理不足
- 降水または水文学的変動
- 自治体による上水の配給
- 生物多様性にとって重要な地域内またはその隣接地域にある保護地域
- 塩水浸入
- 土地資源の不足
- 海面上昇
- 季節要因による供給量変動または経年変動
- 土壌劣化
- 土壌浸食

	<ul style="list-style-type: none"> ● ソリフラクション ● 気温変動 ● 採鉱地内または付近の絶滅危惧種 ● 流域／集水域レベルでの水利用可能性 ● 水ストレス ● 流域／集水域レベルの水質 ● その他の慢性の物理的リスクがある場合は、具体的にお答えください
--	--

リスクの主な財務的影響(9 列目)	
<ul style="list-style-type: none"> ● ブランドダメージ ● 売上構成や収入源の変化 ● 事業撤退 ● 成長に対する制約 ● 株主価値の減少 ● 資本へのアクセスの減少 ● 資産価値または資産耐用年数の低下による、既存資産の評価損、減損、早期除却 ● 製品およびサービスに対する需要低下に起因した売上減少 ● 生産能力低下による減収 ● 営業ライセンス確保の遅れ ● 生産能力の中断 ● 売上の混乱 ● バリューチェーン上流における混乱 ● 労働力管理と計画の混乱 	<ul style="list-style-type: none"> ● 罰金、違約金、執行命令 ● 資本支出の増加 ● 法令順守費用の増加 ● 資本コストの増加 ● 与信リスクの増加 ● 直接費の増加 ● 間接費(運営費)の増加 ● 保険料の上昇 ● 生産コストの増加 ● 訴訟 ● 事業許可の喪失 ● リスクの高い地域の資産に対する保険の利用可能性の低下 ● 新しい活動やプロセスに適応/展開するための初期費用 ● その他、具体的にお答えください

リスクへの主な対応(24 列目)	
<p>農業活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 持続可能な灌漑活動を採用[Wのみ] ● 森林減少や他の自然生態系の転換リスクが高い管轄区域からの調達を避ける[Fのみ] ● 土壌の健全性向上 [F、Wのみ] ● 生物種の管理や回復[Fのみ] ● 畜牛品の生産/調達からの移行[F - 畜牛品のみ] ● 代替タンパク質を含む多様な製品ポートフォリオに向けた移行[F-畜牛品のみ] ● 代替材料(リサイクル材および/または植物由来)を含む多様な製品ポートフォリオに向けた移行[F - 畜牛品] ● その他の農業活動に関連する対応がある場合は、具体的にお答えください <p>多様化</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 新しい製品、サービス、市場の開発 ● サプライヤーの多様化を拡大 ● マーケティングキャンペーン ● 市場拡大 ● 調達地域での緊急対応システムの強化[Fのみ] ● 調達地域での火災管理システムの強化[Fのみ] ● その他の多様化に関連する対応がある場合は、具体的にお答えください <p>エンゲージメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 組織の政策エンゲージメントの取り組みと環境戦略の連携 ● マルチステークホルダー・イニシアティブへの参加 ● 顧客との協働 	<p>インフラ、テクノロジー、支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 水の効率的な利用、再利用、リサイクル、および保全活動を採用[Wのみ] ● バッファーストックやデュアルソーシングの導入 ● インフラ整備の改善 [C、Wのみ] ● 汚染対策と防止策の改善[P、Wのみ] ● 環境関連の資本支出を増加 ● 施設の地理的多様性を増大 ● 研究開発投資の拡大 ● 上下水道と衛生設備(WASH)への投資拡大[Wのみ] ● 代替給水を確保[Wのみ] ● 使い捨てプラスチック製品/包装から再利用モデルへの移行に向けた行動を起こす[Pのみ] ● 使い捨てプラスチック製品/包装を除去するための行動をとる[Pのみ] ● バージンプラスチックを削減するために、リサイクル材に切り替えるための行動をとる[Pのみ] ● 技術的にリサイクル可能なプラスチックに切り替えるための行動をとる[Pのみ] ● 実際に大規模にリサイクル可能なプラスチックに切り替えるための行動をとる[Pのみ] ● マイクロプラスチックの排出を削減するための行動をとる[Pのみ] ● 涵養クレジットを獲得するために帯水層の貯水を利用 [Wのみ] ● その他のインフラ、テクノロジー、支出に関連する対応がある場合は、具体的にお答えください <p>自然に根ざした解決策、修復、保全</p>

<ul style="list-style-type: none"> • 地域社会との協働 • NGO/特別利益団体との協働 • 規制当局／政策立案者との協働 • 河川流域関連組織との協働[Wのみ] • サプライヤーとの協働 • 業界団体との協働 • 関連のステークホルダー向けに苦情対応メカニズムの提供 [F、Wのみ] • 環境インセンティブの導入／強化 • その他のエンゲージメントに関連する対応がある場合は、具体的にお答えください 	<ul style="list-style-type: none"> • 生物多様性オフセット[Fのみ] • 生態系の回復と長期的な保護を実施 [C、Fのみ] • 管轄区域の取り組みへの参加、支援 [Fのみ] • 自然に根ざした解決策を実施 • 金銭的インセンティブを含む持続可能な森林管理の推進[Fのみ] • 集水域と河川の回復を支援[Wのみ] • 河川流域の修復を支援[Wのみ] • 保全プロジェクト(森林再生、植林、および生態系復元を含む)での自発的なエンゲージメント[Fのみ] • その他の自然に根ざした解決策、修復、保全に関連する対応がある場合は、具体的にお答えください
<p>法令順守、モニタリング、目標</p> <ul style="list-style-type: none"> • 自社事業での森林減少なし、転換なし • 拠点固有の目標を設定 • 組織全体の目標を設定 • 規制要件への遵守強化 • デューデリジェンスの強化 • コモディティのトレーサビリティ強化[Fのみ] • 直接操業における環境ベストプラクティスの実施 • 直接操業のモニタリングを強化 • バリューチェーン上流と下流における活動のモニタリングを強化 • サプライヤーのパフォーマンス基準の導入、強化 • バリューチェーンでのベストプラクティスと意識の向上 • その他の法令順守、モニタリング、目標に関連する対応がある場合は、具体的にお答えください 	<p>方針と計画</p> <ul style="list-style-type: none"> • 再生農業方針を採用[F、Wのみ] • 事業継続計画の修正 • 国、二国間、地域レベルで、国境を越えた水に関する方針や協定を検討 [Wのみ] • サーキュラーエコノミー計画を策定[Pのみ] • マクロおよびマイクロプラスチックの流出を削減する計画を策定 • 気候移行計画を策定[Cのみ] • 干ばつ緊急対策を策定 • 洪水緊急計画を策定 • 事業活動に影響のある政策と環境への取り組みとの整合性を強化[C、F、Wのみ] • 保険の補償範囲を拡大 • 持続可能に調達した原材料の使用量の増加 • より野心的な環境関連のコミットメントと方針 • より野心的な転換なしのコミットメントと方針[Fのみ] • 自然生態系を保護するためのより野心的な方針とコミットメント [F、W、M-Bのみ]。 • 業界における環境関連の協働枠組み、イニシアチブ、コミットメントへの参加 • リスク移転手段を利用 • その他の方針、計画に関連する対応がある場合は、具体的にお答えください
	<p>プライシング、クレジット</p> <ul style="list-style-type: none"> • インターナルカーボンプライシングを導入[Cのみ] • インターナルウォータープライシングを導入[Wのみ] • インターナルカーボンプライシングの引き上げ[Cのみ] • インターナルウォータープライシングの引き上げ[Wのみ] • 水質クレジットの購入[Wのみ] • 炭素クレジットの推進／購入[C、Fのみ] • その他のプライシング、クレジットに関連する対応がある場合は、具体的にお答えください

(3.1.2) 報告年における環境リスクがもたらす重大な影響に脆弱な財務指標の額と割合を記入してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、質問 3.1 の「気候変動」、「フォレスト」、「ウォーター」の行の 1 列目 [環境リスクの特定] で「はい、…」のいずれかを選択した場合にのみ表示されます。
前年との比較	新規質問
説明	この質問により、投資家やデータ利用者は、環境リスクの重大な影響に対する組織の脆弱性について、より透明性の高い情報を得ることができます。脆弱性を定量化することで、予想されるリスクによって組織がどの程度影響を受けるかを理解できます。これにより、組織が財務計画や戦略において環境リスクにどこでどのように対応するかを理解できます。
回答方法	以下の表に記入してください。表の下にある「行を追加」ボタンを使って行を追加することができます。

1	2	3	4	5	6	7	8
環境課題	財務指標	この環境課題に対する移行リスクに脆弱な財務指標の額（質問 1.2 で選択したものと同一通貨単位で）	この環境課題に対する移行リスクに脆弱な財務指標の全体に対する割合（%）	この環境課題に対する物理的リスクに脆弱な財務指標の額（質問 1.2 で選択したものと同一通貨単位で）	この環境課題に対する物理的リスクに脆弱な財務指標の全体に対する割合（%）	この環境課題に関連するリスクに対して報告年に投じられた CAPEX の額	財務数値の説明
気候変動	選択肢： • 資産 • 負債 • 売上 • CAPEX • OPEX • その他、具体的にお答えください	数値記入欄 [0 から 999,999,999,999 までの数値を小数点以下 2 桁以内で入力]	選択肢： • 1%未満 • 1-10% • 11-20% • 21-30% • 31-40% • 41-50% • 51-60% • 61-70% • 71-80% • 81-90% • 91-99% • 100%	数値記入欄[0 から 999,999,999,999 までの数値を小数点以下 2 桁以内で入力]	選択肢： • 1%未満 • 1-10% • 11-20% • 21-30% • 31-40% • 41-50% • 51-60% • 61-70% • 71-80% • 81-90% • 91-99% • 100%	数値記入欄[0 から 999,999,999,999 までの数値を小数点以下 2 桁以内で入力]	文章記入欄 [最大 2,500 字]
フォレスト							
ウォーター							
選択肢： • 気候変動 • フォレスト • ウォーター							

(3.2) 各河川流域には、水関連リスクの重大な影響にさらされている施設はいくつありますか。これは施設総数のどれぐらいの割合を占めていますか。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、質問 3.1 の「ウォーター」の行の 1 列目 [環境リスクの特定] で「はい…」の選択肢のいずれかを選択した場合にのみ表示されます。
前年との比較	質問の修正(2023 W4.1c)

説明	河川流域に関する情報は、各流域に関連する水リスクエクスポージャーの潜在的な重要性をより深く理解するものであり、それは組織の依存や影響によって左右される可能性があります。流域ごとにリスクにさらされている施設の数と、その潜在的な影響を知ることは、流域レベルの問題に基づく意思決定に役立ちます。また、流域レベルで水問題を考慮した財務計画を立てることができ、流域での活動や投資に役立つ強力な指標となります。
回答方法	以下の表に記入してください。表の下にある「行を追加」ボタンを使って行を追加することができます。

1a	1b	2	3	4	5	6
国/地域	河川流域	どのバリューチェーンの段階にある施設がこの河川流域でリスクのある施設として特定されましたか	この河川流域の水関連リスクにさらされる直接操業における施設数	この河川流域の水関連リスクにさらされる直接操業における施設数の割合(貴組織の全施設数に対して)	この河川流域の水関連リスクにさらされるバリューチェーン下流における施設数	この河川流域の水関連リスクにさらされるバリューチェーン上流における施設数
選択肢: • 国/地域のドロップダウンリスト	選択肢: • 河川流域のドロップダウンリスト • 不明 • その他、具体的にお答えください	該当するものをすべて選択してください: • 直接操業 • バリューチェーン下流 • バリューチェーン上流	数値記入欄[0~1,000の数値を小数点以下やカンマなしで入力]	選択肢: - 1%未満 - 1-25% - 26-50% - 51-75% - 76-99% - 100% - 不明	数値記入欄[0~1,000の数値を小数点以下やカンマなしで入力]	数値記入欄[0~1,000の数値を小数点以下やカンマなしで入力]

7	8
影響を受ける可能性のある売上高の割合	説明してください
選択肢: • 1%未満 • 1-25% • 26-50% • 51-75% • 76-99% • 100% • 不明	文章記入欄[最大2,500字]

[行を追加]

(3.3) 報告年において、貴組織は水関連の規制違反に関する罰金、執行命令、その他の処罰を受けましたか。

質問内容	
他の質問との関連性	質問 3.3 に対する回答によって、このセクションで提示される後続の質問が決まります。質問 3.3 への回答が修正された場合、後続の質問のデータが消去されることがあります。この場合、関連するすべての質問のデータを再入力してください。各質問のガイダンスには、関連する質問かどうかを示されています。
前年との比較	変更なし(2023 W2.2)
説明	組織全体の法令順守に関連する罰金やその他の非金銭的な罰則に関する理解は、地域の事業環境に及ぼす影響や、水管理の潜在的な財務的影響に対する組織の認識を示しています。この情報は、投資家や他のデータ利用者が、企業レベルでの管理手続きの有効性のある程度理解するのに役立ちます。

回答方法	以下の表に記入してください
------	---------------

1	2	3
水関連規制違反の有無	罰金、執行命令、および/またはその他の罰則	コメント
選択肢: ・はい ・いいえ ・不明	該当するものをすべて選択してください: ・罰金 ・執行命令またはその他の罰則 ・罰金、ただし重大とみなされるものはない ・執行命令やその他の罰則はあるが、重大とみなされるものはない	文章記入欄[最大 1,000 字]

(3.3.1) 水に関連するすべての罰金の総額と金額を示してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、質問 3.3. の回答で「罰金」または「罰金、ただし重大とみなされるものはない」を選択した場合にのみ表示されます。
前年との比較	変更なし(2023 W2.2a)
説明	コンプライアンス関連の罰金件数の数やその追跡状況など、集計された情報を提供することは、組織が各地の事業環境をモニタリングし、企業レベルで把握していることの証拠となります。
回答方法	以下の表に記入してください

1	2	3	4	5
罰金の合計件数	罰金の総額	関連施設/事業の全体に対する割合	前年との罰金件数の比較	コメント
数値記入欄[0~999,999,999,999の数値を入力]	数値記入欄[0~999,999,999,999の数値を小数点以下 2 桁以内で入力]	パーセンテージ記入欄[小数点以下 2 桁以内で 0~100 のパーセンテージを入力]	選択肢: ・大幅に少ない ・少ない ・ほぼ同じ ・多い ・大幅に多い ・初めて測定	文章記入欄 [最大 1,000 字]

(3.3.2) 報告年における、水関連の規制違反に対するすべての重大な罰金、執行命令、および/または罰則の詳細と、それらを解決するための計画を示してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、質問3.3. の回答で「罰金」または「執行命令その他の罰則」を選択した場合にのみ表示されます。
前年との比較	変更なし(2023 W2.2b)
説明	罰金やその他の非金銭的な罰則の詳細(場所や解決するための計画など)を提供することは、データ利用者に対して、組織が企業レベルで追跡調査を行っていることを示すとともに、地域の事業環境における影響を認識していることを示すこととなります。
回答方法	以下の表に記入してください。表の下にある「行を追加」ボタンを使って行を追加することができます。

1	2	3a	3b	4	5
罰則の種類	財務的影響	国/地域	河川流域	問題の種類	罰則、事故、規制違反、重大性、および解決策の説明
選択肢: ・罰金 ・執行命令 ・その他の罰則の種類を指定してください。	数値記入欄 [0~999,999,999,999,999の値を小数点以下2桁以内で入力]	選択肢: ・国/地域のドロップダウンリスト	選択肢: ・河川流域のドロップダウンリスト ・不明 ・その他、具体的にお答えください	選択肢: ・潜在的な水質汚染物質の流出、漏洩、排出 ・廃液のモニタリングの不全 ・廃液制限値の超過 ・無許可の取水、または許可を超えた取水 ・その他の許可、基準、規制に対する不遵守 ・許可、基準、規制の不適切な管理 ・その他、具体的にお答えください	文章記入欄[最大1,000字]

[行を追加]

(3.5) カーボンプライシングシステム(ETS、キャップ・アンド・トレード、炭素税など)の規制を受けている事業や活動はありますか。

質問内容	
前年との比較	変更なし(2023 C11.1)
説明	<p>ここでは、カーボンプライシングの規制の適用を受けているか、またはその可能性があるかどうかを報告するよう求められています。この質問は、企業が現在、炭素市場や税制を含むカーボンプライシング制度による規制を受けているかどうか、あるいは将来的に規制を受ける可能性があるかどうかを尋ねています。「はい」と回答した企業には、対象となっている制度を特定し、これらの制度へのエクスポージャーに関する追加情報を提供するための質問が設定されています。この情報により、投資家は、カーボンプライシング規制に対する企業の期待や関連コストを一貫して追跡・分析することができ、規制を受けていない企業には、将来の潜在的なエクスポージャーを考慮させることができます。</p>
回答方法	以下の選択肢のいずれかを選択します: <ul style="list-style-type: none"> はい いいえ、しかし今後3年以内に規制されると見込んでいる いいえ、今後3年以内に規制されるとは見込んでいない

(3.5.1) 貴組織の事業に影響を及ぼすカーボンプライシング規制を選択してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、質問3.5で「はい」を選択した場合のみ表示されます。
前年との比較	軽微な変更(2023 C11.1a)
説明	<p>カーボンプライシング政策を採用した国や地域数は過去10年間に倍増しており、データ利用者は、企業がこれらの制度からどのように影響を受けているかに関心をもっています。この質問によって、企業が活動する規制環境と、企業の事業に影響を及ぼす可能性のある将来の規制について把握することができます。</p>
回答方法	以下の選択肢から該当するものをすべて選択してください:

- Alberta TIER – ETS
- アルゼンチン炭素税
- Australia ERF Safeguard Mechanism – ETS
- オーストリア – ETS
- Baja California carbon tax
- ブリティッシュコロンビア州炭素税
- BC GGIRCA – ETS
- 北京パイロット ETS
- カリフォルニア州 CaT – ETS
- カナダ連邦炭素税
- カナダ連邦生産量に基づく価格設定制度(OBPS) – ETS
- チリ炭素税
- 中国国家 ETS
- 重慶 ETS
- コロンビア炭素税
- デンマーク炭素税
- デュランゴ炭素税
- エストニア炭素税
- EU ETS
- フィンランド炭素税
- フランス炭素税
- 福建省パイロット ETS
- ドイツ ETS
- グアナファト炭素税
- 広東省パイロット ETS
- 湖北省パイロット ETS
- アイスランド炭素税
- インドネシア ETS
- アイルランド炭素税
- 日本炭素税
- カザフスタン ETS
- 韓国 ETS
- ラトビア炭素税
- リヒテンシュタイン炭素税
- ルクセンブルグ炭素税
- マサチューセッツ州 ETS
- メキシコ炭素税
- メキシコパイロット ETS
- モンテネグロ ETS
- オランダ炭素税
- ニューブランズウィック炭素税
- ニューブランズウィック ETS
- ニュージーランド ETS
- ニューファンドランド・ラブラドール州炭素税
- ニューファンドランド・ラブラドール州 PSS – ETS
- ノースウエスト準州炭素税
- ノルウェー炭素税
- ノバスコシア州 CaT – ETS
- オンタリオ EPS – ETS
- オレゴン ETS
- ポーランド炭素税
- ポルトガル炭素税
- プリンズエドワード島炭素税
- ケベック州 CaT – ETS
- ケレタロ炭素税
- RGGI – ETS

	<ul style="list-style-type: none"> • 埼玉 ETS • サハリン ETS • サスカチュワン州 OBPS – ETS • 上海パイロット ETS • 深センパイロット ETS • シンガポール炭素税 • スロベニア炭素税 • 南アフリカ炭素税 • スペイン炭素税 • メキシコ州炭素税 • スウェーデン炭素税 • スイス炭素税 • スイス ETS • タマウリパス州炭素税 • 天津パイロット ETS • 東京 CaT – ETS • 英国カーボンプライスサポート • 英国 ETS • ウクライナ炭素税 • ウルグアイ CO2 税 • ベトナム ETS • ワシントン CAR – ETS • ユカタン炭素税 • サカテカス炭素税 • その他の炭素税(詳述してください) • その他の ETS(詳述してください)
--	---

(3.5.2) 貴組織が規制を受けている各排出量取引制度(ETS)の詳細を記入してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、質問3.5.1の回答で排出量取引に関連する選択肢を選択した場合のみ表示されます。
前年との比較	質問の修正(2023 C11.1b)
説明	カーボンプライシング政策を採用した国や地域の数は過去 10 年間に倍増しており、データ利用者は、企業がこれらの制度からどのように影響を受けているかに関心をもっています。この質問によって、企業が活動する規制環境と、企業の事業に影響を及ぼす可能性のある将来の規制について把握することができます。
回答方法	以下の表に記入してください。

0	1	2	3	4	5
システム名	ETS の対象とされるスコープ 1 排出量の割合	ETS の対象とされるスコープ 2 排出量の割合	期間開始日	期間終了日	割当量
質問 3.5.1 で、選択範囲に含まれるものを提示	数値記入欄[0~100の数値を小数点以下 2 桁以内で、カンマなしで入力]	数値記入欄[0~100の数値を小数点以下 2 桁以内で、カンマなしで入力]	行のデータに適用される開始日を入力します。カレンダーボタンを使用するか、DD/MM/YYYY 形式で日付を入力してください。報告される期間は報告年と一部でも重なる必要があります。	行のデータに適用される終了日を入力します。カレンダーボタンを使用するか、DD/MM/YYYY 形式で日付を入力してください。報告される期間は報告年と一部でも重なる必要があります。	数値記入欄[0~999,999,999,999の数値を小数点以下 2 桁以内で、カンマなしで入力]

6	7	8	9	10
購入した許容量	CO ₂ 換算トン単位の 検証されたスコープ 1 排出量	CO ₂ 換算トン単位の 検証されたスコープ 2 排出量	所有権の詳細	コメント
数値記入欄[0～ 999,999,999,99 9の数値を小数点以 下2桁以内で、カン マなしで入力]	数値記入欄[0～ 999,999,999,99 9の数値を小数点以 下2桁以内で、カン マなしで入力]	数値記入欄[0～ 999,999,999,99 9の数値を小数点以 下2桁以内で、カン マなしで入力]	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 所有し、運営している施設 所有しているが、運営していない施設 運営しているが、所有していない施設 その他、具体的にお答えください 	文章記入欄[最大 2,400 字]

(3.5.3) 貴組織が規制を受けている税制について、以下の表を記入してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、3.5.1.で炭素税制度を選択した場合のみ表示されます。
前年との比較	質問の修正(2023 C11.1c)
説明	この質問により、データ利用者は、各組織の炭素税制度への参加状況や、各組織が現在負担しているコストを、詳細かつ一貫した方法で追跡・分析することができます。
回答方法	以下の表に記入してください。

0	1	2	3	4	5
税制	期間開始日	期間終了日	税の対象とされる スコープ 1 総排出 量の割合	支払った税金の合計金 額	コメント
3.5.1 で、 選択 範囲に含まれる ものを提示	行のデータに適用される開 始日を入力します。カレンダー ボタンを使用するか、 DD/MM/YYYY 形式で日 付を入力してください。報 告される期間は報告年と一 部でも重なる必要がありま す。	行のデータに適用される終 了日を入力します。カレンダー ボタンを使用するか、 DD/MM/YYYY 形式で日 付を入力してください。報 告される期間は報告年と一 部でも重なる必要がありま す。	数値記入欄[0～ 100の数値を小 数点以下2桁以内 で、カンマなしで入 力]	数値記入欄[0～ 999,999,999,999 の数値を小数点以下2 桁以内で、カンマなし で入力]	文章記入欄[最大 2,400 字]

(3.5.4) 規制を受けている、あるいは規制を受けると見込んでいる制度に準拠するための戦略はどのようなものですか。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、質問 3.5.で「はい」または「いいえ」を選択した場合に表示されます。
前年との比較	変更なし(2023 C11.1d)
説明	この質問によって、データ利用者は、組織が規制を受けている、あるいは規制を受けることが予想されるカーボンプライシング制度に対する、組織の長期的なコンプライアンスと規制リスク管理戦略について理解することができます。
回答方法	これは 5,000 字制限のオープンテキストの質問です。

機会開示

(3.6) 報告年度において、貴組織に実質的な影響を与えた、あるいは将来的に実質的な影響を与えると予想される環境上の機会を特定しましたか。

質問内容	
前年との比較	質問の修正(2023 C2.4、C2.4b、F3.2、F3.2b、F-MM11.3/F-CO11.3、FW-FS2.4、W4.3、W4.3b)
説明	投資家やデータ利用者にとって、組織が、直接的な事業活動の中で、あるいはバリューチェーン全体にわたって、組織に実質的な影響を及ぼす可能性のある環境機会を特定しているかどうかを知ることは極めて重要である。これには、報告年度にすでに影響を及ぼした機会と、将来影響を及ぼす可能性のある機会の両方が含まれる。アセスメントの一環として、実質的な影響を及ぼす環境上の機会が特定されなかった場合、データ利用者にとっては、組織がどのような機会を提示されていないと結論づけたのか、またその理由を理解することも同様に極めて重要である。
回答方法	以下の表に記入してください。

0	1	2	3
環境課題	環境機会を特定	貴組織に環境機会がないと考える主な理由	説明してください
気候変動	選択肢: • はい、機会を特定し、いくつか、あるいはすべてが実現しています • はい、機会を特定していますが、実現できていません • いいえ	選択肢: • 機会は存在するが、組織に重大な影響を及ぼすと予想されるものはない • 評価中 • 内部リソース、能力、または専門知識の欠如(例: 組織の規模が原因) • 標準化された手順がない • 当面の戦略的優先事項ではない • データが不十分 • その他、具体的にお答えください	文章記入欄[最大 2,500 字]
フォレスト			
ウォーター			

(3.6.1) 報告年において組織に重大な影響を及ぼした、あるいは将来的に重大な影響を及ぼすと予想される、特定された環境に関連する機会の詳細を記載してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、質問 3.6 の[環境機会の特定]の列で「はい、...」のいずれかを選択した場合にのみ表示されます。
前年との比較	質問の修正(2023 C2.4a、F3.2a、F-MM11.3a/F-CO11.3a、FW-FS2.4a、W4.3a)
説明	この質問に対するあなたの回答により、データ利用者は、報告年度に貴組織に実質的な影響を及ぼした、あるいは将来的に実質的な影響を及ぼすと推定される環境機会の概要を知ることができる。これらの機会の現在および潜在的な規模(推定値)に関する情報と、これらの機会を捉えるための貴社の対応戦略により、データ利用者は、貴社の組織が事業の回復力と環境スチュワードシップを向上させるためにどのような企業行動を実施しているかを確認することができる。
回答方法	以下の表に記入してください。表の下にある「行を追加」ボタンを使って行を追加することができます。

1	2	3	4	5	6
---	---	---	---	---	---

当該機会が関連する環境課題	機会識別 ID	コモディティ	機会の種類と主な環境機会要因	機会が発生するバリューチェーン上の段階	機会が発生する国／地域
気候変動	選択肢: Opp1-100	該当なし	以下のドロップダウンメニューからお選びください。	選択肢: • 直接操業 • バリューチェーン下流 • バリューチェーン上流	該当するものすべてを選択してください: [国・地域のドロップダウンリスト]
フォレスト		該当するものすべてを選択してください: • 木材製品 • パーム油 • 畜牛品 • ココア • コーヒー • 大豆 • ゴム • 該当なし			
水		該当なし			
選択肢: • 気候変動 • フォレスト • ウォーター					

7	8	9	10	11	12
機会が発生する河川流域	機会に関する組織固有の詳細	機会の主な財務的影響	この機会が組織に重大な影響を及ぼすと考えられる時間軸	想定される時間軸で機会が影響を及ぼす可能性	影響の程度
該当するものすべてを選択してください: • 河川流域のドロップダウンリスト • 不明 • その他、具体的にお答えください	文章記入欄[最大1,500字]	選択肢: 以下のドロップダウンメニューからお選びください。	該当するものすべてを選択してください: • 短期 • 中期 • 長期 • この機会は、報告年において、すでに重大な影響をもたらしています • 不明	選択肢: • ほぼ確実 • 可能性が非常に高い • 可能性が高い • 5割を超える確率で • 可能性がおよそ5割 • 可能性が低い • 可能性が非常に低い • 可能性が並外れて低い • 不明	選択肢: • 高い • やや高い • 中程度 • 中程度～低い • 低い • 不明

13	14	15	16	17	18	19
報告年に、当該機会が組織の財務状況、業績およびキャッシュフローに及ぼした影響	選択した将来の時間軸において、当該機会が組織の財務状況、業績およびキャッシュフローに及ぼすことが考えられる影響	機会の財務的影響を定量化することができますか	報告年における財務上の影響額(通貨)	短期的に見込まれる財務上の影響額一最小(通貨)	短期的に見込まれる財務上の影響額一最大(通貨)	中期的に見込まれる財務上の影響額一最小(通貨)

文章記入欄[最大 2,500 字]	文章記入欄[最大 2,500 字]	選択肢: • はい • いいえ	数値記入欄[0 から 999,999、999,999,999 までの数値を小数点以下 2 桁以内で入力]	数値記入欄[0 から 999,999,999 ,999 までの数値を小数点以下 2 桁以内で入力]	数値記入欄[0 から 999,999,999 ,999 までの数値を小数点以下 2 桁以内で入力]	数値記入欄[0 から 999,999,999 ,999 までの数値を小数点以下 2 桁以内で入力]
-------------------	-------------------	-----------------------	--	---	---	---

20	21	22	23	24	25	26
中期的に見込まれる財務上の影響額—最大(通貨)	長期的に見込まれる財務上の影響額—最小(通貨)	長期的に見込まれる財務上の影響額—最大(通貨)	財務上の影響額の説明	機会を実現するための費用	費用計算の説明	機会を実現するための戦略
数値記入欄[0 から 999,999,999,999 までの数値を小数点以下 2 桁以内で入力]	数値記入欄[0 から 999,999,999,999 までの数値を小数点以下 2 桁以内で入力]	数値記入欄[0 から 999,999,999,999 までの数値を小数点以下 2 桁以内で入力]	文章記入欄[最大 2,500 字]	数値記入欄[0 から 999,999,999,999 までの数値を小数点以下 2 桁以内で入力]	文章記入欄[最大 1000 字]	文章記入欄[最大 2,000 字]

機会の種類と主な環境機会要因(4 列目)	
<p>キャッシュフローと資金調達</p> <ul style="list-style-type: none"> 新たな融資オプションへのアクセス サステナビリティリンクローンへのアクセス バイヤーからの金銭的報酬 生態系サービスへの支払い(REDD+以外) 森林減少および転換なしの原材料に対する価格プレミアム [F のみ] REDD+ その他のキャッシュフローと資金調達に関連する機会がある場合は、具体的にお答えください <p>エネルギー源[CC のみ]</p> <ul style="list-style-type: none"> 炭素市場への参加[CC のみ] 分散型エネルギー発電へのシフト[CC のみ] 炭素回収・貯留の利用[CC のみ] 低炭素エネルギー源の利用[CC のみ] 再生可能エネルギーの利用[CC のみ] その他のエネルギー源に関連する機会がある場合は、具体的にお答えください[CC のみ] <p>市場</p> <ul style="list-style-type: none"> より安価で、より利用しやすいクレジットへの容易なアクセス 新規市場への進出 ブランド価値の向上 サプライチェーン・エンゲージメントの向上 環境負荷を低減した製品(認証製品以外)の入手可能性の増加 認証された持続可能な原材料への需要の高まり 代替タンパク質市場の成長拡大[F、畜牛品と大豆のみ] より強い競争優位性 公的機関からのインセンティブ利用 その他の市場に関連する機会がある場合は、具体的にお答えください。 	<p>製品とサービス</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業活動の多角化の可能性 研究開発および技術革新による新製品・新サービスの開発 既存製品・サービスの売上増加 生産の安定性向上[F、B のみ] バリューチェーンの透明性の向上 製品使用による水資源への影響の低減[W のみ] 消費者の嗜好の変化 その他の製品とサービスに関連する機会がある場合は、具体的にお答えください <p>評判資本</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域社会との関係改善 持続可能性/ESG 指標による評価の向上 製品/サービスに対する需要増加をもたらす評判上の利益 社会的営業許可の強化 その他の評判資本に関連する機会がある場合は、具体的にお答えください <p>レジリエンス</p> <ul style="list-style-type: none"> 将来の規制の変化に対するレジリエンスの向上 従業員の定着率の向上 気候変動の影響に対するレジリエンスの向上 バリューチェーン上流のレジリエンスの向上 業界における環境関連の協働枠組み、イニシアチブ、コミットメントへの参加 ビジネスモデルの転換 その他のレジリエンスに関連する機会がある場合は、具体的にお答えください <p>資源効率</p> <ul style="list-style-type: none"> 荒地での農業拡大[F のみ] コスト削減 フィールド回収率の向上 生産・流通プロセスの効率化

	<ul style="list-style-type: none"> • よりエネルギー／資源効率の高い建物への移転[CCのみ] • 水の使用量と消費量の削減[CC、Wのみ] • 再生産[F、W、B] • より効率的な交通手段の利用[CCのみ] • リサイクルの利用 • 下水処理からの水回収[Wのみ] • 新技術の利用 • その他の資源効率に関連する機会がある場合は、具体的にお答えください
--	--

機会の主な財務的影響(9列目)
<ul style="list-style-type: none"> • 直接費の減少 • 間接費(運営費)の減少 • 製品およびサービスに対する需要増加による売上増加 • 新市場と新興市場への参入を通じた売上増加 • 生産能力増強に起因する売上増加 • 価格プレミアムによる増収 • バリューチェーン下流企業からの直接支払いによる増収 • 資本へのアクセス向上 • より低い／有利な金利での資本アクセスの増加 • 固定資産の価値上昇 • 金融資産の多様化 • 低排出技術への投資収益率の向上 • その他、具体的にお答えください

(3.6.2)報告年における財務指標のうち、環境機会の重大な影響に関連しているものとその割合について示してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、質問 3.6 の気候変動、フォレスト、またはウォーターの行の[環境機会を特定]の列で「はい」のいずれかの選択肢を選択した場合にのみ表示されます。
前年との比較	新規質問
説明	この質問により、投資家やデータ利用者は、環境機会の重大な影響に対する財務の整合性をより完全に把握することができます。各指標が持つ意味合いや、組織の財務会計や戦略における特徴によって、機会と整合した個々の財務指標の割合は、各環境課題への対応戦略を示すことができます。
回答方法	以下の表に記入してください。表の下にある「行を追加」ボタンを使って行を追加することができます。

1	2	3	4	5
環境課題	財務指標	この環境課題の機会と整合する財務指標の金額(質問 1.2 で選択した通貨単位)	この環境課題の機会と整合する財務指標の割合	財務数値の説明
気候変動	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • 資産 • 売上 • CAPEX • OPEX 	数値記入欄[0 から 999,999,999,999 までの数値を小数点以下 2 桁以内で入力]	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • 1%未満 • 1-10% • 11-20% • 21-30% • 31-40% • 41-50% • 51-60% • 61-70% 	文章記入欄[最大 2,500 字]

	<ul style="list-style-type: none"> • その他、具体的にお答えください 		<ul style="list-style-type: none"> • 71-80% • 81-90% • 91-99% • 100% 	
フォレスト				
ウォーター				
選択肢： <ul style="list-style-type: none"> • 気候変動 • フォレスト • ウォーター 				

モジュール 4:ガバナンス

モジュールの概要

モジュールの概要	このモジュールは、組織のガバナンス構造と環境課題に関するガバナンスの仕組みについて尋ねています。このモジュールによって、データ利用者は、取締役会および経営レベルでの環境課題に対する組織のアプローチについて理解することができます。公表している環境方針、取締役会レベルの監督、能力、経営責任、環境課題への取り組みに対するインセンティブの導入、メインストリームの報告書への環境情報の統合は、ベストプラクティスとみなされ、組織にとっての環境課題の重要性を示す指標となります。
----------	---

取締役会の監督

(4.1) 貴組織には、取締役会またはそれに相当する管理機関がありますか。

質問内容	
前年との比較	新規質問
説明	この質問は、データ利用者に、取締役会の構成と多様性に関する情報を提供します。これらの情報は、環境課題のパフォーマンスに相関している場合が見られます。
回答方法	以下の表に記入してください

1	2	3	4	5
取締役会または同等の管理機関の有無	取締役会またはそれに相当する機関の会合が開催される頻度	取締役会またはそれに相当する機関を構成する取締役の種類	取締役会の多様性とインクルージョンに関する方針の有無	ポリシーを添付する(任意)
選択肢: • はい • いいえ	選択肢: • 四半期に1回以上の頻度で • 四半期に1回 • 半年に1回 • 年1回 • 年1回より少ない頻度で • 重要な事案が生じたとき	該当するものをすべて選択してください: • 常勤取締役またはそれに準ずる者 • 非常勤取締役またはそれに準ずる者 • 独立社外取締役またはそれに準ずる者	選択肢: • はい、一般に公開しています • はい、しかし一般には公開していません • いいえ	[添付]

[固定列]

(4.1.1) 貴組織では、環境課題を取締役会レベルで監督していますか。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、質問 4.1 の 1 列目[取締役会または同等の管理機関の有無]で「はい」を選択した場合にのみ表示されます。
前年との比較	質問の修正(2023 C1.1、C1.1c、C15.1、F4.1、F4.1c、F-MM12.1/F-CO12.1、W6.2、W6.2c)
説明	環境課題に取り組むためには、組織がガバナンスのプロセスに環境課題を組み込むことが不可欠です。この質問では、貴組織における環境課題への取り組みのレベルをデータ利用者に示します。
回答方法	以下の表に記入してください

0	1	2	3
環境課題	この環境課題に対する取締役会レベルの監督の有無	この環境課題を取締役会レベルで監督しない主な理由	貴組織がこの環境課題を取締役会レベルで監督していない理由を説明してください
気候変動	選択肢: • はい • いいえ、しかし今後2年以内にそうする予定です • いいえ、また今後2年以内にそうする予定もありません	選択肢: • 内部リソース、能力、または専門知識の欠如(例: 組織の規模が原因) • 標準化された手順がない • 当面の戦略的優先事項ではない • 重要でない、関係ないと判断された • その他、具体的にお答えください	文章記入欄[最大 2,500 字]
フォレスト			

ウォーター			
生物多様性			

(4.1.2)環境課題に対する説明責任を有する取締役会の個人の職位(個人名は記載しないでください)または委員会を特定し、環境課題に対する取締役会の監督の詳細を記載してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、質問4.1.1 のいずれかの行の1列目[この環境課題に対する取締役会レベルの監督の有無]の回答で「はい」を選択した場合にのみ表示されます。
前年との比較	質問の修正(2023 C1.1a、C1.1b、F4.1a、F4.1b、F-MM12.1a/F-CO12.1a、F-MM12.1b/F-CO12.1b、W6.2a、W6.2b)
説明	環境課題に関連するガバナンスの仕組みと取締役会レベルの説明責任に関する情報を開示することで、組織は、その組織が環境課題を戦略的にどの程度重要視しているかを示すことができます。この質問は、組織構造の最高レベルで環境課題の重要性を強調することへのコミットメントのレベルを示すものです。
回答方法	以下の表に記入してください:

0	1	2	3	4	5	6
環境課題	この環境課題に対する説明責任を有する個人の職位または委員会	この環境課題に対する役職の説明責任は、取締役会に適用される方針に概説されていますか	この環境課題に対する役職の説明責任を示す方針	この環境課題が予定議題項目となる頻度	この環境課題が組み込まれるガバナンス構造	説明してください
気候変動	該当するものをすべて選択してください: <ul style="list-style-type: none"> 取締役会議長 取締役 最高経営責任者(CEO) 最高財務責任者(CFO) 最高執行責任者(COO) 最高調達責任者(CPO) 最高リスク管理責任者(CRO) 最高サステナビリティ責任者(CSO) ガバナンス関係最高責任者(CGRO) 最高技術責任者(CTO) 最高コンプライアンス責任者(CCO) その他の最高経営層 社長 取締役会レベルの委員会 最高法務責任者 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> はい いいえ 	該当するものをすべて選択してください: <ul style="list-style-type: none"> 取締役会設置要綱 取締役会規則 個々の職務記述書 取締役会に適用されるその他の方針(具体的にご記入ください) 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 全ての取締役会で予定されている議題(常設の議題) 一部の取締役会で予定されている - 少なくとも年1回 一部の取締役会で予定されている - 年1回未満 不定期 - 重要な事案が生じたとき 	以下のドロップダウンリストから該当するものをすべて選択してください。	文章記入欄[最大3,000字]

	<ul style="list-style-type: none"> • その他、具体的にお答えください 					
フォレスト						
ウォーター						
生物多様性						

この環境課題が組み込まれるガバナンス構造(5列目)	
<ul style="list-style-type: none"> • シナリオ分析の監督と指導 • 依存、影響、リスク、機会に関する評価プロセスの審議と指導 • 報告、監査、検証プロセスの監督 • 企業方針および/またはコミットメントの承認 • 企業方針および/またはコミットメントの遵守のモニタリング • 企業目標の設定の監督 • 企業目標に対する進捗状況のモニタリング • サプライヤーの組織要件の遵守状況のモニタリング • 政策エンゲージメントの監督と指導 • バリューチェーン・エンゲージメントの監督と指導 	<ul style="list-style-type: none"> • 気候移行計画の策定の監督と指導[CCのみ] • 気候移行計画の実行のモニタリング[CCのみ] • 事業戦略の策定の監督と指導 • 事業戦略の実行のモニタリング • 買収、合併、売却の監督と指導 • 大規模な資本支出の監督と指導 • 年間予算の審議と指導 • 技術革新／研究開発の優先度の審議と指導 • 従業員インセンティブの承認および/または監督 • その他、具体的にお答えください

取締役会の能力

(4.2) 貴組織の取締役会は、環境課題に関する能力を有していますか。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、質問4.1の1列目[取締役会または同等の管理機関の有無]で「はい」を選択した場合にのみ表示されます。
前年との比較	変更された質問(2023 C1.1d、F4.1d、W6.2d)
説明	持続可能な未来において事業を成功に導くためには、意思決定機関に環境課題に関するコンピテンシー(能力)が求められます。取締役会レベルにおけるこの能力と、高いレベルでその能力を維持することへのコミットメントは、環境への依存、影響、リスク、機会を理解し対応することへの組織のコミットメントを示すものです。
回答方法	以下の表に記入してください:

0	1	2	3	4	5
環境課題	この環境課題に関する取締役会レベルの能力	取締役会が環境課題に関する能力を維持するためのメカニズム	取締役の環境に関する専門知識	この環境課題に関して取締役会レベルの能力がない主な理由	貴組織にこの環境課題に関して能力を有する取締役会が存在しない理由を説明してください。
気候変動	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • はい • いいえ、しかし今後2年以内にそうする予定です 	該当するものをすべて選択してください: <ul style="list-style-type: none"> • 社内の常設の専門家作業部会と定期的に協議する • 環境課題について外部のステークホルダーや専門家と定期的に協働する 	以下のドロップダウンメニューから該当するものをすべて選択してください:	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • 内部リソース、能力、または専門知識の欠如(例: 組織の規模が原因) 	文章記入欄[最大2,500字]

	<ul style="list-style-type: none"> • いいえ、また今後2年以内にそうする予定もありません • 未評価 	<ul style="list-style-type: none"> • 環境課題に関する知識を取締役会の指名プロセスに組み込む • 環境課題、業界のベストプラクティス、基準(TCFD、SBTi など)に関する取締役向けの定期的な研修 • この環境課題に関して専門知識を有する取締役を少なくとも1名置く • その他、具体的にお答えください 		<ul style="list-style-type: none"> • 標準化された手順がない • 当面の戦略的優先事項ではない • 重要でない、関係ないと判断された • 重要でない、関係ないと判断された • その他、具体的にお答えください 	
フォレスト					
ウォーター					

取締役の環境に関する専門知識(3列目)	
学問教育 <ul style="list-style-type: none"> • 学部教育(例:環境とサステナビリティ、気候科学、環境科学、水資源管理、環境工学、森林学などの学士号)、具体的にご記入ください。 • 大学院教育(例:環境とサステナビリティ、気候科学、環境科学、水資源管理、森林学などの修士号/博士号)、具体的にご記入ください。 追加的な研修 <ul style="list-style-type: none"> • コース修了証(環境に関連するもの)、具体的にご記入ください。 • 認定機関による環境に関する研修、具体的にご記入ください 	経験 <ul style="list-style-type: none"> • 環境課題に重点を置いた職務における役員レベルの経験 • 環境課題に焦点を当てた職務における管理職レベルの経験 • 環境課題に焦点を当てた職務におけるスタッフレベルの経験 • 環境課題に焦点を当てた学術的職務の経験 • 政府(国または地方自治体)の環境部門での経験 • 環境課題にさらされ、サステナビリティの転換期を迎えている組織での経験 • 環境委員会または団体の活動的なメンバー その他 <ul style="list-style-type: none"> • その他、具体的にお答えください

経営責任

(4.3) 貴組織には、環境課題に対する経営レベルの責任がありますか。

質問内容	
前年との比較	質問の修正(2023 C1.2、C15.1、F4.2、W6.3)
説明	取締役会のメンバーが環境課題に関して説明責任を持つことが最も重要ですが、管理職レベルに責任を割り当てることは、組織が環境方針の実施にコミットしていることを示します。
回答方法	以下の表に記入してください:

0	1	2	3
環境課題	この環境課題に対する経営レベルの責任	環境課題に対する経営レベルの責任がない主な理由	貴組織が環境課題に対する経営レベルの責任を持たない理由を説明してください
気候変動	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • はい • いいえ、しかし今後2年以内にそうする予定です • いいえ、また今後2年以内にそうする予定もありません 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • 内部リソース、能力、または専門知識の欠如(例: 組織の規模が原因) • 標準化された手順がない • 当面の戦略的優先事項ではない • 重要でない、関係ないと判断された • その他、具体的にお答えください 	文章記入欄[最大 2,500 字]
フォレスト			

ウォーター			
生物多様性			

[固定列]

(4.3.1)環境課題への責任を負う最高レベルの職位または委員会を記載してください。(個人名は含めないでください)

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、質問4.3の1列目[この環境課題に対する経営レベルの責任]で「はい」を選択した場合にのみ表示されます。
前年との比較	質問の修正(2023 C1.2、C15.1、F4.2、F-MM12.2/F-CO12.2、W6.3)
説明	取締役会のメンバーが環境課題に関して説明責任を持つことが最も重要ですが、管理職レベルに責任を割り当てることは、組織が環境方針の実施にコミットしていることを示します。
回答方法	以下の表に記入してください。表の下にある「行を追加」ボタンを使って行を追加することができます。

0	1	2	3	4	5
環境課題	責任を負う個人の職位または委員会	この職位の環境関連の責任	報告系統	環境課題に関する取締役会への報告頻度	説明してください
気候変動	以下のドロップダウンメニューからお選びください。	以下のドロップダウンメニューから該当するものをすべて選択してください。	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 取締役会に直接報告 最高経営責任者(CEO)への報告 最高財務責任者(CFO)への報告 最高執行責任者(COO)への報告 最高リスク管理責任者(CRO)への報告 最高サステナビリティ責任者(CSO)への報告 その他、具体的にお答えください 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 四半期に1回以上の頻度で 四半期に1回 半年に1回 年1回 年1回より少ない頻度で 重要な事案が生じたとき 取締役会への報告なし 	文章記入欄[最大2,000字]
フォレスト					
ウォーター					
生物多様性					
選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 気候変動 フォレスト ウォーター 生物多様性 					

責任を負う個人の職位または委員会(1列目)	
役員レベル <ul style="list-style-type: none"> 最高経営責任者(CEO) 最高財務責任者(CFO) 最高執行責任者(COO) 最高調達責任者(CPO) 最高リスク管理責任者(CRO) 最高サステナビリティ責任者(CSO) ガバナンス関係最高責任者(CGRO) 最高技術責任者(CTO) 最高コンプライアンス責任者(CCO) その他の最高経営層 社長 最高法務責任者 	委員会 <ul style="list-style-type: none"> リスク委員会 持続可能性委員会 環境・社会・ガバナンス委員会 安全・健康・環境・品質委員会 企業責任委員会 その他の委員会、具体的にお答えください その他 <ul style="list-style-type: none"> その他、具体的にお答えください

この職位の環境関連の責任(2列目)	
依存、影響、リスク、機会 <ul style="list-style-type: none"> 環境への依存、影響、リスク、機会に関する将来動向の評価 環境への依存、影響、リスク、機会の評価 環境への依存、影響、リスク、機会の管理 方針、コミットメント、目標 <ul style="list-style-type: none"> 企業の環境方針および/またはコミットメントの設定 企業の環境方針および/またはコミットメントの遵守のモニタリング 企業の環境目標の設定 企業の環境目標の進捗状況の測定 環境科学に基づく目標達成に向けた進捗状況の測定 エンゲージメント <ul style="list-style-type: none"> 環境課題に関する政策エンゲージメントの管理 環境課題に関するバリューチェーン・エンゲージメントの管理 管轄区域におけるエンゲージメントの管理 サプライヤーの環境要件遵守の管理 	戦略と財務計画 <ul style="list-style-type: none"> 環境シナリオ分析の実施 気候移行計画の策定[CCのみ] 気候移行計画の実行[CCのみ] 環境課題を考慮した事業戦略の策定 環境課題に関する事業戦略の実行 環境課題に関する買収、合併、売却の管理 環境課題に関する大規模な資本支出および/または事業支出の管理 環境課題に関する年間予算の管理 技術革新/低環境負荷製品・サービス(研究開発を含む)に関する優先事項の管理 環境報告、監査、検証プロセスの管理 その他 <ul style="list-style-type: none"> 環境パフォーマンスに関連した従業員インセンティブの提供 その他、具体的にお答えください

[行追加]

経営層の能力

(4.4) 貴組織の経営層は、環境課題に関する能力を有していますか。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、質問4.1の1列目[取締役会または同等の管理機関の有無]で「いいえ」を選択した場合にのみ表示される。
前年との比較	新規質問
説明	持続可能な未来において事業を成功に導くためには、意思決定機関に環境課題に関するコンピテンシー(能力)が求められます。取締役会を持たない組織の経営レベルにおけるこの能力は、環境への依存、影響、リスク、機会を理解し対応することへの組織のコミットメントを示すものです。
回答方法	以下の表に記入してください

0	1	2	3	4	5
---	---	---	---	---	---

環境課題	この環境課題に関する経営層の能力	経営層が環境課題に関する能力を維持するためのメカニズム	経営層の個人の環境に関する専門知識	この環境課題に関して経営層の能力がない主な理由	貴組織にこの環境課題に関して能力を有する経営層が存在しない理由を説明してください。
気候変動	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • はい • いいえ、しかし今後2年以内にそうする予定です • いいえ、また今後2年以内にそうする予定もありません • 未評価 	該当するものをすべて選択してください: <ul style="list-style-type: none"> • 社内の常設の専門家作業部会と定期的に協議する • 環境課題について外部のステークホルダーや専門家と定期的に協働する • 環境課題、業界のベストプラクティス、基準(TCFD、SBTiなど)に関する取締役向けの定期的な研修 • この環境課題に関して専門知識を有する管理職を少なくとも1名置く • その他、具体的にお答えください 	以下のドロップダウンメニューから該当するものをすべて選択してください。	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • 内部リソース、能力、または専門知識の欠如(例: 組織の規模が原因) • 標準化された手順がない • 当面の戦略的優先事項ではない • 重要でない、関係ないと判断された • その他、具体的にお答えください 	文章記入欄[最大2,500字]
フォレスト					
ウォーター					

経営層の個人の環境に関する専門知識(3列目)	
学問教育 <ul style="list-style-type: none"> • 学部教育(例:環境とサステナビリティ、気候科学、環境科学、水資源管理、環境工学、森林学などの学士号)、具体的にご記入ください。 • 大学院教育(例:環境とサステナビリティ、気候科学、環境科学、水資源管理、森林学などの修士号/博士号)、具体的にご記入ください。 追加的な研修 <ul style="list-style-type: none"> • コース修了証(環境に関連するもの)、具体的にご記入ください。 • 認定機関による環境に関する研修、具体的にご記入ください 	経験 <ul style="list-style-type: none"> • 環境課題に重点を置いた職務における役員レベルの経験 • 環境課題に焦点を当てた職務における管理職レベルの経験 • 環境課題に焦点を当てた職務におけるスタッフレベルの経験 • 環境課題に焦点を当てた学術的職務の経験 • 政府(国または地方自治体)の環境部門での経験 • 環境課題にさらされ、サステナビリティの転換期を迎えている組織での経験 • 環境委員会または団体の活動的なメンバー その他 <ul style="list-style-type: none"> • その他、具体的にお答えください

インセンティブ

(4.5) 目標の達成を含め、環境課題の管理に対して金銭的なインセンティブを提供していますか。

質問内容

前年との比較	質問の修正(2023 C1.3、F4.3、F-MM12.3/F-CO12.3、W6.4)
説明	持続可能性のパフォーマンスと連動した従業員インセンティブは、組織の環境コミットメントと目標の達成に従業員が果たすべき役割について明確なシグナルを送ります。データ利用者は、組織が従業員に対してどの程度環境課題への取り組みを奨励しているか、また、組織の意思決定やビジネス文化において特定の行動がインセンティブとして働くメカニズムを理解することを目的としています。
回答方法	以下の表に記入してください

0	1	2	3
環境課題	この環境課題に関する金銭的なインセンティブの提供	この環境課題の管理に関連する経営層および取締役会レベルの金銭的インセンティブの割合	説明してください
気候変動	選択肢: • はい • いいえ、しかし今後2年以内にそうする予定です • いいえ、また今後2年以内にそうする予定もありません	パーセンテージ欄[0~100のパーセンテージを入力する]	文章記入欄(最大1,000字)
フォレスト			
ウォーター			
生物多様性			

(4.5.1)環境課題の管理に対して提供される金銭的インセンティブの詳細を記載してください。(個人名は含めないでください)

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、質問 4.5 の[この環境課題に関する金銭的なインセンティブの提供]の列で「はい」を選択した場合にのみ表示されます。
前年との比較	質問の修正(2023 C1.3a、F4.3a、F-MM12.3a/F-CO12.3a、W6.4a)
説明	持続可能性のパフォーマンスと連動した従業員インセンティブは、組織の環境コミットメントと目標の達成に従業員が果たすべき役割について明確なシグナルを送ります。データ利用者は、組織が従業員に対してどの程度環境課題への取り組みを奨励しているか、また、組織の意思決定やビジネス文化において特定の行動がインセンティブとして働くメカニズムを理解することを目的としています。
回答方法	以下の表に記入してください。

1	2	3	4	5	6	7
環境課題	インセンティブの対象となる職位	インセンティブ	実績指標	このインセンティブが関連するインセンティブ計画	インセンティブの詳細	当該職位へのインセンティブが、環境コミットメントおよび/または気候移行計画の達成にどのように貢献するか
気候変動	以下のドロップダウンメニューからお選びください。	該当するものをすべて選択してください: • ボーナス - 給与の一定割合	以下のドロップダウンメニューから該当するものをすべて選択してください:	選択肢: • 短期インセンティブ計画、またはそれに相当するもののみ(契約による年次ボーナスなど)	文章記入欄[最大2,500字]	文章記入欄[最大2,500字]

		<ul style="list-style-type: none"> ・ボーナス- ー 定金額 ・昇進 ・昇給 ・株式 ・利益シェア ・退職金制度 ・その他、具体的にお答えください 		<ul style="list-style-type: none"> ・長期インセンティブ計画、またはそれに相当するもののみ(契約による複数年ボーナスなど) ・短期および長期インセンティブ計画、またはそれに準ずるもの ・インセンティブがインセンティブ計画や同等のものに連動していない(報告年におけるの裁量賞与など) 		
フォレスト						
ウォーター						
生物多様性						
選択肢: <ul style="list-style-type: none"> ・気候変動 ・フォレスト ・ウォーター ・生物多様性 						

インセンティブの対象となる職位(2列目)	
取締役会または役員レベル <ul style="list-style-type: none"> ・取締役会議長 ・取締役/執行委員会 ・最高経営責任者(CEO) ・最高財務責任者(CFO) ・最高執行責任者(COO) ・最高調達責任者(CPO) ・最高リスク管理責任者(CRO) ・最高サステナビリティ責任者(CSO) ・ガバナンス関係最高責任者(CGRO) ・最高技術責任者(CTO) ・経営陣 ・取締役 ・その他の最高経営層 ・社長 ・最高法務責任者 シニア・中間管理職 <ul style="list-style-type: none"> ・バイヤー/購入者 ・エネルギー部長 ・環境/サステナビリティ部長 ・環境・衛生・安全部長 ・経営グループ ・プロセス・オペレーション・マネージャー ・調達部長 ・広報部長 ・リスク管理部長 ・その他の部長レベル、具体的にお答えください 	施設/ユニット/サイト管理 <ul style="list-style-type: none"> ・事業部長 ・設備管理者 ・サイトマネージャー ・その他の施設/ユニット/サイト管理者、具体的にご記入ください。 サステナビリティ・スペシャリスト <ul style="list-style-type: none"> ・その他のサステナビリティ・スペシャリスト、具体的にご記入ください。

実績指標(4列目)

<p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境目標に対する進捗状況 環境目標の達成 環境持続可能性指標に対する組織のパフォーマンス ネットゼロ目標に沿った総量排出量の削減[CCのみ] その他の目標関連指標を具体的に教えてください <p>戦略と財務計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 気候移行計画の取締役会承認[CCのみ] 気候移行計画の株主承認[CCのみ] 気候移行計画の達成[CCのみ] ネット・ゼロ・カーボンの未来に適合するビジネスモデルへの転換[CCのみ] 環境 R&D とイノベーションへの投資拡大 環境負荷の低い製品またはサービスからの売上割合が増加 設備投資と移行計画および/またはサステナブル・ファイナンス・タクソミーとの整合性を高める[CCのみ] その他の戦略および財務計画関連の指標を具体的に教えてください <p>排出削減</p> <ul style="list-style-type: none"> 排出削減活動の実施[CCのみ] 排出原単位の削減[CCのみ] 総エネルギー消費量に占める再生可能エネルギーの割合の増加[CCのみ] 排出量総量の削減[CCのみ] その他の排出削減関連指標を具体的に教えてください[CCのみ] <p>資源の利用と効率</p> <ul style="list-style-type: none"> 紙および包装材製品に使用されるバージン木材繊維の削減(例:原材料投入量の削減、または再生材/代替繊維の使用)[Fのみ] 直接操業および/またはバリューチェーンの他の部分における、森林減少とその他の自然生態系の転換を排除する[Fのみ] コモディティの生産効率の改善[Fのみ] 取水量の削減 - 直接操業[Wのみ] 水消費量の削減 - 直接操業[Wのみ] 取水量および/または消費量の削減-バリューチェーン上流(直接操業を除く)[Wのみ] 取水量および/または消費量の削減-バリューチェーン下流(直接操業を除く)[Wのみ] 水利用効率の改善 - 直接操業[Wのみ] 水利用効率の改善 - バリューチェーン上流(直接操業を除く)[Wのみ] 水利用効率の改善 - バリューチェーン下流(直接操業を除く)[Wのみ] 排出量データ、報告、第三者検証の改善[CCのみ] コモディティ量データ収集、報告、第三者検証/認証の改善[Fのみ] 水会計、報告、第三者検証の改善[Wのみ] エネルギー効率改善[CCのみ] エネルギー消費量総量の削減[CCのみ] その他の資源使用および効率に関する指標を具体的に記入してください 	<p>汚染</p> <ul style="list-style-type: none"> 排水の質の改善 - 直接操業[Wのみ] 排水の質の改善 - バリューチェーン上流(直接操業を除く)[Wのみ] 排水の質の改善 - バリューチェーン下流(直接操業を除く)[Wのみ] 水質汚濁事故の削減[Wのみ] 有害物質の削減または段階的廃止[Wのみ] リストアップされた環境汚染物質の代替増加[Wのみ] 排水処理のコンプライアンス向上と規制要件への適合 - 直接操業[Wのみ] 排水処理のコンプライアンス向上と規制要件への適合 - バリューチェーン上流(直接操業を除く)[Wのみ] 排水処理のコンプライアンス向上と規制要件への適合 - バリューチェーン下流(直接操業を除く)[Wのみ] 環境事故および/または通知(違反通知)の削減/排除 その他の汚染関連指標を具体的に教えてください <p>方針とコミットメント</p> <ul style="list-style-type: none"> サプライヤーによる環境要件への遵守の向上 購買業務に適用される新たな環境要件または強化された環境要件 森林減少と転換を防止する(DCF)方針および/またはコミットメントの遵守の増加[Fのみ] 過去の森林伐採と転換に対処するための修復と補償[Fのみ] 先住民と地域コミュニティの自由意思による、事前の、十分な情報に基づく同意(FPIC)の確保 国際労働機関の原則の採用 水関連コミュニティ・プロジェクトの実施[Wのみ] 職場の衛生(WASH)サービスへのアクセス向上 - 直接操業[Wのみ] 職場の衛生(WASH)サービスへのアクセス向上 - バリューチェーン上流(直接操業を除く)[Wのみ] 職場の衛生(WASH)サービスへのアクセス向上 - バリューチェーン下流(直接操業を除く)[Wのみ] その他の方針およびコミットメントに関連する指標を具体的に教えてください <p>エンゲージメント</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境課題に関するサプライヤーエンゲージメントを強化 環境課題に関する小規模農家とのエンゲージメントを強化 環境課題に関する顧客エンゲージメントを強化 ランドスケープ(河川流域を含む)および管轄区域のイニシアティブとの協働の強化 バリューチェーンの可視性の向上(トレーサビリティ、マッピング) 環境課題に関する従業員意識向上キャンペーンまたは研修プログラムの実施 その他のエンゲージメント関連指標を具体的に記入してください
---	--

環境方針

(4.6) 貴組織は、環境課題に取り組む環境方針を定めていますか。

質問内容	
前年との比較	気候変動:新規質問 フォレスト、ウォーター、生物多様性:質問の修正(2023 C15.2、F4.5、F4.6、F-MM12.4/F-CO12.4、W6.1)
説明	環境方針は、説明責任を果たしながら行動を推進するための基盤となる重要なガバナンス・ツールです。環境課題に対する企業環境方針を定めることは、組織が環境課題の重要性を理解し、環境アクションを起こす責任を認識していることを示します。したがって、データ利用者は、組織が環境課題に関連する組織の依存、影響、リスク、機会を認識し、明確な意図と行動の方向性を持つ方針を明確にし、文書化していることを知りたいと考えています。組織のステークホルダーに対する説明責任を果たすため、方針は公開されるべきです。
回答方法	以下の表に記入してください:

1	2	3
貴組織には環境方針がありますか	環境方針を定めていない主な理由	環境方針を定めていない理由を説明してください。
選択肢: • はい • いいえ、しかし今後2年以内にそうする予定です • いいえ、また今後2年以内にそうする予定もありません	選択肢: • 内部リソース、能力、または専門知識の欠如(例:組織の規模が原因) • 標準化された手順がない • 当面の戦略的優先事項ではない • 重要でない、関係ないと判断された • その他、具体的にお答えください	文章記入欄[最大 2,500 字]

(4.6.1)環境方針の詳細を記入してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、質問4.6の1列目[貴組織には環境方針がありますか]で「はい」を選択した場合のみ表示されます。
前年との比較	気候変動;新規質問 フォレスト、ウォーター、生物多様性:質問の修正(2023 C15.2、F4.5a、F4.6b、F-MM12.4a/F-CO12.4a、W6.1a)
説明	環境方針は、説明責任を果たしながら行動を推進するための基盤となる重要なガバナンス・ツールです。この質問では、環境課題に対する組織の意識レベルを把握し、方針で示された行動の確実性を示すことで、環境課題に関する組織のコミットメントをデータ利用者に示すことができます。
回答方法	以下の表に記入してください。表の下にある「行を追加」ボタンを使って行を追加することができます。

1	2	3	4	5a-b
環境課題	方針の適用範囲	バリューチェーンの段階の適用範囲	適用範囲について説明してください	環境方針の内容

該当するものをすべて選択してください: <ul style="list-style-type: none"> • 気候変動 • フォレスト • ウォーター • 生物多様性 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • 組織全体 • 特定の施設、事業、地域のみ • 一部の製品のみ • 選択されたコモディティのみ [1 列目で「フォレスト」を選択した場合のみ表示される] 	該当するものをすべて選択してください: <ul style="list-style-type: none"> • 直接操業 • バリューチェーン上流 • バリューチェーン下流 	文章記入欄[最大 1,500 字]	以下のドロップダウンメニューから該当するものをすべて選択してください。
--	--	---	-------------------	-------------------------------------

6	7	8
貴社の環境方針は、世界的な環境条約や政策目標に整合していますか	公開の有無	方針を添付してください
該当するものをすべて選択してください: <ul style="list-style-type: none"> • はい、パリ協定に整合しています [1 列目で「気候変動」を選択した場合に表示される] • はい、昆明・モントリオール生物多様性枠組みに整合しています [1 列目で「生物多様性」、「フォレスト」、「ウォーター」のいずれかを選択した場合に表示されます] • はい、水と衛生に関する持続可能な開発目標 (SDGs) 6 に整合しています • はい、他の地球環境条約または政策目標に整合しています • いいえ、しかし今後 2 年以内に整合する予定です • いいえ、今後 2 年以内に整合する予定もありません 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • 一般公開 • 非公開 	[ファイル添付]

環境方針の内容 (5a-b 列目)	
環境に関するコミットメント <ul style="list-style-type: none"> • 循環型経済戦略へのコミットメント • 絶滅危惧種や保護対象種への悪影響を回避するためのコミットメント [F, W, B のみ] • 規制および必須基準の遵守へのコミットメント • 規制遵守にとどまらない環境行動へのコミットメント • 共有の持続可能性目標を推進するために、統合されたマルチステークホルダーのランドスケープ (河川流域を含む) イニシアティブに関与することへのコミットメント [F, W のみ] • 景観の回復と自然生態系の長期的保護を支援する、自然に根ざした解決策の実施へのコミットメント • ネット・プラス・ゲインへのコミットメント [F, W, B のみ] • ネット・ロスなしへのコミットメント [F, W, B のみ] • ワシントン条約記載種の不取引へのコミットメント [F, B のみ] • 法的に指定された保護地域を尊重することへのコミットメント [F, W, B のみ] • 環境課題に関するステークホルダーエンゲージメントとキャパシティビルディングへのコミットメント • その他の環境に関するコミットメントを具体的にご記入ください 気候関連のコミットメント [1 列目で「気候変動」を選択した場合に表示される] <ul style="list-style-type: none"> • 再生可能エネルギー 100% へのコミットメント • ネット・ゼロ排出へのコミットメント • 化石燃料拡大への投資を行わないというコミットメント • 気候変動を否定する活動や、気候変動規制に反対するロビー活動に資金を提供しないことへのコミットメント • その他の気候関連のコミットメントを具体的にご記入ください 	ウォーター関連のコミットメント [1 列目で「ウォーター」を選択した場合に表示される] <ul style="list-style-type: none"> • 有害物質の削減または段階的廃止へのコミットメント • 水質汚濁の抑制・削減・撲滅へのコミットメント • 水使用量削減へのコミットメント • 取水量削減へのコミットメント • 地域コミュニティにおける安全な WASH 管理へのコミットメント • 淡水の生態系保全へのコミットメント • ウォーター・スチュワードシップおよび/または共同アクションへのコミットメント • その他の水関連のコミットメントを具体的にご記入ください 社会関連のコミットメント <ul style="list-style-type: none"> • 国際労働機関原則の採択 • 男女平等と女性のエンパワーメント推進へのコミットメント • 先住民族と地域コミュニティの土地、資源、領土に対する慣習上の権利を尊重し、保護することへのコミットメント • 国際的に認められた人権を尊重することへのコミットメント • 先住民と地域コミュニティの自由意思による、事前の、十分な情報に基づく同意 (FPIC) を確保することへのコミットメント • その他の社会関連のコミットメントを具体的にご記入ください その他の言及/記述 <ul style="list-style-type: none"> • 水と衛生に対する人権への認識 [W のみ] • 生物多様性に関連するパフォーマンス基準の説明 [B のみ] • 方針の対象となるコモディティの説明 [F のみ] • 天然資源と生態系への依存に関する記述 • 天然資源と生態系への影響に関する記述

<p>フォレスト関連のコミットメント[1列目で「フォレスト」を選択した場合に表示される]</p> <ul style="list-style-type: none"> • 土壌と泥炭に対する最良の管理方法に対するコミットメント • 過去の森林伐採や転換を是正するために、森林回復や補償を実施または支援することへのコミットメント • 小規模農家のバリューチェーンへの組み入れ促進へのコミットメント • 目標期日までの、森林減少ゼロ、泥炭地緑化なし、搾取なし(NDPE)へのコミットメント • 深さに関係なく泥炭地での開発禁止のコミットメント • 焼畑または皆伐による土地開墾を行わないコミットメント • 目標期日まで自然生態系の転換なしのコミットメント • 目標期日まで森林減少ゼロのコミットメント • 高保全価値(HCV)アプローチの使用へのコミットメント • その他のフォレスト関連のコミットメントを具体的にご記入ください 	<ul style="list-style-type: none"> • 調達における環境要求事項の記述 • 環境方針の不遵守をモニタリングし、その他のグリーンウォッシングに関する懸念事項を提起/対処/軽減するための苦情処理/内部通報制度の説明 • 政策に影響を与えようとする団体に提供した会員資格および財政的支援の内容 • 再生可能エネルギー電力の調達慣行に関する記述[Cのみ] • 環境課題の相互関連性とトレードオフの認識 • 期限付きの環境マイルストーンと目標への言及 • その他の言及/記述を具体的にご記入ください
--	--

外部との協力体制とイニシアティブ

(4.10)環境関連の協働の枠組みやイニシアティブに署名または参加していますか

質問内容	
前年との比較	ウォーター、プラスチック:新規質問 気候変動、フォレスト、生物多様性:質問の修正(2023 C12.5、C15.2、F4.6a、F-MM15.1/F-CO15.1、F-MM15.2/F-CO15.2、F-MM15.2a/F-CO15.2a)
説明	環境関連の協働イニシアティブに署名することで、組織は、より持続可能な経済への移行を支援する環境情報開示の枠組み、評価基準、目標の策定に貢献することができます。環境のイニシアチブを支持することは、投資家に対して、その組織がこの移行に沿ったビジネスを行うためのステップを踏むというコミットメントを示すシグナルとなります。広く知られた公表されているイニシアチブを支持することはベストプラクティスであり、データ利用者の環境アクションに対する要求に応えるものです。
回答方法	以下の表に記入してください:

1	2	3
環境関連の協働の枠組みやイニシアティブに署名または加盟していますか?	協働の枠組みまたはイニシアティブ	各枠組みまたはイニシアティブの中での組織の役割を説明してください
選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • はい • いいえ、しかし今後2年以内にそうする予定です • いいえ、また今後2年以内にそうする予定もありません 	以下のドロップダウンリストから該当するものをすべて選択してください。	文章記入欄[最大 5,000 字]

協働の枠組みまたはイニシアティブ(2列目)		
<ul style="list-style-type: none"> • 2030 水資源グループ [Wのみ] • 気候変動対策同盟(ACA) • アライアンス・フォー・ウォーター・サチュワードシップ(AWS)[Wのみ] 	<ul style="list-style-type: none"> • グローバル e サステナビリティ・イニシアティブ • 世界森林貿易ネットワーク(GFTN)[Fのみ] 	<ul style="list-style-type: none"> • 森林認証プログラム(PEFC)[Fのみ] • プロジェクトWET[Wのみ] • レース・トゥ・ゼロ・キャンペーン • RE100

<ul style="list-style-type: none"> アマゾン保全協会(ACA)[Fのみ] アパレル&フットウェア・インターナショナル RSL マネジメント AFIRM グループ ベター・コットン・イニシアティブ (BCI) 持続可能な森林ランドスケープのためのバイオカーボン基金イニシアティブ[Fのみ] ボンの挑戦 ビジネス・フォー・ネイチャー ビジネスと生物多様性の誓約[Bのみ] ビジネス宣言 カーボンマーケット研究所 CEO ウォーター・マンドート[Wのみ] セリーズ セラード資金調達連合 セラード宣言[Fのみ] セラード・ワーキング・グループ (GTC) チェンバーズ気候連合 中国持続可能なパーム油連盟 (CSPOA)[Fのみ] クライメート・アクション 100+ クライメート・ワイズの原則 持続可能な生活のための連合 (CSL) 気候変動対策への集团的コミットメント コンプロミソ・グラン・チャコ・アルハンティエノ 2030 消費財フォーラム 森林ポジティブ連合[Fのみ] コーポレート・リーダーズ・グループ (CLG) クロスセクター生物多様性イニシアティブ(CSBI)[Bのみ] エレン・マッカーサー グローバル・コミットメント[Pのみ] エネルギー効率協議会 EU 持続可能な熱帯木材連合 (STTC)[Fのみ] 欧州気候協定 欧州パーム油連盟(EPAO)[Fのみ] エクスポネンシャル・ロードマップ・イニシアティブ フェア・ウォーター・フットプリント (FWF)[Wのみ] ファイヤーフリーアライアンス (FFA) 森林管理協議会(FSC)[Fのみ] 森林・農業・金融イニシアティブ[Fのみ] 持続可能なパーム油のためのフォーラム(FONAP)[Fのみ] CBN による未来のネット・ゼロ 	<ul style="list-style-type: none"> グローバル・フォレスト・ウォッチ グローバル・プラスチック・アクション・パートナーシップ 持続可能な天然ゴムに関するグローバル・プラットフォーム(GPSNR)[Fのみ] グローバル・レポーティング・イニシアティブ (GRI)コミュニティ・メンバー グローバル・サステイナブル・プラスチック・パッケージング・プログラム[Pのみ] グリーン自治体プログラム 害のない医療 ハープロジェクト 高炭素ストック・アプローチ運営グループ 保護価値の高い(HCV)資源ネットワーク [FとBのみ] TCFD 勧告の実施に関する IIF フォーラム 気候変動に関する業界タスクチーム 国際コーポレート・ガバナンス・ネットワーク (IGCN) 国際サステナビリティ・カーボン認証 (ISCC) 国際水管理プログラム(IWaSP)[Wのみ] 気候変動対策のための国際的ワイナリー 日本気候イニシアティブ(JCI) 日本気候リーダーズ・パートナーシップ (JCLP) レザーワーキンググループ ファッションを循環させる ミッション・ポッシブル・パートナーシップ ナショナル・ビジネス・イニシアチブ 自然資本連合 森林に関するニューヨーク宣言[Fのみ] オーガニックコットン・アクセラレーター (OCA) パームオイル・イノベーション・グループ (POIG)[Fのみ] パーム油透明性連合(POTC)[Fのみ] 繊維クリーナー・パートナーシップ(PaCT) プラネット・マーク プラスチック・パクト・ネットワーク[Pのみ] ネット・ゼロへの誓い ポジティブ・インパクト・イニシアチブ プロデュース、コンサーブ、インクルード (PCI) プロダクション、プロテクション、インクルージョン(PPI) 	<ul style="list-style-type: none"> 持続可能なバイオマテリアルに関する円卓会議(RSB)[Fのみ] 持続可能なパーム油に関する円卓会議 (RSPO)[Fのみ] RSPO 認証の管轄地域アプローチ 科学に基づく目標設定ネットワーク (SBTN) 科学に基づく目標設定イニシアティブ (SBTi) 中小企業気候ハブ ソフト・コモディティコンパクト[Fのみ] 大豆バイヤーズ連合[Fのみ] 大豆モラトリアム[Fのみ] 気候変動対策のためのスポーツ 持続可能なパーム油のためのアジア支援(SASPO)[Fのみ] サステナブル・アパレル連合(SAC) 持続可能な地区協会(Lingkar Temu Kabupaten Lestari) 持続可能な林業イニシアティブ(SFI)[Fのみ] 気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 自然関連財務情報開示タスクフォース (TNFD) テラ・カルタ テキスタイル・エクスチェンジ B チーム 気候に関する誓約 ファッション協定 ウォーター・カウンシル[Wのみ] トランジション・パスウェイ・イニシアティブ 熱帯林アライアンス 2020(TFA)[Fのみ] 確認された調達地域 廃棄物・資源行動計画(WRAP)[Wのみ] 廃水ゼロ・コミットメント[Wのみ] ウォーター・アクション・ハブ(CEO ウォーター・マンドートによる)[Wのみ] 水 ヨーロッパ[Wのみ] ウォーター・レジリエンス連合[Wのみ] WBCSD 森林ソリューション・グループ [Fのみ] We are still in ビジネスの意味 持続可能な開発のための世界経済人会議(WBCSD) 有害化学物質排出ゼロ(ZDHC)[Wのみ] その他、具体的にお答えください
---	--	--

政策エンゲージメント

(4.11) 報告年において、貴組織は、環境に(プラスまたはマイナスの)影響を及ぼす可能性のある政策、法律、規制に直接的または間接的に影響を及ぼす可能性のある活動を行いましたか。

質問内容	
前年との比較	フォレスト:新規質問 気候変動、ウォーター:質問の修正(2023 C12.3, W6.5, W6.5a)
説明	データ利用者は、環境課題に対する組織の政策エンゲージメントが、他のスタンスとどのように関連しているかを理解したいと考えています。例えば、環境科学を貶めることを目的とした活動を行う一方で、環境課題の解決策を進めるために他のグループと協力することは、その組織の優先事項やスタンスについて相反するメッセージをデータ利用者へ送ることになります。この質問は、データ利用者に組織のさまざまな外部のエンゲージメント活動についての情報を提供し、組織が環境課題に対する自らの立場を、参加する積極的な貢献や、地球規模の環境条約・目標に整合したものであるために用いているプロセスを開示することができます。
回答方法	以下の表に記入してください。

1	2	3	4
環境に影響を与える可能性のある政策、法律、規制に直接的または間接的に影響を与える可能性のある対外的なエンゲージメント活動	貴組織が、地球環境に関する条約または政策目標に整合したエンゲージメント活動を実施することをコミットまたは表明していますか	コミットメントまたはポジション・ステートメントを添付	貴組織は透明性登録簿に登録していますか
該当するものをすべて選択してください: <ul style="list-style-type: none"> はい、政策立案者と直接協働しています はい、政策、法律、または規制に影響を与える可能性のある業界団体やその他の仲介組織、または個人を通じて間接的に協働、および/または財政的もしくは現物での支援を行いました いいえ、私たちの活動を評価した結果、環境に影響を及ぼす可能性のある政策、法律、規制に直接的または間接的に影響を及ぼす可能性のあるものではありません 未評価 	該当するものをすべて選択してください: <ul style="list-style-type: none"> はい、パリ協定に整合 [CCのみ] はい、昆明・モントリオール生物多様性枠組みに整合[WとFのみ] はい、水と衛生に関する持続可能な開発目標 6 に整合 はい、他の地球環境条約または政策目標に整合 いいえ、しかし今後 2 年以内にそうする予定です いいえ、また今後 2 年以内にそうする予定もありません 	[添付ファイル]	該当するものをすべて選択してください: <ul style="list-style-type: none"> はい、政府による強制的な登録 はい、政府による自主的な登録 はい、非政府機関への登録 いいえ 不明

5	6	7	8
貴組織が登録している透明性登録簿および関連する貴組織の ID 番号を開示してください	貴社の外部エンゲージメント活動が貴社の環境コミットメントおよび/または移行計画と整合していることを確認するために、貴社が実施しているプロセスを説明してください	環境に影響を及ぼす可能性のある政策、法律、規制に直接的または間接的に影響を及ぼす可能性のある活動と協働しない主な理由	貴組織が、環境に影響を及ぼす可能性のある政策、法律、規制に直接的または間接的に影響を及ぼす可能性のある活動を行わない理由を説明してください

文章記入欄[最大 500 字]	文章記入欄[最大 2,500 字]	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • 契約上の障害 • 内部リソース、能力、または専門知識の欠如 (例: 組織の規模が原因) • 標準化された手順がない • 当面の戦略的優先事項ではない • 重要でない、関係ないと判断された • その他、具体的にお答えください 	文章記入欄[最大 2,500 字]
-----------------	-------------------	--	-------------------

[固定列]

(4.11.1) 報告年において、環境に(プラスまたはマイナスの)影響を及ぼす可能性のあるどのような政策、法律、規制に関して、貴組織は政策立案者と直接協働しましたか。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、質問4.11の1列目「環境に影響を与える可能性のある政策、法律、規制に直接的または間接的に影響を与える可能性のある対外的なエンゲージメント活動」で「はい、政策立案者と直接協働しています」を選択した場合のみ表示されます。
前年との比較	フォレスト、ウォーター: 新規質問 気候変動: 質問の修正 (2023 C12.3a, C12.3c)
説明	データ利用者は、環境課題に対する組織の政策エンゲージメントが、他のスタンスとどのように関連しているかを理解したいと考えています。この質問は、組織がどのように政策立案者と直接的に協働しているか、またそのエンゲージメントが世界的な環境条約や目標に沿ったものであるかどうかについて、透明性を高めるものです。
回答方法	以下の表に記入してください。表の下にある「行を追加」ボタンを使って行を追加することができます。

1	2	3a-b	4	5	6
貴組織が政策立案者と協働している政策、法律、規制を具体的に記載してください	この政策、法律、規制が関連する環境課題	環境に影響を与える可能性のある政策、法律、規制の重点分野	政策、法律、規制の地理的範囲	政策、法律、規制が適用される国/地域	政策、法律、規制に対する貴組織の立場
文章記入欄[最大 500 字]	該当するものをすべて選択してください: <ul style="list-style-type: none"> • 気候変動 • フォレスト • ウォーター 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • 環境への影響と圧力 • エネルギーと再生可能エネルギー [CCのみ] • 環境保護と管理手順 • 財政メカニズム(税金、補助金など) • 低環境負荷生産と技術革新 • 社会問題 • 透明性とデューデリジェンス • その他 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • 全世界 • 地域 • 国 • サブナショナル • 不明 	該当するものをすべて選択してください: <ul style="list-style-type: none"> • [国/地域ドロップダウンリスト] • その他、具体的にお答えください 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • 反対 • 中立 • 例外のない支援 • 少数の例外があるが支援 • 多数の例外があるが支援 • 未決定

7	8	9	10	11
例外事項の詳細と、政策、法律、規制に対する組織が提案した代替案	この政策、法律、規制に関する政策立案者との直接協働の種類	この政策、法律、規制に関して、報告年に貴団体が政策立案者に提供した資金額(通貨単位)	貴社の環境コミットメントおよび/または移行計画の達成と当該政策、法律、規制との関連性、およびそのことが貴社のエンゲージメント活動にどのように反映された	この政策、法律、規制に関する組織のエンゲージメントが、地球環境に関する条約や政策目標と整合しているかどうかを

			か、エンゲージメントの成功をどのように測定しているかを説明してください	評価したかどうかを説明してください
文章記入欄[最大 2,500 字]	該当するものをすべて選択してください: <ul style="list-style-type: none"> 定例会議 アドホックな会議 パブリック・フォーラムでの議論 政策立案者が組織するワーキンググループへの参加 政府の自主的なプログラムへの参加 資金提供または現物支援 相談への対応 書面による提案/問い合わせの提出 その他、具体的にお答えください 	数値記入欄[0 から 999,999,999,99 9,999 まで、小数点以下 2 桁までの数値を入力]	文章記入欄[最大 2,500 字]	該当するものをすべて選択してください: <ul style="list-style-type: none"> はい、パリ協定に整合しています はい、昆明・モントリオール生物多様性枠組みに整合しています はい、水と衛生に関する持続可能な開発目標 (SDGs) 6 に整合しています はい、他の地球環境条約または政策目標に整合しています はい、評価しましたが、整合していません いいえ、評価していません

環境に影響を与える可能性のある政策、法律、規制の重点分野(3a-b 列目)		
環境への影響と圧力 <ul style="list-style-type: none"> 排出量-CO₂ [CC のみ] 排出量 - メタン[CC のみ] 排出量-その他の温室効果ガス[CC のみ] 森林火災[F のみ] 有害物質 農薬と農薬の使用[W と F のみ] 水の利用可能性[W のみ] 水質汚染[W のみ] その他の環境への影響と圧力について具体的に記載してください 	財政メカニズム <ul style="list-style-type: none"> 水不足地域における水集約型作物の栽培に対する農業補助金 [W のみ] 土壌の健全性に影響を与える集約的生産への農業補助金 [F のみ] 水質汚染(肥料の流出など)につながる可能性のある集約的生産に対する農業補助金 [W のみ] 森林減少やその他の自然生態系の転換に関連する生産に対する農業補助金 [F のみ] 排出強度の高い生産に対する農業補助金 [CC のみ] カーボン・オフセット[CC と F のみ] 炭素税[CC のみ] 排出権取引制度[CC のみ] 地下水汚染に関する罰金、執行命令および/または罰則[W のみ] 土壌汚染に関する罰金、執行命令および/または罰則[F のみ] 森林リスクコモディティへの補助金[F のみ] 化石燃料探査および/または採掘に対する補助金[CC のみ] 低炭素・非再生可能エネルギー事業への補助金[CC のみ] 再生可能エネルギー事業への補助金[CC のみ] インフラ補助金 製品やサービスに対する補助金 サステナブルファイナンス 製品やサービスに対する税金 ウォーター・プライシング[W のみ] その他の財政メカニズムについて具体的に記載してください 	社会問題 <ul style="list-style-type: none"> 食料安全保障 土地保有[F のみ] 公衆衛生 先住民族と地域社会の権利 水と衛生に対する人権[W のみ] その他の社会問題について具体的に記載してください 透明性とデューデリジェンス <ul style="list-style-type: none"> トレーサビリティ要件 透明性の要件 検証と監査 デューデリジェンス要件 自由意思に基づく事前の同意(FPIC) 森林関連情報の収集、利用可能性、アクセス可能性[F のみ] 森林減少と転換に関する公的認証制度[F のみ] 企業の環境報告 環境報告の義務化 その他の透明性とデュー・デリジェンスについて具体的に記入ください その他 <ul style="list-style-type: none"> 気候移行計画[CC のみ] 建設・住宅[CC のみ] 企業の環境目標 気候変動適応に関する国際協定
エネルギーと再生可能エネルギー <ul style="list-style-type: none"> 代替燃料[CC のみ] 再生可能エネルギーのグリッドアクセス [CC のみ] エネルギー属性証書システム[CC のみ] エネルギー効率要件 [CC のみ] グリーン電力料金/再生可能エネルギー PPA[CC のみ] 低炭素・非再生可能エネルギー発電[CC のみ] 最低エネルギー効率要件 [CC のみ] 新規化石燃料エネルギー発電能力[CC のみ] 再生可能エネルギー発電[CC のみ] その他のエネルギーおよび再生可能エネルギーについて具体的に記載してください 	低環境負荷生産と技術革新	
環境保護と管理手順 <ul style="list-style-type: none"> 環境登録 環境保護要件 [W、F のみ] 		

<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な森林経営への資金調達とインセンティブ付与 [Fのみ] 森林管理計画[Fのみ] 森林私有保護区[Fのみ] 土地の保全と保護地域 [Fのみ] 景観(河川流域を含む)および管轄アプローチ[W、Fのみ] 法定準備金[Fのみ] 操業許可[WとFのみ] 泥炭地管理 [Fのみ] 修復/修復[WとFのみ] 森林のレジリエンスと適応能力[Fのみ] 社会経済的土地利用計画[WとFのみ] 国境を越えた水管理[Wのみ] その他の環境保護・管理手続きについて具体的に記載してください 	<ul style="list-style-type: none"> 循環型経済 非森林破壊製品[Fのみ] 拡大生産者責任(EPR) 環境負荷の低い技術革新と研究開発 リサイクルと再生可能技術 持続可能な生産と消費 技術要件 水使用と効率[Wのみ] その他の低環境負荷生産と技術革新について具体的に記入ください 	<ul style="list-style-type: none"> 気候変動緩和に関する国際協定 水および/または森林関連の国際協定 中小林業企業(SMFEs)[Fのみ] 交通インフラ[CCのみ] その他、具体的にお答えください
---	--	--

(4.11.2) 報告年において、業界団体、その他の仲介組織または個人を通じ、環境に(プラスまたはマイナスの)影響を及ぼす可能性のあるどのような政策、法律、規制に対して間接的に協働しましたか。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、質問4.11の1列目「環境に影響を与える可能性のある政策、法律、規制に直接的または間接的に影響を与える可能性のある対外的なエンゲージメント活動」の回答で、「はい、政策、法律、または規制に影響を与える可能性のある業界団体やその他の仲介組織、または個人を通じて間接的に協働、および/または財政的もしくは現物での支援を行いました」を選択した場合にのみ表示されます。
前年との比較	フォレスト、ウォーター：新規質問 気候変動：質問の修正(2023 C12.3b, C12.3c)
説明	組織には、エンゲージメント活動のための多くの潜在的な手段があります。業界団体は、組織が政策を形成し、議員や同業者と交流するための一つの手段です。他の仲介組織や個人と協力したり、そのような組織や個人を支援したりすることは、環境政策の立案と採用において重要な役割を果たすことができます。そのため、データ利用者は、組織がそのエンゲージメントと資金提供の活動の全範囲について透明性を確保し、また、法制化について影響を及ぼす可能性のある、あるいは環境に影響を与える可能性のある政策、法律、規制に影響を与える可能性のある仲介組織との関係と責任についても透明性を確保することを期待しています。
回答方法	以下の表に記入してください。表の下にある「行を追加」ボタンを使って行を追加することができます。

1	2	3	4a-b	5	6
間接的な協働の種類	協働している組織または個人の種類	協働している組織や個人の職位について説明してください	業界団体	協働している組織または個人が立場を表明している政策、法律、規制に関連する環境課題	貴組織の立場が、協働している組織や個人と一致していますか
選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 業界団体を通じた間接的な協働 他の仲介組織または個人を介した間接的な協働 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 政府機関 独立コンサルタント 国際政府機関(IGO) 非政府組織(NGO)または慈善団体 非上場企業 上場企業 研究機関 スタートアップ企業 国有企業(SOE)/政府所有株式会社(GOC) トラストまたは財団 	文章記入欄 [最大 500 字]	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> アフリカ アジア・太平洋 ヨーロッパ 北米 南米 全世界 	該当するものをすべて選択してください: <ul style="list-style-type: none"> 気候変動 フォレスト ウォーター 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 一貫性がある 一貫性がない 混在している 不明

	<ul style="list-style-type: none"> • 大学またはその他の教育機関 • その他、具体的にお答えください 				
--	--	--	--	--	--

7	8	9	10	11
報告年において、貴組織がその組織または個人の立場に影響を及ぼそうとしましたか	貴組織の立場が、協働している組織や個人の立場とどのように一致しているか、あるいは異なっているか、また、その立場に影響を与えるために取った行動について説明してください	報告年において、貴組織が協働している組織または個人に出資した金額(通貨ベース)	本資金の目的と、環境に影響を与える可能性のある政策、法律、規制にどのような影響を与える可能性があるかを説明してください	貴組織のエンゲージメントが、地球環境に関する条約や政策目標と整合しているかどうかを評価したかどうかを説明してください
選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • はい、そして彼らが立場を変えました • はい、彼らの立場に影響を及ぼそうとしましたが、立場を変えることはありませんでした • はい、私たちは彼らの現在の立場を公に推奨しています • はい、私たちは彼らの現在の立場に公に反対しています • はい、報告年内に資金援助/会員資格を終了しました • はい、今後2年以内に資金援助/会員資格を終了することを決定しました • いいえ、彼らの立場に影響を及ぼそうとしたことはありません • いいえ、彼らの立場についてはわかりません • いいえ、彼らの立場がわかりません[6列目で「不明」を選択した場合のみ表示されません] 	文章記入欄[最大2,500字]	数値記入欄[0から999,999,999,999まで、小数点以下2桁までの数値を入力]。	文章記入欄[最大2,500字]	該当するものをすべて選択してください: <ul style="list-style-type: none"> • はい、パリ協定に整合しています • はい、昆明・モントリオール生物多様性枠組みに整合しています • はい、水と衛生に関する持続可能な開発目標(SDGs)6に整合しています • はい、他の地球環境条約または政策目標に整合しています • はい、評価しましたが、整合していません • いいえ、評価していません

[行を追加]

業界団体(4a-b 列目)	
アフリカ <ul style="list-style-type: none"> • ビジネス・ユニティ・サウス・アフリカ(BUSA) • 南アフリカ鉱物資源評議会[COとMMのみ] • 南アフリカ風力エネルギー協会(SAWEA) • アフリカのその他の業界団体(具体的に) アジア・太平洋 <ul style="list-style-type: none"> • オーストラリア・エネルギー・カウンシル • オーストラリア水素協議会 • オーストラリアン・インダストリー・グループ(Aiグループ) • オーストラリア・ビジネス評議会 • 中国食肉協会 • クリーンエネルギー協議会 • インド工業連盟(CII) • エネルギー・ネットワーク・オーストラリア • インド商工会議所連合会(FICCI) • 香港総商会(HKGCC) 	北米 <ul style="list-style-type: none"> • 米国港湾協会 • 先進エネルギー経済(AEE) • アドバンスド・エナジー・ユナイテッド • アライアンス・フォー・オートモーティブ・イノベーション • 米国化学工業協会 • 米国燃料・石油化学メーカー • 米国ガス協会 • 米国広葉樹輸出協会(AHEC) • 米国電力協会 • 米国石油協会 • 米国水資源協会 • 米国クリーン電力協会(旧 AWEA) • カナダ・ビジネス協議会 ビジネス・ラウンドテーブル • カリフォルニア商工会議所 • カナダ石油生産者協会 • エジソン電気協会(EII)

<ul style="list-style-type: none"> • インドネシア商工会議所(KADIN) • インドネシア経営者協会(APINDO) • インドネシアパーム油協会(GAPKI) • 日本経済団体連合会 • 日本化学工業協会 • 日本鉄鋼連盟 • オーストラリア鉱物資源評議会 • 再生可能エネルギー協議会(REC) • 日本電機工業会(JEMA) • アジア太平洋地域のその他の業界団体(具体的にご記入ください) 	<ul style="list-style-type: none"> • 森林製品協会(FPS) • 全米清浄水機関協会 • 全米製造業者協会 • 全米水道会社協会 • 全米農業者組合 • 全米地下水協会 • 全米鉱業協会 • 全国農村給水協会 • ポルトランドセメント協会 • 太陽エネルギー産業協会(SEIA) • 米国商工会議所 • ゼロエミッション交通協会(ZETA) • 北米のその他の業界団体(具体的に)
<p>ヨーロッパ</p> <ul style="list-style-type: none"> • 欧州チョコレート・ビスケット・菓子工業会(CAOBISCO)【FBTのみ】 • ブリティッシュ・ウォーター • ビジネスヨーロッパ • CEMBUREAU: 欧州セメント協会【CEのみ】 • 英国産業連盟(CBI) • イタリア産業連盟(コンフィンドゥストリア) • EU 植物油・蛋白質ミール産業(FEDIOL) • ユーレレクトリック • ユーロメーター • 欧州穀物・油糧種子・米・豆類・オリーブ油・油脂・農業資材貿易協会(COCERAL) • 欧州自動車工業会 • 欧州化学工業協議会(CEFIC)【CHのみ】 • 欧州水道事業団体連合(EurEau) • 欧州飼料工業連盟(FEFAC) • 欧州マーガリン協会(IMACE) • 欧州パーム油連盟(EPOA) • 欧州産業円卓会議(ERT) • 欧州海港機関(ESPO) • 欧州鉄鋼協会(ユーロファー)【STのみ】 • 欧州木材貿易連合会(ETTF) • ドイツ産業連盟(BDI) • FoodDrinkEurope【FBTのみ】 • 燃料ヨーロッパ • 未来の水協会 • サステナビリティのためのガス供給事業者(GD4S) • ドイツ自動車協会(VDA) • ドイツ化学工業協会(VCI) • 水素ヨーロッパ • 国際ガス連合 • オフショア・エナジーズ UK(OEUK)(旧 OGUK) • フランス企業運動(MEDEF) • ソーラーパワー・ヨーロッパ • スマートエン • ウインドヨーロッパ • 欧州のその他の業界団体(具体的に) 	<p>南米</p> <ul style="list-style-type: none"> • 米国港湾協会 • ブラジル大豆生産者協会(Aprosoja Brasil)【ACのみ】 • ブラジル牛肉輸出協会(ABIEC) • ブラジル農畜産業連盟(CNA) • ブラジルの持続可能な畜産に関する円卓会議(GTPS) • ブラジル穀物輸出協会(ANEC) • ブラジル植物油協会(ABIOVE) • フェデパルマ - コロンビア全国アブラヤシ生産者連合会【ACおよびFBTのみ】 • 南米のその他の業界団体(具体的に) <p>グローバル</p> <ul style="list-style-type: none"> • 国際空港評議会 • 水技術協会 • 消費財フォーラム(CGF) • フューチャーコール • 世界オフグリッド照明協会(GOGLA) • 世界風力エネルギー会議(GWEC) • 国際航空運送協会 • 国際石油ガス生産者協会(IOGP) • 国際港湾協会 • 国際商業会議所(ICC) • 国際海運会議所 • 国際コーヒー機関(ICO)【FBTのみ】 • 国際金属・鉱業評議会(ICMM)【COとMMのみ】 • 世界鉄鋼協会 • 国際大豆生産者連合(ISGA)【ACおよびFBTのみ】 • 国際木材製品協会(IWPA) • 国際熱帯木材技術協会(ATIBT) • その他のグローバル業界団体(具体的に)

コミュニケーション／情報開示

(4.12)報告年の環境課題への組織の対応に関する情報を、CDPの回答以外の場所で公表していますか。

質問内容	
前年との比較	気候変動、生物多様性：質問の修正(2023 C12.4, C15.7) フォレスト、ウォーター：変更なし(2023 F4.4, W6.6)
説明	メインストリームの財務報告への環境関連情報の統合は、一部の管轄区域では規制要件であり、TCFD提言でも述べられています。データ利用者は、環境への依存、影響、リスク、機会に対する組織の対応を理解しやすくするため、組織がメインストリームの報告書に環境情報を含めているか、含める予定があるかを理解したいと考えています。
回答方法	選択肢： <ul style="list-style-type: none"> はい いいえ、しかし今後2年以内にそうする予定です いいえ、また今後2年以内にそうする予定もありません

(4.12.1)報告年の環境課題に対する組織の対応について、CDP の回答以外の場所で公表された情報の詳細を記載し、関連文書を添付してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、質問4.12の回答で「はい」を選択した場合のみ表示されます。
前年との比較	ウォーター、フォレスト：新規質問 気候変動、生物多様性：質問の修正(2023 C12.4, C15.7)
説明	企業の環境報告における透明性を高めるため、企業は非財務指標やデータをメインストリームの財務報告書(法定開示書類)に統合することが奨励されています。データ利用者は、組織が環境戦略、排出量、依存、影響、リスク、機会について、どこで、どのようにコミュニケーションしようとしているか、また、これらのコミュニケーションが環境情報開示の基準やフレームワークに沿ったものであるかどうかを理解しようとしています。
回答方法	以下の表に記入してください。表の下にある「行を追加」ボタンを使って行を追加することができます。

1	2	3	4
報告書の種類	報告書が準拠している基準またはフレームワーク	報告書に記載した環境課題	作成状況
選択肢： <ul style="list-style-type: none"> メインストリームの報告書 環境情報開示の基準やフレームワークに整合した、メインストリームの報告書 その他の規制当局への提出書類 自主的に作成した開示書類 自主的に作成したサステナビリティレポート その他、具体的にお答えください 	該当するものをすべて選択してください： <ul style="list-style-type: none"> ESRS GRI IFRS TCFD TNFD その他、具体的にお答えください 	該当するものをすべて選択してください： <ul style="list-style-type: none"> 気候変動 フォレスト ウォーター 生物多様性 	選択肢： <ul style="list-style-type: none"> 公表済み 作成中-前年分を添付 作成中 - 今年が作成初年度

5	6	7	8
内容	ページ/セクション参照	当該報告書を添付	コメント
該当するものをすべて選択してください： <ul style="list-style-type: none"> 環境方針の内容 ガバナンス 政策エンゲージメント 依存と影響 リスクと機会 戦略 バリューチェーンエンゲージメント 	文章記入欄[最大 500 字]	[ファイル添付]	文章記入欄[最大 1,500 字]

<ul style="list-style-type: none"> • 生物多様性指標[Bのみ] • 排出量[CCのみ] • 排出量目標[CCのみ] • 森林減少と転換なし(DCF)の状況評価指標[Fのみ] • 森林減少と転換のフットプリント[Fのみ] • コモディティ量 [Fのみ] • 水会計の数値[Wのみ] • 水質汚染指標[Wのみ] • その他、具体的にお答えください 			
--	--	--	--

モジュール 5: 事業戦略

モジュールの概要

モジュールの概要	<p>CDPのデータ利用者は、組織の将来を見据えた戦略や、将来の市場機会、公開された方針における目標、環境に関連する企業の責任に左右される財務上の意思決定に関心があります</p> <p>このモジュールでは、組織が環境課題を事業戦略に組み込んで行動したかどうかを開示することができます。シナリオ分析と移行計画に関する設問が含まれており、これは組織が環境リスクと機会の戦略的意味を理解するためのツールです。さらに、リスクと機会が財務・戦略計画に及ぼす影響、CAPEX/OPEXの調整、環境外部性の価格設定に関する質問も含まれています。</p> <p>また、CDPサプライチェーンメンバーからの回答要請に回答する組織のみに表示される協働の機会に関する質問(5.12と5.13)も含まれています。</p>
----------	--

シナリオ分析

(5.1) 貴組織は、環境上の結果を特定するためにシナリオ分析を使用していますか。

質問内容	
前年との比較	フォレスト: 新規質問 気候変動、ウォーター: 質問の修正(2023 C3.2, W7.3)
説明	シナリオ分析は、持続可能な経済への移行の一環として、組織の事業戦略策定に活用するための貴重なツールと考えられています。この質問では、貴社が環境関連の結果を特定するためにシナリオ分析を使用しているかどうかを確認するものであり、起こりうる未来に備えるビジネスにとって推奨される手法です。
回答方法	以下の表に記入してください

0	1	2	3	4
環境課題	シナリオ分析の使用	分析頻度	貴社がシナリオ分析を使用していない主な理由	貴組織がシナリオ分析を使用していない理由を説明してください
気候変動	選択肢: • はい • いいえ、しかし今後2年以内にそうする予定です • いいえ、また今後2年以内にそうする予定もありません	選択肢: • 年に1回以上 • 年に1回 • 2年に1回 • 3年に1回、またはそれ以下の頻度 • 定義なし • 初めて分析 • プロジェクト単位で実施	選択肢: • 内部リソース、能力、または専門知識の欠如(例: 組織の規模が原因) • 標準化された手順がない • 当面の戦略的優先事項ではない • 利用可能な方法論がない • データ不足 • 重要でない、関係ないと判断された • その他、具体的にお答えください	文章記入欄[最大2,500字]
フォレスト				
ウォーター				

(5.1.1) 貴組織のシナリオ分析で使ったシナリオの詳細を説明してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、質問 5.1 項の 1 列目「シナリオ分析の使用」のいずれかの行で「はい」を選択した場合にのみ表示されます。
前年との比較	フォレスト：新規質問 気候変動、ウォーター：質問の修正 (C3.2a, W7.3a)
説明	シナリオ分析は、持続可能な経済への移行の一環として、組織の事業戦略に活用できる貴重なツールと考えられています。この質問に対する貴組織の回答は、貴組織が事業戦略における環境上の課題や機会を検討する際に、様々な将来の可能性をどの程度考慮しているかを示すものです。
回答方法	以下の表に記入してください。表の下にある「行を追加」ボタンを使って行を追加することができます。

0	1	2	3	4	5	6
シナリオ分析の対象としている環境課題	使用シナリオ	シナリオと併用される SSP	シナリオへのアプローチ	シナリオ分析の対象範囲	シナリオで考慮されるリスクタイプ	シナリオの温度整合性
気候変動	選択肢： 気候移行シナリオ <ul style="list-style-type: none"> IEA NZE 2050 IEA B2DS IEA 2DS IEA 450 IEA SDS IEA APS IEA STEPS (旧 IEA NPS) IEA CPS Greenpeace DDP IRENA BNEF NEO NGFS シナリオ・フレームワーク (具体的に) 一般に公開されている気候シナリオをカスタマイズしたもの 特別に作成した気候移行シナリオ 物理的気候シナリオ <ul style="list-style-type: none"> RCP 1.9 RCP 2.6 RCP 3.4 RCP 4.5 RCP 6.0 RCP 7.0 RCP 8.5 一般に公開されている物理的気候シナリオをカスタマイズしたもの 特別に作成した物理的気候シナリオ 水のシナリオ <ul style="list-style-type: none"> WRI Aqueduct WWF ウォーター・リスク・フィルター 一般に公開されている水シナリオをカスタマイズしたもの 	選択肢： <ul style="list-style-type: none"> SSP1 SSP2 SSP3 SSP4 SSP5 SSP は使用しない 	選択肢： <ul style="list-style-type: none"> 定性的 定量的 定性的および定量的 	選択肢： <ul style="list-style-type: none"> 組織全体 事業部門 事業活動 施設 国・地域 製品レベル その他、具体的にお答えください 	該当するものすべてを選択してください： <ul style="list-style-type: none"> 急性の物理的リスク 慢性の物理的リスク 法的責任 市場 政策 評判 技術 	選択肢： <ul style="list-style-type: none"> 1.5°C 以下 1.6°C - 1.9°C 2.0°C - 2.4°C 2.5°C - 2.9°C 3.0°C - 3.4°C 3.5°C - 3.9°C 4.0°C 以上 不明

	<ul style="list-style-type: none"> 特別に作成した水シナリオ フォレストシナリオ 公開されているフォレストシナリオをカスタマイズしたもの 特別に作成したフォレストシナリオ 					
フォレスト						
ウォーター						
選択肢:						
<ul style="list-style-type: none"> 気候変動 フォレスト ウォーター 						

7	8	9	10	11
基準年	対象期間	シナリオのドライビングフォース(推進力)	シナリオの前提条件、不確実性、制約条件	このシナリオを選択した理由
[日付欄 1990-2023]	該当するものをすべて選択してください: <ul style="list-style-type: none"> 2025 2030 2040 2050 2060 2070 2080 2090 2100 その他、具体的にお答えください 	以下のドロップダウンリストから該当するものをすべて選択してください。	文章記入欄[最大 2,500 字]	文章記入欄[最大 2,500 字]

シナリオのドライビングフォース(9 列目)	
地域生態系資産の相互作用、依存、影響 <ul style="list-style-type: none"> 自然の状態の変化 影響を受けた生態系の数 生態系サービス提供の変化 変化のスピード(自然の状態および/または生態系サービスに対して) 気候変動(自然変動の 5 つの要因の 1 つ) その他の地域生態系資産の相互作用、依存、影響を具体的に示してください。 	規制当局、法制度、政策の体制 <ul style="list-style-type: none"> グローバルの規制 科学の政治的影響 アクションレベル(地域からグローバルレベルまで) グローバル目標 科学に基づく目標の方法論と期待 その他の規制当局、法制度、政策の体制を具体的に示してください 関連技術と科学 <ul style="list-style-type: none"> 利用可能なデータの粒度 データ体制(クローズドからオープンへ) その他の関連技術や科学を具体的に記入ください。 気候との直接的な相互作用 <ul style="list-style-type: none"> 資産価値、企業価値 気候レジームの有効性の認識 その他の気候との直接的な相互作用を具体的に示してください。 マクロ経済とミクロ経済 <ul style="list-style-type: none"> 国内成長 グローバル化する市場 その他のマクロ経済およびミクロ経済を具体的に記入ください
金融・保険 <ul style="list-style-type: none"> 資本コスト 資本の感応度(自然の影響と依存に対して) その他の金融・保険を具体的に示してください 	
ステークホルダーと顧客の要求 <ul style="list-style-type: none"> 消費者心理 影響に対する消費者の関心 自然フットプリントが評価に与える影響 自然サービスの提供が消費者に与える影響 自然への影響の不公平さに対する感受性 その他のステークホルダーと顧客の要求を具体的に記入ください 	

(5.1.2) 貴組織のシナリオ分析の結果の詳細を説明してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、質問 5.1 項の 1 列目「シナリオ分析の使用」のいずれかの行で「はい」を選択した場合にのみ表示されます。
前年との比較	フォレスト、ウォーター:新 k に質問 気候変動:質問の修正(2023 C3.2b)
説明	データ利用者は、シナリオ分析の結果が、企業の事業戦略や財務計画、リスクや機会の特定、評価、管理にどのような影響を与えたかに関心があります。また、報告されたシナリオにおいて、貴組織の戦略やビジネスモデルがどの程度弾力的であるかを理解したいと考えています。
回答方法	以下の表に記入してください

0	1	2	3
課題	シナリオの分析により影響を受けた事業プロセス	分析対象範囲	シナリオ分析の結果と他の環境課題への示唆について説明してください
気候変動	該当するものをすべて選択してください: <ul style="list-style-type: none"> ● リスクと機会の特定、評価、管理 ● 戦略と財務計画 ● ビジネスモデルと戦略のレジリエンス ● キャパシティビルディング ● 目標設定と移行計画 ● その他、具体的にお答えください ● シナリオ分析はビジネスプロセスに影響を与えていない 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> ● 組織全体 ● 事業部門 ● 事業活動 ● 施設 ● 国・地域 ● 製品レベル ● その他、具体的にお答えください 	文章記入欄[最大 5,000 字]
フォレスト			
ウォーター			

移行計画

(5.2) 貴組織の戦略には、気候移行計画が含まれていますか。

質問内容	
前年との比較	質問の修正(2023 C3.1)
説明	気候移行計画の策定は、データ利用者に対して、組織が長期的かつグローバルな気候目標に整合しており、そのビジネスモデルがネット・ゼロ・カーボン経済においても適切であり続けるという確証を与えます。また、気候移行計画に関するフィードバックを収集することで、株主は、進捗状況を確認し、決議することができます。この質問では、組織の移行計画や関連するフィードバックの仕組みに関する透明性を提供することができます。

1	2	3	4	5	6
移行計画	移行計画が整合している気温上昇	気候移行計画の公開	化石燃料の拡大に寄与する活動への支出やそこから得られる収入をすべて停止することに明確にコミットしていますか	コミットメントに含まれる活動およびコミットメントの実施内容	貴組織が、化石燃料の拡大に寄与する活動へのすべての支出およびそこから生じる収益の停止を明示的にコミットしない理由を説明してください

<p>選択肢:</p> <ul style="list-style-type: none"> • はい、気温上昇 1.5 度以下に抑えることに整合した気候移行計画があります • いいえ、しかし異なる気温上昇に整合した気候移行計画があります • いいえ、しかし 2 年以内に気候移行計画を作成する予定です • いいえ、2 年以内に気候移行計画を作成する予定はありません 	<p>選択肢:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 2°Cを十分に下回る • 2°Cに整合 • その他、具体的にお答えください 	<p>選択肢:</p> <ul style="list-style-type: none"> • はい • いいえ 	<p>選択肢:</p> <ul style="list-style-type: none"> • はい • いいえ、しかし今後 2 年以内に明確なコミットメントを加える予定です • いいえ、今後 2 年以内に明確なコミットメントを追加する予定もありません 	<p>文章記入欄[最大 2,500 字]</p>	<p>文章記入欄[最大 2,500 字]</p>
---	---	---	--	--------------------------	--------------------------

7	8	9	10	11	12
<p>気候移行計画について株主からフィードバックを収集する仕組み</p>	<p>フィードバック・メカニズムの説明</p>	<p>フィードバック収集の頻度</p>	<p>移行計画が依拠する主要な前提条件および依存の説明</p>	<p>現在または過去の報告期間に開示された移行計画に対する進捗状況の説明</p>	<p>気候移行計画を詳述する関連書類を添付してください(任意)</p>
<p>選択肢:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 年次総会(AGM)で気候移行計画が議決される • 気候移行計画は年次総会で議決され、さらにフィードバック・メカニズムも導入している • 私たちは異なるフィードバックの仕組みを持っている • フィードバックの仕組みはないが、今後 2 年以内に導入する予定です • フィードバックの仕組みを導入していないし、今後 2 年以内に導入する予定もない • 当組織には株主がないため、該当しない 	<p>文章記入欄[最大 2,500 字]</p>	<p>選択肢:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 年 1 回以上の頻度 • 年 1 回 • 年 1 回未満の頻度 	<p>文章記入欄[最大 2,000 字]</p>	<p>文章記入欄[最大 3,000 字]</p>	<p>[ファイル添付]</p>

13	14	15	16
<p>気候移行計画が考慮するその他の環境課題</p>	<p>気候移行計画において、その他の環境課題がどのように考慮されているかを説明してください</p>	<p>1.5°Cに整合した気候移行計画を持たない主な理由</p>	<p>貴組織が 1.5°Cに沿った気候移行計画を持たない理由を説明してください</p>
<p>該当するものをすべて選択してください:</p> <ul style="list-style-type: none"> • フォレスト • プラスチック • ウォーター • 生物多様性 • その他、具体的にお答えください • その他の環境課題は考慮されていない 	<p>文章記入欄[最大 2,500 字]</p>	<p>選択肢:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 内部リソース、能力、または専門知識の欠如(例: 組織の規模が原因) • 標準化された手順がない • 当面の戦略的優先事項ではない • 重要でない、関係ないと判断された • その他、具体的にお答えください 	<p>文章記入欄[最大 2,500 字]</p>

リスクと機会が戦略と財務計画に及ぼす影響

5.3 環境リスクと機会は、戦略および/または財務計画に影響を及ぼしましたか。

質問内容

他の質問との関連性	この質問は、質問 3.1[環境リスクの特定]欄または質問 3.6 の[環境機会の特定]欄で「はい」を選択した場合のみ表示されます。
前年との比較	新規質問
説明	この質問では、組織が環境課題を業務レベルだけでなく、事業の戦略的レベルで検討し、対応しているかどうかを示すことができます。

1	2	3	4
環境リスクおよび/または機会が戦略および/または財務計画に影響を及ぼしましたか	環境リスクおよび/または機会が貴組織の戦略に影響を及ぼしている事業分野	環境リスクおよび/または機会が戦略および/または財務計画に影響を及ぼしていない主な理由	環境リスクおよび/または機会が、戦略および/または財務計画に影響を及ぼしていない理由を説明してください。
選択肢: <ul style="list-style-type: none"> はい、戦略のみ はい、財務計画のみ はい、戦略と財務計画の両方 環境リスクと機会が組織の戦略と財務計画に影響を与えたかどうかは評価していないが、今後 2 年以内に評価する予定である。 環境リスクや機会が組織の戦略や財務計画に影響を及ぼしているかどうかを評価しておらず、今後 2 年以内に評価する予定もない。 いいえ 	該当するものをすべて選択してください: <ul style="list-style-type: none"> 製品とサービス バリューチェーン上流/下流 研究開発への投資 操業 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 内部リソース、能力、または専門知識の欠如（例: 組織の規模が原因） 標準化された手順がない 当面の戦略的優先事項ではない 重要でない、関係ないと判断された その他、具体的にお答えください 	文章記入欄[最大 2,500 字]

[固定列]

5.3.1 環境リスクと機会が貴社の戦略のどの部分でどのように影響を及ぼしたのか、説明してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、質問 5.3 の「環境リスクおよび/または機会が戦略および/または財務計画に影響を及ぼしましたか」の欄で、「はい、戦略のみ」または「はい、戦略と財務計画の両方」を選択した場合にのみ表示されます。
前年との比較	質問の修正(2023 C3.3、F5.1、FW-FS3.1、W7.1)
説明	この質問を通じて、データ利用者は、特定された環境リスクと機会が組織の戦略にどのような影響を与えたかを理解できます。この質問に対する回答は、貴組織の将来のパフォーマンスや、貴組織の戦略が環境リスクや機会に対してどの程度弾力性があるかについての予想に利用される可能性があります。

1	2	3	4
事業領域	影響の種類	どの環境課題のリスクおよび/または機会が貴社のこの領域における戦略に影響を及ぼしましたか	環境リスクおよび/または機会が、この領域における貴社の戦略にどのような影響を及ぼしたかを説明してください。

製品とサービス	該当するものをすべて選択してください： <ul style="list-style-type: none">• リスク• 機会	該当するものをすべて選択してください： <ul style="list-style-type: none">• 気候変動• フォレスト• ウォーター	文章記入欄[最大 3,000 字]
バリューチェーン上流/下流			
研究開発への投資			
操業			
選択肢： <ul style="list-style-type: none">• 製品とサービス• バリューチェーン上流/下流• 研究開発への投資• 操業			

5.3.2 環境リスクと機会が財務計画のどの部分でどのように影響を及ぼしたのか、説明してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、質問 5.3 の「環境リスクおよび/または機会が戦略および/または財務計画に影響を及ぼしましたか」の欄で、「はい、財務計画のみ」または「はい、戦略および財務計画の両方」を選択した場合にのみ表示されます。
前年との比較	質問の修正(2023 C3.4, F5.1, W7.1)
説明	環境課題は、現在と将来の両方において、組織の財務ポジションとパフォーマンスの側面に影響を与える可能性があります。この質問を通じて、データ利用者は、特定された環境リスクと機会が財務状況にどのような影響を及ぼしているか、また、それが財務計画プロセスにどのように組み込まれ、対処されているかを理解しようとしています。

1	2	3	4
影響を受けた財務計画の要素	影響の種類	どの環境課題のリスクおよび/または機会がこれらの財務計画の要素に影響を及ぼしましたか	環境リスクおよび/または機会が、これらの財務計画の要素にどのような影響を与えたかを説明してください
該当するものをすべて選択してください： <ul style="list-style-type: none">• 売上• 直接費• 間接費• 資本支出• 資本配分• 買収と売却• 資本へのアクセス• 資産• 負債• その他、具体的にお答えください	該当するものをすべて選択してください： <ul style="list-style-type: none">• リスク• 機会	該当するものをすべて選択してください： <ul style="list-style-type: none">• 気候変動• フォレスト• ウォーター	文章記入欄[最大 2,500 字]

CAPEX/OPEXの整合性

(5.4) 貴組織の財務会計において、気候移行計画に沿った支出／売上を確認していますか。

質問内容	
前年との比較	質問の修正(2023 C3.5)
説明	組織は、自らの支出と売上が気候移行計画を支えているかどうかを認識する必要があります。サステナブルファイナンス・タクソミーによって持続可能と定義された活動、プロジェクト、または資産に基づいてこのような評価を行うことで、気候変動の緩和および適応についてのコミットメントの進捗状況を知ることができることに加えて、それへの信用性を高めることができます
回答方法	以下の表に記入してください。

1	2	3
組織の気候移行計画に沿った支出／売上の特 定	組織の気候移行計画との整合性を評価 するために使用した方法論またはフレ ームワーク	サステナブルファイナンス・タクソミ ーと支出／売上の整合性のレベル
選択肢: ● はい ● いいえ、しかし今後 2 年以内に行う予定で す ● いいえ、そして今後 2 年以内に行う予定はあ りません	該当するものをすべて選択してくださ い: ● サステナブルファイナンス・タクソミ ー ● その他の方法論またはフレームワーク	選択肢: ● 全社レベルおよび事業活動レ ベルの両方で ● 全社レベルのみで

(5.4.1) 貴組織の気候移行計画に整合した支出・売上の金額と割合を定量化してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この設問は、質問 5.4「組織の気候移行計画に沿った支出／売上の特定」の欄で「はい」を選 択した場合のみ表示されます。
前年との比較	質問の修正(2023 C3.5a)
説明	この設問は、サステナブルファイナンス・タクソミーやその他の方法論に照らし合わせ、組織 の支出や売上が、気候移行計画にどの程度整合しているかを示すものです。このような報告 は、気候変動に関連する組織の財務計画から、グリーンウォッシュを排除することを目的とし ています。
回答方法	以下の表に記入してください。表の下にある「行を追加」ボタンを使って行を追加することがで きます。

1	2	3	4
整合性の評価に使用した 手法またはフレームワーク	報告される情報に適用さ れるタクソミー	整合性が報告される目的	選択した目的に対して適格性 情報を報告していますか
選択肢: ● サステナブルファイナ ンス・タクソミー ● その他、具体的にお答 えください	選択肢: ● EU タクソミー ● その他、具体的にお答 えください	選択肢: ● 気候変動緩和 ● 気候変動適応 ● 気候変動緩和と気候変動適応につ いて総合的に	選択肢: ● はい ● いいえ

5	6	7	8	9
財務指標	選択した財務指標について、報告年に整合するものの金額(通貨)	選択した財務指標について報告年に整合するものの割合(%)	選択した財務指標について2025年に整合している予定の割合(%)	選択した財務指標について2030年に整合している予定の割合(%)
選択肢: ●売上高 ●CAPEX ●OPEX ●その他、具体的にお答えください	数値記入欄[0~999,999,999,999,999の数値を小数点以下2桁以内で入力してください。]	パーセンテージ欄[小数点以下2桁以内で0~100のパーセンテージを入力]	パーセンテージ欄 [小数点以下2桁以内で0~100のパーセンテージを入力]	パーセンテージ欄 [小数点以下2桁以内で0~100のパーセンテージを入力]。

10	11	12
報告年において、タクソミー上適格とされる財務指標の割合(%)	報告年度においてタクソミー上非適格とされた財務指標の割合(%)	組織の気候移行計画の整合性を評価するために使用した方法論またはフレームワークの詳細
パーセンテージ欄[小数点以下2桁以内で0~100のパーセンテージを入力]	パーセンテージ欄[小数点以下2桁以内で0~100のパーセンテージを入力]。	文章記入欄[最大4,000字]

[行を追加]

(5.4.2) 報告年に、サステナブルファイナンス・タクソミーの下で、適格かつ整合性のある活動に関連した支出／収益の割合を定量化してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、5.4.の「サステナブルファイナンス・タクソミーと支出／売上の整合性のレベル」の欄で「全社レベルおよび事業活動レベルの両方で」を選択した場合にのみ表示されます。
前年との比較	質問の修正(2023 C3.5b)
説明	この質問により、組織は、サステナブルファイナンス・タクソミーによりサステナブルな活動と定義された活動に対して、どの程度の支出や売上があるのかを示すことができます。このようなエビデンスは、気候変動に関連する財務報告において組織が用いている会計慣行の透明性を高めるために極めて重要です。
回答方法	以下の表に記入してください。表の下にある「行を追加」ボタンを使って行を追加することができます。

1	2	3	4	5
経済活動	情報が報告されるタクソミー	タクソミーとの整合	財務指標	実質的な貢献の種類
以下のドロップダウンメニューからお選びください。	選択肢: ●EUタクソミー ●その他、具体的にお答えください	選択肢: ●タクソミーと整合 ●タクソミーと整合していないが、適格である ●タクソミーの整合性や適格性を評価していない	該当するものをすべて選択してください: ●売上高 ●CAPEX ●OPEX	該当するものをすべて選択してください: ●自身のパフォーマンス ●適応活動 ●移行活動 ●緩和を可能にする活動

				● 適応を可能にする活動
--	--	--	--	--------------

6	7	8
報告年において、タクソミーと整合した当該経済活動による売上高(通貨ベース)	報告年において、タクソミーと整合した当該経済活動による売上高の総売上高に占める割合	報告年の総売上高に占める、気候変動緩和に実質的に貢献した活動からの売上高(タクソミーに基づく)
数値記入欄[0~999,999,999,999の数値を小数点以下2桁以内で入力]。	パーセンテージ・フィールド[小数点以下2桁以内で0~100のパーセンテージを入力]。	パーセンテージ欄[小数点以下2桁以内で0~100のパーセンテージを入力]

9	10	11	12	13	14	15	16
報告年の総売上高に占める、気候変動適応に実質的に貢献した活動からの売上高(タクソミーに基づく)	報告年においてこの活動から生じた売上高のうち、タクソミー適格だが、整合していないものの金額(通貨ベース)	報告年の総売上高に占める、この活動から生じた売上高のうち、タクソミー適格だが、整合していないものの割合	報告年の総売上高に占めるこの活動から生じた売上高のうち、タクソミー適格だが、整合性を評価していないものの割合	報告年において、タクソミーに整合した当該経済活動によるCAPEX(通貨ベース)	報告年において、タクソミーと整合した当該経済活動によるCAPEXの総CAPEXに占める割合	報告年における総CAPEXに占める、気候変動緩和に実質的に貢献した活動からのCAPEXの割合(タクソミーに基づく)	報告年における総CAPEXに占める、気候変動適応に実質的に貢献した活動からのCAPEXの割合(タクソミーに基づく)
パーセンテージ欄[小数点以下2桁以内で0~100のパーセンテージを入力]。	数値記入欄[0~999,999,999,999の数値を小数点以下2桁以内で入力]。	パーセンテージ欄[小数点以下2桁以内で0~100のパーセンテージを入力]。	パーセンテージ欄[小数点以下2桁以内で0~100のパーセンテージを入力]。	数値記入欄[0~999,999,999,999の数値を小数点以下2桁以内で入力]。	パーセンテージ欄[小数点以下2桁以内で0~100のパーセンテージを入力]。	パーセンテージ欄[小数点以下2桁以内で0~100のパーセンテージを入力]。	パーセンテージ欄[小数点以下2桁以内で0~100のパーセンテージを入力]。

17	18	19	20	21
報告年において、この活動に関連するCAPEXのうち、タクソミー適格だが整合していないもの(通貨ベース)	報告年の総CAPEXに占める、この活動に関連するタクソミー適格だが整合していないCAPEXの割合	報告年の総CAPEXに占める、タクソミー適格だが整合性を評価していないCAPEXの割合。	報告年におけるタクソミーに整合した当該活動によるOPEX(通貨)	報告年における総OPEXに占める、タクソミーに整合した当該活動によるOPEXの割合
数値記入欄[0~999,999,999,999,999の数値を小数点以下2桁以内で入力]。	パーセンテージ欄[小数点以下2桁以内で0~100のパーセンテージを入力]。	パーセンテージ欄[小数点以下2桁以内で0~100のパーセンテージを入力]。	数値記入欄[0~999,999,999,999の数値を小数点以下2桁以内で入力]。	パーセンテージ欄[小数点以下2桁以内で0~100のパーセンテージを入力]。

22	23	24	25	26
----	----	----	----	----

報告年の総 OPEX に占める、気候変動緩和に実質的に貢献した本活動の OPEX の割合(タクソミーに基づく)	報告年の総 OPEX に占める、気候変動適応に実質的に貢献した本活動の OPEX の割合(タクソミーに基づく)	報告年におけるタクソミー適格だが整合していない当該活動に関連する OPEX(通貨)	報告年の総 OPEX に占める、タクソミー適格だが整合していない当該活動に関連する OPEX の割合	報告年の総 OPEX に占める、タクソミー適格だが整合性を評価していない当該活動に関連する OPEX の割合
パーセンテージ欄 [小数点以下 2 桁以内で 0~100 のパーセンテージを入力]。	パーセンテージ欄 [小数点以下 2 桁以内で 0~100 のパーセンテージを入力]。	数値記入欄 [0~999,999,999,999 の数値を小数点以下 2 桁以内で入力]。	パーセンテージ欄 [小数点以下 2 桁以内で 0~100 のパーセンテージを入力]。	パーセンテージ欄 [小数点以下 2 桁以内で 0~100 のパーセンテージを入力]。

27	28	29	30	31	32	33
計算方法および補足情報	実質的な貢献基準を満たしていますか	実質的な貢献の基準の分析の詳細	有害な損害を与えないという要件を満たしていますか	有害な損害を与えていないという分析の詳細	最低限のセーフガード遵守要件を満たしていますか	説明となる証拠を添付してください
文章記入欄 [最大 2,500 字]	選択肢: • はい • いいえ	文章記入欄 [最大 2,500 字]	選択肢: • はい • いいえ	文章記入欄 [最大 2,500 字]	選択肢: • はい • いいえ	[ファイル添付]

[行を追加]

経済活動(1 列目)		
<ul style="list-style-type: none"> 建物の取得と所有 植林 航空輸送のグランドハンドリング業務 空港インフラ バイオ廃棄物の嫌気性消化 下水汚泥の嫌気性消化 市場調査、開発、革新に近い バイオエネルギーによる冷暖房と電力のコージェネレーション 地熱エネルギーによる冷暖房と電力のコージェネレーション 再生可能な非化石気体・液体燃料による冷暖房と電力のコージェネレーション 太陽エネルギーによる冷暖房と電力のコージェネレーション 発生源ごとに分別された非有害廃棄物の収集・運搬 バイオ廃棄物の堆肥化 コンピュータ・プログラミング、コンサルタント業務および関連業務 保全林業 利用可能な最善の技術を用いた、水素製造を含む電気または熱の生成のための、新しい原子力発電所の建設と安全な運転。 新しいビルの建設 廃水収集・処理の建設、拡張、運営 集水、処理、供給システムの建設、拡張、運営 	<ul style="list-style-type: none"> 貨物鉄道輸送 道路による貨物輸送サービス 化石ガス燃料からの冷暖房と電力の高効率コージェネレーション 低炭素水輸送を可能にするインフラ 低炭素道路交通と公共交通を可能にするインフラストラクチャー 道路交通と公共交通を可能にするインフラ パーソナル・モビリティのためのインフラ、サイクル・ロジスティクス 鉄道輸送インフラ 水運インフラ 内陸貨物水輸送 内陸旅客水運 電気ヒートポンプの設置と運転 ビル(およびビルに付属する駐車スペース)内の電気自動車用充電ステーションの設置、保守、修理 エネルギー効率機器の設置、メンテナンス、修理 建築物のエネルギー性能の測定、調整、制御のための機器および装置の設置、保守、修理 再生可能エネルギー技術の設置、メンテナンス、修理 埋立地ガスの回収と利用 航空機のリース 図書館、公文書館、博物館、文化活動 	<ul style="list-style-type: none"> 非有害廃棄物からの物質回収 映画、ビデオ、テレビ番組の制作、録音、音楽出版活動 損害保険:気候関連危険の引受け パーソナルモビリティデバイスの操作、サイクルロジスティクス 旅客・貨物航空輸送 旅客都市間鉄道輸送 燃料サイクルからの廃棄物を最小限に抑え、原子力プロセスからエネルギーを生産する先進技術の商業化前段階 バイオエネルギーからの冷暖房生産 効率的な地域冷暖房システムにおける化石ガス燃料からの冷暖房生産 地熱エネルギーによる冷暖房生産 再生可能な非化石気体・液体燃料からの冷暖房生産 太陽熱暖房による冷暖房の生産 廃熱を利用した冷暖房の生産 建物のエネルギー性能に関する専門的サービス 番組・放送活動 異常気象後の森林再生や自然林再生を含む森林の復旧・復興 再保険 廃水収集・処理の更新 集水、処理、供給システムの更新 既存建物の改修

<ul style="list-style-type: none"> 物理的な気候リスク管理と適応のためのコンサルティング 創造、芸術、娯楽活動 データ処理、ホスティングおよび関連業務 GHG 排出削減のためのデータ主導型ソリューション 海水淡水化 災害リスク管理 - 緊急サービス 地域冷暖房分配 教育 バイオエネルギーによる発電 化石ガス燃料による発電 地熱発電 水力発電による発電量 既存施設における原子力発電 海洋エネルギー技術による発電 再生可能な非化石気体・液体燃料による発電 風力発電による発電量 集光型太陽熱発電(CSP)技術による発電 太陽光発電技術による発電 気候変動への適応に特化したエンジニアリング活動および関連技術コンサルタント業務 洪水リスク防止・保護インフラ 森林管理 	<ul style="list-style-type: none"> 低炭素空港インフラ アルミニウム製造 無水アンモニアの製造 自動車部品およびモビリティ部品の製造 電池製造 輸送用バイオガス、バイオ燃料、バイオリキッドの製造 カーボンブラックの製造 セメント製造 塩素の製造 建築用エネルギー効率機器の製造 水素製造・使用装置の製造 水素の製造 鉄鋼業 輸送用低炭素技術の製造 硝酸の製造 有機基礎化学品の製造 その他の低炭素技術の製造 プラスチックの一次加工 鉄道車両の製造 再生可能エネルギー技術の製造 ソーダ灰の製造 気候変動緩和への実質的な貢献をもたらす、または可能にする送電・配電用の高圧・中圧・低圧電気機器の製造、設置、サービス 航空機製造 	<ul style="list-style-type: none"> CO2 の直接空気回収のための研究開発および技術革新 レジデンシャル・ケア活動 湿地の修復 内陸水運の旅客・貨物輸送の改修 海上および沿岸の貨物・旅客水運の改修 海上・沿岸貨物水輸送、港湾業務用船舶および補助活動 海運・沿岸旅客水運 物理的な気候リスク管理と適応を可能にするソフトウェア 電気の貯蔵 水素の貯蔵 熱エネルギーの貯蔵 再生可能・低炭素ガス用の送配電ネットワーク 送電・配電 バイク、乗用車、小型商用車による輸送 CO2 の輸送 CO2 の地下永久地中貯留 都市・郊外輸送、道路旅客輸送
--	---	---

(5.4.3) 貴組織のタクソミーへの整合性に関連する追加的な情報および／または検証／保証情報を提供してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、5.4 の「組織の気候移行計画との整合性を評価するために使用した方法論またはフレームワーク」欄で「サステナブルファイナンス・タクソミー」を選択した場合にのみ表示されます。
前年との比較	質問の修正(2023 C3.5c)
説明	この質問は、データ利用者が、サステナブルファイナンス・タクソミーと支出／売上の整合性について、組織が提供する情報を解釈するのに役立ちます。保証と検証は、報告されたデータの正確性に対する信頼を提供するものです。
回答方法	以下の表に記入してください。

1	2	3	4
最低限のセーフガード分析の詳細	タクソミーの整合性に関するその他の背景情報	質問 13.1 でタクソミーの整合性に関連する検証／保証情報を提供しますか。	質問 13.1 でタクソミーの整合性に関連する検証／保証情報を提供しない理由を説明してください。
文章記入欄[最大 2,500 字]	文章記入欄[最大 2,500 字]	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> はい いいえ 	文章記入欄[最大 2,500 字]

[固定列]

CAPEXとOPEXの動向

(5.9) 報告年における、貴組織の水関連の CAPEX と OPEX の動向、および報告年の次年度に予想される動向を教えてください。

質問内容	
前年との比較	変更なし(2023 W7.2)
説明	この情報によって、事業にとっての水の価値に対する戦略的理解が高まります。CDP データ利用者は、資本支出と事業支出の方向性を示すことで、潜在的なエクスポージャーを理解することができます。この質問では、絶対値ではなく、傾向の報告を求めています。この質問では、水関連投資と運営コストの変化を明らかにしています。ここで提供される情報は、リスク対応戦略や事業機会(質問 3.1 と 3.6 で報告)について提供される情報と一致すべきです。
回答方法	以下の表に記入してください:

1	2	3	4	5
水関連のCAPEX (増減率)	CAPEXの今後の予想トレンド(±変化率)	水関連のOPEX (増減率)	OPEXの今後の予想トレンド(±変化率)	説明してください
パーセンテージ欄[0 から +/- 999,999,999,999 までのパーセンテージを小数点以下 2 桁以内で入力]。	文章記入欄[最大1,000字]			

環境外部性の価格設定

セクション概要

セクション概要	<p>環境外部性のインターナルプライシングは、環境リスクと機会の評価において組織をサポートする有用なツールとなっています。生産と消費の環境影響は、市場価格に反映されないことがおおくあります。環境外部性のインターナルプライシングを導入することで、組織は生産と消費の真のコストを内部化することを目指します。例えば、組織は、炭素や水のインターナルプライシングの設定メカニズムを財務計画や予算に組み入れることで、炭素排出量や水消費量に対する説明責任を確保することができます。</p> <p>データ利用者は、組織がどのように環境リスクや機会に金銭的価値を与えているかを理解したいと考えています。このセクションの質問に対する報告に関する詳しいガイダンスについては、CDP のテクニカルノート「カーボン・プライシング」を参照してください。</p>
---------	--

(5.10) 貴組織は、環境外部性についてインターナルプライシングを設定していますか。

質問内容	
前年との比較	気候変動、ウォーター: 質問の修正(2023 C11.3, W7.4)
説明	環境外部性のインターナルプライシング(すなわち、炭素価格や水価格)は、組織が環境リスクと機会を評価するのを支援する多面的なツールとなっています。データ利用者は、組織がどのようにしてこれらのリスクに金銭的価値を与え、それを統一的な指標に置き換えているかを理解したいと

	考えています。こうした外部性に内部価格を適用することは、組織が効率化の機会を理解し、将来の潜在的な価格変動に備えるのに役立ちます。
回答方法	以下の表に記入してください：

1	2	3	4	5	6
環境外部性のインターナルプライシングの利用	プライシングを設定している環境外部性の種類	環境外部性にプライシングを設定しない主な理由	環境外部性にプライシングを設定しない理由を説明してください	その他の環境外部性のプライシング設定	その他の環境外部性のプライシングの詳細を説明してください。
選択肢： ・ はい ・ いいえ、しかし今後2年以内にそうする予定です ・ いいえ、また今後2年以内にそうする予定もありません	該当するものをすべて選択してください： ・ 炭素 ・ 水 ・ その他	選択肢： ・ 内部リソース、能力、または専門知識の欠如（例：組織の規模が原因） ・ 標準化された手順がない ・ 当面の戦略的優先事項ではない ・ 重要でないか、関連性がないと判断した ・ その他、具体的にお答えください	文章記入欄[最大1,500字]	該当するものをすべて選択してください： ・ フォレスト ・ プラスチック ・ 生物多様性 ・ ウォーター ・ その他、具体的にお答えください	文章記入欄[最大2,500字]

[固定列]

(5.10.1) 貴組織のインターナルカーボンプライシングの詳細を説明してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、5.10の2列目「プライシングを設定している環境外部性の種類」で「炭素」を選択した場合のみ表示されます。
前年との比較	質問の修正(2023 C11.3a)
説明	環境外部性に対するインターナルプライシング(例えば、カーボンプライシング)は、組織の業務、バリューチェーン、投資における環境リスクと機会を管理するツールとして利用することができます。組織のレジリエンスを評価する一環として、データ利用者は、組織がインターナルカーボンプライシングをどのように利用しているかを知ることは有用です。この情報によって、データ利用者は、組織が環境目標を達成するために、インターナルカーボンプライシングをどの程度効果的に導入しているかを評価することができます。
回答方法	以下の表を完成させてください。表の下にある「行を追加」ボタンを使って行を追加することができます。

1	2	3	4	5	6
プライシングの種類	インターナルプライシングを導入する目的	価格決定時に考慮される要素	価格決定における計算方法と前提条件	対象範囲	使用した価格設定手法 - 空間的変動
選択肢： ・ シャドウプライス ・ 社内費用 ・ 社内取引 ・ 暗示的価格 ・ その他、具体的にお答えください	該当するものをすべて選択してください： ・ 費用便益分析の実施 ・ エネルギー効率の向上 ・ 低炭素投資の推進 ・ 意思決定における気候関連問題の検討を奨励する	該当するものをすべて選択してください： ・ 国際基準への適合 ・ 科学的ガイダンスとの整合性 ・ 炭素税の価格との整合性 ・ 排出量取引制度における排出枠価格との整合性	文章記入欄[最大1,500字]	該当するものをすべて選択してください： ・ スコープ1 ・ スコープ2 ・ スコープ3、カテゴリ1 - 購入した商品およびサービス ・ スコープ3、カテゴリ2 - 資本財	選択肢： ・ 差異化 ・ 同一 ・ その他、具体的にお答えください

	<ul style="list-style-type: none"> リスク評価における気候関連問題の検討を奨励する 資金調達機会の特定と評価 低炭素化の機会を特定し、利用する 戦略や財務計画に影響を与える 規制をナビゲートする バリューチェーン上流の排出量削減 気候関連方針・目標の設定・達成 カーボンオフセット予算の設定 ストレステスト投資 既存のローンやクレジット・ラインの信用リスク評価を行う 新規ローンの信用リスク評価を行う 既存ローンの期間更新のための信用リスク評価に情報を提供する。 企業エンゲージメント/スチュワードシップの目的で社内価格を使用する その他、具体的にお答えください 	<ul style="list-style-type: none"> 炭素価格国境調整メカニズムとの整合性 同業他社とのベンチマーキング 気候関連目標達成に必要な対策コスト 既存または係争中の法律 経営判断に重大な影響を与える価格 再生可能エネルギー調達の価格/コスト 自主的なカーボン・オフセット・クレジットの価格/コスト シナリオ分析 気候関連影響の社会的コスト その他、具体的にお答えください 		<ul style="list-style-type: none"> スコープ 3、カテゴリ-3 - 燃料およびエネルギー関連活動(スコープ 1 または 2 に含まれない) スコープ 3、カテゴリ-4 - 上流の輸送と物流 スコープ 3、カテゴリ-5 - 操業から発生する廃棄物 スコープ 3、カテゴリ-6 - 出張 スコープ 3、カテゴリ-7 - 従業員の通勤 スコープ 3、カテゴリ-8 - 上流のリース資産 スコープ 3、カテゴリ-9 - 下流の輸送と物流 スコープ 3、カテゴリ-10 - 販売製品の加工 スコープ 3、カテゴリ-11 - 販売製品の使用 スコープ 3、カテゴリ-12 - 販売製品の使用済み処理 スコープ 3、カテゴリ-13 - 下流のリース資産 スコープ 3、カテゴリ-14 - フランチャイズ スコープ 3、カテゴリ-15 - 投資 スコープ 3、その他(上流) スコープ 3、その他(下流) 	
--	--	---	--	--	--

7	8	9	10	11	12
価格が差異化されている方法と理由を説明してください	使用した価格決定手法 - 時間軸上の変動	時間の経過とともに価格がどのように変化すると予想されるか説明してください	使用された実際の価格(1トン CO ₂ e 当たり)-最小	使用された実際の価格(1トン CO ₂ e 当たり)-最大	インターナルプライシングが適用されるビジネス上の意思決定プロセス
文章記入欄[最大 1,500 字]	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 変動型 固定型 その他、具体的にお答えください 	文章記入欄[最大 1,500 字]	数値記入欄[0~999,999 の数値を小数点以下 2 桁まで、カンマなしで入力する]	数値記入欄[0~999,999 の数値を小数点以下 2 桁まで、カンマなしで入力する]	該当するものをすべて選択してください: <ul style="list-style-type: none"> 資本支出 依存の管理 インパクト・マネジメント 操業 調達 製品および研究開発報酬 リスク管理 機会管理 バリューチェーンエンゲージメント 政策エンゲージメント その他、具体的にお答えください

13	14	15	16
ビジネス上の意思決定プロセスにおいて、インターナルプライシングは必須ですか	このインターナルプライシングが対象とするスコープにおける報告年の総排出量の割合	価格設定の手法は目標達成のためにモニタリングされ、評価されていますか	目標達成のための価格設定手法のモニタリング、評価方法の詳細

選択肢: <ul style="list-style-type: none"> はい、すべての意思決定プロセスにおいて はい、いくつかの意思決定プロセスについて(具体的に記載してください) いいえ 	パーセンテージ欄[小数点以下2桁以内で0~100のパーセンテージを入力]。	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> はい いいえ 	文章記入欄[最大 2,500 字]
--	---------------------------------------	---	-------------------

[行を追加]

(5.10.2)貴組織のインターナルウォータープライシングの詳細を回答してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、5.10の2列目「プライシングを設定している環境外部性の種類」で「ウォーター」を選択した場合のみ表示されます。
前年との比較	質問の修正(2023 W7.4)
説明	世界の多くの地域では、今日の市場において水の真の価値が説明されていません。また、処理と供給にかかるコスト、機会費用、環境・社会的コストも十分に把握されていません。水がますます不足し、争奪戦が激化するにつれ、企業にとっては水の価格上昇に直面する可能性があります。組織の水供給コストをより正確に反映したインターナルウォータープライシングを適用することで、効率化の機会を把握し、将来の潜在的な価格変動に備えることができます。 組織のレジリエンスを評価する一環として、データ利用者は、組織がインターナルウォータープライシングを使用しているかどうかを知ることが有用です。この情報によって、データ利用者は、組織が環境目標を達成するために、インターナルウォータープライシングをどの程度効果的に実施しているかを評価することができます。
回答方法	以下の表に記入してください。表の下にある「行を追加」ボタンを使って行を追加することができます。

1	2	3	4	5	6
価格設定の種類	インターナルプライシングを導入する目的	価格には、現在の市場価格以外の要素も考慮されていますか。	価格決定時に考慮される要素	価格決定における計算方法と前提条件	適用するバリューチェーンの段階
選択肢: <ul style="list-style-type: none"> シャドウプライス 社内費用 社内取引 暗示的価格 その他、具体的にお答えください 	該当するものをすべて選択してください: <ul style="list-style-type: none"> 費用便益分析の実施 水関連投資の推進 水効率を高める 意思決定における水関連問題の検討を促す リスク評価における水関連問題の検討を促す 資金調達機会の特定と評価 水の影響が少ない機会を特定し、それを利用する 戦略や財務計画に影響を与える 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> はい いいえ 	該当するものをすべて選択してください: <ul style="list-style-type: none"> 国際基準への適合 科学的ガイダンスとの整合性 予想される水道料金 同業他社とのベンチマーキング 水関連目標を達成するために必要な対策費用 排水費用 水の処理費用 水の輸送コスト 既存または係争中の法律 既存の水道料金 	文章記入欄[最大 1,500 字]	該当するものをすべて選択してください: <ul style="list-style-type: none"> 直接操業 バリューチェーン上流 バリューチェーン下流 プロジェクト/サイト別

	<ul style="list-style-type: none"> 規制をナビゲートする 水に関する方針や目標の設定や達成 ストレステスト投資 既存のローンやクレジット・ラインの信用リスク評価を行う 新規ローンの信用リスク評価を行う 既存ローンの期間更新のための信用リスク評価に情報を提供する。 企業エンゲージメント/スチュワードシップの目的で社内価格を使用する その他、具体的にお答えください 		<ul style="list-style-type: none"> 経営判断に重大な影響を与える価格 シナリオ分析 環境影響の社会的コスト その他、具体的にお答えください 		
--	--	--	--	--	--

7	8	9	10	11	12
使用した価格設定手法 - 空間的変動	価格が差異化されている方法と理由を説明してください	使用した価格決定手法 - 時間軸上の変動	時間の経過とともに価格がどのように変化すると予想されるか説明してください	使用された実際の価格(立方メートル当たり)-最小	使用された実際の価格(立方メートル当たり)-最大
選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 差異化 同一 その他、具体的にお答えください 	文章記入欄[最大 1,500 字]	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 変動型 固定型 その他、具体的にお答えください 	文章記入欄[最大 1,500 字]	数値記入欄[0~999,999,999,999 の数値を小数点以下 2 桁まで、カンマなしで入力]。	数値記入欄[0~999,999,999,999 の数値を小数点以下 2 桁まで、カンマなしで入力]。

13	14	15	16
インターナルウォータープライシングが適用されるビジネス意思決定プロセス	ビジネス上の意思決定プロセスにおいて、インターナルプライシングは必須ですか	価格設定の手法は目標達成のためにモニタリングされ、評価されていますか	目標達成のための価格設定手法のモニタリング、評価方法の詳細
該当するものをすべて選択してください: <ul style="list-style-type: none"> 資本支出 依存の管理 インパクト・マネジメント 操業 調達 製品および研究開発 報酬 リスク管理 機会管理 バリューチェーンエンゲージメント 政策エンゲージメントその他、具体的にお答えください 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> はい、すべての意思決定プロセスにおいて はい、いくつかの意思決定プロセスについて(具体的にきさいしてください) いいえ 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> はい いいえ 	文章記入欄[最大 1,500 字]

[行を追加]

バリューチェーンエンゲージメント

セクション概要

セクション概要	グローバルに環境影響を削減するために、組織はバリューチェーン(上流と下流の両方)とエンゲージメントしなければなりません。このセクションの設問では、組織がサプライヤー、顧客、ステークホルダー、その他のパートナーとどのように協働し、エンゲージメントしているかを検証します。このセクションは、企業が環境課題に関してバリューチェーンと協働するために用いている様々なタイプの要求事項や協働の手法についての洞察をデータ利用者に提供します。
---------	---

(5.11) 環境課題についてバリューチェーンと協働していますか

質問内容	
他の質問との関連性	この質問に対する回答によって、後続の質問および後続の質問内の回答選択肢が決定されます。5.11 への回答が修正された場合、それらの後続の質問のデータは消去されることがあります。
前年との比較	プラスチック: 新規質問 気候変動、フォレスト、ウォーター: 質問の修正(2023年 C12.1、C12.1e、F6.7、F6.8、F6.9、W1.5)
説明	バリューチェーンのステークホルダーとのエンゲージメントは、組織が事業活動に関連する環境課題の取り組みを推進する上で不可欠です。サプライヤーに対する環境要件から、製品ユーザーとの環境スチュワードシップのための革新的なパートナーシップに至るまで、それぞれの環境課題に関連する複数の推進要因、利益、エンゲージメントの範囲があります。環境課題に関してバリューチェーンとエンゲージメントしていない場合、データ利用者は、どのような理由でエンゲージメントしていないのか、また今後どのような計画を立てているのかを知りたいと考えています。
回答方法	以下の表に記入してください

0	1	2	3	4
バリューチェーンのステークホルダー	環境課題に関するこのステークホルダーとのエンゲージメント	環境課題	環境課題に関してこのステークホルダーとエンゲージメントしない主な理由	環境課題に関してこのステークホルダーとエンゲージメントしない理由を説明してください
サプライヤー	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> はい いいえ、しかし今後2年以内にそうする予定です いいえ、また今後2年以内にそうする予定もありません 	該当するものをすべて選択してください: <ul style="list-style-type: none"> 気候変動 フォレスト 水 プラスチック[サプライヤー列のみ表示] 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 私たちは生産者であり、サプライヤーがない 内部リソース、能力、または専門知識の欠如(例: 組織の規模が原因) 標準化された手順がない 当面の戦略的優先事項ではない 重要でないか、関連性がないと判断した 	文章記入欄 [最大 1,500 字]

			• その他、具体的にお答えください	
小規模農家[Fのみ]				
顧客				
投資家および株主				
その他のバリューチェーンのステークホルダー				

(5.11.1) 貴組織は、サプライヤーの環境への依存および／または影響に応じて評価し、分類していますか。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、質問 5.11 の「サプライヤー」の行の 1 列目「環境課題に関するこのステークホルダーとのエンゲージメント」の回答で「はい」を選択した場合にのみ表示されます
前年との比較	気候変動、フォレスト、プラスチック:新規質問 ウォーター:質問の修正(2023 W1.5a)
説明	組織のサプライヤーの環境への依存や影響を評価することで、環境への依存や影響が最も大きい場所に対して、情報を提供し、的を絞った行動をとることができます。この質問により、データ利用者は、組織が上流のバリューチェーンのどこに環境への依存や影響があるかを認識しているかどうかを理解することができます。
回答方法	以下の表に記入してください:

0	1	2	3	4	5	6
環境課題	サプライヤーの環境への依存および／または影響の評価	サプライヤーの環境への依存および／または影響の評価基準	評価された 1 次サプライヤーの割合	サプライヤーを、環境への重大な依存や影響を有するサプライヤーとして分類するための閾値の定義を説明してください	環境への重大な依存および／または影響に関する閾値を満たす 1 次サプライヤーの割合	環境への重大な依存および／または影響に関する閾値を満たす 1 次サプライヤーの数
気候変動	<p>選択肢:</p> <ul style="list-style-type: none"> • サプライヤーの依存や影響を評価している • 現在、サプライヤーの依存や影響を評価していないが、今後 2 年以内に評価する予定である。 • サプライヤーの依存や影響を評価しておらず、2 年以内に評価す 	<p>該当するものをすべて選択してください:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 流域／景観の状態[FW] • サプライヤー関連のスコップ 3 排出量への寄与[CCのみ] • 水への依存度[Wのみ] • コモディティへの依存度[Fのみ] • 生態系サービス／環境資産への依存度[FPW] • 水の利用可能性への影響[Wのみ] 	<p>選択肢:</p> <ul style="list-style-type: none"> • なし • 1%未満 • 1-25% • 26-50% • 51-75% • 76-99% • 100% • 不明 	<p>文章記入欄[最大 500 字]</p>	<p>選択肢::</p> <ul style="list-style-type: none"> • なし • 1%未満 • 1-25% • 26-50% • 51-75% • 76-99% • 100% • 不明 	<p>数値記入欄[0 ~9,999,999 の数値を小数点以下なしで入力]。</p>

	る予定もない。	<ul style="list-style-type: none"> 他の森林減少や自然生態系の転換への影響[Fのみ] プラスチック廃棄物と汚染への影響[Pのみ] 汚染レベル[FPW]への影響 その他、具体的にお答えください 				
フォレスト						
ウォーター						
プラスチック						

[固定列]

(5.11.2) 貴組織は、環境課題に関して、どのサプライヤーに優先的にエンゲージメントしますか

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、質問 5.11 の「サプライヤー」の行の 1 列目「環境課題に関するこのステークホルダーとのエンゲージメント」の回答で「はい」を選択した場合にのみ表示されます
前年との比較	新規質問
説明	この質問により、データ利用者は、組織が環境課題に関して特定のサプライヤーを優先的にエンゲージメントしているどうか、また、エンゲージメントしている場合は、エンゲージメントが最大の利益を達成することを確実にするために、この優先順位付けに採用されている基準を理解することができます。
回答方法	以下の表に記入してください:

0	1	2	3	4
環境課題	この環境課題に関するサプライヤーエンゲージメントの優先順位付け	この環境課題に優先的に取り組むべきサプライヤーを特定する基準	この環境課題に関してサプライヤーに優先順位をつけなかった主な理由	説明してください
気候変動	<p>選択肢:</p> <ul style="list-style-type: none"> はい、この環境課題に関して、どのサプライヤーとエンゲージメントするか優先順位をつけています この環境課題に関して、どのサプライヤーに優先的にエンゲージメントするかは決めていません。 	<p>該当するものをすべて選択してください:</p> <ul style="list-style-type: none"> 気候変動に関連する重大な依存および/または影響を有するサプライヤーとして分類するために使用される基準に沿っている フォレスト気に関連する重大な依存および/または影響を有するサプライヤーとして分類するために使用される基準に沿っている ウォーターに関連する重大な依存および/または影響を有するサプライヤーとして分類するために使用される基準に沿っている プラスチックに関連する重大な依存および/または影響を有するサプライ 	<p>選択肢:</p> <ul style="list-style-type: none"> すべてのサプライヤーとエンゲージメントする 内部リソース、能力、または専門知識の欠如 (例: 組織の規模が原因) 標準化された手順がない 当面の戦略的優先事項ではない 重要でないか、関連性がないと判断した 	文章記入欄[最大 1,500 字]

		ヤーとして分類するために使用される基準に沿っている <ul style="list-style-type: none"> 事業リスクの軽減 サプライヤーに対するレバレッジ 素材調達 調達支出 製品ライフサイクル 製品の安全性とコンプライアンス 規制遵守 評判管理 サプライヤーの戦略的地位 サプライヤーの業績改善 サプライヤーの脆弱性 その他、具体的にお答えください 	<ul style="list-style-type: none"> その他、具体的にお答えください 	
フォレスト				
ウォーター				
プラスチック				

(5.11.5) 貴組織の購買プロセスの一環として、サプライヤーは環境要求事項を満たす必要がありますか？

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、質問5.11の「サプライヤー」の行の1列目「環境課題に関するこのステークホルダーとのエンゲージメント」の回答で「はい」を選択した場合にのみ表示されます
前年との比較	フォレスト：新規質問 気候変動、ウォーター：質問の修正(2023 C12.2, W1.5b)
説明	サプライヤーに対する環境要求事項の設定は、環境課題に対する組織の意識を高めるだけでなく、バリューチェーン上流全体を変革するための強力な触媒として機能する、環境アクションへの戦略的コミットメントの現れです。サプライヤーに厳格な環境要件を設定することで、企業は積極的な変革への献身を表明し、バリューチェーンや業界全体に共鳴する責任文化を醸成し、より持続可能な未来への道を開きます。
回答方法	以下の表に記入してください：

0	1	2	3
環境課題	サプライヤーは、購買プロセスの一環として、この環境課題に関連する特定の環境要件を満たさなければなりませんか。	サプライヤーのコンプライアンス違反に対処するための方針	コメント
気候変動	選択肢： <ul style="list-style-type: none"> はい、この環境課題に関する環境要件は、サプライヤーとの契約に含まれています。 はい、サプライヤーはこの環境課題に関連する環境要件を満たさなければなりません、サプライヤーとの契約には含まれていません。 いいえ、しかし、今後2年以内に、この環境課題に関連した環境要件を導入する予定です。 いいえ、また今後2年間は、この環境課題に関連する環境要件を導入する予定はない。 	選択肢： <ul style="list-style-type: none"> はい、コンプライアンス違反に対処するための方針があります。 いいえ、コンプライアンス違反に対処するための方針はありません。 	文章記入欄[最大1,500字]
フォレスト			
ウォーター			

(5.11.6) 貴組織の購買プロセスの一環としてサプライヤーが満たさなければならない環境要件の詳細と、導入されているコンプライアンス措置を説明してください

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、5.11.5 のいずれかの行の列1「サプライヤーは、購買プロセスの一環として、この環境課題に関連する特定の環境要件を満たさなければなりませんか」の回答で「はい」を選択した場合にのみ表示されます。
前年との比較	質問の修正(2023 C12.2a、F6.4、F6.4a、W1.5c)
説明	バリューチェーン上流における重要な行動を特定し、環境要求事項を通じてエンゲージメントを促進することで、組織はリスクを積極的に軽減することができます。この質問では、対象となる環境アクション、組織のエンゲージメント範囲、およびコンプライアンス違反への対応を強調することにより、組織がサプライヤーに対する環境要求事項の堅牢性を実証することができます。

1	2	3	4	5	6
環境課題	環境要件	この環境要件の遵守をモニタリングするメカニズム	この環境要件の遵守が義務付けられている一次サプライヤーの調達額ベースでの割合	この環境要件を遵守している一次サプライヤーの調達額ベースでの割合	この環境要件を遵守することが要求されており、この環境課題に関連する重大な依存および/または影響を有する一次サプライヤーの割合
気候変動	以下のドロップダウンリストから選択してください。	該当するものをすべて選択してください: <ul style="list-style-type: none"> コンプライアンスをモニタリングする仕組みがない 認証 コミュニティ・ベースのモニタリング 罰金と罰則 ファースト・パーティ認証 地理空間モニタリングツール 苦情処理メカニズム 内部告発ホットライン 地上モニタリングシステム オフサイト第三者監査 第三者による現地監査 第三者検証 サプライヤー・スコアカード または格付け サプライヤーの自己評価 その他、具体的にお答えください 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> なし 1%未満 1-25% 26-50% 51-75% 76-99% 100% 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> なし 1%未満 1-25% 26-50% 51-75% 76-99% 100% 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> なし 1%未満 1-25% 26-50% 51-75% 76-99% 100%
フォレスト					
ウォーター					
選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 気候変動 フォレスト 					

• ウォータ					
--------	--	--	--	--	--

7	8	9	10	11	12	13
この環境要件を遵守しており、この環境課題に関連する重大な依存および/または影響を有する一次サプライヤーの割合	この環境要件への遵守が求められる一次サプライヤーに関連するスコープ3排出量の割合	この環境要件を遵守している一次サプライヤーに関連するスコープ3排出量の割合	サプライヤーがこの環境要件に違反した場合の対応	違反したサプライヤーのうちエンゲージメントした割合	コンプライアンスを遵守しないサプライヤーにエンゲージメントする際の手順	コメント
選択肢: • なし • 1%未満 • 1-25% • 26-50% • 51-75% • 76-99% • 100%	選択肢: • なし • 1%未満 • 1-25% • 26-50% • 51-75% • 76-99% • 100%	選択肢: • なし • 1%未満 • 1-25% • 26-50% • 51-75% • 76-99% • 100%	選択肢: • サプライヤーから除外 • 対応なし • 契約を継続し、エンゲージメント • 契約を一時中断し、エンゲージメント • その他、具体的にお答えください	選択肢: • なし • 1%未満 • 1-25% • 26-50% • 51-75% • 76-99% • 100% • 不明	該当するものをすべて選択してください: • 一貫性のある定量化された指標を通じて、コンプライアンスに違反するサプライヤーの行動の有効性と努力を評価する。 • サプライヤーをコンプライアンスに戻すための、定量的で期限付きの目標とマイルストーンの策定 • コンプライアンス違反に対処するための適切な措置に関する情報の提供 • 検証可能な成功したアクションに基づき、サプライヤーをバリューチェーン上流に再統合する。 • その他、具体的にお答えください	文章記入欄[最大1,500字]

環境要件(2列目)	
<ul style="list-style-type: none"> 国際労働機関原則の採択 環境認証への準拠、具体的に 自組織の GHG 排出量の開示(スコープ1 および 2)[CC のみ] 自組織の GHG 排出量の開示(スコープ1, 2, 3)[CC のみ] 非公開プラットフォームによる環境情報開示 公開プラットフォームによる環境情報開示 気候移行計画の実施[CC のみ] 排出削減イニシアチブの実施[CC のみ] 製品レベルの排出量を測定する[CC のみ] 製品カーボンフットプリント(PCF)/製品ライフサイクル排出量のモニタリングと削減[CC のみ] 森林減少や他の自然生態系の転換を行わない[F のみ] 深さに関係なく、泥炭地での開発なし [F のみ] 全従業員への、完全に機能し、安全に管理された WASH サービスの提供[W のみ] 低炭素または再生可能エネルギーの購入[CC のみ] 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な環境リスクアセスメント(少なくとも年1回) 持続可能性指標(DJSI, CDP など)に対する報告 先住民と地域コミュニティの自由意志に基づき、事前に十分な情報を与えられた上での同意(FPIC)を確保する。 低炭素または再生可能エネルギー目標の設定[CC のみ] コモディティ事業全体にわたり、森林減少やその他の自然生態系の転換を行わないというコミットメントを設定する[F のみ] 科学に基づく排出削減目標の設定[CC のみ] 水質汚染関連の目標設定とモニタリング[W のみ] 取水量削減目標の設定とモニタリング[W のみ] 有害物質からより有害性の低い物質への代替 総取水量削減[W のみ] 廃棄物・資源の削減と物質循環 その他、具体的にお答えください

(5.11.7)貴組織の環境課題に対するサプライヤーエンゲージメントのさらなる詳細を回答してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、質問5.11の「サプライヤー」の行の1列目「環境課題に関するこのステークホルダーとのエンゲージメント」の回答で「はい」を選択した場合にのみ表示されます

前年との比較	プラスチック:新規質問 気候変動、フォレスト、ウォーター:質問の修正(2023 C12.1a、F6.8、F6.9、W1.5d)
説明	サプライヤーの環境イニシアティブへの積極的な参加は、環境アクションを推進する組織のコミットメントを示すものです。この質問は、バリューチェーンにおける組織の持続可能性への取り組みについて、データ利用者が評価することを容易にするもので、上流のバリューチェーン全体の環境課題をどれだけ包括的に理解しているかを明らかにするものです。この包括的な認識により、組織は環境課題を総合的に管理することができ、上流のバリューチェーンにおける依存、影響、リスク、機会をより深く理解することができます。

5.11の「サプライヤー」行の2列目の選択に基づいて行が表示	フォレストの行にのみ表示		2列目で「追加的なサプライヤーエンゲージメントはない」以外のオプションが選択されている場合に表示される。		
0	1	2	3a	3b	4
環境課題	コモディティ	サプライヤーエンゲージメントによってもたらされるアクション	エンゲージメントの種類	エンゲージメントの詳細	バリューチェーン上流
気候変動	該当なし	<p>選択肢:</p> <ul style="list-style-type: none"> 追加的なサプライヤーエンゲージメントはない 気候変動適応 国際労働機関原則の採択 炭素除去量[Cのみ] 循環型経済 排出削減[CP] マクロおよびマイクロプラスチックの流出削減[PW] 森林減少や他の自然生態系の転換を行わない[Fのみ] 全従業員への、完全に機能し、安全に管理されたWASHサービスの提供[Wのみ] 環境からのプラスチック除去[PW] 過去の自然生態系転換の修復[Fのみ] 自然生態系の回復と長期的保護[Fのみ] 先住民族と地域コミュニティの自由で事前の、そして十分な情報を与えられた上での合意(FPIC)の確保[CFW] 有害物質からより有害性の低い物質への代替[PW] バリューチェーン上流の透明性と人権 総取水量削減[Wのみ] 廃棄物・資源の削減と使用済み製品管理の改善[PW] その他、具体的にお答えください 	<p>該当するものをすべて選択してください:</p> <ul style="list-style-type: none"> キャパシティビルディング 経済的インセンティブ 情報収集 イノベーションとコラボレーション 	<p>以下のドロップダウンリストから該当するものをすべて選択してください。</p>	<p>該当するものをすべて選択してください:</p> <ul style="list-style-type: none"> 一次サプライヤー 二次サプライヤー 三次サプライヤー 四次以降のサプライヤー
フォレスト	選択肢:				

	開示されたコモディティに基づいてドロップダウンリストが表示				
ウォーター	該当なし				
プラスチック	該当なし				
選択肢: • 気候変動 • フォレスト • ウォーター • プラスチック					

4 列目で「一次サプライヤー」を選択した場合に表示						
	「気候変動」の行にのみ表示される	5.11.1 の 4 列目で "なし" または "不明" 以外のオプションが選択されている場合、"フォレスト"と "ウォーター"の行に表示	5 列目で「一次サプライヤー」以外を選択した場合に表示		5.11.5 の 1 列目で「はい…」のいずれかを選択した場合に表示される	
2 列目で「追加的なサプライヤーエンゲージメントはない」以外のオプションが選択されている場合に表示される。						
5	6	7	8	9	10	11
エンゲージメントが対象とする調達支出額における一次サプライヤーの割合	エンゲージメントによってカバーされる一次サプライヤー関連のスコープ 3 排出量の割合	この環境課題に関連する重大な影響および/または依存を有する、エンゲージメント対象の一次サプライヤーの割合	エンゲージメントする二次以降のサプライヤー数	エンゲージメントについて説明し、選択した環境保護活動に対するエンゲージメントの効果を説明してください	貴組織の一次サプライヤーが、この環境課題に関連する環境要件を満たすのをサポートをしていますか	貴組織のエンゲージメントは、一次サプライヤー自らのサプライヤーをエンゲージメントすることに繋がりますか
選択肢: • なし • 1%未満 • 1-25% • 26-50% • 51-75% • 76-99% • 100% • 不明	選択肢: • なし • 1%未満 • 1-25% • 26-50% • 51-75% • 76-99% • 100% • 不明	選択肢: • なし • 1%未満 • 1-25% • 26-50% • 51-75% • 76-99% • 100% • 不明	数値記入欄[0~9,999,999 の数字を入力してください。]	文章記入欄[最大 2,500 字]	選択肢: • はい • いいえ、このエンゲージメントは環境要件とは無関係です。	選択肢: • はい • いいえ • いいえ、一次サプライヤーは生産者であり、コモディティのサプライヤーはいません。 • 不明

エンゲージメントの種類(3b 欄)

<p>キャパシティビルディング</p> <ul style="list-style-type: none"> バリューチェーン上流のマッピング方法に関するリソースの開発または配布 (FW) 信頼できる再生可能エネルギー利用の方法について、研修、支援、ベストプラクティスを提供する (CC のみ) GHG 排出量の測定方法に関する研修、支援、ベストプラクティスの提供 (CC のみ) 環境影響を軽減する方法に関するトレーニング、サポート、ベストプラクティスの提供 (CFPW) 科学に基づく目標の設定方法に関する研修、支援、ベストプラクティスの提供 (CFW) サプライヤーが、明確なマイルストーンを伴う期限付きの行動計画を策定することを支援する (CFPW) サプライヤーが事業全体で独自の環境コミットメントを設定することを支援する (CFPW) その他のキャパシティビルディング活動、具体的に記入 (CFPW) 	<p>経済的インセンティブ</p> <ul style="list-style-type: none"> サプライヤー表彰制度で環境業績指標を組み込む WASH 目標に対する進捗を奨励するため、金銭的インセンティブを提供する (W のみ) 水質汚染目標に対する進捗を奨励するため、財政的インセンティブを提供する (W のみ) 経済的インセンティブを提供し、取水目標に対する進捗を奨励する (W のみ) 環境コミットメントに連動した長期契約を含める (CFPW) 認証製品に財政的インセンティブを提供する (F のみ) 環境パフォーマンスに対する金銭的インセンティブの提供 (CFPW) 気候移行計画を有するサプライヤーに財政的インセンティブを提供する (CC のみ) 再生可能エネルギーの使用を増やすサプライヤーに経済的インセンティブを提供する (CC のみ) その他の経済的インセンティブ、具体的に記入 (CFPW) 	<p>情報収集</p> <ul style="list-style-type: none"> サプライヤーから少なくとも年 1 回、気候移行計画に関する情報を収集する (CC のみ) サプライヤーから少なくとも年 1 回、環境リスクと機会に関する情報を収集する (CFPW) サプライヤーから少なくとも年 1 回、GHG 排出量データを収集する (CC のみ) サプライヤーから少なくとも年 1 回、目標情報を収集する (CFPW) サプライヤーから少なくとも年 1 回、WASH 情報を収集する (W のみ) サプライヤーから少なくとも年 1 回、水質情報を収集する (排水水質、汚染事故、有害物質など) (W のみ) サプライヤーから少なくとも年 1 回、水量情報 (取水量や排水量など) を収集する (W のみ)。 その他の情報収集活動を具体的に (CFPW) <p>イノベーションとコラボレーション</p> <ul style="list-style-type: none"> 製品・サービスにおける環境負荷低減のためのイノベーションについてサプライヤーと協働する (CFPW) 	<ul style="list-style-type: none"> 革新的なビジネスモデルと企業の再生可能エネルギー調達メカニズムについてサプライヤーと協力する (CC のみ) サプライヤーと協力して、再利用インフラと再利用モデルを開発する [P のみ]。 サプライヤーにバリューチェーンを超えた緩和 (BVCM) 行動をとるよう奨励する (CC のみ) 管轄区域における共同作業を奨励する (FW) 河川流域における持続可能な水管理を共同で行うインセンティブを与える (W のみ) 環境課題に対処するための政策や規制の変更を提唱するために、サプライヤーと協力する (CFPW) サプライヤーとの統一的な気候移行アプローチの採用を促進する (CC のみ) 関連する低炭素技術の研究開発にサプライヤーと共同で投資する (CC のみ) 製品やサービスの環境影響を削減するための技術革新を奨励するキャンペーンを実施する (CFPW) その他のイノベーションおよびコラボレーション活動、具体的に記入 (CFPW)
---	--	--	---

(5.11.8) 環境に関する小規模農家とのエンゲージメントの詳細を記載してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、質問5.11 の「小規模農家」の行の1列目「環境課題に関するこのステークホルダーとのエンゲージメント」の回答で「はい」を選択した場合にのみ表示されます
前年との比較	質問の修正 (2023 F6.7、FW-FS4.3a)
説明	特定されたリスクは、組織が現地のステークホルダーと関わり、現地の経済発展や環境活動を推進する機会を提供する可能性があります。多くの国や地域で、組織は持続可能な原材料の調達のために小規模農家と協働することが求められています。この質問では、組織が小規模農家とどの程度エンゲージメントしているかについてのデータを収集します。この情報により、データ利用者は持続可能なバリューチェーンに向けた企業の行動を評価することができます。

対応する開示タグがある場合、 <u>ドロップダウンオプション</u> が表示される				
1	2a	2b	3	4
コモディティ	小規模農家へのエンゲージメント手法の種類	小規模農家へのエンゲージメント手法	エンゲージメントした小規模農家の数	エンゲージメントの効果と成功の尺度
選択肢：： <ul style="list-style-type: none"> 木材製品 パーム油 畜牛品 大豆 天然ゴム ココア コーヒー 	該当するものをすべて選択してください： <ul style="list-style-type: none"> キャパシティビルディング 経済的インセンティブ イノベーションとコラボレーション その他、具体的にお答えください 	以下のドロップダウンメニューから該当するものをすべて選択してください。	数値記入欄[0～9,999,999の数字を入力してください。]	文章記入欄[最大 2,500 字]

[行を追加]

小規模農家へのエンゲージメント手法(2b 列目)		
キャパシティビルディング <ul style="list-style-type: none"> バリューチェーン上流・マッピング・ツールの開発または配布 技術資料の普及 現場での技術支援と普及サービスの提供 キャパシティ・ビルディング・イベントの開催 森林減少やその他の自然生態系の転換のリスクが高い地域の小規模農家への支援を優先する。 持続可能な農業の実践と養分管理に関する研修、支援、ベストプラクティスの提供 小規模農家が再生農業の原則を守るよう支援する。 バリューチェーン上流において、小規模農家が基準を遵守するよう支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> 小規模農家が生物多様性を保護するベストプラクティスを採用できるよう支援する。 小規模農家が土地保有権を明確にし、確保できるよう支援する。小規模農家が環境リスクにさらされていることを測定し、それに対処できるよう支援する。 小規模農家が環境・社会指標を測定し、報告できるよう支援する。 その他のキャパシティビルディングの手法(具体的に) 経済的インセンティブ <ul style="list-style-type: none"> 小規模農家およびその他の個人生産者の生活収入 森林減少防止または転換なしのコミットメントと連動した長期契約 最良の農業慣行と連動したより高い価格を支払う 	<ul style="list-style-type: none"> 認証製品に金銭的インセンティブを与える 小規模農家に対し、正確な施肥技術、持続可能な農業慣行、養分管理に投資するための資金援助を行う。 ベスト・アグリ・プラクティスに連動した購入保証 その他の経済的インセンティブ(具体的に) イノベーションとコラボレーション <ul style="list-style-type: none"> 製品およびサービスにおける環境影響を削減するためのイノベーションについて、小規模農家と協力する。 小規模農家が景観/管轄イニシアティブに参加するよう奨励する。 その他のイノベーションとコラボレーション

(5.11.9)バリューチェーンにおける他のステークホルダーとの環境関連のエンゲージメントの詳細を記載してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、質問5.11の「顧客」、「投資家および株主」または「その他のバリューチェーンのステークホルダー」の行の1列目「環境課題に関するこのステークホルダーとのエンゲージメント」の回答で「はい」を選択した場合にのみ表示されます
前年との比較	フォレスト、プラスチック：新規質問 気候変動、ウォーター：質問の修正(2023 C12.1b, C12.1d, W1.5e)
説明	この設問は、バリューチェーンの他のステークホルダーと組織のエンゲージメントプロセスに関する透明性をデータ利用者に提供します。いくつかの環境上の依存、影響、リスク、機会は、直接的な業務外で発生する可能性があるため、データ利用者は、組織がバリューチェーン内の他のステークホルダーとどのように協働して環境アクションを推進しているかを理解することに興味があります。

1	2	3a	3b	4	5	6	7
環境課題	ステークホルダーの種類	エンゲージメントの種類	エンゲージメントの詳細	エンゲージメントしたステークホルダーの割合	ステークホルダー関連のスコープ 3 排出量の割合	これらのステークホルダーとエンゲージメントする理由とエンゲージメントの範囲	エンゲージメントの効果と成功の尺度
気候変動	選択肢: ・ 顧客 ・ 投資家および株主 ・ その他のバリエーション・ステークホルダー(具体的に)	該当するものをすべて選択してください: ・ 教育/情報共有 ・ イノベーションとコラボレーション ・ その他	以下のドロップダウンリストから該当するものをすべて選択してください。	選択肢: ・ なし ・ 1%未満 ・ 1-25% ・ 26-50% ・ 51-75% ・ 76-99% ・ 100% ・ 不明	選択肢: ・ なし ・ 1%未満 ・ 1-25% ・ 26-50% ・ 51-75% ・ 76-99% ・ 100% ・ 不明	文章記入欄[最大 2,500 字]	文章記入欄[最大 1,500 字]
フォレスト					該当なし		
ウォーター					該当なし		
選択肢: ・ 気候変動 ・ フォレスト ・ ウォーター							

エンゲージメントの詳細(3b 列目)		
教育/情報共有 ・ 環境リスクへのエクスポージャーの理解と測定について、ステークホルダーを教育し、協力する [CFW] ・ 製品、商品、サービスに関する環境への影響についてステークホルダーを教育するエンゲージメント・キャンペーンを実施する [CFW] ・ 製品および関連する認証制度に関する情報を共有する [CFW] ・ 環境への取り組み、進捗状況、成果について情報を共有する [CFW] ・ その他の教育/情報共有、具体的にご記入ください。	イノベーションとコラボレーション ・ 顧客の目標と野心をサポートするために、組織の目標を調整する [CFW]。 ・ 気候移行計画の作成と見直しにおけるステークホルダーとの協力 [CC のみ] ・ 製品およびサービスにおける環境影響を低減するためのイノベーションについて、ステークホルダーと協働する [CFW] ・ 持続可能な土地利用の目標に向けたイニシアティブに向けたマルチステークホルダー・ランドスケープでの協働作業を奨励する。	・ ステークホルダーと協働して、政策や規制の変更を提唱する [CFW] ・ 河川流域における持続可能な水管理を共同で行うインセンティブを与える [W のみ]。 ・ 環境負荷低減のための技術革新を奨励するキャンペーンを実施 [CFW] ・ その他のイノベーションとコラボレーション、具体的に記入 [CFW] その他 ・ その他、具体的にお答えください [CFW]

協働の機会 [CDPサプライチェーンメンバーからの回答要請を受けているサプライヤーのみ]

(5.12)特定の CDP サプライチェーンメンバーと協働できる、お互いに有益な環境関連のイニシアチブを回答してください。

質問内容	
前年との比較	質問の修正(2023 SC2.1、SF2.1、SW2.1)。
説明	環境課題に効果的に対処するには、往々にして協働の取り組みが必要です。この質問を通じて、貴組織は、環境リスクを低減し、かつ／又は貴組織と顧客の双方に利益をもたらす機会を実現するために、回答を要請しているサプライチェーンメンバーと協力できる方法を提案することができます。また、貴社と顧客とのコミュニケーションを強化し、革新的な新たなパートナーシップを推進するためにも活用できます。
回答方法	この表は、1列目の「回答要請メンバー」で選択した顧客企業のみが、該当するデータを閲覧できるようになっています。回答要請メンバーを選択せずに回答を入力した場合、回答は誰にも閲覧できません。以下の表に記入してください。表の下にある「行を追加」ボタンを使って行を追加することができます。

1	2	3	4a	4b	5	6
回答要請メンバー	イニシアチブに関連する環境課題	イニシアチブの対象コモディティ [Fのみ]	イニシアチブのカテゴリ	イニシアチブの種類	イニシアチブの詳細	期待される効果
選択肢: メンバーのドロップダウンリスト	該当するものすべてを選択してください: 気候変動 フォレスト ウォーター	該当するものすべてを選択してください: <ul style="list-style-type: none"> コモディティのドロップダウンメニューが表示 該当なし 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 認証 製品・サービス提供の変更 サプライヤー業務の変更 コミュニケーション イノベーション 物流の変化 共同アクションの促進 持続可能性評価との連携 トレーサビリティと透明性 その他、具体的にお答えください 	下のドロップダウンリストより選択	文章記入欄 [最大2,500字]	該当するものすべてを選択してください: <ul style="list-style-type: none"> 生産性の向上による売上の増加 資源の利用と効率の改善 水質改善[Wのみ] ウォーター・スチュワードシップの向上[Wのみ] 認証材使用の増加[Fのみ] バリューチェーン上流／下流の透明性の向上 単価の低下 森林減少および転換なしの素材に対する価格プレミアム [Fのみ] 顧客の排出量の削減 (顧客のスコープ1および2) 事業活動の排出量 (スコープ1と2)の削減 バリューチェーン下流排出量の削減(自社スコープ3)

						<ul style="list-style-type: none"> 顧客の業務上の取水量および/または消費量の削減[Wのみ] 事業活動に伴う水の取水量および/または消費量の削減[Wのみ] バリューチェーン下流の取水量および/または消費量の削減[Wのみ] その他、具体的にお答えください
--	--	--	--	--	--	---

7	8	9	10	11
利益実現までの推定期間	このイニシアチブのライフタイムCO ₂ 換算および/または節水量を見積もることができますか？	推定ライフタイム CO ₂ e 削減量	推定ライフタイム節水量 (メガリットル)	説明してください
選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 0~1年 1~3年 3~5年 5年以上 その他、具体的にお答えください 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> はい、ライフタイムCO₂排出量と節水量の両方 はい、ライフタイムCO₂e削減のみ はい、ライフタイム節水量のみ いいえ 	数値記入欄[小数点以下2桁以内で0~999,999,999,999の範囲を入力]。	数値記入欄[小数点以下2桁以内で0~999,999,999の範囲を入力]。	文章記入欄[最大1,000字]

イニシアチブの種類(4b 列目)	
<p>認証</p> <ul style="list-style-type: none"> コモディティ認証のカバー率を高める【Fのみ その他の認証、具体的に <p>製品・サービス提供の変更</p> <ul style="list-style-type: none"> より多くのオンライン/バーチャルなサービス提供【CCのみ】 梱包の軽量化 水関連の影響を削減する【Wのみ】 その他の商品・サービス提供の変更(具体的にご記入ください) <p>サプライヤー業務の変更</p> <ul style="list-style-type: none"> 製品やサービスのライフサイクルに与える影響を評価し、効率性を特定する エネルギー削減プロジェクトの実施【CCのみ】 再生可能エネルギーの購入比率を高める【CCのみ】 事業における水効率を高める【Wのみ】 その他のサプライヤー業務の変更(具体的にご記入ください) <p>コミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> 表彰 - 外部表彰と一緒に応募する 共同事例研究またはマーケティング・キャンペーン その他のコミュニケーション(具体的に) <p>イノベーション</p> <ul style="list-style-type: none"> 持続可能な生産を確保するための新しい技術を導入する【Fのみ】 上流の排出フットプリントが低い新製品またはサービス【CCのみ】 	<p>物流の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> 物流のタイミングを変更する【CCのみ】 輸送モードの変更(例: 航空から鉄道への切り替え)【CCのみ】 ロジスティクスの統合【CCのみ】 ルート最適化【CCのみ】 その他のロジスティクスの変更、具体的に <p>集団行動の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 影響削減のため、流域の他の利用者と協力するよう顧客に呼びかける【Wのみ】。 景観または管轄区域のイニシアティブに協力するよう顧客を招待する【Fのみ】。 その他の団体行動(具体的に) <p>持続可能性評価との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 顧客の目標や野心につながるよう目標を調整する 既存の持続可能性評価との連携 その他、具体的に <p>トレーサビリティと透明性</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存のトレーサビリティ・システムを改善する【Fのみ】 新しいトレーサビリティ・システム【Fのみ】 その他のトレーサビリティ・システム(具体的に) <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> その他のイニシアチブの種類(具体的に)

<ul style="list-style-type: none"> • 森林へのバリューチェーン上流からの影響がより少ない新しい製品またはサービス[Fのみ] • バリューチェーン上流での水への影響がより少ない新製品または新サービス[Wのみ] • 顧客の事業活動の排出量を削減する新しい製品またはサービス[CCのみ] • 顧客の業務上の水消費量を削減する新しい製品またはサービス[Wのみ] • 顧客の製品・サービスのコモディティ消費量を削減する新しい製品・サービス[Fのみ] • 顧客の製品/サービスの運用時の排出量を削減する新しい製品またはサービス[CCのみ] • 包装の削減 • その他のイノベーション、具体的に
--

(5.13) 貴組織は、CDP サプライチェーンメンバーのエンゲージメントにより、相互に有益な環境イニシアチブを既に実施しましたか。

質問内容	
前年との比較	質問の修正(2023 SC2.2、SF2.2、SW2.2)。
説明	環境課題に効果的に取り組むには、往々にして協働アクションが必要です。この質問では、組織がイニシアチブの実施を通じて共同で環境アクションに取り組む姿勢を示すことができます。
回答方法	以下の表に記入してください:

1	2	3
CDP サプライチェーンメンバーのエンゲージメントにより実施された環境イニシアチブ	環境イニシアチブを実施しない主な理由	貴組織が環境イニシアチブを実施していない理由を説明してください。
選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • はい • いいえ、しかし今後2年以内に計画しています • 今後2年間は予定していない 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • 内部リソース、能力、または専門知識の欠如 (例: 組織の規模が原因) • 標準化された手順がない • 当面の戦略的優先事項ではない • 重要でないか、関連性がないと判断した • その他、具体的にお答えください 	文章記入欄[最大 2,500 字]

(5.13.1) 相互に有益な環境イニシアチブの実施を促した CDP サプライチェーンメンバーを明記し、イニシアチブの情報を提供してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、5.13 の「CDP サプライチェーンメンバーのエンゲージメントにより実施された環境イニシアチブ」の欄で「はい」を選択した場合にのみ表示されます。
前年との比較	質問の修正(2023 SC2.2a、SF2.2a、SW2.2a)
説明	環境課題に効果的に取り組むには、しばしば協働アクションが必要です。この質問は、CDP サプライチェーンメンバーのエンゲージメントによって実施されたイニシアチブの種類を示し、それらがどのように進展したか、またこれまでに見られた相互の利益について詳しく説明する機会を提供します。
回答方法	この表は、1 列目の「回答要請メンバー」で選択した顧客企業のみ、該当するデータを閲覧できるようになっています。回答要請メンバーを選択せずに回答を入力した場合、回答はどなたにも表示されません。以下の表に記入してください。表の下にある「行を追加」ボタンを使って行を追加することができます。

1	2	3	4	5a	5b	6
回答要請メンバー	イニシアティブが関連する環境課題	イニシアチブの対象コモディティ [Fのみ]	イニシアティブ ID	イニシアチブのカテゴリー	イニシアチブの種類	イニシアチブの詳細
選択肢: メンバーのドロップダウンリスト	該当するものをすべて選択してください: 気候変動 フォレスト ウォーター	該当するものをすべて選択してください: <ul style="list-style-type: none"> コモディティタグによってドロップダウンメニューが表示 該当なし 	選択肢:: [IDのドロップダウンメニュー]	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 認証 製品・サービス提供の変更 サプライヤー業務の変更 コミュニケーション イノベーション 物流の変化 共同アクションの促進 持続可能性評価との連携 トレーサビリティと透明性 その他、具体的にお答えください 	下のドロップダウンリストより選択	文章記入欄[最大2,500字]

7	8	9	10	11	12
達成された利益	報告年における排出削減量または節水量の数値を提示できますか	報告年における推定排出削減量(トンCO2e)	報告年の推定節水量(単位:メガリットル)	このイニシアチブの成功はどのように測定されるのか説明してください。	CDP サプライチェーンメンバーが、社外とのコミュニケーションでこの活動を取り上げても構いませんか
該当するものをすべて選択してください: <ul style="list-style-type: none"> 生産性の向上による売上の増加 資源の利用と効率の改善 水質改善[Wのみ] ウォーター・スチュワードシップの向上[Wのみ] 認証材使用の増加[Fのみ] バリューチェーン上流/下流の透明性の向上 単価の低下 森林減少および転換なしの素材に対する価格プレミアム[Fのみ] 顧客の排出量の削減(顧客のスコープ1および2) 事業活動の排出量(スコープ1と2)の削減 	選択肢:: <ul style="list-style-type: none"> 排出削減と節水 排出削減のみ 節水のみ いいえ 	数値記入欄[小数点以下2桁以内で0~999,999,999,999の範囲を入力]。	数値記入欄[小数点以下2桁以内で0~999,999,999,999の範囲を入力]。	文章記入欄[最大1,500字]	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> はい いいえ

<ul style="list-style-type: none"> バリューチェーン下流排出量の削減(自社スコープ3) 顧客の業務上の取水量および/または消費量の削減[Wのみ] 事業活動に伴う水の取水量および/または消費量の削減[Wのみ] バリューチェーン下流の取水量および/または消費量の削減[Wのみ] その他、具体的にお答えください 					
--	--	--	--	--	--

イニシアチブの種類(5b 列目)	
<p>認証</p> <ul style="list-style-type: none"> コモディティ認証のカバー率を高める【Fのみ その他の認証、具体的に <p>製品・サービス提供の変更</p> <ul style="list-style-type: none"> より多くのオンライン/バーチャルなサービス提供【CCのみ】 梱包の軽量化 水関連の影響を削減する【Wのみ】 その他の商品・サービス提供の変更(具体的にご記入ください) <p>サプライヤー業務の変更</p> <ul style="list-style-type: none"> 製品やサービスのライフサイクルに与える影響を評価し、効率性を特定する エネルギー削減プロジェクトの実施【CCのみ】 再生可能エネルギーの購入比率を高める【CCのみ】 事業における水効率を高める【Wのみ】 その他のサプライヤー業務の変更(具体的にご記入ください) <p>コミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> 表彰 - 外部表彰と一緒に応募する 共同事例研究またはマーケティング・キャンペーン その他のコミュニケーション(具体的に) <p>イノベーション</p> <ul style="list-style-type: none"> 持続可能な生産を確保するための新しい技術を導入する【Fのみ】 上流の排出フットプリントが低い新製品またはサービス【CCのみ】 森林へのバリューチェーン上流からの影響がより少ない新しい製品またはサービス【Fのみ】 バリューチェーン上流での水への影響がより少ない新製品または新サービス【Wのみ】 顧客の事業活動の排出量を削減する新しい製品またはサービス【CCのみ】 顧客の業務上の水消費量を削減する新しい製品またはサービス【Wのみ】 顧客の製品・サービスのコモディティ消費量を削減する新しい製品・サービス【Fのみ】 顧客の製品/サービスの運用時の排出量を削減する新しい製品またはサービス【CCのみ】 包装の削減 その他のイノベーション、具体的に 	<p>物流の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> 物流のタイミングを変更する【CCのみ】 輸送モードの変更(例: 航空から鉄道への切り替え)【CCのみ】 ロジスティクスの統合【CCのみ】 ルート最適化【CCのみ】 その他のロジスティクスの変更、具体的に <p>集団行動の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 影響削減のため、流域の他の利用者と協力するよう顧客に呼びかける【Wのみ】。 景観または管轄区域のイニシアチブに協力するよう顧客を招待する【Fのみ】。 その他の団体行動(具体的に) <p>持続可能性評価との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 顧客の目標や野心につながるよう目標を調整する 既存の持続可能性評価との連携 その他、具体的に <p>トレーサビリティと透明性</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存のトレーサビリティ・システムを改善する【Fのみ】 新しいトレーサビリティ・システム【Fのみ】 その他のトレーサビリティ・システム(具体的に) <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> その他のイニシアチブの種類(具体的に)

モジュール 6:環境パフォーマンス-連結アプローチ

(6.1)環境パフォーマンスデータ算出のために選択した連結アプローチの詳細を記載してください。

質問内容	
前年との比較	質問の修正(2023 C0.5、F0.5、F-MM0.9/F-CO0.9、W0.5)
説明	連結アプローチとは、環境影響(温室効果ガス排出量、取水量など)を組織に関連付ける方法です。データ利用者が環境影響と貴組織の事業活動との関係を解釈するのに役立ちます。
回答方法	以下の表に記入してください:

0	1	2
環境課題	使用した連結アプローチ	連結アプローチを選択した説明を示す。
気候変動	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • 財務管理 • 業務管理 • 株式所有 • その他、具体的にお答えください 	文章記入欄[最大 2,500 字]
フォレスト		
ウォーター		
プラスチック		
生物多様性		

モジュール 7: 環境パフォーマンス - 気候変動

モジュール概要

モジュール概要	<p>このモジュールには、排出量算定方法論、排出除外、排出インベントリと内訳、エネルギー関連活動、送配電、生産データ、原単位と効率指標に関する質問が含まれています。</p> <p>このモジュールでは、組織の低炭素エネルギー目標、その他の気候関連目標、ネットゼロ目標、排出削減イニシアチブの詳細、低炭素製品についても質問します。</p> <p>さらに、このモジュールは、組織に対し、利用可能な最善の技術、炭素回収・貯留／炭素回収利用（CCS/U）、土地管理慣行、ライフサイクル排出量、製品レベルの排出量、プロジェクトベースの炭素クレジットについて開示するよう求めています。</p>
---------	---

排出量算定方法と除外

セクション概要

セクション概要	<p>排出量の経年比較は、気候変動に関連する問題を管理する上で不可欠です。このセクションでは、報告年における組織構造、バウンダリー、算定方法の変更点を記述し、活動データの収集と排出量の算出に使用した基準、プロトコル、または方法論の詳細を示すことができます。</p> <p>GHG プロトコルは、新しい土地セクター・炭素除去ガイダンスを開発中です。この新しいガイダンスは、現在パイロットテストとレビューの段階にあり、2024年に最終化され発行される予定です。CDP 2024 質問書に回答する企業は、既存の GHG プロトコルのコーポレートスタンダードに従って報告すべきであり、土地セクター・炭素除去ガイダンスのドラフトはまだ開発中であるため、これに従う必要はありません。</p>
---------	---

(7.1) 貴組織は CDP に排出量データを今年初めて報告しますか。

質問内容	
前年との比較	変更なし(2023 C5.1)
説明	データ利用者は、排出量の前年との比較や変化を把握したいと考えており、この質問では、組織が CDP に対して過去に排出量データを報告したことがあるかどうかを示すことができます。この質問の回答によって、企業構造、排出量算定のバウンダリーや手法、報告年の変更の詳細に関する追加の質問が設定されます。
回答方法	以下の選択肢のいずれかを選択します： <ul style="list-style-type: none">はいいいえ

(7.1.1) 貴組織は、報告年度中に何らかの構造的な変更を行いましたか、または、以前の構造的な変更を今回の排出量データ開示に織り込んでいますか。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、7.1 で「いいえ」を選択した場合のみ表示されます。
前年との比較	変更なし(2023 C5.3a)
説明	買収、売却、合併のような構造的な変化によって、ある組織から別の組織への排出活動の所有権や支配権の移転が発生すると、基準年排出量に大きな影響を与える可能性があります。一つの構造的変更では重大な影響はないかもしれませんが、いくつかの小さな構造的変更が積み重なることで、重大な影響が生じる可能性があります。この質問は、基準年排出量の再計算のきっかけとなるような排出量の変化について、データ利用者に重要な情報を提供します。

回答方法	以下の表に記入してください:
------	----------------

1	2	3
構造的な変化はありましたか	買収、売却、合併した組織名	完了日を含む構造的変化の詳細
該当するものをすべて選んでください: <ul style="list-style-type: none"> • はい、買収 • はい、売却 • はい、合併 • はい、その他の構造的変化(具体的に) • いいえ 	文章記入欄[最大 500 文字]	文章記入欄[最大 2,500 文字]

(7.1.2) 報告年において、排出量算定方法、バウンダリー、報告年の定義に変更がありましたか？

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、7.1で「いいえ」を選択した場合のみ表示されます。
前年との比較	変更なし(2023 C5.1b)
説明	排出量算定方法、報告バウンダリーの方法、報告年の変更は、基準年の排出量に大きな影響を与え、企業のGHG排出インベントリの一貫性と妥当性を損なう可能性があります。この質問は、基準年排出量の再計算のきっかけとなるような排出量の変更について、データ利用者に重要な情報を提供します。
回答方法	以下の表に記入してください:

1	2
算定方法、バウンダリー、報告年の定義に変更がありましたか	算定方法、バウンダリー、および/または報告年の定義の変更の詳細
該当するものをすべて選んでください: <ul style="list-style-type: none"> • はい、算定方法の変更 • はい、バウンダリーの変更 • はい、報告年の定義の変更 • いいえ、しかし、前回の回答で重大な誤りを発見しました • いいえ 	文章記入欄[最大 2,500 文字]

(7.1.3) 質問 7.1.1 および/または 7.1.2 で報告された変更または誤りの結果として、貴組織の基準年排出量および過去の排出量を再計算しましたか。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、7.1.1で「はい」を選択した場合、または7.1.2の回答で「はい」または「•いいえ、しかし、前回の回答で重大な誤りを発見しました」のいずれかを選択した場合にのみ表示されます。
前年との比較	変更なし(2023 C5.1c)
説明	重要な変更(組織構造、算定手法、バウンダリーなど)は、企業の排出量プロファイルを変化させる可能性があり、意味のある過去との比較を困難にします。長期的に一貫性を維持するために、基準年排出量は、企業の変化を反映するために、遡及的に再計算されなければなりません。そうしなけ

	れば、企業の温室効果ガス排出インベントリの一貫性と妥当性が損なわれます。この質問により、データ利用者は、7.1.1および7.1.2で開示された変更または誤りの結果、企業が基準年排出量を再計算したかどうかを理解することができます。
回答方法	以下の表に記入してください

1	2	3	4
基準年の再計算	再計算されたスコープ	重大性の閾値を含む、基準年排出量再計算の方針	過去の排出量の再計算
選択肢: <ul style="list-style-type: none"> はい いいえ、変更によって基準年再計算をする必要があるかを評価していないため いいえ、その影響が重大性の閾値に至らないため いいえ、買収または売却が基準年に存在しなかったため いいえ、まだデータがなく、来年に再計算する予定です 	該当するものをすべて選んでください: <ul style="list-style-type: none"> スコープ 1 スコープ 2、ロケーション基準 スコープ 2、マーケット基準 スコープ 3 	文章記入欄[最大 2,500 文字]	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> はい いいえ

(7.2)活動データを収集し、排出量を計算するために使用した基準、プロトコル、または方法論の名称を選択してください。

質問内容	
前年との比較	軽微な変更(2023 C5.3)
説明	データ利用者は、どのような方法で排出量が算出されたかを理解する必要があります。
回答方法	以下の選択肢から該当するものをすべて選んでください: <ul style="list-style-type: none"> ABI Energia Linee Guida エネルギーの使用の合理化等に関する法律 米国石油協会、石油および天然ガスに関する GHG 排出方法の概要、2009 年 オーストラリア - 国家温室効果ガスおよびエネルギー報告法 Bilan Carbone ブラジル GHG プロトコル プログラム カナダ石油生産者協会、温室効果ガス排出量の計算、2003 年 中国企業省エネルギーおよび GHG 管理プログラム Defra(環境食糧農林省)環境報告ガイドライン:2019 年の簡素化されたエネルギーと炭素報告ガイダンスを含む ENCORD:建設 CO2 換算測定プロトコル エネルギー情報局 1605(b) カナダ環境省、電気公共事業に対する六フッ化硫黄(SF6)排出量評価および報告プロトコル カナダ環境省、アルミニウム生産、温室効果ガス排出量推定ガイダンスマニュアル カナダ環境省、卑金属溶錬/精錬、温室効果ガス排出量推定ガイダンスマニュアル カナダ環境省、セメント生産、温室効果ガス排出量推定ガイダンスマニュアル カナダ環境省、一次鉄および鋼鉄生産、温室効果ガス排出量推定ガイダンスマニュアル カナダ環境省、石灰生産、温室効果ガス排出量推定ガイダンスマニュアル

- カナダ環境省、一次マグネシウム生産および鋳造、温室効果ガス排出量推定ガイダンスマニュアル
- カナダ環境省、金属鋳業、温室効果ガス排出量推定ガイダンスマニュアル
- EPRA(欧州公共不動産協会)ガイドライン、2011年
- EPRA(欧州不動産協会)持続可能性ベストプラクティス勧告ガイドライン、2017
- 欧州連合排出権取引システム(EU ETS):監視および報告規制(MMR) - 設備に関する一般的ガイダンス
- 欧州連合排出権取引システム(EU ETS):監視および報告規制(MMR) - 航空機運行に関する一般的ガイダンス
- フランスの企業による温室効果ガス排出量評価方法(ADEME 2016)
- 金融向け炭素会計パートナーシップ(PCAF)
- 香港環境保護省、建物の温室効果ガス排出および除去に関する説明および報告のガイドライン、2010年
- ICLEI 地方自治体 GHG プロトコル
- IEA 燃料燃焼からの CO2 排出量
- インド GHG インベントリ プログラム
- 国際ワイン業界温室効果ガスプロトコルおよび説明ツール
- 国家温室効果ガス インベントリに関する IPCC ガイドライン、2006年
- IPIECA の GHG 排出量の報告に関する石油業界ガイドライン、2003年
- IPIECA の GHG 排出量の報告に関する石油業界ガイドライン、第2版、2011年
- ISO 14064-1
- 地球温暖化対策推進法(日本)
- 韓国温室効果ガスおよびエネルギー目標管理システム運用ガイドライン
- 企業向けの温室効果ガスを算定・報告するための中国国家発展改革委員会(NDRC)ガイダンス(試行版)
- ニュージーランド - 自発的、企業温室効果ガス報告に関するガイダンス
- フィリピン温室効果ガス説明および報告プログラム(PhilGARP)
- Programa GEI Mexico
- 第173-IV条に基づいた重大な間接排出量の報告に関する勧告(ADEME 2018)
- 地域温室効果ガスイニシアチブ(RGGI)モデル規則
- スマートフライト センター:GLEC 物流排出方法に関する枠組み
- 台湾 - GHG 削減法
- タイ温室効果ガス管理組織:組織に対するカーボンフットプリント国家ガイドライン
- 気候レジストリ:電力部門(EPS)プロトコル
- 気候レジストリ:一般的報告プロトコル
- 気候レジストリ:地方自治体運用(LGO)プロトコル
- 気候レジストリ:石油・天然ガス プロトコル
- クール ファーム ツール
- GHG 指標:企業および非営利団体向け温室効果ガス排出量の計算に関する UNEP(国際環境計画)ガイドライン
- GHG プロトコル:事業者の排出量の算定及び報告の基準(改訂版)
- GHG プロトコル農業ガイダンス:農業部門に関する事業者の排出量の算定及び報告の基準の解釈
- GHG プロトコル:公共部門基準
- GHG プロトコル:スコープ2 ガイダンス
- GHG プロトコル:事業者バリューチェーン(スコープ3)基準
- 東京キャップ・アンド・トレード・プログラム
- Toitū 炭素削減プログラム
- Toitū カーボンゼロプログラム
- US EPA 企業気候リーダーシップセンター:冷蔵、空調、消火、および工業用ガスから直接的漏洩による排出
- US EPA 企業気候リーダーシップセンター:イベントや会議からの間接的排出
- US EPA 企業気候リーダーシップセンター:購入電力からの間接的排出

	<ul style="list-style-type: none"> • US EPA 企業気候リーダーシップセンター:定常燃焼源からの直接的排出 • US EPA 企業気候リーダーシップセンター: 移動燃焼源からの直接的排出 • US EPA 義務的温室効果ガス報告規則 • US EPA 排出・発電情報統合データベース(eGRID) • VfU (Verein für Umweltmanagement)指標規格 • WBCSD:セメント CO2 およびエネルギープロトコル • 世界鉄鋼協会 CO2 排出量データ収集ガイドライン • その他、具体的に記載してください
--	--

(7.3)スコープ 2 排出量の報告に関する貴組織のアプローチについて説明してください。

質問内容	
前年との比較	変更なし(2023 C6.2)
説明	この質問の目的は、企業がスコープ 2 排出量算出方法を開示することです。これは、契約文書がある事業を行っていないためにマーケット基準の数値を報告していない企業と、契約文書があつて事業を行っているが、マーケット基準の数値を開示しないことを選んだ企業との間で差別化することが重要であるため、マーケット基準のスコープ 2 排出量を検討する時に特に関連性があります。CDP では、複数の企業にわたって正確な比較を可能にするためにこの質問を尋ねます。
回答方法	以下の表に記入してください

1	2	3
スコープ 2、ロケーション基準	スコープ 2、マーケット基準	コメント
選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • スコープ 2、ロケーション基準の数値を報告しています • スコープ 2、ロケーション基準の数値は報告していません 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • スコープ 2、マーケット基準の値を報告しています • 電力供給事業者の排出原単位または残余ミックスの排出原単位が利用可能な場所での操業はなく、マーケット基準のスコープ 2 の値を報告できません • 電力供給事業者の排出原単位または残余ミックスの排出原単位が利用可能な場所での操業はありますが、マーケット基準のスコープ 2 の値を報告できません 	文章記入欄[最大 2,400 文字]

(7.4)選択した報告バウンダリー内にあるスコープ 1、スコープ 2 またはスコープ 3 の排出源で、開示に含まれていないもの(施設、特定の温室効果ガス、活動、地域など)はありますか。

質問内容	
前年との比較	変更なし(2023 C6.4)
説明	場合によっては、すべての排出源のデータを収集するのが困難な可能性があります。このことが当てはまり得る状況には、データ収集が困難または信頼できない国/地域または小さな施設の排出源を含みます。合併、買収および投資引き上げを含む組織に対する構造的な変更も、排出量データが貴社の情報開示に含まれない理由になり得ます。この質問によって、企業はこれらの排出源が情報開示に含まれない場所を報告します。この結果として、報告した排出量インベントリの透明性をデータ利用者に提供します。
回答方法	以下のオプションのいずれかを選択します:

	<ul style="list-style-type: none"> • はい • いいえ
--	---

(7.4.1) 選択した報告バウンダリー内にあり、開示に含まれていないスコープ 1、スコープ 2、またはスコープ 3 の排出源の詳細を説明してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、7.4. で「はい」を選択した場合のみ表示されます。
前年との比較	軽微な変更(2023 C6.4a)
説明	場合によっては、すべての排出源のデータを収集するのが困難な可能性があります。このことが当てはまり得る状況には、データ収集が困難または信頼できない国/地域または小さな施設の排出源を含みます。合併、買収および投資引き上げを含む組織に対する構造的な変更も、排出量データが貴社の情報開示に含まれない理由になり得ます。この質問によって、企業はこれらの排出源が情報開示に含まれない場所を報告します。この結果として、報告した排出量インベントリの透明性をデータ利用者に提供します。
回答方法	以下の表に記入してください。表の下にある「行を追加」ボタンを使って行を追加することができます。

1	2	3	4	5	6
除外する排出源	スコープまたはスコープ 3 カテゴリー	除外する排出源のスコープ 1 との関連性について	除外する排出源のスコープ 2(ロケーション基準)との関連性について	除外する排出源のスコープ 2(マーケット基準)との関連性について	除外する排出源のスコープ 3 との関連性について

文章記入欄 [最大 2,500 文字]	該当するものをすべて選んでください: <ul style="list-style-type: none"> • スコープ 1 • スコープ 2(ロケーション基準) • スコープ 2(マーケット基準) • スコープ 3: 購入した商品およびサービス • スコープ 3: 資本財 • スコープ 3: 燃料およびエネルギー関連活動(スコープ 1 または 2 に含まれないもの) • スコープ 3: 上流の輸送および物流 • スコープ 3: 操業で発生する廃棄物 • スコープ 3: 出張 • スコープ 3: 従業員の通勤 • スコープ 3: 上流のリース資産 • スコープ 3: 下流の輸送および物流 • スコープ 3: 販売製品の加工 • スコープ 3: 販売製品の使用 • スコープ 3: 販売製品の生産終了処理 • スコープ 3: 下流のリース資産 • スコープ 3: フランチャイズ • スコープ 3: 投資 • スコープ 3: その他(上流) • スコープ 3: その他(下流) 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • 排出量に関連性はない • 排出量に関連性があるが、まだ計算されていない • 排出量は関連性があり、計算されているが、まだ開示されていない • 最近買収または合併したために除外された排出量 • 排出量を評価していない 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • 排出量に関連性はない • 排出量に関連性があるが、まだ計算されていない • 排出量は関連性があり、計算されているが、まだ開示されていない • 最近買収または合併したために除外された排出量 • 排出量を評価していない 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • 排出量に関連性はない • 排出量に関連性があるが、まだ計算されていない • 排出量は関連性があり、計算されているが、まだ開示されていない • 最近買収または合併したために除外された排出量 • 排出量を評価していない 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • 排出量に関連性はない • 排出量に関連性があるが、まだ計算されていない • 排出量は関連性があり、計算されているが、まだ開示されていない • 最近買収または合併したために除外された排出量 • 排出量を評価していない
---------------------------	--	---	---	---	---

7	8	9	10	11
合併・買収の完了日	除外された排出源に相当するスコープ 1+2 の総排出量の推定割合	除外された排出源に相当するスコープ 3 の総排出量の推定割合	この排出源が除外される理由を説明してください	除外された排出源に相当する排出量の割合をどのように推定したかを説明ください
[DD/MM/YYYY].]	数値記入欄[小数点以下 1 桁で 0~100 の値を入力]。	数値記入欄[小数点以下 1 桁で 0~100 の値を入力]。	文章記入欄[最大 2,500 文字]	文章記入欄[最大 2,500 文字]

スコープ 1、2、3 排出インベントリ

セクション概要

セクション概要	<p>排出量を報告することは、有害な気候への影響を理解し削減するために不可欠です。</p> <p>このセクションでは排出量データの詳細について、TCFD 提言の指標と目標 b) に沿って、スコープ 1、スコープ 2、および必要に応じてスコープ 3 の温室効果ガス(GHG)排出量と関連するリスクを開示します。</p> <p>このセクションでは、報告されたスコープ 1、2、3 の排出量に適用される第三者検証状況についての詳細も開示します。</p>
---------	---

(7.5) 基準年と基準年の排出量を記入してください。

質問内容	
前年との比較	質問の修正(2023 C5.2)
説明	意味のある一貫した排出量の経年比較を行うには、組織が現在の排出量を比較するための基準を設定する必要があります。
回答方法	以下の表に記入してください

0	1	2	3
スコープ	基準年終了	基準年排出量(トン CO ₂ e)	算定方法の詳細
スコープ 1	カレンダーボタンを使用するか、DD/MM/YYYY形式で手動で日付を入力してください	数値記入欄[0~999,999,999,999の数値を小数点以下3桁まで、カンマなしで入力]	文章記入欄[最大2,500文字]
スコープ 2(ロケーション基準)			
スコープ 2(マーケット基準)			
スコープ 3 カテゴリー1:購入品およびサービス			
スコープ 3 カテゴリー2:資本財			
スコープ 3 カテゴリー3:燃料・エネルギー関連活動(スコープ 1 または 2 に含まれないもの)			
スコープ 3 カテゴリー4 上流の輸送と流通			
スコープ 3 カテゴリー5:事業活動から生じる廃棄物			
スコープ 3 カテゴリー6 出張			
スコープ 3 カテゴリー7:従業員の通勤			
スコープ 3 カテゴリー8:上流のリース資産			
スコープ 3 カテゴリー9:下流の輸送および流通			
スコープ 3 カテゴリー10:販売製品の加工			
スコープ 3 カテゴリー11:販売製品の使用			
スコープ 3 カテゴリー12:販売済み製品の使用済み処理			
スコープ 3 カテゴリー13:下流リース資産			
スコープ 3 カテゴリー14:フランチャイズ			
スコープ 3 カテゴリー15:投資			
スコープ 3:その他(上流)			
スコープ 3:その他(下流)			

(7.6) 貴組織のスコープ 1 全世界総排出量は、何トン CO₂e でしたか。

質問内容	
前年との比較	質問の修正(2023 C6.1)

説明	排出量を報告することは、環境への悪影響を理解し、削減するための前提条件です。この質問は、組織が直接排出量からカーボン・フットプリントを測定していることを確認することを目的としています。
回答方法	以下の表に記入してください

0	1	23	3
年	スコープ 1 全世界総排出量(トン CO ₂ e)	終了日	算定方法の詳細
報告年	数値記入欄[小数点以下 3 桁まで、カンマなしで 0~999,999,999,999 の範囲を入力]。	[このセルはポータルでは表示されない]	文章記入欄[最大 2,500 文字]
過去 1 年目[質問 1.4 の 4 列目で「1 年」「2 年」「3 年」「4 年」「5 年」を選択した場合のみ表示]	数値記入欄[小数点以下 3 桁まで、カンマなしで 0~999,999,999,999 の範囲を入力]。	[DD/MM/YYYY]まで	
過去 2 年目[質問 1.4 の 4 列目で「2 年」「3 年」「4 年」「5 年」を選択した場合のみ表示]	数値記入欄[小数点以下 3 桁まで、カンマなしで 0~999,999,999,999 の範囲を入力]。	[DD/MM/YYYY]まで	
過去 3 年目[質問 1.4 の 4 列目で「3 年」「4 年」「5 年」を選択した場合のみ表示]	数値記入欄[小数点以下 3 桁まで、カンマなしで 0~999,999,999,999 の範囲を入力]。	[DD/MM/YYYY]まで	
過去 4 年目[質問 1.4 の 4 列目で「4 年」「5 年」を選択した場合のみ表示]	数値記入欄[小数点以下 3 桁まで、カンマなしで 0~999,999,999,999 の範囲を入力]。	[DD/MM/YYYY]まで	
過去 5 年目[質問 1.4 の 4 列目で「5 年」を選択した場合のみ表示]	数値記入欄[小数点以下 3 桁まで、カンマなしで 0~999,999,999,999 の範囲を入力]。	[DD/MM/YYYY]まで	

(7.7) 貴組織のスコープ 2 全世界総排出量は、何トン CO₂e でしたか。

質問内容	
前年との比較	質問の修正(2023 C6.3)
説明	排出量を報告することは、環境への負の影響を理解し削減するための前提条件です。この質問では、組織が購入または取得した電力、蒸気、熱、冷熱からの排出量を測定していることを確認するものです。
回答方法	以下の表に記入してください

0	1	2	3	4
年	スコープ 2 ロケーション基準、全世界総排出量(トン CO ₂ e)	スコープ 2 マーケット基準、全世界総排出量(トン CO ₂ e)(該当する場合)	終了日	算定方法の詳細
報告年	数値記入欄[小数点以下 3 桁まで、カンマなしで 0~999,999,999,999 の範囲を入力]。	数値記入欄[小数点以下 3 桁まで、カンマなしで 0~999,999,999,999 の範囲を入力]。	[このセルはポータルでは表示されない]	文章記入欄[最大 2,500 文字]
過去 1 年目[質問 1.4 の 5 列目で「1 年」「2 年」「3 年」「4 年」「5 年」を選択した場合のみ表示]	数値記入欄[小数点以下 3 桁まで、カンマなしで 0~999,999,999,999 の範囲を入力]。	数値記入欄[小数点以下 3 桁まで、カンマなしで 0~999,999,999,999 の範囲を入力]。	[DD/MM/YYYY]まで	

過去2年目[質問1.4の5列目で「2年」「3年」「4年」「5年」を選択した場合のみ表示]	数値記入欄[小数点以下3桁まで、カンマなしで0~999,999,999,999の範囲を入力]。	数値記入欄[小数点以下3桁まで、カンマなしで0~999,999,999,999の範囲を入力]。	[DD/MM/YYYY]まで	
過去3年目[質問1.4の5列目で「3年」「4年」「5年」を選択した場合のみ表示]	数値記入欄[小数点以下3桁まで、カンマなしで0~999,999,999,999の範囲を入力]。	数値記入欄[小数点以下3桁まで、カンマなしで0~999,999,999,999の範囲を入力]。	[DD/MM/YYYY]まで	
過去4年目[質問1.4の5列目で「4年」「5年」を選択した場合のみ表示]	数値記入欄[小数点以下3桁まで、カンマなしで0~999,999,999,999の範囲を入力]。	数値記入欄[小数点以下3桁まで、カンマなしで0~999,999,999,999の範囲を入力]。	[DD/MM/YYYY]まで	
過去5年目[質問1.4の5列目で「5年」を選択した場合のみ表示]	数値記入欄[小数点以下3桁まで、カンマなしで0~999,999,999,999の範囲を入力]。	数値記入欄[小数点以下3桁まで、カンマなしで0~999,999,999,999の範囲を入力]。	[DD/MM/YYYY]まで	

(7.8) 貴組織のスコープ3 全世界総排出量を示すとともに、除外項目について開示および説明してください。

質問内容	
前年との比較	ガイダンスの修正(2023 C6.5)
説明	ほとんどの組織にとって、排出量の大部分は、直接操作を超えたバリューチェーンの段階で発生しています。この質問により、データ利用者は、企業の算定プロセスの完璧さを評価し、また、組織がどのように排出量のフットプリントを分析しているかを理解することができます。
回答方法	以下の表に記入してください:

0	1	2	3	4	5
スコープ3 カテゴリ	評価状況	報告対象年の排出量(トンCO ₂ e)	排出量算定方法	サプライヤーまたはバリューチェーンパートナーから入手したデータを用いて算出した排出量の割合	説明してください
購入した商品とサービス	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 関連性あり、算定済み 関連しているが、算定していない 関連性なし、算定済み 関連性がない。理由の説明 関連性を評価していない 	数値記入欄[0~999,999,999,999の数値を小数点以下3桁まで、カンマなしで入力]。	該当するものをすべて選んでください: <ul style="list-style-type: none"> 資産特有の手法 平均データ手法 平均的製品手法 平均支出に基づいた手法 距離に基づいた手法 フランチャイズ固有の手法 燃料に基づいた手法 ハイブリッド手法 投資特有の手法 	数値記入欄[小数点以下2桁まで、カンマなしで0~100の数値を入力]。	文章記入欄[最大2,400文字]

			<ul style="list-style-type: none"> • 貸主特有の手法 • 拠点特有の手法 • 支出額に基づいた手法 • サプライヤー固有の方法 • 廃棄物の種類に応じた手法 • 使用段階の直接的排出量に関する方法、具体的にお答えください • 使用段階の間接的排出量に関する方法、具体的にお答えください • その他、具体的に 		
資本財					
燃料・エネルギー関連活動(スコープ 1、2 に含まれない)					
上流の輸送および物流					
操業で発生する廃棄物					
出張					
従業員の通勤					
上流リース資産					
下流の輸送および物流					
販売製品の加工					
販売製品の使用					
販売製品の生産終了処理					
下流リース資産					
フランチャイズ					
投資					
その他(上流)					
その他(下流)					

(7.8.1) 前年のスコープ 3 排出量データを開示するか再度記載してください。

質問内容

他の質問との関連性	この質問は、1.4.の「スコープ3排出量データを提供する過去の報告年数」で「1年」、「2年」、「3年」、「4年」、「5年」を選択した場合にのみ表示されます。
前年との比較	質問の修正(2023 C6.5a)
説明	有意義な排出量データ比較のための前提条件は、経時的な一貫したデータセットです。この質問によって、企業はCDPIに過去に提供したスコープ3排出量データをのデータを再掲することが可能になります。例えば、その履歴データが現在の組織/バウンダリを反映するようにします。また、初回答者は報告年前の5年間のスコープ3排出量データを記入することが可能になります。
回答方法	以下の表に記入してください:

0	1	2	3	4	5
年	終了日	スコープ 3: 購入した商品とサービス(トン CO2e)	スコープ 3: 資本財(トン CO2e)	スコープ 3: 燃料・エネルギー関連活動(スコープ 1 または 2 に含まれないもの)(トン CO2e)	スコープ 3: 上流の輸送および物流(トン CO2e)
過去 1 年目 [1.4 の 6 列目で「1年」、「2年」、「3年」、「4年」、「5年」を選択した場合のみ表示される]。	[DD/MM/YYYY]	数値記入欄[小数点以下 3 桁まで、カンマなしで 0~999,999,999 の範囲を入力]。	数値記入欄[小数点以下 3 桁まで、カンマなしで 0~999,999,999,999 の範囲を入力]。	数値記入欄[小数点以下 3 桁まで、カンマなしで 0~999,999,999,999 の範囲を入力]。	数値記入欄[小数点以下 3 桁まで、カンマなしで 0~999,999,999,999 の範囲を入力]。
過去 2 年目 [1.4 の 6 列目で「2年」「3年」「4年」「5年」を選択した場合のみ表示される]。					
過去 3 年目 [1.4 の 6 列目で「3年」「4年」「5年」を選択した場合のみ表示される]					
過去 4 年目 [1.4 の 6 列目で「4年」または「5年」を選択した場合のみ表示される]					
過去 5 年目 [1.4 の 6 列目で「5年」を選択した場合のみ表示される]。					

6	7	8	9	10	11	12
スコープ 3: 操業から排出される廃棄物(トン CO2e)	スコープ 3: 出張(トン CO2e)	スコープ 3: 従業員の通勤(トン CO2e)	スコープ 3: 上流のリース資産(トン CO2e)	スコープ 3: 下流の輸送および物通(トン CO2e)	スコープ 3: 販売製品の加工(トン CO2e)	スコープ 3: 販売製品の使用(トン CO2e)

数値記入欄[小数点以下3桁まで、カンマなしで0~999,999,999,999の範囲を入力]。						
---	---	---	---	---	---	---

13	14	15	16	17	18	19
スコープ3:販売製品の生産終了処理(トンCO2e)	スコープ3:下流のリース資産(トンCO2e)	スコープ3:フランチャイズ(トンCO2e)	スコープ3:投資(トンCO2e)	スコープ3:その他(上流)(トンCO2e)	スコープ3:その他(下流)(トンCO2e)	コメント
数値記入欄[小数点以下3桁まで、カンマなしで0~999,999,999,999の範囲を入力]。	数値記入欄[小数点以下3桁まで、カンマなしで0~999,999,999,999の範囲を入力]。	数値記入欄[小数点以下3桁まで、カンマなしで0~999,999,999,999の範囲を入力]。	数値記入欄[小数点以下3桁まで、カンマなしで0~999,999,999,999の範囲を入力]。	数値記入欄[小数点以下3桁まで、カンマなしで0~999,999,999,999の範囲を入力]。	数値記入欄[小数点以下3桁まで、カンマなしで0~999,999,999,999の範囲を入力]。	文章記入欄[最大5,000文字]

(7.9) 報告した排出量に対する検証/保証の状況を回答してください。

質問内容	
前年との比較	変更なし(2023 C10.1)
説明	CDPは、環境報告におけるグッドプラクティスとして、第三者による検証と保証を支持しています。この質問は、報告されたデータの正確性について、データ利用者に更なる信頼を与えるものです。
回答方法	以下の表に記入してください:

1	2
スコープ	検証/保証状況
スコープ1	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 排出量データ未提出 第三者検証または保証なし 第三者検証または保証を実施
スコープ2(ロケーション基準またはマーケット基準)	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 排出量データ未提出 第三者検証または保証なし 第三者検証または保証を実施
スコープ3	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 排出量データ未提出 第三者検証または保証なし 第三者検証または保証を実施

(7.9.1) スコープ1 排出量に対して行われた検証/保証の詳細を記入し、関連する報告書を添付してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、7.9の回答でスコープ1排出量について「第三者検証または保証を実施」を選択した場合のみ表示されます。
前年との比較	変更なし(2023 C10.1a)
説明	CDP は、環境報告におけるグッドプラクティスとして、検証と保証を支持しています。この質問は、報告されたデータの正確さについて、データ利用者にさらなる信頼を与えるものです。
回答方法	以下の表に記入してください。表の下にある「行を追加」ボタンを使って行を追加することができます。

1	2	3	4	5	6	7
検証/保証の実施サイクル	報告年の状況	検証/保証の種類	声明書を添付	参照ページ/章	関連する規格	検証された報告排出量の割合 (%)
選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 年1回のプロセス 隔年のプロセス 3年に1回のプロセス 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 本報告年の検証または保証はない 報告年の検証/保証を取得中で完了していない - 実施初年度 報告年の検証/保証を取得中で完了していない - 前年の検証書類を添付 完了 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 該当なし 限定的保証 中位の保証 合理的保証 高位の保証 第三者の検証/保証実施中 	ここに書類を添付してください。	文章記入欄[最大 500 文字]	関連する規格のド롭ダウンリストより選択。	数値記入欄[小数点やカンマを使わず、0~100の数値を入力]。

(7.9.2) スコープ2 排出量に対して行われた検証/保証の詳細を記入し、関連する報告書を添付してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、7.9の回答でスコープ2排出量について「第三者検証または保証を実施」を選択した場合のみ表示されます。
前年との比較	変更なし(2023 C10.1b)
説明	CDP は、環境報告におけるグッドプラクティスとして、検証と保証を支持しています。この質問は、報告されたデータの正確さについて、データ利用者にさらなる信頼を与えるものです。
回答方法	以下の表に記入してください。表の下にある「行を追加」ボタンを使って行を追加することができます。

1	2	3	4	5	6	7	8

スコープ 2 の手法	検証/保証の実施サイクル	報告年の状況	検証/保証の種類	声明書を添付	参照ページ/章	関連する規格	検証された報告排出量の割合(%)
選択肢: <ul style="list-style-type: none"> スコープ 2 ロケーション基準 スコープ 2 マーケット基準 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 年 1 回のプロセス 隔年のプロセス 3 年に 1 回のプロセス 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 本報告年の検証または保証はない 報告年の検証/保証を取得中で完了していない - 実施初年度 報告年の検証/保証を取得中で完了していない - 前年の検証書類を添付 完了 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 該当なし 限定的保証 中位の保証 合理的保証 高位の保証 第三者の検証/保証実施中 	ここに書類を添付する	文章記入欄 [最大 500 文字]	関連する規格のドロップダウンリストより選択	数値記入欄 [小数点やカンマを使わず、0~100 の数値を入力]。

[行を追加]

(7.9.3)スコープ 3 排出量について実施した検証/保証の詳細を記載し、関連する明細書を添付する。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、7.9の回答でスコープ3排出量について「第三者検証または保証を実施」を選択した場合のみ表示されます。
前年との比較	変更なし(2023 C10.1c)
説明	CDP は、環境報告におけるグッドプラクティスとして、検証と保証を支持しています。この質問は、報告されたデータの正確さについて、データ利用者にさらなる信頼を与えるものです。
回答方法	以下の表に記入してください。表の下にある「行を追加」ボタンを使って行を追加することができます。

1	2	3	4	5	6	7	8
スコープ 3 カテゴリ	検証/保証の実施サイクル	報告年の状況	検証/保証の種類	声明書を添付	参照ページ/章	関連する規格	検証された報告排出量の割合(%)
該当するものをすべて選んでください: <ul style="list-style-type: none"> スコープ 3: 購入した商品およびサービス スコープ 3: 資本財 スコープ 3: 燃料およびエネルギー 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 年 1 回のプロセス 隔年のプロセス 3 年に 1 回のプロセス 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 本報告年の検証または保証はない 報告年の検証/保証を取得中で完了していない - 実施初年度 報告年の検証/保証を 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 該当なし 限定的保証 中位の保証 合理的保証 高位の保証 第三者の検証/保証実施中 	ここに書類を添付する	文章記入欄 [最大 500 文字]	関連する規格のドロップダウンリストより選択	数値記入欄 [小数点やカンマを使わず、0~100 の数値を入力]。

<p>一関連活動 (スコープ 1 または 2 に 含まれない もの)</p> <ul style="list-style-type: none"> • スコープ 3: 上流の輸送 および物流 • スコープ 3: 操業で発 生する廃棄 物 • スコープ 3: 出張 • スコープ 3: 従業員の 通勤 • スコープ 3: 上流のリ ース資産 • スコープ 3: 投資 • スコープ 3: 下流の輸送 および物流 • スコープ 3: 販売製 品の加工 • スコープ 3: 販売製 品の使用 • スコープ 3: 販売製品の 生産終了処 理 • スコープ 3: 下流のリ ース資産 • スコープ 3: フランチ ャイズ 		<p>取得中で完 了していな い - 前年 の検証書類 を添付</p> <ul style="list-style-type: none"> • 完了 					
---	--	--	--	--	--	--	--

[行を追加]

関連する規格(7列目)	
<ul style="list-style-type: none"> • AA1000AS • ABNT NBR ISO 14064-3:2007 (Associação Brasileira de Normas Técnicas) • Advanced technologies promotion Subsidy Scheme with Emission reduction Target (ASSET) • Airport Carbon Accreditation (ACA) des Airports Council International Europe • Alberta Technology Innovation and Emissions Reduction (TIER) • ASAE3000 • 米国公認会計士協会のアテステーション基準 (AT105) • Australian National GHG emission regulation (NGER) 	<ul style="list-style-type: none"> • IDW AsS 821:IDW Assurance Standard:サス テナビリティ問題の報告の監査または審査に関する一 般に認められている保証指針 • ISAE3000 • ISAE 3410 • ISO14064-1 • ISO14064-3 • 日本自主参加型国内排出量取引制度(JVETS)第三者 検証ガイドライン • 韓国GHGおよびエネルギー目標管理制度 • NMX-SAA-14064-3-IMNC:Instituto Mexicano de Normalización y Certificación A.C • サステナビリティレポートの保証に関するRevR6手順 • 埼玉県目標設定排出量取引プログラム • SGS Sustainability Report Assurance

<ul style="list-style-type: none"> California Mandatory GHG Reporting Regulations (CARB) カナダ勅許会計士協会(CICA)ハンドブック:保証セッション5025 カーボントラスト認証 Chicago Climate Exchange (CCX) verification standard 気候変動対策レジストリの一般的検証プロトコル(別名、California Climate Action Registry(CCAR)) Compagnie Nationale des Commissaires aux Comptes (CNCC) ERTによる企業温室効果ガス検証ガイドライン DNV VeriSustain Protocol/ Verification Protocol for Sustainability Reporting Dutch Standard 3000A EarthCheck認証 ERM GHG Performance Data Assurance Methodology 欧州連合排出権取引システム(EU ETS) IDW PS 821:IDW Prüfungsstandard:Grundsätze ordnungsmäßiger Prüfung oder prüferischer Durchsicht von Berichtenim Bereich der Nachhaltigkeit 	<ul style="list-style-type: none"> スペイン公認会計士協会(ICJCE) SSAE 3000 Standard 3810N Assurance engagements relating to sustainability reports of the Royal Netherlands Institute of Registered Accountants State of Israel Ministry of Environmental Protection, Verification of GHG and emissions reduction in Israel Guidance Document 企業に対するスイス気候CO2ラベル Thai Greenhouse Gas Management Organisation (TGO) Greenhouse Gas (GHG) Verification Protocol Toitū Envirocare’s carbonreduce certification standard 東京都総量削減義務と排出量取引制度 その他、具体的に示してください
--	---

(7.10) 報告年における排出量総量(スコープ1+2)は前年と比較してどのように変化しましたか。

質問内容	
前年との比較	変更なし(2023 C7.9)
説明	投資家やデータ利用者は、企業が年々排出量を削減しているかどうかを理解することに関心があります。
回答方法	以下のオプションのいずれかを選択します： <ul style="list-style-type: none"> 増加 減少 全般的に変わらない 今回が初めての報告年で、そのため昨年と比較できない 排出量データがありません

(7.10.1)全世界総排出量(スコープ1と2の合計)の変化の理由を特定し、理由ごとに前年と比較して排出量がどのように変化したかを示してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、7.10の回答で「増加」、「減少」または「全般的に変わらない」を選択した場合にのみ表示されます。
前年との比較	変更なし(2023 C7.9a)

説明	投資家は、総排出量(スコープ1+2の合計)が前年との比較でどのように変化したかを調査する際、細かなレベルでの変化に関心を持ちます。したがって、この質問から、これらの変化に寄与した要因についての理解することができます。
回答方法	以下の表に記入してください:

1	2	3	4	5
理由	排出量の変化(トンCO2e)	排出量変化の増減	排出量(割合)	計算方法を説明してください
再生可能エネルギー消費量の変化	数値記入欄[0~999,999,999,999の数値を小数点以下3桁まで、カンマなしで入力]。	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 増加 減少 変更なし 	数値記入欄[小数点以下4桁まで、カンマなしで0~999の数値を入力]。	文章記入欄[最大 2,400文字]
その他の排出削減活動				
投資引き上げ				
買収				
合併				
生産量の変化				
方法論の変更				
バウンダリーの変更				
物理的操業条件の変更				
不明				
その他				

(7.10.2)質問 7.10 及び 7.10.1 における排出量実績計算は、ロケーション基準のスコープ 2 排出量値もしくはマーケット基準のスコープ 2 排出量値のどちらに基づいていますか。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、7.10の回答で「増加」、「減少」または「全般的に変わらない」を選択した場合にのみ表示されます。
前年との比較	変更なし(2023 C7.9b)
説明	この質問によって、貴組織の排出量実績の数値がどのように導き出されたのかについて、より透明性を高めることができます。
回答方法	以下のいずれかを選択します: <ul style="list-style-type: none"> ロケーション基準 マーケット基準 不明

生物起源炭素

(7.12)生物起源炭素からの二酸化炭素排出は、貴組織と関係がありますか

質問内容	
前年との比較	変更なし(2023 C6.7)
説明	GHG プロトコルのコーポレートスタンダードでは、生物起源炭素からの二酸化炭素排出量は、スコープとは別に報告しなければならないと説明しています。
回答方法	以下のいずれかを選択してください。 <ul style="list-style-type: none">• はい• いいえ

(7.12.1)貴組織に関連する生物起源炭素からの排出量は何トン CO₂e ですか

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、7.12 の回答で「はい」を選択した場合のみ表示されます。
前年との比較	変更なし(2023 C6.7a)
説明	この質問でデータ利用者は生物起源炭素からの二酸化炭素排出量を理解できます。これらの排出量を個別に報告することは、ベストプラクティスの環境報告や GHG プロトコルのコーポレートスタンダードに沿ったものです。
回答方法	以下の表に記入してください

1	2
生物起源炭素からの二酸化炭素排出量(トン CO ₂)	コメント
数値記入欄[0~999,999,999,999 の数値を小数点以下 3 桁まで、カンマなしで入力]。	文章記入欄 [最大 2,400 文字]

排出量の内訳

セクション概要

セクション概要	<p>このセクションでは、回答者がスコープ 1 とスコープ 2 の排出量を国別、事業部門別、施設別、活動別に分けることができます。</p> <p>排出量を国や地域ごとに分類することで、このデータを地域、州、サブナショナルが利用できるようになり、排出量関連の法整備に役立てることができます。</p> <p>事業部門、施設、活動ごとに排出量を分類することで、データ利用者や投資家は、企業のスコープ 1 と 2 の排出源について透明性を確保し、事業部門や個々の施設のパフォーマンスを長期的に追跡することができます。</p> <p>この項では、二酸化炭素以外の排出量についても記載を求めています。これらのガスは、CO₂ 換算トン(トン CO₂e)でのみ報告されることが多いため、排出量全体への寄与が隠されている場合があります。</p>
---------	---

(7.15) 貴組織は、温室効果ガスの種類別のスコープ1 排出量の内訳を作成していますか。

質問内容	
前年との比較	変更なし(2023 C7.1)
説明	多くのセクターや事業活動において、二酸化炭素以外の温室効果ガスも重要であり、関連性があります。これらの温室効果ガスは、CO ₂ 換算量(CO ₂ e)でのみ報告されることが多いため排出量全体に占める割合が不明瞭になることがあります。そのため、CDPでは温室効果ガス別にスコープ1総排出量の内訳を示すことを企業に求めています。
回答方法	以下のオプションのいずれかを選択します： <ul style="list-style-type: none"> • はい • いいえ • わかりません

(7.15.1) 貴組織のスコープ1 総排出量の内訳を温室効果ガスの種類ごとに回答し、使用した地球温暖化係数(GWP)それぞれの出典も記入してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、7.15の回答で「はい」を選択した場合のみ表示されます。
前年との比較	変更なし(2023 C7.1a)
説明	多くのセクターや事業活動において、二酸化炭素以外の温室効果ガスも重要であり、関連性があります。これらの温室効果ガスは、CO ₂ 換算量(CO ₂ e)でのみ報告されることが多いため排出量全体に占める割合が不明瞭になることがあります。そのため、CDPでは温室効果ガス別にスコープ1総排出量の内訳を示すことを企業に求めています。
回答方法	以下の表に記入してください。表の下にある「行を追加」ボタンを使って行を追加することができます。

1	2	3
温室効果ガス	スコープ1 排出量(トン CO ₂ e)	GWP 参照
選択肢： <ul style="list-style-type: none"> • CO₂ • CH₄ • N₂O • HFC • PFC • SF₆ • NF₃ • その他、具体的に 	数値記入欄[小数点以下3桁まで、カンマなしで0~999,999,999,999の範囲を入力]。	選択肢： <ul style="list-style-type: none"> • IPCC 第6次評価報告書(AR6-100年) • IPCC 第5次評価報告書(AR5-100年) • IPCC 第4次評価報告書(AR4-100年) • IPCC 第3次評価報告書(TAR-100年) • IPCC 第2次評価報告書(SAR-100年) • IPCC 第4次評価報告書(AR4-50年) • IPCC 第3次評価報告書(TAR-50年) • IPCC 第2次評価報告書(SAR-50年) • IPCC 第6次評価報告書(AR6-20年) • IPCC 第5次評価報告書(AR5-20年) • IPCC 第4次評価報告書(AR4-20年) • IPCC 第3次評価報告書(TAR-20年) • IPCC 第2次評価報告書(SAR-20年) • その他、具体的に

[行を追加]

(7.16) スコープ 1 と 2 の総排出量の内訳を国・地域別で回答してください。

質問内容	
前年との比較	質問の修正(2023 C7.2, C7.5)
説明	排出量を国・地域レベルまで細分化することで、排出量に関連する法整備の指針となる情報やデータを提供することができます。
回答方法	以下の表に記入してください

0	1	2	3
国・地域	スコープ 1 排出量(トン CO ₂ e)	スコープ 2、ロケーション基準(トン CO ₂ e)	スコープ 2、マーケット基準(トン CO ₂ e)
質問 1.7 で選択した国/地域に基づいて固定行が表示されます。	数値記入欄[0~999,999,999,999 の数値を小数点以下 3 桁まで、カンマなしで入力]。	数値記入欄[0~999,999,999,999 の数値を小数点以下 3 桁まで、カンマなしで入力]。	数値記入欄[0~999,999,999,999 の数値を小数点以下 3 桁まで、カンマなしで入力]。

(7.17) スコープ 1 排出量の内訳として、回答可能な分類方法があれば回答してください。

質問内容	
前年との比較	変更なし(2023 C7.3)
説明	事業部門別、施設別、活動別の排出量の内訳を企業に求めることで、CDPはデータ利用者と投資家に、企業のスコープ1排出源の透明性を提供しています。
回答方法	以下の選択肢から該当するものをすべて選んでください： <ul style="list-style-type: none"> 事業部門別 施設別 活動別

(7.17.1) 事業部門別のスコープ 1 全世界総排出量の内訳を示してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、7.17の回答で「事業部門別」を選択した場合にのみ表示されます。
前年との比較	変更なし(2023 C7.3a)
説明	この質問により、貴組織の各部門の相対的なGHGパフォーマンスを知ることができます。長期にわたって報告されれば、貴組織とCDPのデータ利用者は、部門のパフォーマンスの改善や低下を検討することができます。
回答方法	以下の表に記入してください。表の下にある「行を追加」ボタンを使って行を追加することができます。

1	2
事業部門	スコープ 1 排出量(トン CO ₂ e)
文章記入欄[最大 500 文字]	数値記入欄[小数点以下 3 桁まで、カンマなしで 0~999,999,999,999 の範囲を入力]。

[行を追加]

(7.17.2) 施設別のスコープ1 全世界総排出量の内訳を示してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、7.17の回答で「施設別」を選択した場合のみ表示されます。
前年との比較	変更なし(2023 C7.3b)
説明	施設レベルの排出量数値を提供することで、データ利用者は、貴組織がこの分野の規制に現在/潜在的にさらされていることを知ることができます。このレベルでの報告は、施設間の比較に有用な指標を提供することができます。
回答方法	以下の表に記入してください。表の下にある「行を追加」ボタンを使って行を追加することができます。

1	2	3	4
施設	スコープ1 排出量(トン CO2e)	緯度	経度
文章記入欄[最大 500 文字]	数値記入欄[小数点以下 3 桁まで、カンマなしで 0~999,999,999,999 の範囲を入力]。	ここに施設の緯度を 90.000000~-90.000000 の数字で入力してください(例: 51.524810)	施設の経度を 180.000000~-180.000000 の数字で入力 (例:-0.106958)

[行を追加]

(7.17.3) 活動別のスコープ1 全世界総排出量の内訳を示してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、7.17の回答で「活動別」を選択した場合のみ表示されます。
前年との比較	変更なし(2023 C7.3c)
説明	活動別の排出量を報告することで、将来の規制や気候関連問題に関連するビジネスリスクをより深く理解することができ、組織は、事業活動に関連する排出量を削減する潜在的な機会を特定することができます。
回答方法	以下の表に記入してください。表の下にある「行を追加」ボタンを使って行を追加することができます。

1	2
活動	スコープ1 排出量(トン CO2e)
文章記入欄[最大 500 文字]	数値記入欄[小数点以下 3 桁まで、カンマなしで 0~999,999,999,999 の範囲を入力]。

[行を追加]

(7.20) スコープ2 排出量の内訳として、回答可能な分類方法があれば回答してください。

質問内容

前年との比較	変更なし(2023 C7.6)
説明	事業部門別、施設別、活動別の排出量の内訳を企業に求めることで、CDPはデータ利用者や投資家に、企業のスコープ2排出源の透明性を提供しています。
回答方法	以下の選択肢から該当するものをすべて選んでください： <ul style="list-style-type: none"> 事業部門別 施設別 活動別

(7.20.1) 事業部門別のスコープ2 全世界総排出量の内訳を示してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、7.20の回答で「事業部門」を選択した場合のみ表示されます。
前年との比較	変更なし(2023 C7.6a)
説明	この質問により、貴組織の各部門の相対的なGHGパフォーマンスを知ることができます。長期にわたって報告されれば、貴組織とCDPのデータ利用者は、部門のパフォーマンスの改善や低下を検討することができます。
回答方法	以下の表に記入してください。表の下にある「行を追加」ボタンを使って行を追加することができます。

1	2	3
事業部門	スコープ2、ロケーション基準(トン CO2e)	スコープ2、マーケット基準(トン CO2e)
文章記入欄[最大 500 文字]	数値記入欄[0~999,999,999,999 の数値を小数点以下 3 桁まで、カンマなしで入力]。	数値記入欄[0~999,999,999,999 の数値を小数点以下 3 桁まで、カンマなしで入力]。

(7.20.2) 施設別のスコープ2 全世界総排出量の内訳を示してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、7.20の回答で「施設別」を選択した場合のみ表示されます。
前年との比較	変更なし(2023 C7.6b)
説明	施設レベルの排出量数値を提供することで、データ利用者は、貴組織がこの分野の規制に現在/潜在的にさらされていることを知ることができます。このレベルでの報告は、施設間の比較に有用な指標を提供することができます。
回答方法	以下の表に記入してください。表の下にある「行を追加」ボタンを使って行を追加することができます。

1	2	3
施設	スコープ2、ロケーション基準(トン CO2e)	スコープ2、マーケット基準(トン CO2e)

文章記入欄[最大 500 文字]	数値記入欄[0~999,999,999,999 の数値を小数点以下 3 桁まで、カンマなしで入力]。	数値記入欄[0~999,999,999,999 の数値を小数点以下 3 桁まで、カンマなしで入力]。
------------------	--	--

[行を追加]

(7.20.3) 活動別のスコープ 2 全世界総排出量の内訳を示してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、7.20の回答で「活動別」を選択した場合のみ表示されます。
前年との比較	変更なし(2023 C7.6c)
説明	活動別の排出量を報告することで、将来の規制や気候関連問題に関連するビジネスリスクをより深く理解することができ、組織は、事業活動に関連する排出量を削減する潜在的な機会を特定することができます。
回答方法	以下の表に記入してください。表の下にある「行を追加」ボタンを使って行を追加することができます。

1	2	3
活動	スコープ 2、ロケーション基準(トン CO2e)	スコープ 2、マーケット基準(トン CO2e)
文章記入欄[最大 500 文字]	数値記入欄[0~999,999,999,999 の数値を小数点以下 3 桁まで、カンマなしで入力]。	数値記入欄[0~999,999,999,999 の数値を小数点以下 3 桁まで、カンマなしで入力]。

[行を追加]

(7.22)スコープ 1 とスコープ 2 の総排出量を、貴組織の連結会計グループと、回答に含まれる他の事業体との間で分けてください。

質問内容	
前年との比較	新規質問
説明	連結会計グループに関連する排出量を把握することで、排出量削減のための行動目標を設定することができます。また、その内訳は、データ利用者に対して、排出源、ひいては事業全体のリスクと機会をよりよく理解する機会を提供します。
回答方法	以下の表に記入してください:

0	1	2	3	4
事業体グループ	スコープ 1 排出量(トン CO2e)	スコープ 2、ロケーション基準排出量(トン CO2e)	スコープ 2、マーケット基準排出量(トン CO2e)	説明してください
連結会計グループ	数値記入欄[0~999,999,999,999 の数値を小数点以下 3 桁まで、カンマなしで入力]。	数値記入欄[0~999,999,999,999 の数値を小数点以下 3 桁まで、カンマなしで入力]。	数値記入欄[0~999,999,999,999 の数値を小数点以下 3 桁まで、カンマなしで入力]。	文章記入欄[最大 2,500 文字]
その他すべての事業体				

(7.23) 貴組織は、CDP 回答に含まれる子会社の排出量データの内訳を示すことはできますか。

質問内容	
前年との比較	変更なし(2023 C7.7)
説明	子会社レベルの排出量を把握することで、親会社は、排出量削減のための行動目標をより明確にすることができます。また、その内訳は、投資家やその他のデータ利用者に、排出源、ひいては事業全体のリスクと機会をよりよく理解する機会を提供します。
回答方法	選択肢： <ul style="list-style-type: none"> • はい • いいえ • 子会社がないため、関連性なし

(7.23.1) スコープ 1 およびスコープ 2 の総排出量を子会社別に内訳を示してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、7.23で「はい」を選択した場合のみ表示されます。
前年との比較	質問の修正(2023 C7.7a)
説明	子会社レベルの排出量を把握することで、親会社は排出量削減のための行動目標を設定することができます。また、その内訳は、データ利用者に対して、事業全体の排出源、したがってリスクと機会をよりよく理解する機会を提供します。
回答方法	以下の表に記入してください。表の下にある「行を追加」ボタンを使って行を追加することができます。

1	2	3	4	5	6	7
子会社名	主な活動	この子会社に提供できる固有の識別子を選択してください。	ISIN コード - 債券	ISIN コード - 株式	CUSIP 番号	ティッカーシンボル
文章記入欄[最大 200 文字]	選択 [CDP-ACS 活動のドロップダウンリスト] 選択肢。	該当するものをすべて選んでください： <ul style="list-style-type: none"> • ISIN コード - 債券 • ISIN コード - 株式 • CUSIP 番号 • ティッカーシンボル • SEDOL コード • LEI 番号 • D-U-N-S 番号 • その他の一意の識別子 (具体的にご記入ください) • 一意の識別子なし 	文章記入欄[最大 12 文字]	文章記入欄[最大 12 文字]	文章記入欄[最大 9 文字]	文章記入欄[最大 5 文字]

8	9	10	11	12	13	14	15
SEDOLコード	LEI番号	D-U-N-S番号	その他の一意の識別子	スコープ1 排出量 (トンCO2e)	スコープ2、ロケーション基準排出量(トンCO2e)	スコープ2、マーケット基準排出量 (トンCO2e)	コメント
文章記入欄[最大7文字]	文章記入欄[最大20文字]	文章記入欄[最大9文字]	文章記入欄[最大50文字]	数値記入欄[0~999,999,999,999の数値を小数点以下3桁まで、カンマなしで入力]。	数値記入欄[0~999,999,999,999の数値を小数点以下3桁まで、カンマなしで入力]。	数値記入欄[0~999,999,999,999の数値を小数点以下3桁まで、カンマなしで入力]。	文章記入欄[最大2,500文字]

(7.26) 本報告対象期間に販売した商品またはサービス量に応じて、貴組織の排出量を以下に示す顧客に割り当ててください。(CDP サプライチェーンメンバーからの回答要請を受けている場合のみ)

質問内容	
前年との比較	質問の修正(2023 SC1.1、SC1.2)
説明	この情報は、回答を要請するサプライチェーンメンバーに対して、報告期間中に販売された商品やサービスに関連する排出量を明確にするものです。このことは、排出量配分の透明性、排出量配分の検証、使用された方法論をサポートします。また、この質問は、どのようにデータを取得し、どのようにサプライチェーンメンバーに割り当てられた排出量の値を導き出したかについての透明性を示します。
回答方法	この表は、1列目で選択した顧客(「回答要請メンバー」)のみが、関連するデータを見ることができるように設計されています。回答要請メンバーを選択せずに回答を入力した場合、回答は誰にも表示されません。 以下の表を完成させてください。表は見やすくするために数行にわたって表示されています。表の下にある「行の追加」ボタンで行を追加することができます。

1	2	3	4	5	6	7
回答要請メンバー	排出のスコープ	スコープ3 カテゴリー	割当レベル	割当レベルの詳細	割当方法	提供された商品/サービスの市場価値または数量の単位
選択肢: <ul style="list-style-type: none"> メンバーのドロップダウンリスト 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> スコープ1 スコープ2: ロケーション基準 スコープ2: マーケット基準 スコープ3 	該当するものをすべて選んでください: <ul style="list-style-type: none"> カテゴリー1: 購入品およびサービス カテゴリー2: 資本財 カテゴリー3: 燃料・エネルギー関連活動(スコープ1または2に含まれないもの) カテゴリー4: 上流の輸送と物流 カテゴリー5: 操業中に発生する廃棄物 カテゴリー6: 出張 カテゴリー7: 従業員の通勤 カテゴリー8: 上流リース資産 カテゴリー9: 下流の輸送と物流 カテゴリー10: 販売製品の加工 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 会社 事業ユニット(子会社) 施設 商品 	文章記入欄 [最大500文字]	下のドロップダウンリストより選択	下のドロップダウンリストより選択

		<ul style="list-style-type: none"> •カテゴリー11:販売製品の使用 •カテゴリー12:販売製品の生産終了処理 •カテゴリー13:下流リース資産 •カテゴリー14:フランチャイズ •カテゴリー15:投資 •その他(上流) •その他(下流) 				
--	--	---	--	--	--	--

8	9	10	11	12	13	14
回答要請メンバーに提供した商品/サービスの市場価値または数量	排出量(トンCO ₂ e)	不確実性(±%)	主な排出源	第三者検証の実施	GHG 発生源をどのように特定したのか、このプロセスの主な制限事項や仮定を含めて説明してください。	公表されている情報を使用した場合は、参考文献を記載してください。
数値記入欄[小数点以下4桁以内で0~999,999,999,999の数値を入力]。	数値記入欄[小数点以下4桁以内で0~999,999,999,999の数値を入力]。	パーセンテージ欄[0~100のパーセンテージを入力する]	文章記入欄[最大2,500文字]	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • はい • いいえ 	文章記入欄[最大5,000文字]	文章記入欄[最大5,000文字]

[行を追加]

割当方法(6列目)	
<ul style="list-style-type: none"> • 利用できる一次データの種類により、割り当ては必要ありません • 二次データを使用したため、割り当ては必要ない • 購入した製品の質量に基づいた割り当て • 購入した製品の量に基づいた割り当て • 購入した製品のエネルギー含量に基づいた割り当て • 購入した製品の化学物質含有量に基づいた割り当て 	<ul style="list-style-type: none"> • 購入した単位数に基づいた割り当て • 面積に基づいた割り当て • 別の物理的要因に基づいた割り当て • 購入した製品の市場価値に基づいた割り当て • その他、具体的にお答えください

提供された商品/サービスの市場価値または数量の単位(7列目)	
<ul style="list-style-type: none"> • 通貨 • キログラム • ポンド(lb) • トン • ガロン • リットル • 立方フィート • 立方メートル 	<ul style="list-style-type: none"> • 平方メートル • ヘクタール • メガワット時(MWh) • フルタイム換算(FTE) • 時間 • キロ • 旅客キロ • その他の単位、具体的に

(7.27) 排出量を顧客ごとに割り当てる際の課題と、その課題を克服するために役立つことは何ですか。

質問内容	
前年との比較	変更なし(2023 SC1.3)

説明	この質問の目的は、貴組織の製品やサービスから特定の排出量を割り当てる際の課題について、貴組織の顧客に情報を提供することです。場合によっては、そのような課題を克服するための具体的な解決策を、貴組織と顧客の間で見つけることができるかもしれません。
回答方法	以下の表に記入してください。表の下にある「行を追加」ボタンを使って行を追加することができます。

1	2
割当の課題	これらの課題を克服するために何が役立つかを説明してください。
選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 製品ラインが多様であることから、それぞれの製品/製品ラインのコストを正確に算定するのが難しい 顧客基盤が大きく多様なため、顧客レベルでの排出量を正確に追跡するのが困難 多様で多数の地域にわたる排出係数を管理しなくてはならないので、総フットプリントの計算をするのが困難 そうするには、事業上の機密情報/専有情報を開示する必要がある 課題には直面していない その他、具体的に示してください 	文章記入欄[最大2,500文字]

(7.28) 今後、顧客ごとの排出量を割り当てられるようにする計画はありますか？

質問内容	
前年との比較	質問の修正(2023 SC1.4、SC1.4a、SC1.4b)
説明	この質問の狙いは、顧客に対して、排出量配分の能力開発をどのように目指しているかについての洞察と透明性を提供することで、顧客が、貴組織が提供する商品/サービスの排出量および/またはエネルギー原単位をより深く理解できるようにすることです。
回答方法	以下の表に記入してください:

1	2	3	4
今後、排出量を顧客に割り当てる能力を開発する予定はありますか	どのように能力を開発する予定ですか	排出量を顧客に割り当てる能力を開発する計画がない主な理由	排出量を顧客に割り当てる能力を開発する予定がない理由を説明してください
選択肢: <ul style="list-style-type: none"> はい いいえ 	文章記入欄[最大 5,000 文字]	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 内部リソース、能力、または専門知識の欠如(例: 組織の規模が原因) 標準化された手順がない 当面の戦略的優先事項ではない 重要でないか、関連性がないと判断した 排出量を顧客に割り当てる能力はすでに最大化されている その他、具体的に 	文章記入欄[最大 5,000 文字]

[固定列]

エネルギー関連活動 セクション概要

セクション概要	<p>エネルギー関連活動は、多くのセクターにとって、最も重要な GHG 排出源です。このセクションでは、組織によるエネルギーの消費と生成に関する透明性を提供します。</p> <p>正確な排出量算定は、エネルギーの包括的な記載にかかっています。質問項目別ガイダンスに別段の記載がない限り、本セクションで要求されるエネルギー発電量データは、スコープ 1 の排出源、すなわち、組織が所有または管理する発電ユニットからの排出量と整合するようにしてください。また購入または取得したエネルギーに関する要求されるデータは、スコープ 2 の排出量報告に整合するようにしてください。</p>
---------	--

(7.29) 報告年の事業支出のうち何%がエネルギー使用によるものでしたか？

質問内容	
前年との比較	変更なし(2023 C8.1)
説明	この質問の目的は、貴組織の活動が、エネルギーコストやエネルギー供給にどの程度敏感であるかを明らかにすることです。
回答方法	<p>以下のいずれかを選択してください：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 0% • 0%以上5%以下 • 5%以上10%以下 • 10%以上15%以下 • 15%以上20%以下 • 20%以上25%以下 • 25%以上30%以下 • 30%以上35%以下 • 35%以上40%以下 • 40%以上45%以下 • 45%以上50%以下 • 50%以上55%以下 • 55%以上60%以下 • 60%以上65%以下 • 65%以上70%以下 • 70%以上75%以下 • 75%以上80%以下 • 80%以上85%以下 • 85%以上90%以下 • 90%以上95%以下 • 95%以上100%以下 • わからない

(7.30) 貴組織は、どのエネルギー関連活動を行ったか選択してください。

質問内容

他の質問との関連性	7.30への回答で選択したエネルギー関連活動は、次の質問でどのエネルギー内訳に回答するかを決定します。7.30への回答が修正された場合、後続の質問のデータは消去される可能性がありますのでご注意ください。
前年との比較	変更なし(2023 C8.2)
説明	この質問は、スコープ1およびスコープ2排出量に関連する組織のエネルギー消費形態に関する情報、およびエネルギー生成に関する透明性をデータ利用者に提供します。
回答方法	以下の表に記入してください：

1	2
事業活動	報告年において、貴組織がこのエネルギー関連活動を実施しましたか。
燃料の消費(原材料を除く)	選択肢： <ul style="list-style-type: none"> • はい • いいえ
購入または取得した電力の消費	
購入または取得した熱の消費	
購入または取得した蒸気の消費	
購入または取得した冷熱の消費	
電気、熱、蒸気、冷熱の生成	

(7.30.1) 貴組織のエネルギー消費量合計(原料を除く)を MWh 単位で報告してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、7.30 に記載されている活動のいずれかに「はい」を選択した場合に表示されます。この表には、7.30 で選択したエネルギー関連活動ごとに行が表示されます。「総エネルギー消費量」の行は常に表示されています。
前年との比較	変更なし(2023 C8.2a)
説明	排出量計算におけるエネルギー消費の重要性を考慮し、この設問は、組織によるエネルギー消費について、データ利用者に透明性を提供しようとするものです。この質問は、組織が総エネルギー消費量を開示し、再生可能なエネルギーと再生不可能なエネルギーとを区別する機会を提供するものです。
回答方法	以下の表に記入してください。

0	1	2	3	4
事業活動	発熱量	再生可能エネルギーによる MWh	非再生可能エネルギーによる MWh	合計(再生可能+非再生可能) MWh

燃料の消費(原材料を除く)	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> LHV(低位発熱量) HHV(高位発熱量) 発熱量を確認できない 	数値記入欄[0から9,999,999,999までの数値を小数点以下2桁まで、カンマなしで入力]。	数値記入欄[0から9,999,999,999までの数値を小数点以下2桁まで、カンマなしで入力]。	数値記入欄[0から9,999,999,999までの数値を小数点以下2桁まで、カンマなしで入力]。
購入または取得した電力の消費	該当なし			
購入または取得した熱の消費	該当なし			
購入または取得した蒸気の消費	該当なし			
購入または取得した冷熱の消費	該当なし			
自家生成非燃料再生可能エネルギーの消費	該当なし		該当なし	
総エネルギー消費量	該当なし			

[固定列]

(7.30.6) 貴組織の燃料消費の用途を選択してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、7.30への回答で「燃料の消費(原材料を除く)」を選択した場合のみ表示されます。この表で選択した各オプションは、7.30.7に追加の列として表示されます。
前年との比較	変更なし(2023 C8.2b)
説明	スコープ1の温室効果ガス排出量は、燃料消費に直接関連します。この質問により、データ利用者は、二次エネルギーキャリア生成のための組織の燃料消費の用途に関して、より透明性を得ることができます。
回答方法	以下の表に記入してください:

1	2
燃料用途	貴組織がこのエネルギー用途の活動を行うかどうかを示してください
発電のための燃料の消費	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> はい いいえ
熱生成のための燃料の消費	
蒸気生成のための燃料の消費	
冷熱の生成のための燃料の消費量	
コージェネレーションまたはトリジェネレーションのための燃料の消費	

(7.30.7) 貴組織が消費した燃料の量(原料を除く)を燃料の種類別に MWh 単位で示してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、7.30で「燃料の消費(原材料を除く)」を選択した場合のみ表示されます。
前年との比較	ガイダンスの修正(2023 C8.2c)
説明	スコープ 1 の温室効果ガス排出量は、エネルギー目的の燃料消費に直接関連します。この設問は、データ利用者に、組織が消費した燃料の種類に関する透明性を提供します。また、燃料の総消費量とエネルギー用途別の消費量は、組織による燃料の使用方法についての洞察を提供し、データ利用者が企業のエネルギーと排出量について、より公平で一貫性のある理解をすることを可能にします。
回答方法	以下の表に記入してください:

0	1	2	3	4	5	6	7	8
燃料(原料を除く)	発熱量	組織が消費した燃料の合計 MWh	電力の自家生成のために消費した燃料 MWh	熱の自家生成のために消費された燃料 MWh	蒸気の自家生成のために消費された燃料 MWh	冷熱の自家生成のために消費された燃料 MWh	コージェネレーションまたはトリジェネレーションのために消費された燃料 MWh	コメント
持続可能なバイオマス	選択肢: • LHV • HHV • 発熱量を確認できない	数値記入欄 [0 から 9,999,999,999 までの数値を小数点以下 2 桁まで、カンマなしで入力]。	文章記入欄 [最大 2,400 文字]					
その他のバイオマス								
その他の再生可能燃料(再生可能水素など)								
石炭								
石油								
天然ガス								
その他の非再生可能燃料(非再生可能水素など)								
燃料合計								

(7.30.9) 貴組織が報告年に生成、消費した電力、熱、蒸気および冷水に関する詳細をお答えください。

コンテンツ情報

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、7.30の回答で「電力、熱、蒸気、冷熱」を選択した場合にのみ表示されます。
前年との比較	変更なし(2023 C8.2d)
説明	多くの組織は、電気、蒸気、熱、冷熱の自家生成を行っています。このような二次エネルギーキャリアの生成を組織境界の内側で行うことは、組織のスコープ2排出量を削減する一方で、スコープ1排出量を増加させます。自家生成の規模は大きく変動する可能性があるため、企業サンプルやポートフォリオ間でスコープ1と2の排出量を比較する場合、データ利用者にさらなる不確実性をもたらす可能性があります。CDPは、組織による時価生成の程度を透明化することで、この歪んだ要因を軽減することを目指しています。
回答方法	以下の表に記入してください

0	1	2	3	4
エネルギー・キャリア	総生成量(MWh)	組織が消費する生成量(MWh)	再生可能エネルギーによる総生成量(MWh)	組織が消費する再生可能エネルギーによる総生成量(MWh)
電気	数値記入欄[0から999,999,999までの数値を小数点以下2桁まで、カンマなしで入力]。	数値記入欄[0から999,999,999までの数値を小数点以下2桁まで、カンマなしで入力]。	数値記入欄[0から999,999,999までの数値を小数点以下2桁まで、カンマなしで入力]。	数値記入欄[0から999,999,999までの数値を小数点以下2桁まで、カンマなしで入力]。
熱				
蒸気				
冷熱				

[固定列]

(7.30.14) 質問 7.7 で報告したマーケット基準スコープ 2 の数値において、ゼロまたはゼロに近い排出係数を用いて計算された電力、熱、蒸気、冷熱量について、具体的にお答えください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、7.3の「スコープ2, マーケット基準」欄で「マーケット基準スコープ2を報告」を選択し、7.30の「購入または取得した電力、熱、蒸気、冷熱の消費」のいずれかの行で「はい」を選択した場合にのみ表示されます。
前年との比較	軽微な変更(2023 C8.2e)
説明	この質問により、データ利用者は、組織が低炭素エネルギーを積極的に調達していることについて、より透明性を高めることができます。
回答方法	以下の表を完成させてください。表の下にある「行の追加」機能を使用して行を追加することができます。

1	2	3	4	5	6	7
国・地域	調達方法	エネルギー・キャリア	低炭素技術の種類	報告年に選択した調達方法を通じて消費された低炭素エネルギー(MWh)	使用したトラッキング手法	低炭素エネルギーの供給源(生成)の国/地域またはエネルギー属性
<p>選択肢:</p> <p>[国・地域のドロップダウンリスト]</p>	<p>選択肢:</p> <ul style="list-style-type: none"> なし(低炭素電力、熱、蒸気、または冷熱の積極的な購入なし) 第三者が所有する現地設備から購入(オンサイト PPA) 系統での移送ではない、第三者が所有する敷地外の発電設備から直通線で移送(自営線 PPA) 系統に接続された発電設備との物理的な電力購入契約(フィジカル PPA) 金融的(仮想的)電力購入契約(バーチャル PPA) 電力サプライヤーとのプロジェクト特定契約 電力サプライヤーとの小売供給契約(小売グリーン電力) 電力と分離されたエネルギー属性証明(EACs)の調達 エネルギー属性証明によって裏付けられた系統からのデフォルト供給電力(例えば、エネルギーサプライヤーによる標準商品) 95%以上が低炭素であり、低炭素電力を具体的に配分するための仕組みがない系統からのデフォルト供給電力(例えば、エネルギーサプライヤーによる標準商品) 	<p>選択肢:</p> <ul style="list-style-type: none"> 電力 熱 蒸気 冷熱 熱、蒸気、冷熱の組み合わせ 	<p>選択肢:</p> <ul style="list-style-type: none"> 太陽光 風力 大規模水力発電(25MW以上) 小水力発電(25MW未満) 水力発電(容量不明) 原子力 持続可能なバイオマス その他のバイオマス 再生可能水素燃料電池 海洋 地熱 CCSを備えた化石燃料プラント 低炭素エネルギー・ミックス 再生可能エネルギーの構成(具体的に 	<p>数値記入欄[0から999,999,999,999までの数値を小数点以下2桁まで、カンマなしで入力]。</p>	<p>選択肢:</p> <ul style="list-style-type: none"> 契約 GEC GO (Guarantee of Origin) Indian REC I-REC J-クレジット(再生可能) Korean REC Australian LGC NFC - 再生可能 NZREC REGO TIGR T-REC US-REC その他、具体的にお答えください 手法を使用しなかった 	<p>選択肢:</p> <p>[国・地域のドロップダウンリスト]</p>

	<ul style="list-style-type: none"> 熱/蒸気/冷却供給契約 その他、具体的にお答えください 					
--	--	--	--	--	--	--

8	9	10
発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。	発電施設の運転開始年(例えば、最初の商業運転またはリパワリングの日付)	コメント
選択肢: <ul style="list-style-type: none"> はい いいえ 	数値記入欄[1900~2024の間の数値を入力する]	文章記入欄[最大 2,500 文字]

[行を追加]

(7.30.16) 報告年における電気/熱/蒸気/冷房の消費量の国・地域別の内訳を記入してください。

質問内容	
前年との比較	質問の修正(2023 C8.2g)
説明	エネルギー消費量を国・地域レベルに分解することは、データ利用者にとって有益です。この質問から得られるデータは、エネルギー関連法整備の指針となります
回答方法	以下の表に記入してください。

0	1	2	3	4	5	6
国・地域	購入電力消費量 (MWh)	自家発電電力消費量(MWh)	この電力消費は、RE100のコミットメントから除外されますか	購入熱、蒸気、冷熱の消費量 (MWh)	自家生成による熱、蒸気、冷熱の消費量 (MWh)	熱/蒸気/冷熱エネルギーの総消費量 (MWh) [自動計算]
質問 1.7 で報告された国/地域の行を修正。	数値記入欄[0~999,999,999,999の数を小数点以下2桁以内で入力]。	数値記入欄[0~999,999,999の数を小数点以下2桁以内で入力]。	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> はい いいえ 	数値記入欄[0~999,999,999,999の数を小数点以下2桁以内で入力]。	数値記入欄[0~999,999,999,999の数を小数点以下2桁以内で入力]。	数値記入欄[0~999,999,999,999]。

[行を追加]

原単位指標

(7.45) 報告年のスコープ 1 と 2 の合計全世界総排出量を売上あたりの CO2 換算トン単位で説明し、さらに貴社の事業に当てはまる追加の原単位指標についてお答えください。

質問内容	
前年との比較	軽微な変更(2023 C6.10)
説明	原単位は、組織の CO ₂ 排出量を、別のビジネス指標との関連で記述します。このようにして、排出量は、成長率やその他の要因を考慮して正規化されます。多くの組織や投資家は、歴史的に原単位で環境パフォーマンスを追跡してきました。
回答方法	以下の表に記入してください。

1	2	3	4	5	6
---	---	---	---	---	---

原単位数値	指標の分子(スコープ1と2合算の全世界総排出量、tCO2e)	指標の分母	指標の分母:単位あたりの総量	使用したスコープ2の種類	前年からの変化率
数値記入欄[0~999,999,999,999の数値を小数点以下10桁まで、カンマなしで入力]。	数値記入欄[0~999,999,999,999の数値を小数点以下10桁まで、カンマなしで入力]。	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 売上額合計 石油換算バレル(BOE) 10億(通貨)の運用資金 フルタイム(正社員)換算(FTE) キロメートル 製品量(リットル) 生成されたメガワット時(MWh) 伝送されたメガワット時(MWh) 製品重量(トン) 金重量(オンス) プラチナ重量(オンス) 乗客キロメートル 生じた部屋泊 平方フィート 平方メートル 集合体重量(トン) アルミニウム重量(トン) 石炭重量(t) 処理された鉱石重量(トン) 鉄鋼重量(トン) 単位当たりの勤務時間 生産単位 提供されたサービスの単位 生産車両数 その他、具体的にお答えください 	数値記入欄[0~999,999,999,999の数値を小数点以下2桁まで、カンマなしで入力]。	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> ロケーション基準 マーケット基準 	数値記入欄[小数点以下2桁以内で0~999の数値を入力]。

7	8	9
変化の増減	変更の理由	説明してください
選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 増加 減少 変更なし 	該当するものをすべて選んでください: <ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギー消費量の変化 その他の排出削減活動 ダイベストメント 買収 合併 生産高の変化 売上の変化 方法論の変更 バウンダリーの変更 物理的操業条件の変化 	文章記入欄[最大2,400文字]

	<ul style="list-style-type: none"> • 不明 • その他、具体的に 	
--	--	--

その他の気候関連指標

(7.52) 貴組織の事業に関連がある、追加の気候関連評価基準をお答えください。

質問内容	
前年との比較	変更なし(2023 C9.1)
説明	CDP のデータ利用者は、GHG 排出量だけでなく、組織がどの分野で環境への影響を削減しようとしているかを理解しようとしています。
回答方法	以下の表に記入してください。表の下にある「行を追加」ボタンを使って行を追加することができます。

1	2	3	4	5	6	7
説明	指標値	指標分子	指標分母(原単位のみ)	前年からの変化率	変化の増減	説明してください
選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • 廃棄物 • エネルギー使用量 • 土地利用 • その他、具体的に 	数値記入欄[0から99,999,999,999までの数値を小数点以下2桁まで、カンマなしで入力]。	文章記入欄[最大 50 文字]	文章記入欄[最大 50 文字]	数値記入欄[小数点以下2桁まで、カンマなしで0から999までの数値を入力]。	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • 増加 • 減少 • 変更なし 	文章記入欄 [最大 2,400 文字]

[行を追加]

目標

セクション概要

セクション概要	<p>このセクションでは、排出量と低炭素エネルギー目標、気候関連の追加目標、ネットゼロ目標に焦点を当てます。</p> <p>目標設定は、環境戦略に方向性と構造を与えるものです。定量的目標や定性的目標、またそれらの目標に対する進捗状況に関する情報を提供することで、企業レベルでの気候変動問題管理の改善に対する組織のコミットメントを示すことができます。この情報は、投資家が、開示されたリスクや機会に関して、組織がどのように取り組み、進捗をモニタリングしているかを理解する上で重要です。</p>
---------	--

(7.53) 報告年において、有効な排出量目標はありましたか。

質問内容	
前年との比較	変更なし(2023 C4.1)

説明	目標設定は、環境戦略に方向性と構造を与える。CDPのデータ利用者は、排出量削減に対する企業のコミットメントや、排出量関連の取り組みを調和させ、集中させるための目標が組織にあるかどうかを理解したいと考えている。
回答方法	該当するものをすべて選んでください： <ul style="list-style-type: none"> 総量目標 原単位目標 目標なし

(7.53.1) 排出の総量目標と、その目標に対する進捗状況の詳細を記入してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、7.53の回答で「送料目標」を選択した場合のみ表示されます。
前年との比較	質問の修正(2023 C4.1a)
説明	目標設定は、企業戦略の実行や、依存、影響、リスク、機会の効果的な管理における役割を通じて、環境行動において重要な役割を果たしています。この設問では、組織が、科学に基づく目標 (Science Based Targets)設定イニシアティブのような主導的なイニシアティブやフレームワークのガイダンスに基づき、期限を定め、追跡可能で定量的な目標を設定し、それに向けて進捗を図ることを奨励しています。
回答方法	以下の表を完成させてください。表は見やすくするために数行にわたって表示されています。表の下部にある「行の追加」機能を使用して行を追加することができます。

1	2	3	4	5	6	7
目標参照番号	これは科学に基づく目標ですか	科学に基づく目標設定イニシアティブ公式認定レター	目標の野心度	目標設定日	対象範囲	目標の対象となる温室効果ガス
Abs1 - Abs1 00	<p>選択肢:</p> <ul style="list-style-type: none"> はい、この目標は科学に基づく目標設定イニシアティブによって認定されています。 はい、私たちはこの目標を科学に基づくものと考えており、現在、科学に基づく目標設定イニシアティブによってレビューが行われています。 はい、私たちはこの目標を科学に基づくものと考えており、今後2年以内に科学に基づく目標設定イニシアティブによるこの目標の認定を求めることをコミットしています。 はい、私たちはこの目標を科学に基づくものと考えていますが、今後2年以内に科学に基づく目標設定イニシアティブによるこの目標の認定を受けることをコミットしていません。 	[ファイル添付]	<p>選択肢:</p> <ul style="list-style-type: none"> 1.5°Cに整合 2°Cを大きく下回る目標に整合 2°Cに整合 その他、具体的に 	[DD/MM/YY YY] 1900年01月01日から 2024年02月10日までの間	<p>選択肢:</p> <ul style="list-style-type: none"> 組織全体 事業部門 事業活動 サイト/施設 国・地域 製品レベル その他、具体的に 	<p>該当するものをすべて選んでください:</p> <ul style="list-style-type: none"> 二酸化炭素(CO2) メタン(CH4) 亜酸化窒素(N2O) ハイドロフルオロカーボン(HFC) パーフルオロカーボン(PFC) 六フッ化硫黄(SF6) 三フッ化窒素(NF3)

	<ul style="list-style-type: none"> •いいえ、しかし、科学に基づく別の目標を報告しています。 •いいえ、しかし、今後2年のうちに1つは設定する予定です •いいえ、また今後2年間には設定する予定はない 					
--	---	--	--	--	--	--

8	9	10	11	12	13	14-30
スコープ	スコープ2 算定方法	スコープ3 カテゴリ	基準年終了日	目標が対象とする基準年のスコープ1排出量(トンCO2e)	目標が対象とする基準年のスコープ2排出量(トンCO2e)	スコープ3、カテゴリ [...] の基準年総排出量のうち、目標の対象となる基準年スコープ3、カテゴリ [...] 排出量の割合(CO2換算トン)* [スコープ3の各カテゴリに対して1列]
該当するものをすべて選んでください: <ul style="list-style-type: none"> •スコープ1 •スコープ2 •スコープ3 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> •ロケーション基準 •マーケット基準 	該当するものをすべて選んでください: <ul style="list-style-type: none"> •カテゴリ1: 購入商品およびサービス •カテゴリ2: 資本財 •カテゴリ3: 燃料・エネルギー関連活動(スコープ1または2に含まれないもの) •カテゴリ4: 上流の輸送と流通 •カテゴリ5: 操業中に発生する廃棄物 •カテゴリ6: 出張 •カテゴリ7: 従業員の通勤 •カテゴリ8: 上流リース資産 •カテゴリ9: 下流輸送と流通 •カテゴリ10: 販売製品の加工 •カテゴリ11: 販売された製品の使用 •カテゴリ12: 販売済み製品の使用済み処理 	[DD/MM/YY YY] 1900年01月01日から2024年02月10日までの間	数値記入欄[0~999,999,999,999の数値を小数点以下3桁まで、カンマなしで入力]。	数値記入欄[0~999,999,999,999の数値を小数点以下3桁まで、カンマなしで入力]。	数値記入欄[0~999,999,999,999の数値を小数点以下3桁まで、カンマなしで入力]。

		<ul style="list-style-type: none"> •カテゴリー13: 下流リース資産 •カテゴリー14: フランチャイズ •カテゴリー15: 投資[FSには ないようです] •その他(上流) •その他(下流) 				
--	--	---	--	--	--	--

31	32	33	34	35-51	52	53
目標が対象とする基準年のスコープ3総排出量(トンCO2e) [自動計算]	選択されたすべてのスコープにおける目標が対象とする基準年の総排出量(トンCO2e) [自動計算]	目標が対象とする基準年のスコープ1排出量が、基準年のスコープ1総排出量に占める割合	目標が対象とする基準年度のスコープ2排出量が、基準年のスコープ2総排出量に占める割合	基準年のスコープ3、カテゴリー[...]の総排出量に占める、目標が対象とするスコープ3、カテゴリー[...]の排出量の割合(トンCO2e)[スコープ3のカテゴリーごとに1列]。	基準年のスコープ3の総排出量に占める、目標が対象とするスコープ3の総排出量の割合(すべてのスコープ3のカテゴリーにおいて)	全対象スコープにおける基準年排出量に占める目標対象スコープにおける基準年排出量の割合
数値記入欄[0-999,999,999,999]。	数値記入欄[0-999,999,999,999]。	パーセンテージ欄[小数点以下3桁以内で0~100のパーセンテージを入力]。	パーセンテージ欄[小数点以下3桁以内で0~100のパーセンテージを入力]。	パーセンテージ欄[小数点以下3桁以内で0~100のパーセンテージを入力]。	パーセンテージ欄[小数点以下3桁以内で0~100のパーセンテージを入力]。	パーセンテージ欄[小数点以下3桁以内で0~100のパーセンテージを入力]。

54	55	56	57	58	59-75	76
目標終了日	基準年からの削減目標(%)	選択されたすべてのスコープにおける目標終了日時点の総排出量(トンCO2e) [自動計算]	報告年のスコープ1排出量(トンCO2e)	報告年のスコープ2排出量(トンCO2e)	スコープ3、カテゴリー[...]の目標対象報告年における排出量(トンCO2e)[スコープ3のカテゴリーごとに1欄]。	報告対象年のスコープ3総排出量(トンCO2e) [自動計算]
[DD/MM/YYYY] 2019年01月01日から2100年12月31日までの間	パーセンテージ欄[小数点以下2桁以内で0~100のパーセンテージを入力]。	数値記入欄[0-999,999,999,999]。	数値記入欄[0~999,999,999の数値を小数点以下3桁まで、カンマなしで入力]。	数値記入欄[0~999,999,999の数値を小数点以下3桁まで、カンマなしで入力]。	数値記入欄[0~999,999,999の数値を小数点以下3桁まで、カンマなしで入力]。	数値記入欄[0-999,999,999,999]。

77	78	79	80	81	82	83
----	----	----	----	----	----	----

選択したすべてのスコープにおける、目標が対象とする報告対象年の総排出量(トンCO2e) [自動計算]	目標の対象となる土地関連排出量	基準年に対する目標達成率 [自動計算]	報告年度の目標状況	目標の改訂、置き換え、取り下げの理由を説明してください	目標対象範囲を説明し、除外事項を明確にしてください	目標設定の目的を説明してください
数値記入欄[0-999,999,999,999]。 [自動計算]	<p>選択肢:</p> <ul style="list-style-type: none"> •はい、陸上からの排出のみを対象としています(FLAG SBTなど)。 •はい、土地に関連する排出量と土地に関連しない排出量を対象としています(例: FLAG 目標設定ガイダンスの発表前に承認されたSBT)。 •はい、バイオエネルギーに伴う土地に関連するCO2 排出/除去、および土地に関連しない排出(例えば、バイオエネルギーに伴うFLAG以外のSBT)を対象とする。 •土地関連の排出は対象外(FLAG以外のSBTなど) 	パーセンテージ欄	<p>選択肢:</p> <ul style="list-style-type: none"> •新規 •設定中 •達成済み •達成し、維持 •有効期限切れ •改訂 •置き換えた •取り下げ 	文章記入欄 [最大 2,500 文字]	文章記入欄[最大 2,500 文字]	文章記入欄 [最大 1,500 文字]

84	85	86
目標達成のための計画および報告年度末までの進捗状況	セクター別脱炭素アプローチによる目標値	この目標の達成に最も貢献する排出削減イニシアチブを記載してください
文章記入欄[最大 2,500 文字]	<p>選択肢:</p> <ul style="list-style-type: none"> •はい •いいえ 	文章記入欄[最大 2,500 文字]

[行を追加]

(7.53.2)排出量原単位とその目標に対する進捗状況の詳細を記入してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、7.53の回答で「原単位目標」を選択した場合のみ表示されます。

前年との比較	質問の修正(2023 C4.1b)
説明	目標設定は、企業戦略を成功させ、依存、影響、リスク、機会を効果的に管理することで、環境行動において重要な役割を果たします。この設問では、組織が、科学に基づく目標(Science Based Targets)設定イニシアチブのような主導的なイニシアティブやフレームワークのガイダンスに基づき、期限を定め、追跡可能で定量的な目標を設定し、それに向かって進捗することを奨励しています。
回答方法	以下の表を完成させてください。表は見やすくするために数行にわたって表示されています。表の下部にある「行の追加」機能を使用して行を追加することができます。

1	2	3	4	5	6	7
目標参照番号	これは科学に基づく目標ですか	科学に基づく目標設定イニシアティブ公式認定レター	目標の野心度	目標設定日	対象範囲	目標の対象となる温室効果ガス
Int1-Int100	以下のドロップダウンメニューからお選びください。	[ファイル添付]	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 1.5°Cに整合 2°Cを大きく下回る水準に整合 2°Cに整合 その他、具体的に 	[DD/MM/YYYY]。]	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 組織全体 事業部門 事業活動 サイト/施設 国・地域 製品レベル その他、具体的に 	該当するものをすべて選んでください: <ul style="list-style-type: none"> 二酸化炭素 (CO₂) メタン (CH₄) 亜酸化窒素 (N₂O) ハイドロフルオロカーボン(HFC) パーフルオロカーボン(PFC) 六フッ化硫黄 (SF₆) 三フッ化窒素 (NF₃)

8	9	10	11	12	13
スコープ	スコープ 2 算定方法	スコープ 3 カテゴリー	原単位	基準年度終了日	スコープ 1 の基準年における原単位(活動単位当たりトンCO ₂ e)
該当するものをすべて選んでください: <ul style="list-style-type: none"> スコープ 1 スコープ 2 スコープ 3 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> ロケーション基準 マーケット基準 	該当するものをすべて選んでください: <ul style="list-style-type: none"> カテゴリー1: 購入品およびサービス カテゴリー2: 資本財 カテゴリー3: 燃料・エネルギー関連活動(スコープ 1 または 2 に含まれないもの) カテゴリー4: 上流の輸送と流通 カテゴリー5: 操業中に発生する廃棄物 カテゴリー6: 出張 カテゴリー7: 従業員の通勤 カテゴリー8: 上流リース資産 カテゴリー9: 下流輸送と流通 カテゴリー10: 販売製品の加工 カテゴリー11: 販売された製品の使用 カテゴリー12: 販売済み製品の使用済み処理 	以下のドロップダウンメニューからお選びください。	[DD/MM/YYYY]1900年01月01日から2024年02月10日までの間	数値記入欄[0 ~ 999,999,999,999]の数値を小数点以下10桁まで、カンマなしで入力]

		<ul style="list-style-type: none"> • カテゴリー13:下流リース資産 • カテゴリー14:フランチャイズ • カテゴリー15:投資[FSにはないようです] • その他(上流) • その他(下流) 			
--	--	--	--	--	--

14	15-31	32	33	34	35
スコープ2の基準年における原単位(活動単位当たりの排出量トンCO2e)	スコープ3、カテゴリー[...]の基準年での原単位(活動単位当たりの排出量トンCO2e)[スコープ3のカテゴリーごとに1欄]	スコープ3合計の基準年における原単位(活動単位当たりの排出量トンCO2e) [自動計算]	選択されたすべてのスコープにおける基準年の原単位(活動単位当たりの排出量トンCO2e) [自動計算]	このスコープ1原単位の数値が対象とするスコープ1の基準年総排出量の割合	このスコープ2原単位の数値が対象とするスコープ2の基準年総排出量の割合
数値記入欄[0~999,999,999,999の数値を小数点以下10桁まで、カンマなしで入力]。	数値記入欄[0~999,999,999,999の数値を小数点以下10桁まで、カンマなしで入力]。	数値記入欄[0~999,999,999,999の数値を小数点以下10桁まで、カンマなしで入力]。	数値記入欄[0~999,999,999,999の数値を小数点以下10桁まで、カンマなしで入力]。	パーセンテージ欄[小数点以下2桁以内で0~100のパーセンテージを入力]。	パーセンテージ欄[小数点以下2桁以内で0~100のパーセンテージを入力]。

36-52	53	54	55	56	57
このスコープ3、カテゴリー[...]の原単位が対象とするスコープ3、カテゴリー[...]の基準年総排出量の割合(スコープ3の各カテゴリーについて1つの欄)。	このスコープ3原単位合計がカバーするスコープ3(すべてのスコープ3カテゴリー)の基準年総排出量の割合。	この原単位が対象とするすべてのスコープにおける基準年総排出量の割合	目標終了日	基準年からの削減目標(%)	選択されたすべてのスコープにおける目標終了日時点の原単位(活動単位当たりのCO2排出量(トンCO2e)) [自動計算]
パーセンテージ欄[小数点以下2桁以内で0~100のパーセンテージを入力]。	パーセンテージ欄[小数点以下2桁以内で0~100のパーセンテージを入力]。	パーセンテージ欄[小数点以下2桁以内で0~100のパーセンテージを入力]。	2019年01月01日から2100年12月31日までの[DD/MM/YYYY]の間	パーセンテージ欄[小数点以下2桁以内で0~100のパーセンテージを入力]。	数値記入欄[0-999,999,999,999]。

58	59	60	61	62-78	79
----	----	----	----	-------	----

スコープ 1+2 排出量の総量における予想変化率	スコープ 3 排出量総量の予想変化率	スコープ 1 の報告年における原単位(活動単位あたりの CO2 排出量(トン CO2e))	スコープ 2 の報告年における原単位(活動単位あたりの CO2 排出量(トン CO2e))	スコープ 3、カテゴリー[...]の報告年度における原単位の数値(活動単位あたりの CO2 排出量)[スコープ 3 のカテゴリーごとに 1 欄]。	スコープ 3 全体の報告年における原単位(活動単位あたりの CO2 排出量(トン CO2e)) [自動計算]
パーセンテージ欄[小数点以下 2 桁以内で-999~999 のパーセンテージを入力]。	パーセンテージ欄[小数点以下 2 桁以内で-999~999 のパーセンテージを入力]。	数値記入欄[0~999,999,999,999 の数値を小数点以下 10 桁まで、カンマなしで入力]。	数値記入欄[0~999,999,999,999 の数値を小数点以下 10 桁まで、カンマなしで入力]。	数値記入欄[0~999,999,999,999 の数値を小数点以下 10 桁まで、カンマなしで入力]。	数値記入欄[0~999,999,999,999 の数値を小数点以下 10 桁まで、カンマなしで入力]。

80	81	82	83	84	85
選択されたすべてのスコープに関する報告対象年の原単位(活動単位あたりの CO2 排出量(トン CO2e)) [自動計算]	目標の対象となる土地関連排出量	目標達成率基準年比 [自動計算]	報告年度の目標状況	目標の改訂、置き換え、取り下げの理由を説明してください	目標対象範囲を説明し、除外事項を明確にしてください
数値記入欄[0~999,999,999,999 の数値を小数点以下 10 桁まで、カンマなしで入力]。	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> はい、陸上からの排出のみを対象としています(FLAG SBT など)。 はい、土地に関連する排出量と土地に関連しない排出量を対象としています(例:FLAG 目標設定ガイダンスの発表前に承認された SBT)。 はい、バイオエネルギーに伴う土地に関連する CO2 排出/除去、および土地に関連しない排出(例えば、バイオエネルギーに伴う FLAG 以外の SBT)を対象とする。 土地関連の排出は対象外(FLAG 以外の SBT など) 	パーセンテージ欄	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 新規 設定中 達成済み 達成し、維持 有効期限切れ 改訂 置き換えた 取り下げ 	文章記入欄 [最大 2,500 文字]	文章記入欄 [最大 2,500 文字]

86	87	88	89
目標設定の目的	目標達成のための計画および報告年度未までの進捗状況	セクター別脱炭素アプローチによる目標値	この目標の達成に最も貢献した排出削減イニシアチブを説明してください
文章記入欄[最大 1,500 文字]	文章記入欄[最大 2,400 文字]	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> はい いいえ 	文章記入欄[最大 2,400 文字]

[行を追加]

これは科学に基づく目標ですか(2 列目)
<ul style="list-style-type: none"> はい、この目標は科学に基づく目標設定イニシアチブによって承認されています。 はい、私たちはこの目標を科学に基づくものと考えており、現在、科学に基づく目標設定イニシアチブによってレビューが行われています。

- はい、私たちはこの目標を科学に基づくものと考えており、今後 2 年間で科学に基づく目標設定イニシアチブによるこの目標の認定を受けることをコミットしています。
- はい、私たちはこの目標を科学に基づくものと考えていますが、今後 2 年以内に科学に基づく目標設定イニシアチブによるこの目標の認定を受けることをコミットしていません。
- いいえ、しかし、科学に基づいた別の目標を報告しています。
- いいえ、しかし、今後 2 年のうちに 1 つは設定する予定です
- いいえ、また今後 2 年間は設定する予定はない

原単位指標(12 列目)

- グラム CO2 換算/売上旅客キロ
- CO2 換算トン/USD(\$)付加価値
- CO2 換算トン/平方メートル
- CO2 換算トン/アルミニウムのトン
- CO2 換算トン/鋼鉄のトン
- CO2 換算トン/セメントのトン
- CO2 換算トン/段ボールのトン
- グラム CO2 換算/キロメートル
- CO2 換算トン/単位売上
- CO2 換算トン/単位フルタイム換算(正社員数)
- CO2 換算トン/単位勤務時間
- CO2 換算トン/製品のトン
- CO2 換算トン/製品のリットル
- CO2 換算トン/生産単位
- CO2 換算トン/提供サービス単位
- CO2 換算トン/平方フィート
- CO2 換算トン/キロメートル
- CO2 換算トン/旅客キロメートル
- CO2 換算トン/メガワット時(MWh)
- CO2 換算トン/石油換算バレル(BOE)
- CO2 換算トン/生産した車両数
- CO2 換算トン/処理された鉱石のトン
- CO2 換算トン/1 オンスの金
- CO2 換算トン/1 オンスの白金
- CO2 換算トン/凝集体のトン
- CO2 換算トン/10 億(通貨単位)の運用資金
- その他、具体的にお答えください

(7.53.3) 排出量目標を設定しなかった理由、および今後 5 年間の排出量変化予測について説明してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、7.53の回答で「目標なし」を選択した場合のみ表示される。
前年との比較	変更なし(2023 C4.1c)
説明	目標を設定することは、環境分野におけるリーダーシップの前提条件であるため、データ利用者は、企業が環境戦略を導く積極的な目標を持たない理由を理解する必要があります。
回答方法	以下の表に記入してください:

	1	2	3
主な理由		5 年間の予測	説明してください

選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 今後2年以内に目標を導入する予定です 重要ですが、差し迫った事業上の優先事項ではない 重要でないと判断し、理由も説明 社内リソースの不足 事業活動に関するデータ不足 経営陣から指示がないため その他、具体的にお答えください 	文章記入欄[最大 2,400 文字]	文章記入欄[最大 2,400 文字]
---	--------------------	--------------------

(7.54) 報告年に有効なその他の気候関連目標を設定しましたか?

質問内容	
前年との比較	軽微な変更(2023 C4.2)
説明	目標設定は、企業戦略の実行における役割や、依存、影響、リスク、機会の効果的な管理における役割を通じて、環境行動において重要な役割を果たしています。排出削減目標は、組織が変化を推進するために使用する関連目標の唯一のタイプではなく、他のタイプの目標も排出削減のための組織の戦略の重要な要素になり得ます。この質問は、さまざまな組織に関連する企業の環境コミットメントの透明性を高めます。
回答方法	該当するものをすべて選んでください: <ul style="list-style-type: none"> 低炭素エネルギー消費または生産を増加または維持するための目標 メタン排出削減目標 ネットゼロ目標 その他の気候関連目標 その他の気候関連目標はない

(7.54.1) 低炭素エネルギー消費または生産を増加または維持するための目標の詳細を説明してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、7.54 の回答で「低炭素エネルギー消費または生産を増加または維持する目標」を選択した場合にのみ表示されます。
前年との比較	質問の修正(2023 C4.2a)
説明	目標設定は、企業戦略の実行や、依存、影響、リスク、機会の効果的な管理における役割を通じて、環境行動において重要な役割を果たします。低炭素エネルギー消費量や生産量の増加や維持に関する目標は、排出量を削減するための組織の戦略の重要な要素となり得ます。
回答方法	以下の表を完成させてください。表は見やすくするために数行にわたって表示されています。表の下にある「行の追加」ボタンで行を追加することができます。

1	2	3	4	5	6	7
目標参照番号	目標設定日	対象範囲	目標の種類: エネルギー・キャリア	目標の種類: 活動	目標の種類: エネルギー源	基準年度終了日
Low1~ Low100	[DD/MM//YYYY]	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 組織全体 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 電気 熱 	選択肢: 	選択肢: 	[年 月 日]まで

		<ul style="list-style-type: none"> 事業部門 事業活動 サイト/施設 国・地域 製品レベル その他、具体的に 	<ul style="list-style-type: none"> 蒸気 冷熱 すべてのエネルギーキャリア その他、具体的に 	<ul style="list-style-type: none"> 低炭素エネルギー源 再生可能エネルギーのみ 	<ul style="list-style-type: none"> 低炭素エネルギー源 再生可能エネルギーのみ 	
--	--	---	---	--	--	--

8	9	10	11	12	13	14
基準年における選択したエネルギーキャリアの消費量または生産量 (MWh)	基準年における低炭素または再生可能エネルギーの割合	目標終了日	目標終了日における低炭素または再生可能エネルギーの割合	報告年における低炭素または再生可能エネルギーの割合	基準年に対する目標達成率[自動計算]	報告年の目標状況
数値記入欄[0~999,999,999,999の数値を小数点以下10桁まで、カンマなしで入力]。	パーセンテージ欄[小数点以下2桁以内で0~100のパーセンテージを入力]。	[DD/MM/YYYY]。	パーセンテージ欄[小数点以下2桁以内で0~100のパーセンテージを入力]。	パーセンテージ欄[小数点以下2桁以内で0~100のパーセンテージを入力]。	パーセンテージ欄	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 新規 設定中 達成済み 達成し、維持 有効期限切れ 改訂 置き換えた 取り下げ

15	16	17	18	19	20	21	22
目標の改訂、置き換え、取り下げの理由を説明してください	この目標は排出量目標の一部ですか。	この目標は包括的なイニシアチブの一部ですか	科学に基づく目標設定イニシアチブ公式認定レター	対象範囲を説明し、除外項目を特定してください	目標設定の目的	目標達成のための計画および報告年度末までの進捗状況	この目標の達成に最も貢献した行動を説明してください
文章記入欄[最大 2,400 文字]	文章記入欄[最大 2,400 文字] [排出削減目標 ID]	該当するものすべてを選んでください: <ul style="list-style-type: none"> RE100 科学に基づく目標設定イニシアチブ 包括的なイニシアチブの一部ではない その他、具体的に 	[添付ファイル]	文章記入欄[最大 2,400 文字]	文章記入欄[最大 1,500 文字]	文章記入欄[最大 2,500 文字]	文章記入欄[最大 2,500 文字]

(7.54.2)メタンガス削減目標を含む、その他の気候関連目標の詳細を説明してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、7.54の回答で「その他の気候関連目標」または「メタン排出量削減目標」を選択した場合のみ表示される。
前年との比較	質問の修正(2023 C4.2b)
説明	目標設定は、依存、影響、リスク、機会を効果的に管理するだけでなく、企業戦略を成功裏に実行する上で重要な役割を果たします。排出削減目標は、組織が変化を推進するために使用する、関連するターゲットの唯一のタイプではありません。他の気候関連のターゲットは、排出削減のための組織の戦略の重要な要素となりえます。この質問は、企業の環境コミットメントの透明性を高めるものです。

回答方法	以下の表を完成させてください。表は見やすくするために数行にわたって表示されています。表の下にある「行の追加」ボタンで行を追加することができます。
------	--

1	2	3	4	5a	5b	6
目標参照番号	目標設定日	対象範囲	目標タイプ:総量または減反に	目標タイプ:カテゴリー	指標(原単位目標を報告する場合は目標分子)	目標分母(原単位目標のみ)
Oth1 - Oth100	[DD/MM/YYYY]	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 組織全体 事業部門 事業活動 サイト/施設 国・地域 製品レベル その他、具体的に 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 総量 原単位 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> エネルギー生産性 エネルギー消費または効率 再生可能燃料生産 再生可能燃料消費量 廃棄物管理 資源消費または効率 ネット排出量目標 低炭素車 低炭素建築物 低炭素製品 土地利用の変化 バリューチェーンの緩和目標を超えて メタン削減目標 化石燃料削減目標 サプライヤーエンゲージメント 顧客エンゲージメント 研究開発投資 グリーン・ファイナンス その他、具体的に 	以下のドロップダウンメニューからお選びください。	以下のドロップダウンメニューからお選びください。

7	8	9	10	11	12	13
基準年度終了日	基準年の数字またはパーセンテージ	目標終了日	目標期日終了時の数字またはパーセンテージ	報告年の数字または割合	基準年に対する目標達成率 [自動計算]	報告年の目標状況
[DD/MM/YYYY]	数値記入欄 [0~999,999,999,9]	[DD/MM/YYYY]	数値記入欄 [0~	数値記入欄[0~	パーセンテージ欄	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 新規

	99,999 の数値を小数点以下 10 桁まで、カンマなしで入力する。		999,999,999,999,999 の数値を小数点以下 10 桁まで、カンマなしで入力する。	999,999,999,999,999 の数値を小数点以下 10 桁まで、カンマなしで入力する。		<ul style="list-style-type: none"> • 設定中 • 達成済み • 達成し、維持 • 有効期限切れ • 改訂 • 置き換えた • 取り下げ
--	-------------------------------------	--	--	--	--	--

14	15	16	17	18	19
目標の訂正、置き換え、または取り下げの理由を説明してください	この目標は排出量目標の一部ですか	この目標は包括的なイニシアチブの一部ですか。	科学的に基づく目標設定イニシアティブ公式認定レター	目標対象範囲について説明し、除外事項があれば確認すること。	目標設定の目的
文章記入欄 [最大 2,400 文字]	文章記入欄[最大 2,400 文字] [排出削減目標 ID]	該当するものをすべて選んでください: <ul style="list-style-type: none"> • EP100 • EV100 • Below50 - 持続可能な燃料 • 科学に基づく目標設定イニシアチブ - 認定されたサプライヤーエンゲージメント目標 • 科学に基づく目標設定イニシアチブ - 認定された顧客エンゲージメント目標 • 科学に基づく目標設定イニシアチブ - 認定済み その他 • 短寿命気候汚染物質の削減 • 森林減少の除去 • 低炭素技術パートナーシップ構想 • いいえ、包括的なイニシアチブの一部ではない • その他、具体的に 	[添付ファイル]	文章記入欄[最大 2,400 文字]	文章記入欄[最大 1,500 文字]

20	21
目標達成のための計画および報告年度末までの進捗状況	この目標の達成に最も貢献した行動を説明してください。
文章記入欄 [最大 2,500 文字]	文章記入欄[最大 2,500 文字]

[行を追加]

指標(原単位目標を報告する場合は、目標分子)(5b 列)		
エネルギー生産性	資源消費または効率	メタン削減目標

<ul style="list-style-type: none"> • GDP • USD(\$) 付加価値 • 収入単位 • 金オンス • オンス・プラチナ • 骨材トン • アルミニウム・トン • 鉄鋼トン数 • セメント • ダンボール・トン • 製品トン数 • 鉱石処理量 • 平方メートル • キロ • 旅客キロ • 収入旅客キロ • リットル • 生産単位 • サービス提供単位 • 平方フィート • メガワット時(MWh) • 石油等価バレル(BOE) • 石油換算トン(TOE) • 石炭換算トン(TCE) • その他のエネルギー生産性 <p>エネルギー消費または効率</p> <ul style="list-style-type: none"> • キロワット時 • MWh • GJ • 百万Btu • ボエ • トー • テセ • Gcal • その他のエネルギー消費または効率(具体的に記入) <p>再生可能燃料生産</p> <ul style="list-style-type: none"> • 固形バイオマス(トン) • 液体バイオ燃料(リットル) • バイオガス(立方メートル) • 水素(立法メートル) • その他の再生可能燃料生産(具体的に) <p>再生可能燃料消費量</p> <ul style="list-style-type: none"> • 固形バイオマス(トン) • 液体バイオ燃料(リットル) • バイオガス(立方メートル) • 水素(立法メートル) • 総燃料消費量に占める再生可能エネルギー源の割合 • その他の再生可能燃料消費量(具体的に) <p>廃棄物管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 再生紙または認証された持続可能な資源からの紙の割合 • 紙の消費量 • 再生プラスチックの割合 • プラスチック消費量 • リサイクルまたは認証された持続可能な供給源からの梱包材の割合 • 梱包材消費量 • その他の資源消費または効率(具体的に) <p>ネット排出量目標</p> <ul style="list-style-type: none"> • 純メトリック・トンCO2e • その他の純排出量目標(具体的に) <p>低炭素車</p> <ul style="list-style-type: none"> • 社有車に占める低炭素車の割合 • 低炭素車の販売比率 • バイオ燃料を使用する自社車両の割合 • 社有車に占めるバッテリー電気自動車の割合 • 社用車に占める従来型ハイブリッド車の割合 • 社用車に占めるプラグイン・ハイブリッド車の割合 • 社有車に占める燃料電池電気自動車の割合 • 電気自動車インフラを備えた企業施設の割合 • その他の低炭素車、具体的に <p>低炭素建築物</p> <ul style="list-style-type: none"> • ネット・ゼロ・カーボン・ビルの割合 • ネット・ゼロ・エネルギー・ビルの割合 • グリーンビルディング認証を取得した建物の割合 • その他の低炭素建築物 <p>低炭素製品</p> <ul style="list-style-type: none"> • 低炭素製品の総売上高(通貨ベース) • 低炭素製品による収益の割合 • 組織のポートフォリオに占める低炭素製品の割合 • リサイクル素材または認証された持続可能な素材を使用した製品の割合 • 低炭素包装の製品の割合 • その他の低炭素製品 	<ul style="list-style-type: none"> • 排出されたメタンの立方メートル • 立方メートルのメタンが漏出 • メタンガス焼却量 • 総メタン排出量(m3) • メタン総排出量(単位:CO2e) • メタン漏洩率(%) • その他のメタン削減目標(具体的に) <p>化石燃料削減目標</p> <ul style="list-style-type: none"> • 天然ガス消費量 • 石炭消費量 • 石油消費量 • 燃料ミックスに占める化石燃料の割合 • その他の化石燃料削減目標(具体的に) <p>サプライヤーエンゲージメント</p> <ul style="list-style-type: none"> • 温室効果ガス排出量を開示しているサプライヤーの割合(排出量ベース) • 温室効果ガス排出量を開示しているサプライヤーの割合(調達額ベース) • 排出量削減目標を設定しているサプライヤーの割合(排出量ベース) • 排出削減目標を設定しているサプライヤーの割合(調達額ベース) • 科学に基づく目標を設定しているサプライヤーの割合(排出量ベース) • 科学に基づく目標を掲げているサプライヤーの割合(調達額ベース) • 気候変動問題に積極的に取り組むサプライヤーの割合(排出量ベース) • 気候変動問題に積極的に取り組むサプライヤーの割合(調達額ベース) • サプライヤーとのその他の関わり(具体的に) <p>顧客エンゲージメント</p> <ul style="list-style-type: none"> • 温室効果ガス排出量を開示している顧客の割合(排出量ベース) • 排出量削減目標を設定している顧客の割合(排出量ベース) • 科学に基づく目標を設定している顧客の割合(排出量ベース) • 気候関連問題に積極的に取り組んでいる顧客の割合(排出量ベース) • 顧客とのその他の関わり(具体的に) <p>研究開発投資</p> <ul style="list-style-type: none"> • 低炭素製品・サービスの研究開発に投資した年間売上高の割合 • 低炭素製品・サービスの研究開発への投資額(通貨ベース) • 低炭素製品・サービスに特化した研究開発予算・ポートフォリオの割合 • その他の研究開発投資 <p>グリーン・ファイナンス</p>
---	---	---

<ul style="list-style-type: none"> 埋立処分から転換された廃棄物(トン) リサイクルされた廃棄物(トン) 廃棄物の再利用量 廃棄物発生量 廃棄物総発生量に占めるリサイクルの割合 埋立廃棄物ゼロの事業所の割合 その他の廃棄物処理、具体的に 	<p>土地利用の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> 森林面積 植林面積 復元ヘクタール 森林減少ゼロを遵守しているバリューチェーンの割合 その他の土地利用の変化(具体的に) <p>バリューチェーンを超えた緩和目標</p> <ul style="list-style-type: none"> GHG 排出削減と除去 BVCM への融資額 BVCM に投入された収益のシェア BVCM に投入された利益のシェア 	<ul style="list-style-type: none"> グリーンボンド発行総額(グリーンボンド比率) グリーンボンド比率 グリーン負債証券の残高総額(グリーン負債比率) グリーン負債証券の割合 調達・促進したグリーン・ファイナンス(通貨建て) グリーン投資(通貨建て) グリーン投資の割合 その他のグリーン・ファイナンス(具体的に)
--	---	---

目標分母(原単位目標のみ)(7列目)ドロップダウンオプション		
<ul style="list-style-type: none"> キロワット時 MWh GJ Btu ボエ トー テセ Gcal 収入旅客キロ USD(\$) 付加価値 平方メートル アルミニウム・トン 鉄鋼トン セメント・トン 	<ul style="list-style-type: none"> 段ボール1トン 売上高 単位 FTE従業員 単位労働時間 トン リットル 生産単位 サービス提供単位 平方フィート キロ 旅客キロ メガワット時(MWh) 石油換算バレル(BOE) 生産車 	<ul style="list-style-type: none"> 鉱石処理量 金オンス プラチナ・オンス 骨材トン 運用資金 ヘクタール トン 燃料リットル 年 報告期間末における社債発行残高の合計額 報告期間末の負債残高の合計額 その他、具体的に

(7.54.3) ネットゼロ目標の詳細を記入してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、7.54 の回答で「ネットゼロ目標」を選択した場合のみ表示されます。
前年との比較	質問の修正(2023 C4.2c)
説明	世界レベルでのネット・ゼロ・エミッションの達成は、気候変動対策の中心的な目標です。企業のネットゼロ目標は、1.5°Cの経路に沿って排出量を削減し、目標年に残存する排出量を恒久的な炭素除去(すなわち中和)で相殺する、組織にとって強力な機会です。ネットゼロ目標を設定することで、企業は、バリューチェーン外での気候変動対策を加速させ、世界的なネットゼロ目標達成に貢献することができます。この設問は、ネットゼロ排出量達成に向けた組織のコミットメントについて、データ利用者に透明性を提供する。
回答方法	以下の表を完成させてください。表の下にある「行の追加」機能を使って行を追加することができます。

1	2	3	4	5	6	7
---	---	---	---	---	---	---

目標参照番号	目標設定日	対象範囲	このネットゼロ目標に関連する目標	ネットゼロ目標達成の終了日	これは科学的に基づく目標ですか	科学に基づく目標設定イニシアティブ公式認定レター
選択肢: NZ1- NZ100	[DD/MM/YYYY]	選択肢: <ul style="list-style-type: none">組織全体 全社事業部門事業活動サイト/施設国・地域製品レベルその他、具体的に	該当するものをすべて選んでください: <ul style="list-style-type: none">Abs1-Abs100Int1-Int100Low1-Low100該当なし	[DD/MM/YYYY]	以下のドロップダウンメニューからお選びください。	[添付ファイル

8	9	10	11	12	13
スコープ	目標の対象となる温室効果ガス	対象範囲を説明し、除外項目を特定する	目標設定の目的	目標終了時に、残存する排出量を恒久的な炭素除去で中和するつもりですか	バリューチェーンを超えて排出量を削減する計画はありますか？
該当するものをすべて選んでください: <ul style="list-style-type: none">スコープ 1スコープ 2スコープ 3	該当するものをすべて選んでください: <ul style="list-style-type: none">二酸化炭素(CO2)メタン(CH4)亜酸化窒素(N2O)ハイドロフルオロカーボン(HFC)パーフルオロカーボン(PFC)六フッ化硫黄(SF6)三フッ化窒素(NF3)	文章記入欄 [最大 2,400 文字]	文章記入欄 [最大 2,400 文字]	選択肢: <ul style="list-style-type: none">はいいいえ不明	選択肢: <ul style="list-style-type: none">はい。いいえ、しかし今後 2 年以内に計画しています今後 2 年間は予定していないバリューチェーンを超えて排出量を削減する計画はない。

14	15	16	17	18	19
中和のために、あるいはバリューチェーンの緩和のために、炭素クレジットを購入し、償却しようとかんがえていますか	目標終了時の中和に向けたマイルストーンおよび/または近い将来の投資計画	バリューチェーンを超えて排出量を削減するための行動を説明してください	報告年度の目標状況	目標の改訂、置き換え、取り下げの理由を説明してください	目標見直しのプロセス
該当するものをすべて選んでください: <ul style="list-style-type: none">はい、現在、バリューチェーンを超えた緩和のために炭素クレジットを購入し、償却しています。はい、バリューチェーンを超えた緩和のために炭素クレジットの購入と償却を計画しています。はい、中和のための炭素クレジットを購入	文章記入欄[最大 2,400 文字]	文章記入欄 [最大 2,400 文字]	選択肢: <ul style="list-style-type: none">新規設定中達成済み達成し、維持有効期限切れ改訂置き換えた取り下げ	文章記入欄[最大 2,400 文字]	文章記入欄[最大 2,400 文字]

し、目標終了時に償却する予定です。 • いいえ、炭素クレジットを購入し、中和および/またはバリュー・チェーンを超えた緩和のために償却する予定はない。					
---	--	--	--	--	--

これは科学に基づく目標ですか（6列目）	
<ul style="list-style-type: none"> はい、この目標は科学に基づく目標設定イニシアチブによって承認されています。 はい、私たちはこの目標を科学に基づくものと考えており、現在、科学に基づく目標設定イニシアチブによってレビューが行われています。 はい、私たちはこの目標を科学に基づくものと考えており、今後2年間で科学に基づく目標設定イニシアチブによるこの目標の認定を受けることをコミットしています。 はい、私たちはこの目標を科学に基づくものと考えていますが、今後2年以内に科学に基づく目標設定イニシアチブによるこの目標の認定を受けることをコミットしていません。 いいえ、しかし、科学に基づいた別の目標を報告しています。 いいえ、しかし、今後2年のうちに1つは設定する予定です いいえ、また今後2年間は設定する予定はない 	

排出削減への取り組み

(7.55) 報告年内に有効であった排出量削減イニシアチブがありましたか？これには、計画段階及び実行段階のものを含みます。

質問内容	
前年との比較	変更なし(2023 C4.3)
説明	この質問に対する回答によって、CDPデータ利用者は、BAUシナリオを超える排出量削減(標準的な保守・交換活動を超える)に対する組織のコミットメントを理解することができます。
回答方法	以下のオプションのいずれかを選択します： <ul style="list-style-type: none"> はい いいえ

(7.55.1) 開発段階ごとのイニシアチブの総数、そして実施段階のイニシアチブについては、推定排出削減量(CO2換算)をお答えください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、7.55で「はい」を選択した場合のみ表示されます。
前年との比較	変更なし(2023 C4.3a)
説明	この質問は、CDPデータ利用者に対して、排出削減イニシアチブの実施による排出削減の進捗状況を示すものです。
回答方法	以下の表に記入してください：

1	2	3
開発段階	イニシアチブの数	年間推定削減量合計(トン CO ₂ e) (*印の行のみ)
調査中	数値記入欄[0~999,999,999,999 の数値を小数点以下 2 桁まで、カンマなしで入力]	数値記入欄[0~999,999,999,999 の数値を小数点以下 2 桁まで、カンマなしで入力]。
実施予定*		
実施開始(部分的)*		
実施済み*		
実施できず		

(7.5.2) 報告年に実施されたイニシアチブの詳細を以下の表に記入してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、7.55で「はい」を選択した場合のみ表示されます。
前年との比較	変更なし(2023 C4.3b)
説明	CDP のデータ利用者は、報告年に実施されたその他の排出削減行動と同様に、排出削減目標に向けた進捗状況を理解することに関心があります。
回答方法	以下の表を完成させてください。表は見やすくするために数行にわたって表示されています。表の下にある「行の追加」ボタンで行を追加することができます。

1	2	3	4	5
イニシアチブのカテゴリ	イニシアチブの種類	年間 CO ₂ 排出削減量の推定値(トン CO ₂ e)	排出削減が生じるスコープ(複数可)またはスコープ 3 のカテゴリ(複数可)	自主的/義務的
選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • 建物のエネルギー効率 • 生産工程におけるエネルギー効率 • 廃棄物削減と原材料循環 • 漏洩による排出 • 低炭素エネルギー消費 • 低炭素エネルギー発電 • 非エネルギー工業プロセスの排出削減量 • 企業方針または行動の変化 • 輸送 • その他、具体的に 	以下のドロップダウンメニューからお選びください。	数値記入欄[0~999,999,999,999 の数値を小数点以下 2 桁まで、カンマなしで入力]。	該当するものをすべて選んでください: <ul style="list-style-type: none"> • スコープ 1 • スコープ 2(ロケーション基準) • スコープ 2(マーケット基準) • スコープ 3 カテゴリ-1: 購入品およびサービス • スコープ 3 カテゴリ-2: 資本財 • スコープ 3 カテゴリ-3: 燃料・エネルギー関連活動(スコープ 1 または 2 に含まれないもの) • スコープ 3 カテゴリ-4 上流の輸送と流通 • スコープ 3 カテゴリ-5: 事業活動から生じる廃棄物 • スコープ 3 カテゴリ-6 出張 • スコープ 3 カテゴリ-7: 従業員の通勤 • スコープ 3 カテゴリ-8: 上流のリース資産 • スコープ 3 カテゴリ-9: 下流輸送および流通 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • 自主的 • 義務的

			<ul style="list-style-type: none"> • スコープ 3 カテゴリー10:販売製品の加工 • スコープ 3 カテゴリー11:販売製品の使用 • スコープ 3 カテゴリー12:販売済み製品の使用済み処理 • スコープ 3 カテゴリー13:下流リース資産 • スコープ 3 カテゴリー14:フランチャイズ • スコープ 3 カテゴリー15:投資 • スコープ 3:その他(上流) • スコープ 3:その他(下流) 	
--	--	--	---	--

6	7	8	9	10
年間経費節減額(通貨)	必要な投資額(通貨)	投資回収期間	イニシアチブの推定活動期間	コメント
数値記入欄[0~999,999,999,999,999の数値を小数点以下、カンマなしで入力]。	数値記入欄[0~999,999,999,999,999の数値を小数点以下、カンマなしで入力]。	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • <1年 • 1~3年 • 4~10年 • 11~15年 • 16-20年 • 21~25年 • >25年以上 • ペイバックなし 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • <1年 • 1-2年 • 3~5年 • 6~10年 • 11~15年 • 16-20年 • 21-30年 • >30年以上 • 継続中 	文章記入欄[最大1,500文字]

[行を追加]

イニシアチブの種類(2列目)	
建物のエネルギー効率 <ul style="list-style-type: none"> • 断熱 • メンテナンスプログラム • すきま風対策 • ソーラーシェード • ビル・エネルギー管理システム(BEMS) • 暖房、換気、空調(HVAC) • 照明 • モーターとドライブ • 熱電併給(コージェネレーション) • その他、具体的に 生産工程におけるエネルギー効率 <ul style="list-style-type: none"> • 廃熱回収 • 冷却技術 • プロセスの最適化 • 燃料スイッチ • 圧縮空気 • 熱電併給(コージェネレーション) • 廃水处理 • 水の再利用 • 蒸気の再利用 • 機械/設備の交換 • オートメーション • 電化 • スマート・コントロール・システム • モーターとドライブ • 製品またはサービスのデザイン 	低炭素エネルギー消費 <ul style="list-style-type: none"> • 固形バイオ燃料 • 液体バイオ燃料 • バイオガス • 地熱 • 大規模水力発電(25MW以上) • 小水力発電(25MW未満) • 水力発電(容量不明) • 再生可能水素燃料電池 • 太陽熱冷暖房 • 太陽光発電 • ソーラーCSP • 原子力 • 風 • 潮汐 • 波 • CCSを備えた化石燃料プラント • 低炭素電力ミックス • その他、具体的に 低炭素エネルギー発電 <ul style="list-style-type: none"> • 固形バイオ燃料 • 液体バイオ燃料 • バイオガス • 地熱 • 大規模水力発電(25MW以上) • 小水力発電(25MW未満) • 水力発電(容量不明)

<ul style="list-style-type: none"> • その他、具体的に <p>廃棄物削減と原材料循環</p> <ul style="list-style-type: none"> • 廃棄物削減 • 製品またはサービスのデザイン • 製品/部品/材料の再利用 • 製品・部品・材料のリサイクル • 再製造 • その他、具体的に <p>漏洩による排出</p> <ul style="list-style-type: none"> • 農業用メタン回収 • 農業用亜酸化窒素の削減 • 埋立メタン回収 • 石油/天然ガスのメタン漏れ捕捉/防止 • 冷媒漏れの低減 • 炭素回収・貯留・利用(CCS/U) • その他、具体的に 	<ul style="list-style-type: none"> • 再生可能水素燃料電池 • 原子力 • 太陽熱冷暖房 • 太陽光発電 • ソーラーCSP • 風 • タイダル • ウェーブ • CCSを備えた化石燃料プラント • その他、具体的に <p>非エネルギー工業プロセスの排出削減量</p> <ul style="list-style-type: none"> • プロセス機器の交換 • プロセス材料の代替 • プロセス材料の効率 • 炭素回収・貯留・利用(CCS/U) • その他、具体的に <p>企業方針または行動の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> • サプライヤー・エンゲージメント • 顧客エンゲージメント • サイトの統合/閉鎖 • 購入方法の変更 資源効率 • 廃棄物管理 • その他、具体的に <p>輸送</p> <ul style="list-style-type: none"> • 出張規定 • テレワーク • 従業員の通勤 • 社用車の入れ替え • 社用車の効率 • その他、具体的に
--	---

(7.5.3) 排出削減活動への投資を促進するために、どのような方法を用いていますか

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、7.55で「はい」を選択した場合のみ表示されます。
前年との比較	変更なし(2023 C4.3c)
説明	この質問により、データ利用者は、排出削減を実現するための組織のアプローチや、目標に対する進捗状況について、より透明性を高めることができます。
回答方法	以下の表に記入してください:

1	2
方法	コメント
選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • 規制要件/基準への準拠 • 省エネの専用予算 • 低炭素製品の研究開発の専用予算 • その他の排出量削減活動の専用予算 • 従業員エンゲージメント 	文章記入欄[最大 2,400 文字]

<ul style="list-style-type: none"> • 財務最適化計算 • 社内カーボン プライシング • 社内インセンティブ/褒賞プログラム • 社内財務メカニズム • 低投資利益率(ROI)の明細 • 限界削減費用曲線 • 技術開発に関する政府との連携 • その他 	
---	--

[行を追加]

(7.55.4)報告年内に、排出削減イニシアチブを実施しなかった理由は何ですか

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、7.55の回答で「いいえ」を選択した場合のみ表示されます。
前年との比較	変更なし(2023 C4.3d)
説明	排出削減イニシアチブは、排出量目標を達成し、環境への悪影響を減らすために極めて重要です。CDPのデータ利用者は、積極的な排出削減のベストプラクティスに取り組まない理由を知る必要があります。
回答方法	これは、5,000文字までのオープンテキストの質問です。他の文書からポータルにコピーする場合、書式は保持されませんのでご注意ください。

製品レベルの排出量（下記は、サプライチェーンメンバーからの回答要請を受けている場合のみ対象となります。）

(7.73) 組織の商品やサービスについて、製品レベルのデータを提供していますか。

質問内容	
前年との比較	質問の修正(2023 SC4.1)
説明	CDP サプライチェーンメンバーは、サプライヤーが排出原単位、ライフサイクル排出量、排出削減の取り組みに関して提供できるデータの粒度に関心を持っています。このようなデータにより、関係者全員が、製品・サービスの資源強度を観察し、このサプライチェーン固有のデータの変化を追跡し、イニシアティブによる進捗を確認することができます。
回答方法	以下のオプションのいずれかを選択します： <ul style="list-style-type: none"> はい、CDP x CO2 AI プロダクトエコシステムツールを通じてデータを提供します。 はい、CDP 質問書を通じてデータを提供します。 いいえ、データを提供しません

(7.73.1) これらの製品による 全スコープの合計排出量が、全体に占める割合を示してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、7.73 の回答で「はい、CDP 質問書を通じてデータを提供します」を選択した場合のみ表示されます。
前年との比較	他のそいつ門との関連性の改訂(2023 SC4.1a)
説明	この質問は、貴組織が情報を開示している製品の GHG 関連性を評価することを目的としています。
回答方法	パーセンテージ欄[小数点以下 2 桁以内で 0~100 のパーセンテージを入力]。

(7.73.2) データを提供したい 商品/サービスに関して下表に記入してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、7.73 の回答で「はい、CDP 質問書を通じてデータを提供します」を選択した場合のみ表示されます。
前年との比較	質問の修正(2023 SC4.2a)
説明	CDP サプライチェーンのメンバーは、購入する商品・サービスに関連する排出集約度に関心があります。この設問では、貴組織がこれらの詳細を提供することができ、同時に、貴組織が商品/サービスの排出原単位を推定するために使用した手法の概要を説明することができます。
回答方法	この表は、1 列目の「回答要請メンバー」で選択した顧客のみ、該当するデータを閲覧できるようになっています。回答要請メンバーを選択せずに回答を入力した場合、回答は一切閲覧できません。 以下の表を完成させてください。表は見やすくするために数行にわたって表示されています。

1	2	3	4	5
回答要請メンバー	商品・サービス名	商品/サービスの内容	製品の種類	SKU(最小在庫管理単位)
選択肢: • メンバーのドロップ ダウナリスト	文章記入欄[最大 2,400 文字]	文章記入欄[最大 2,400 文字]	選択肢: • 最終 • 中間	文章記入欄[最大 50 文 字]

6	7	8	9	10
総排出量(単位: kg CO2e)	提供された以前の数値からの変化率(±%)	提供された以前の数値の日付	変更の説明	ライフサイクル排出量の推定に用いられた方法
数値記入欄[小数点以下 2 桁以内で 0 ~ 999,999,999,999 の範囲を入力]。	パーセンテージ欄[小数点以下 10 桁以内で -1000 ~ 1000 のパーセンテージを入力]。	カレンダーボタンを使用するか、DD/MM/YYYY 形式で手動で日付を入力します。	文章記入欄[最大 2,400 文字]	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • Bilan Carbone • フランス製品環境フットプリント • 医薬製品および医療機器に関する GHG 算定セクターガイダンス • GHG プロトコル製品算定および報告規格 • ISO 14040 & 14044 • ISO 14025 • EU 製品環境フットプリント (EUPEF) • PAS 2050 • WBCSD 化学製品に関する生涯指標 • その他、具体的にお答えください

[行を追加]

(7.73.3) 商品および/またはサービスのライフサイクル上の段階について 下表にデータを記入してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、7.73 の回答で「はい、CDP 質問書を通じてデータを提供します」を選択した場合のみ表示されます。
前年との比較	質問の修正(2023 SC4.2b)
説明	CDP サプライチェーンのメンバーは、購入する商品/サービスのライフサイクル排出量に関心があります。この質問により、貴組織は、これらの商品/サービスについて貴組織が考慮したライフサイクル段階の概要を説明しながら、これらの詳細を提供することができます。
回答方法	

1	2	3	4	5
回答要請メンバー	商品・サービス名	スコープ	ライフサイクル上の段階を選択してください	ライフサイクル段階での排出量(kg-CO2e/単位)
選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • メンバーのドロップダウンリスト 	文章記入欄[最大 2,400 文字]	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • スコープ 1 • スコープ 2 • スコープ 3 • スコープ 1 と 2 • スコープ 1、2、3 • その他、具体的に 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • アセンブリ • 民生用 • 原材料採掘から製品出荷まで • 原材料採掘から製品廃棄まで • 物流 • 寿命の終わり/最終廃棄 • エネルギー/燃料 	数値記入欄[小数点以下 10 桁以内で 0 ~ 999,999,999,999 の範囲を入力]。

			<ul style="list-style-type: none"> 製造 材料収集 施設の操業 包装 前処理加工 (原材料の)生産 リサイクル 保管 輸送 廃棄物 その他、具体的にお答えください 	
--	--	--	---	--

6	7	8	9
この段階は貴社の所有下あるいは管理下ですか	使用データの種類	データの質	この製品の排出量データを検証/保証する場合、方法を示してください
選択肢: <ul style="list-style-type: none"> はい いいえ 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 一次 二次 一次および二次 	文章記入欄[最大 2,500 文字]	文章記入欄[最大 5,000 文字]

(7.73.4) この製品に対して完了した、または予定された排出削減活動について詳述してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、7.73.で「はい、データを提供します」を選択した場合のみ表示されます。
前年との比較	変更なし(2023 SC4.2c)
説明	CDPのサプライチェーン・メンバーは、購入する商品・サービスについて完了または計画されている排出削減の取り組みに関心を持っています。この質問により、貴社は、達成または予測される排出削減の概要を説明しながら、これらの詳細を提供することができます。
回答方法	

1	2	3	4	5
商品・サービス名	イニシアティブ ID	取り組み内容	完了または予定	排出削減量(単位: kg-CO2e)
文章記入欄[最大 2,500 文字]	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> イニシアチブ 1 イニシアチブ 2 イニシアティブ 3 イニシアティブ 5 イニシアチブ 6 イニシアチブ 7 イニシアティブ 8 イニシアチブ 9 イニシアチブ 10 	文章記入欄[最大 2,500 文字]	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 完成 継続中 予定 	数値記入欄[小数点以下 2 桁まで、カンマなしで 0~999,999,999,999 の範囲を入力]。

	<ul style="list-style-type: none"> • イニシアチブ 11 • イニシアチブ 12 • イニシアチブ 13 • イニシアチブ 14 • イニシアチブ 15 • イニシアチブ 16 • イニシアチブ 17 • イニシアチブ 18 • イニシアチブ 19 • イニシアチブ 20 • イニシアチブ 21 • イニシアチブ 22 • イニシアチブ 23 • イニシアチブ 24 • イニシアチブ 25 • イニシアチブ 26 • イニシアチブ 27 • イニシアチブ 28 • イニシアチブ 29 • イニシアチブ 30 			
--	--	--	--	--

[行を追加]

(7.73.5)7.73.4に記載されたイニシアティブのうち、回答を要請している CDP サプライチェーンメンバー企業によって推進されましたか。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、7.73.で「はい、データを提供します」を選択した場合のみ表示されます。
前年との比較	変更なし(2023 SC4.2d)
説明	データ利用者は、(7.73.4で開示されているような)貴組織が従事している取り組みが、どの程度サプライチェーンメンバーの要請によって推進されているかを理解することに関心があります。これは、組織がどの程度資源効率を改善し、提供する商品/サービスの資源強度への影響を低減するために取り組んでいるかについての洞察を提供するのに役立ちます。
回答方法	以下のオプションのいずれかを選択します： <ul style="list-style-type: none"> • はい • いいえ

(7.73.6) どの活動が回答メンバーによって推進されたかを説明してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、7.73.5で「はい」を選択した場合のみ表示されます。
前年との比較	変更なし(2023 SC4.2e)
説明	データ利用者は、(7.73.4で開示されているような)貴組織が従事している取り組みが、どの程度サプライチェーンメンバーの要請によって推進されているかを理解することに関心があります。これは、組織がどの程度資源効率を改善し、提供する商品/サービスの資源強度への影響を低減するために取り組んでいるかについての洞察を提供するのに役立ちます。
回答方法	

1	2	3
回答要請メンバー	商品・サービス名	イニシアティブ ID
選択肢: [依頼メンバーのドロップダウンメニュー]	文章記入欄[最大 2,500 文字]	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • イニシアチブ 1 • イニシアチブ 2 • イニシアティブ 3 • イニシアティブ 5 • イニシアチブ 6 • イニシアチブ 7 • イニシアティブ 8 • イニシアチブ 9 • イニシアチブ 10 • イニシアチブ 11 • イニシアチブ 12 • イニシアチブ 13 • イニシアチブ 14 • イニシアチブ 15 • イニシアチブ 16 • イニシアチブ 17 • イニシアチブ 18 • イニシアチブ 19 • イニシアチブ 20 • イニシアチブ 21 • イニシアチブ 22 • イニシアチブ 23 • イニシアチブ 24 • イニシアチブ 25 • イニシアチブ 26 • イニシアチブ 27 • イニシアチブ 28 • イニシアチブ 29 • イニシアチブ 30

[行を追加]

低炭素製品・サービス

(7.74) 貴組織の製品やサービスを低炭素製品に分類していますか。

質問内容	
前年との比較	変更なし(2023 C4.5)
説明	この質問は、低炭素商品やサービスを提供する企業への投資を増やそうとしている投資家にとって、貴重な情報を提供するものです。
回答方法	以下のオプションのいずれかを選択します： <ul style="list-style-type: none"> はい いいえ

(7.74.1)低炭素製品として分類している製品及び/又はサービスの詳細をしめしてください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、7.74で「はい」を選択した場合のみ表示されます。
前年との比較	変更なし(2023 C4.5a)
説明	この質問は、低炭素商品やサービスを提供する企業への投資を増やそうとしている投資家にとって、貴重な情報を提供するものです。
回答方法	以下の表を完成させてください。表の下にある「行の追加」機能を使って行を追加することができます。

1	2	3	4	5	6	7
集合レベル	製品またはサービスを低炭素に分類するために使用されたタクソミー	製品またはサービスの種類	製品またはサービスの説明	この低炭素製品またはサービスの削減貢献量を推定しましたか	削減貢献量を計算するために使用された方法	低炭素製品またはサービスの対象となるライフサイクルの段階
選択肢： <ul style="list-style-type: none"> 製品またはサービス 製品またはサービスのグループ 	選択肢： <ul style="list-style-type: none"> 低炭素投資(LCI)レジストリタクソミー 気候ボンドタクソミー 環境的に持続可能な経済活動のためのEUタクソミー グリーンボンド原則(ICMA) IEA エネルギー技術展望 クリーンエネルギー技術ガイド 製品やサービスを低炭素と分類 	下のドロップダウンリストから選択	文章記入欄[最大 1,500 文字]	選択肢： <ul style="list-style-type: none"> はい いいえ 	選択肢： <ul style="list-style-type: none"> GHG 排出削減貢献に対する意欲的な取り組み - 化学セクター The Avoided Emissions Framework (AEF) Evaluating the carbon-reducing impacts of ICT 商品の排出量比較影響の推定と報告(WRI) Guidelines for Assessing the Contribution of 	選択肢： <ul style="list-style-type: none"> 揺りかごからゲートまで(製品の開発から出荷まで) 揺りかごから墓場まで 揺りかごから揺りかごまで/閉ループ生産 製品の開発から出荷まで+廃棄処理段階 ゲートからゲートまで 使用段階

	するためのタク ソノミーはない • その他、具体的 に				Products to Avoided Greenhouse Gas Emissions (ILCA) • Methodology for Environmental Life-Cycle Assessment of Information and Communication Technology Goods, Networks and Services (ITU- TL.1410) • その他、具体的にお 答えください	• 廃棄処理 段階 • その他、具 体的にお 答えくださ い • 該当なし
--	--------------------------------------	--	--	--	---	---

8	9	10	11	12	13
使用機能単位	使用された基準とな る製品/サービスまた はベースラインシナリ オ	基準製品/サービスま たはベースラインシナ リオの対象となるライ フサイクルの段階	基準となる製品/サー ビスまたはベースライ ンシナリオに対する推 定削減貢献量(機能単 位あたりの CO2 換算 トン)	仮定した内容を含 め、貴社の削減貢 献量の計算につい て、説明してくださ い	報告年の売上合 計のうちの、低炭 素製品またはサ ービスから生じ た売上の割合
文章記入欄[最 大 500 文字]	文章記入欄[最大 500 文字]	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • 揺りかごからゲ ートまで(製品の 開発から出荷ま で) • 揺りかごから墓 場まで • 揺りかごから揺 りかごまで/閉ル ープ生産 • 製品の開発から 出荷まで+廃棄 処理段階 • ゲートからゲート まで • 使用段階 • 廃棄処理段階 • その他、具体的 にお答えください • 該当なし 	数値記入欄[0~ 999,999,999,999 の数値を小数点以下 10 桁まで、カンマなし で入力]。	文章記入欄[最大 2,500 文字]	数値記入欄[小数 点以下 3 桁ま で、カンマなしで 0~100 の数値 を入力]。

[行を追加]

製品またはサービスの種類ドロップダウンメニュー(3 列目)		
発電 <ul style="list-style-type: none"> • 乾式蒸気プラント[EU] • フラッシュ蒸気プラント[EU] • フライホイール[EU] • 地熱発電[EU] • 水力発電 [EU] 	レール <ul style="list-style-type: none"> • 磁気浮上[TO, TS] • その他、具体的 海運 <ul style="list-style-type: none"> • アンモニア・バンカリング[TO, TS] 	冷暖房 <ul style="list-style-type: none"> • 先進の熱交換器[CN, RE] • 熱回収を利用した空気熱源ヒートポン プ[CN, RE] • 帯水層熱エネルギー貯蔵(ATES)[CN, RE]

<ul style="list-style-type: none"> 大型軽水炉[EU] 液体空気エネルギー貯蔵(LAES)[EU] リチウムイオン電池 [EU, TO, TS] マルチジャンクションセル[EU] 陸上風力 [EU] 有機ランキンサイクル[EU] パラボラトラフ[EU] 揚水発電 [EU] 海底固定式洋上風力タービン[EU] 小規模軽水炉[EU] 太陽光発電 [EU, CN, RE] ソーラータワー [CN, RE, EU] その他、具体的に <p>熱</p> <ul style="list-style-type: none"> 地熱熱管理 大型ヒートポンプ 潜熱蓄熱(LHS) 太陽熱地域暖房 [EU] その他、具体的に <p>バイオ燃料</p> <ul style="list-style-type: none"> 嫌気性消化器 バイオエタノール バイオマスガス化 脂肪酸メチルエステル(FAME)[TO, TS] 水素添加植物油 その他、具体的に <p>水素</p> <ul style="list-style-type: none"> 電解[EU] 水素パイプライン[EU] 水素貯蔵タンク 塩の洞窟水素貯蔵 その他、具体的に <p>アンモニア</p> <ul style="list-style-type: none"> アンモニアタンカー その他、具体的に <p>バッテリー</p> <ul style="list-style-type: none"> 銅のリサイクル 正極のリサイクル その他、具体的に <p>陸上交通</p> <ul style="list-style-type: none"> 圧縮バイオガスエンジン[TO, TS] エタノール燃料ディーゼルエンジン [TO, TS] 水素燃料電池[TO, TS] 水素補給ステーション[TO, TS] 液化バイオガスエンジン[TO, TS] リチウムイオン電池 [EU, TO, TS] 固体高分子形燃料電池[TO, TS] その他、具体的に 	<ul style="list-style-type: none"> コールドアイロン、代替海洋電力[TO, TS] ファウルリリース・ハルコーティング [TO, TS] 液化バイオガスエンジン[TO, TS] ラダーバルブ[TO, TS] その他、具体的に <p>航空</p> <ul style="list-style-type: none"> ギヤードターボファン／超ハイバイパス比エンジン[TO, TS] その他、具体的に <p>化学品とプラスチック</p> <ul style="list-style-type: none"> CO₂の化学吸収[CH, ST] CO₂[CH]の物理的吸収 その他、具体的に <p>鉄鋼</p> <ul style="list-style-type: none"> CO₂の化学吸収[CH, ST] その他、具体的に <p>セメントとコンクリート</p> <ul style="list-style-type: none"> 焼成クレイ[CE] その他、具体的に <p>パルプ・紙</p> <ul style="list-style-type: none"> リグニン抽出[CH] 黒液ガス化 [EU, CH] その他、具体的に <p>アルミニウム</p> <ul style="list-style-type: none"> アディティブ・マニュファクチャリング [CG] その他、具体的に <p>CO₂貯蔵</p> <ul style="list-style-type: none"> CO₂ - 油回収率の向上 [OG] 生理食塩水の形成 その他、具体的に <p>建物の建設と改修</p> <ul style="list-style-type: none"> 建物の向き照明[CN, RE] 建物の向き熱性能[CN, RE] 複合材料[CN] デュアルフロー換気[CN, RE] ダイナミック・シミュレーション[CN, RE] フォーム、コーキング、テープ、ガスケット [CN] モジュラー・コンポーネント[CN, RE] 自然換気[CN, RE] プレキャストニング[CN] 構造用断熱パネル[CN, RE] 厚い結晶製品または薄膜製品[CN, RE] その他、具体的に 	<ul style="list-style-type: none"> ボアホール熱エネルギー貯蔵(BTES) [CN] セントラルヒートポンプ給湯器[CN, RE] 冷水貯蔵 地上熱源ヒートポンプ 温水タンク 水素ボイラー[CN, RE] ペレットストーブとボイラー[CN, RE] 固体-液体水貯蔵[CN, RE] 最先端の空対空テクノロジー[CN, RE] 薪ストーブ[CN, RE] その他、具体的に <p>調理</p> <ul style="list-style-type: none"> バッグ消化器 複合材料消化器[CN] 改良型バイオマス調理用ストーブ[CN, RE] IHクッカー[CN, RE] LPG調理用コンロ[CN, RE] ガラスセラミック／ホットプレート調理用コンロ[CN, RE] その他、具体的に <p>照明</p> <ul style="list-style-type: none"> 従来のLED 有機LED ポリマーLED[CN, RE] その他、具体的に <p>システム統合</p> <ul style="list-style-type: none"> ダブル・スマートグリッド スマートメーター その他、具体的に <p>CO₂輸送</p> <ul style="list-style-type: none"> パイプライン その他、具体的に <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ハイブリッド・フレキシブル・デマンド・アンド・バッテリー・ネットワーク 大規模工業プロセス用誘導加熱 大規模工業プロセス用赤外線加熱 その他、具体的に
---	---	--

プロジェクトベースの炭素クレジット

(7.79) 貴組織は報告年中にプロジェクト由来の炭素クレジットをキャンセル(償却)しましたか。

質問内容	
前年との比較	変更なし(2023 C11.2)
説明	カーボン・クレジットは、コンプライアンスや自主的なカーボン・オフセットの目的で組織に利用され、低炭素の未来への移行を支援することができます。カーボンクレジットに関する情報は、データ利用者が、企業が排出削減やオフセットを通じて気候変動へのコミットメントをどの程度達成しているかを理解するのに役立ちます。
回答方法	以下のオプションのいずれかを選択します： <ul style="list-style-type: none"> はい いいえ

(7.79.1) 報告年中に貴組織がキャンセルしたプロジェクト由来の炭素クレジットの詳細を記入してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、7.79.で「はい」を選択した場合のみ表示されます。
前年との比較	質問の修正(2023 C11.2a)
説明	炭素クレジットは様々なプロジェクトから生まれ、様々な基準で検証されます。データ利用者は、プロジェクトの質、プロジェクトの種類の範囲、炭素クレジットを取り消した組織の目的、およびクレジットがこれらの目的を達成するためにどの程度使用されているかについて知りたいと考えています。
回答方法	以下の表に記入してください。

1	2	3	4	5	6	7
プロジェクトの種類	緩和活動の種類	プロジェクト概要	報告年にこのプロジェクトから貴社がキャンセルしたクレジット(トン CO2e)	キャンセルの目的	キャンセルしたクレジットのビンテージ(生成年)を報告できますか	キャンセル時のクレジットのビンテージ
選択肢: [以下に掲載]	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 排出削減 炭素除去 	文章記入欄[最大 2,500 文字]	数値記入欄[0 ~ 999,999,999,999 の数値を小数点以下 2 桁まで、カンマなしで入力]。	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> カーボンプライシング制度への対応 自発的なオフセット その他、具体的に 	選択肢 <ul style="list-style-type: none"> はい いいえ 	数値記入欄 [1900 年から 2023 年の間の数字を入力する]

8	9	10	11	12	13	14
これらのクレジットは貴社宛に発行されたか、貴社により購入されましたか。	カーボンクレジットプログラムにより発行されたクレジット	追加性の評価方法	リバーサルリスクに対処するために選択したプログラムが本プロジェクトに義務付けるアプローチ	選択したプログラムが本プロジェクトに評価を義務付ける潜在的漏出源	選択したプログラムがプロジェクトに対処を義務付けるその他の問題があれば、詳細をお答えください	説明してください

選択肢: ・発行済み ・購入済み	選択肢: [以下に掲載]	該当するものを すべて選んでく ださい: ・法的要件の検 討 ・投資分析 ・バリア分析 ・市場浸透評価 ・標準化された アプローチ ・その他、具体 的に ・未評価	該当するものを すべて選んでく ださい: ・モニタリング および補償 ・期限付きクレ ジット ・その他、具体 的にお答えく ださい ・法的要件なし ・逆戻りリスク なし	該当するものを すべて選んでく ださい: ・上流/下流排 出 ・活動の移動 ・市場漏出 ・生態系漏出 ・その他、具 体的にお答 えください ・評価してい ない	文章記入欄[最 大 2,500 文 字]	文章記入欄[最 大 2,500 文 字]
------------------------	-----------------	---	--	---	----------------------------	----------------------------

[行を追加]

プロジェクトの種類(1 列目)	
<ul style="list-style-type: none"> 植林 農業 森林農業 バイオ炭 CO2 回収・貯留付きバイオマス発電(BECCS) バイオマスエネルギー セメント 炭鉱/炭層メタン クリーンコンロの流通 地域社会プロジェクト ダイレクトエアキャプチャー(DAC) エネルギー供給 省エネ:家庭 エネルギー効率:産業 エネルギー効率:自家発電 エネルギー効率:サービス エネルギー効率:供給側 風化促進と海洋アルカリ化 森林生態系復元 化石燃料切り替え 	<ul style="list-style-type: none"> 漏出 地熱 HFCs 水力発電 埋立地ガス ランドスケーププロジェクト 自然再生 マングローブ保護および復元 メタン回避 再生可能エネルギーミックス N2O 海洋施肥 泥炭地保護および復元 PFCs および SF6 森林再生 土壌炭素隔離 太陽光 潮汐 輸送 廃棄物管理 風力 その他、具体的にお答えください

クレジットを発行した炭素クレジットプログラム(9 列目)	
<ul style="list-style-type: none"> Alberta TIER Emission Offset system ACR (アメリカン・カーボン・レジストリ) California Air Resources Board Compliance Offset Program CAR(気候アクションリザーブ) CCBS (気候・地域社会・生物多様性連合、CCBA によ って作成された) CDM(クリーンな開発の制度) オーストラリア政府の排出量削減基金 Gold Standard Integrity Council for Voluntary Carbon Markets - 承認された炭素クレジットプログラム JCM (Joint Crediting Mechanism) 	<ul style="list-style-type: none"> JI(共同実施) Plan Vivo REDD+ TREES (The REDD+ Environmental Excellence Standard) T-COP (Thailand Carbon Offsetting Program) VCS(検証済み炭素基準) VER+ (TÜV SÜD 基準) プログラムにより発行されていない その他の民間機関による炭素クレジットプログラムの場 合は、具体的にお答えください その他の規制当局による炭素クレジットプログラムの場 合は、具体的にお答えください

モジュール 8:フォレスト

モジュール概要

モジュール概要	<p>このモジュールでは、貴組織のコモディティへの依存、森林減少やその他の自然生態系の転換に関連する方針とコミットメントの実施に関する情報を開示します。</p> <p>これには、貴組織のコモディティ生産量および/または調達量、生産に使用する土地の使用量と場所、コモディティ調達場所、目標、トレーサビリティ、森林減少・転換(DCF)の状況指標、DCFを決定する方法に関する質問が含まれます。また、DCFの生産量や調達量の増加に向けた進捗状況や計画、法令遵守、景観や管轄アプローチの取り組み、生態系回復プロジェクトへの組織の参加についてもカバーしています。</p>
---------	--

除外事項

(8.1)森林関連データの開示について、除外項目はありますか。

質問内容	
前年との比較	質問の修正(2023 F0.7)
説明	CDPは、報告された情報に対するデータ利用者の信頼を確保するため、包括的かつ代表的なデータを共有することを目指しています。そのため、組織が森林関連データの開示から直接操業および/またはバリューチェーン上流の一部を除外する必要がある場合は、分析に影響を与える可能性があるため、データ利用者にその旨を通知しなければなりません。

0	1
コモディティ	情報開示の除外
木材製品	選択肢: • はい • いいえ
パーム油	
畜牛品	
大豆	
天然ゴム	
ココア	
コーヒー	

[固定列]

(8.1.1)これらの除外事項の詳細を回答してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、8.1の「情報開示の除外」の欄のいずれかの行で「はい」を選択した場合にのみ表示されます。
前年との比較	質問の修正(2023 F0.7a、F1.5e)
説明	報告された情報に対するデータ利用者の信頼を確保するため、組織の情報開示は包括的かつ代表的でなければなりません。そのため、組織は直接操業および/またはバリューチェーン上流からの森林関連データのすべての除外項目について報告することが推奨されます。この設問は、データ利用者が後続のコモディティ関連の設問に対する回答の参考となります。

1	2	3	4	5	6
コモディティ	除外	除外項目	バリューチェーンの段階	除外理由	開示コモディティのデータが入手できない主な理由
木材製品	選択肢: • 事業活動 • 地域 • 設備 • 特定の製品ライン • 特定のサプライヤー	文章記入欄[最大2,500文字]	選択肢: • 直接操業 • バリューチェーン上流	選択肢: • トレーサビリティに関する課題 • データがない • 組み込み大豆[大豆] • 最近の買収または合併 • 売却	選択肢: • データ収集および/または品質に関する課題 • コモディティによる森林減少・劣化・転換の影響に関する知識が不十分 • 内部リソース、能力、または専門知識の欠如(例: 組織の規模が原因)

	<ul style="list-style-type: none"> ●その他、具体的に 			<ul style="list-style-type: none"> ●その他、具体的に 	<ul style="list-style-type: none"> ●標準化された手順がない ●当面の戦略的優先事項ではない ●重要でないか、関連性がないと判断した ●データ収集中 ●その他、具体的に示してください
パーム油					
畜牛品					
大豆					
天然ゴム					
ココア					
コーヒー					
選択肢: <ul style="list-style-type: none"> ●木材製品 ●パーム油 ●畜牛品 ●大豆 ●天然ゴム ●ココア ●コーヒー 					

7	8	9	10	11
買収または合併の完了日	合併・買収のデータは次年度の報告書に反映される予定ですか	森林関連データの開示から除外されるコモディティ量を提供しますか	除外数量(トン)	説明してください
[DD/MM/YYYY]	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> ●はい ●いいえ 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> ●はい。 ●いいえ、除外数量は不明です ●いいえ、除外数量は部外秘です ●いいえ、その他の理由を具体的に 	数値記入欄[0~999,999,999,999の 数値を小数点以下2桁以内で入力]。	文章記入欄 [最大1,500文字]

[行固定、行追加]

コモディティ量データ セクション概要

セクション概要	<p>このセクションでは、コモディティ量に関する情報を求めています。これはデータ利用者にとって重要な情報であり、開示者が透明性、包括性、比較可能性のあるデータを提供することを可能にします。CDPは、森林関連データの開示に関連して、4種類のコモディティ量(コモディティ総量、開示量、生産量、調達量)の詳細を尋ねています。本セクションでは、開示量とその内訳について、コモディティごとの生産量および/または調達量に応じた詳細を収集します。このセクションで報告された数量は、このセクション全体を通じて参照され、ここでの回答は、その後の回答にも考慮されます。</p>
---------	--

(8.2)コモディティごとの開示量の内訳を記入してください。

質問内容	
前年との比較	新規質問

説明	組織の情報開示に含まれるコモディティ量の透明性は、データ利用者が環境パフォーマンスを理解するための鍵となります。この質問では、生産した量(「生産量」と調達した量(「調達量」)に応じて、開示される量(ここでは「開示量」)の内訳を尋ねます。この質問は、データ利用者がこのモジュールで報告される量を理解し、拝啓を理解するのに役立ちます。
----	---

0	1	2	3	4
コモディティ	開示量(トン)	量の種類	生産量(トン)	調達量(トン)
木材製品	数値記入欄[0~999,999,999,999の数値を小数点以下2桁以内で入力]。	該当するものをすべて選んでください: <ul style="list-style-type: none"> 生産 調達 	数値記入欄[0~999,999,999,999の数値を小数点以下2桁以内で入力]。	数値記入欄[0~999,999,999,999の数値を小数点以下2桁以内で入力]。
パーム油				
畜牛品				
大豆				
天然ゴム				
ココア				
コーヒー				

[固定列]

(8.2.1)組織が調達する動物性食品に含まれる大豆の詳細を記入する。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、1.2.2の3列目「バリューチェーンに直接大豆および/または組み込み大豆がありますか」で「組み込み大豆のみ」または「組み込み大豆と直接大豆の混合」を選択した場合のみ表示されます。
前年との比較	新規質問
説明	世界的な人口増加は畜産物の需要を増大させ、その結果、家畜の飼料となる大豆の需要を増大させています。このような大豆生産の増加は、森林減少や自然生態系の転換と関連しており、通常、組織のバリューチェーンに「組み込まれ」、あるいは「隠されて」いるため、計算されていません。この問題に対処するため、畜産物を調達する組織は、製品調達の幅広い範囲において、大豆の組み込みに関する認識を高め、組み込み大豆の原産地をより明確にし、組み込み大豆量の森林減少なし(DF)または森林減少・転換なし(DCF)の状況を評価すべきです。この質問により、投資家やその他のデータ利用者は、関連する量の計算、トレーサビリティ、DCFの状態という観点から、組織の組み込み大豆使用に関する透明性を得ることができます。

0	1	2	3	4	5
コモディティ	組み込み大豆の開示	組み込み大豆の使用と大豆層の説明	体積計算方法	組み込み大豆開示量(トン)	大豆が含まれる調達量の割合
大豆	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 組み込み大豆量の一部または全部は、8.2の4列目に報告され 	文章記入欄[最大2,500文字]	文章記入欄[最大3,000文字]	数値記入欄[0~999,999,999の数値を小数点以下	数値記入欄[小数点以下2桁以内で0~100の数値を入力]。

	ている「調達量」に含まれる • 8.1.1 で報告されているように、組み込み大豆の数量はすべて開示から除外されている			下 2 桁以内で入力]。	
--	---	--	--	--------------	--

6	7	8	9	10	11	12
トレーサビリティシステム	トレーサビリティシステムの説明	大豆生産国・地域と追跡可能な組み込み大豆開示量の割合	大豆の生産地が不明な組み込み大豆開示量の割合	大豆の DF/DCF ステータスの評価	報告年度において DF/DCF として決定された組み込み大豆開示量の割合	DF/DCF ステータスを決定するために使用される手法
選択肢: • はい、私たちは大豆のトレーサビリティシステムを導入しています。 • いいえ、しかし今後 2 年以内に導入する予定です • 今後 2 年以内に導入する予定はない	文章記入欄[最大 3,000 文字]	数値記入欄[小数点以下 2 桁以内で 0~100 の数値を入力]。	数値記入欄[小数点以下 2 桁以内で 0~100 の数値を入力]。	選択肢: • はい、森林減少と転換のない (DCF) ステータスを評価します • はい、森林減少防止 (DF) ステータスの評価 • いいえ、しかし今後 2 年以内にそうする予定です • 今後 2 年間はその予定はない	数値記入欄[小数点以下 2 桁以内で 0~100 の数値を入力]。	文章記入欄[最大 2,500 文字]

[固定列]

土地の利用面積量と所在地(コモディティ生産)

(8.3)開示されたコモディティの生産に使用される、貴組織が所有、管理、または支配する土地の詳細を記入してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、8.2の「量の種類」の欄で「生産」を選択した場合にのみ表示されます。
前年との比較	質問の修正(2023 F1.3)
説明	この質問では、開示するコモディティの生産に使用される、貴社が所有、管理、または支配する土地に関する情報を収集します。開示されるデータは、森林減少や自然生態系の転換との最終的な関連性を含め、さまざまな地域における土地利用に対する貴社の市場パワーと潜在的な影響力を示すものです。投資家やその他のステークホルダーに対して、自社が所有、管理、または支配している土地を十分に理解していることを示すことが重要です。

1	2	3	4	5	6
---	---	---	---	---	---

コモディティ	土地利用の種類	国・地域	州または同等の法律管轄区域	州または同等の管轄区域を明記	土地タイプ
木材製品	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • 土地の所有 • コンセプション/リース • 企業の系列の小規模農家 • その他の土地利用の種類を具体的に 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • [森林-国・地域リスト] • 産地不明 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • 州/同等の管轄区域 • 不明 • 非開示 	文章記入欄[最大 2,500 文字]	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • 管理された自然林 • 植林 • その他の土地の種類、具体的に
パーム油					
畜牛品					
大豆					
天然ゴム					
ココア					
コーヒー					
選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • 木材製品 • パーム油 • 畜牛品 • 大豆 • 天然ゴム • ココア • コーヒー 					

7	8	9	10	11	12
面積(ヘクタール)	貴組織が所有、管理、および/または支配する土地で生産された量を提供できますか	所有・管理・支配する土地で生産される量(トン)	第三者認証面積	第三者認証スキーム	生産施設の名称と所在地を記載したリストを添付する(任意)
数値記入欄[0~999,999,999 の数値を小数点以下 2 桁以内で入力]。	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • はい • いいえ、データがない • いいえ、データは機密です • いいえ、その他の理由を具体的に 	数値記入欄[0~999,999,999,999 の数値を小数点以下 2 桁以内で入力]。	数値記入欄 [小数点以下 2 桁以内で 0~100 の数値を入力]。	以下のドロップダウンリストから該当するものをすべて選択してください。	[ファイル添付]

[行固定、行追加]

第三者認証制度(11 列目)	
<ul style="list-style-type: none"> • FSC Forest Management certification • FSC Controlled Wood certification • RSPO producer/grower certification • Preferred by Nature Sustainability Framework • RTRS standard for Responsible Soy Production • RA Sustainable Agriculture standard: Farm certificate • ProTerra certification 	<ul style="list-style-type: none"> • RSB ICAO CORSIA • RSB Certificate for Smallholder Groups • Biosuisse organic • Naturland • Soil Association Organic Farming & Growing (GB and Northern Ireland) • Europe Soja • Donau Soja

<ul style="list-style-type: none"> • ISCC CORSIA • ISCC Japan FIT • ISCC EU • ISCC PLUS • RSB Global Advanced Products • RSB Japan FIT Biomass • RSB Global Fuels 	<ul style="list-style-type: none"> • PEFC Sustainable Forest Management certification • SFI Forest Management standard • SURE <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> • この国・地域、州、または同等の管轄区域に認証地域はない • その他の森林管理/生産者認証、具体的に記入
--	--

(8.4)報告年において、貴組織が所有、管理、または支配する土地のうち、開示されたコモディティの生産に使用されなかったものがあれば記入してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、8.2の「量の種類」の欄で「生産」を選択した場合にのみ表示されます。
前年との比較	新規質問
説明	この質問では、貴組織が所有、管理、および/または支配している土地のうち、報告年に開示コモディティの生産に使用されなかったものがあるかどうかについての情報を収集します。土地の保有状況を開示することは、森林減少やその他の自然生態系の転換に関連する現在および将来のリスクと機会を理解する上で極めて重要です。
回答オプション	以下のオプションのいずれかを選択します： <ul style="list-style-type: none"> • 私たちが所有、管理、支配する土地はすべて生産に使用されています。 • 私たちが所有、管理、支配する土地の一部は、生産に使用されていない。

(8.4.1)貴組織が所有、管理、または支配している土地のうち、報告年に開示コモディティの生産に使用されなかった土地の詳細を記入してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、8.4.の回答で「私たちが所有、管理、支配する土地の一部は、生産に使用されていない」を選択した場合のみ表示されます。
前年との比較	質問の修正(2023 F1.4)
説明	組織は、現在コモディティ生産に使用されていないが、将来使用される可能性のある、または使用されない可能性のある、所有、管理、および/または支配している土地を特定できるようにすべきです。このデータを開示することで、投資家や他のデータ利用者に、生産地域を拡大する際に組織が直面する可能性のある課題に加え、土地のステewardシップに関する洞察を提供することができます。

1	2	3	4	5	6
国・地域	土地利用の種類	土地の種類	面積(ヘクタール)	自然林やその他の自然生態系が占める割合	説明してください
選択肢: [国・地域一覧]	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • 土地所有 • コンセッション/リース • 公有地 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • インフラ領域 • 未植林地(将来植林地となることが指定済み) • 保全のために確保された土地 	数値記入欄[0~999,999,999の数値を小数点以下2桁以内で入力]。	数値記入欄[小数点以下2桁以内で0~100の数値を入力]。	文章記入欄[最大2,500文字]

	<ul style="list-style-type: none"> ●その他の土地利用の種類を具体的に 	<ul style="list-style-type: none"> ●森林リスク・コモディティ生産のために大規模に転換される可能性がある自然生態系 ●森林リスク・コモディティ生産の可能性がある劣化した地域/放棄地域 ●スキームにより小規模農家によって管理されている土地 ●認証により保護されている土地 ●天然資源の探査や抽出のためにリースされる土地 ●その他の土地の種類、具体的にお答えください 			
--	---	--	--	--	--

[行を追加]

コモディティ調達場所(コモディティ調達量)

(8.5) 調達したコモディティの原産地について詳細を記述してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、8.2の「量の種類」の欄で「調達」を選択した場合のみ表示されます。
前年との比較	質問の修正(2023 F1.5c, F2.2a, F1.1)
説明	この質問により、データ利用者は、貴組織の森林減少・転換リスクへのエクスポージャーをより明確に知ることができます。この質問は、透明性を高め、事業に対するリスクを特定する能力を向上させることで、開示者に利益をもたらします。

1	2	3	4	5
コモディティ	原産国/地域	州または同等の法律管轄区域	州または同等の管轄区域を示してください	当該原産国・地域からの調達量(トン)
木材製品	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> ● [森林国・地域リスト] ● 原産地不明 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> ● 州/同等の管轄区域 ● 不明 ● 非開示 	文章記入欄[最大 2,500 文字]	数値記入欄[999,999,999,999 から小数点以下 2 桁までの数値を入力]。
パーム油				
畜牛品				
大豆				
天然ゴム				
ココア				
コーヒー				
選択肢: <ul style="list-style-type: none"> ● 木材製品 ● パーム油 ● 畜牛品 ● 大豆 ● 天然ゴム ● ココア ● コーヒー 				

[行固定、行追加]

6	7	8
---	---	---

調達先	サプライヤーの生産拠点および一次加工拠点のリスト:名称と所在地を添付してください。(任意)	説明してください
該当するものをすべて選んでください: <ul style="list-style-type: none"> • 独立した小規模農家 • 企業の系列の小規模農家 • 単一契約生産者 • 複数の契約生産者 • トレーダー/ブローカー/コモディティ市場 • 契約サプライヤー(加工業者) • 契約サプライヤー(メーカー) • その他、具体的に 	[ファイル添付]	文章記入欄 [最大 2,500 文字]

バイオ燃料

(8.6) あなたの組織は、パーム油由来のバイオ燃料を生産または調達していますか。

質問内容	
他の質問との関連性	パーム油について開示している組織にのみ表示されます。
前年との比較	質問の修正(2023 F1.5f)
回答オプション	以下のオプションのいずれかを選択します: <ul style="list-style-type: none"> • はい • いいえ

(8.6.1) パーム油由来のバイオ燃料をどのように生産または調達しているか、その詳細を示してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、質問 8.6 で「はい」を選択した場合のみ表示されます。
前年との比較	質問の修正(2023 F1.5f)
説明	この質問により、投資家やデータ利用者は、組織のパーム油由来バイオ燃料について、その関連量と原産地に関する透明性を得ることができます。

1	2	3	4	5	6	7	8
量の種類	パーム油由来のバイオ燃料量	単位	原産国/地域	州または同等の法律管轄区域	開示量の割合	バイオ燃料を小規模農家から調達していますか	コメント(任意)
選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • 生産 • 調達 	数値記入欄 [0~999,999,999,999の数値を小数点以下2桁以内で入力]。	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • トン • リットル • ガロン • その他、具体的に 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • [森林の国・地域リスト] • 起源不明 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • 州/同等の管轄区域を明記 • 不明 • 非開示 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • <1% • 1-5% • 6-10% • 11-20% • 21-30% • 31-40% • 41-50% • 51-60% • 61-70% • 71-80% • 81-90% • 91-99% 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • はい • いいえ • 不明 • 非開示 	文章記入欄[最大 2,500 文字]

					<ul style="list-style-type: none"> ● 100% ● 不明 ▲ 該当なし 		
--	--	--	--	--	--	--	--

[行を追加]

目標

(8.7) 貴組織は、報告年において、開示されたコモディティの持続可能な生産／調達に関して、森林減少なしまたは転換なしの目標、あるいはその他の目標を設定しましたか。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問に対する貴組織の回答によって、それ以降に提示される質問が決まります。8.7への回答が修正された場合、後続の質問のデータは消去されることがあります。
前年との比較	質問の修正(2023 F4.6b, F6.1, F6.1b)
説明	この質問では、組織がバリューチェーンにおける森林減少やその他の自然生態系の転換をなくすための目標を設定しているかどうかを確認します。明確な進捗指標とともに具体的な目標を設定することで、組織はコミットメント、方針、目標を効果的に実施することができます。

0	1	2	3	4	5	6	7
コモディティ	実行中の森林減少なしまたは転換なしの目標	森林減少なしまたは転換なしの目標の対象範囲	報告年に森林減少なしまたは転換なしの目標を設定しなかった主な理由	報告年に森林減少なしまたは転換なしの目標を設定しなかった理由を説明してください	このコモディティに関連するその他の活動目標(森林減少なしまたは転換なしの目標に貢献するものを含む)	報告年に他の目標がなかった主な理由	報告年に他の目標がなかった理由を説明してください。
木材製品	<p>選択肢:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● はい、森林減少なしの目標を掲げています。 ● はい、転換なしの目標を掲げています。 ● いいえ、しかし、今後2年間は森林減少なしや転換なしの目標を策定予定です。 ● いいえ、また、今後2年間は、森林減少なしや転換なし 	<p>選択肢:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 組織全体(サプライヤーを含む) ● 組織全体(直接操業のみ) ● 事業部門 ● 事業活動 ● 国・地域 ● 製品レベル ● サイト/施設 ● サプライヤー ● その他、具体的に 	<p>選択肢:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 内部リソース、能力、または専門知識の欠如(例: 組織の規模が原因) ● 標準化された手順がない ● 当面の戦略的優先事項ではない ● 重要でないか、関連性がないと判断した ● その他、具体的にお答えください 	文章記入欄 [最大 2,500 文字]	<p>選択肢:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● はい、このコモディティに関連する他のターゲットがあります。 ● いいえ。しかし、今後2年間にこのコモディティに関連する他のターゲットを持つ予定です。 ● 今後2年間は、このコモディティに関連する他のターゲットを持つ予定はない。 	<p>選択肢:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 内部リソース、能力、または専門知識の欠如(例: 組織の規模が原因) ● 標準化された手順がない ● 当面の戦略的優先事項ではない ● 重要でないか、関連性がないと判断した ● その他、具体的にお答えください 	文章記入欄 [最大 2,500 文字]

	しの目標を掲げる予定はありません						
パーム油							
畜牛品							
大豆							
天然ゴム							
ココア							
コーヒー							

[固定列]

(8.7.1) 報告年中に実施された森林減少なしまたは転換なしの目標の詳細を記入してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、8.7の[実行中の森林減少なしまたは転換なしの目標]欄で、「はい、森林減少なしの目標」または「はい、転換なしの目標」を選択した場合のみ表示されます。
前年との比較	質問の修正(2023 F4.6b, F6.1)
説明	この質問は、組織の転換なしまたは森林減少なしの目標がどれだけ野心的であるかを立証するものです。目標について開示された情報は、データ利用者に持続可能なバリューチェーンに向けた進捗状況を追跡する方法を提供します。野心的な目標は、森林減少やその他の自然生態系の転換に関連する緊急の問題に、組織がどれだけ取り組んでいるかを反映します。

1	2	3	4	5	6	7
コモディティ	森林減少なしまたは転換なしの目標	貴組織の「森林減少なし」または「転換なし」の定義	期限	期限が適用される地理的範囲	当該期限を選択した理由	森林減少なしまたは転換なしの目標達成日
木材製品	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 森林減少なし 転換なし 	文章記入欄 [最大 500 文字]	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> <1987 1987-1992 1993-1997 1998 1999 2000 2001 2002 2003 2004 2005 2006 2007 2008 2009 2010 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 全世界に適用 国/地域を指定してください バイオーム、具体的に その他、具体的に 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> セクター全体の合意/推奨 地域全体の合意/推奨 サプライヤーのコミットメントに沿って 法的要件 イニシアチブの遵守、具体的に 組織のコミットメントに沿い、セクターまたは地域全体の期限がないため 組織のコミットメントに沿ったものであるが、セクターまたは地域ごとの期限がある その他、具体的に 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> <2017 2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024 2025 2026-2030 >2030 目標日なし

			<ul style="list-style-type: none"> • 2011 • 2012 • 2013 • 2014 • 2015 • 2016 • 2017 • 2018 • 2019 • 2020 • 2021 • 2022 • 2023 • 締め切りなし 			
パーム油						
畜牛品						
大豆						
天然ゴム						
ココア						
コーヒー						
選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • 木材製品 • パーム油 • 畜牛品 • 大豆 • 天然ゴム • ココア • コーヒー 						

[行固定、行追加]

(8.7.2) 森林減少なしまたは転換なしの目標に貢献するものを含め、コモディティに関連するその他の目標の詳細と、それに対する進捗を記入してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、8.7.の「このコモディティに関連するその他の活動目標(森林減少なし、または転換なしの目標に貢献するものを含む)」の欄で、「はい、このコモディティに関連するその他の活動目標があります」を選択した場合にのみ表示されます。
前年との比較	質問の修正(2023 F6.1a)
説明	この質問では、森林減少なしや転換なしの全体目標を実施するために、あるいはコモディティ生産と調達を持続可能性を向上させるために、組織が設定している目標の詳細を把握します。指標と目標に対する進捗状況の詳細を提供することで、データ利用者は、組織がバリューチェーンにおける依存、影響、リスク、機会に対処するための適切な目標を持っているかどうかを理解することができます

1	2	3	4	5	6a	6b
コモディティ	目標参照番号	目標は、8.7で報告された森林減少なしまたは転換なしの目標に貢献しますか	目標対象範囲	目標対象コモディティ量(トン)	対象カテゴリー	定量的指標
木材製品	選択肢:	選択肢:	選択肢:	選択肢:	選択肢:	以下のドロップダウンリストから

	<ul style="list-style-type: none"> ターゲット1-25 	<ul style="list-style-type: none"> はい、この目標は森林減少なしの目標に貢献します。 はい、この目標は転換なしの目標に貢献します。 いいえ、この目標は、森林減少なしや転換なしの目標とは別のものです。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業活動 事業部門 組織全体(直接操業のみ) 組織全体(サプライヤーを含む) 国・地域 製品レベル サイト/施設 サプライヤー その他、具体的に 	<ul style="list-style-type: none"> 情報開示量 コモディティ総量 目標の対象となる事業または場所に関連するコモディティ総量 その他の数量、具体的に 	<ul style="list-style-type: none"> トレーサビリティ 第三者認証 小規模農家とのエンゲージメント 直接サプライヤーとのエンゲージメント 間接サプライヤーとのエンゲージメント 所有または管理している加工施設の実績 サプライチェーンにおける加工施設の実績 ランドスケープ/管轄区域におけるエンゲージメント 自然生態系の復元と保護 資源利用および効率性 その他、具体的にお答えください 	<p>選択してください。</p>
パーム油						
畜牛品						
大豆						
天然ゴム						
ココア						
コーヒー						
<p>選択肢:</p> <ul style="list-style-type: none"> 木材製品 パーム油 畜牛品 大豆 天然ゴム ココア コーヒー 						

7	8	9	10	11	12	13	14
トレーサビリティ・ポイント	第三者認証スキーム	目標設定日	基準年終了日	基準年の数字	目標終了日	目標年の数字	報告年の数字
<p>選択肢:</p> <ul style="list-style-type: none"> 生産部門 調達地域、ただし生産部門は除く 原産国/地域 	以下のドロップダウンリストから該当するものをすべて選択してください。	[DD/MM/YYYY]	[DD/MM/YYYY]	数値記入欄[0~999,999,999,999の数値を小数点以下4桁以内で入力]。	[DD/MM/YYYY]	数値記入欄[0~999,999,999,999の数値を小数点以下4桁以内で入力]。	数値記入欄[0~999,999,999,999の数値を小数点以下4桁以内で入力]。

15	16	17	18	19	20	21
報告年の目標状況	基準年に対する目標達成率[自動計算]	本目標に沿った、あるいは本目標が支持する地球環境条約／イニシアティブ／フレームワーク	対象範囲を説明し、除外項目を特定してください	目標達成のための計画および報告年度末までの進捗状況	この目標の達成または維持に最も貢献した行動をリストアップしてください	目標の詳細
選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 新規 実行中 達成 達成と維持 期限切れ 改訂 置き換え 取り下げ 	数値記入欄[小数点以下 2 桁以内で 0~100 の数値を入力]。	該当するものすべてを選んでください: <ul style="list-style-type: none"> 昆明-モンテリオール生物多様性枠組み パリ協定 持続可能な開発目標 プラネタリーバウンダリー なし、整合性のは評価せず なし、整合性はなしと評価 その他、具体的に 	文章記入欄[最大 2,500 文字]	文章記入欄[最大 2,500 文字]	文章記入欄[最大 2,500 文字]	文章記入欄[最大 2,500 文字]

[行固定、行追加]

定量的指標(6b 列)	
トレーサビリティ <ul style="list-style-type: none"> トレーサビリティ・ポイントまで追跡可能な量の割合 その他のトレーサビリティ目標指標、具体的に 第三者認証 <ul style="list-style-type: none"> 第三者認証取得量の割合 その他の第三者認証の目標指標、具体的にご記入ください。 小規模農家とのエンゲージメント <ul style="list-style-type: none"> エンゲージメントした小規模農家の割合 小規模農家支援プログラムへの投資 エンゲージメントした小規模農家の数 責任あるバリューチェーンへの参入を支援する小規模農家からの調達量 その他の小規模農家エンゲージメント目標指標(具体的にご記入ください) 直接サプライヤーとのエンゲージメント <ul style="list-style-type: none"> 森林減少なしまたは転換なしの目標に準拠した直接サプライヤーからの調達支出の割合 直接サプライヤーからの調達支出のうち、コモディティ事業全体にわたって自社がコミットメントを表明している調達支出の割合 エンゲージメントする直接サプライヤーの割合 直接サプライヤーのうち、事業全体にわたって森林減少なしまたは転換なしの目標を掲げているサプライヤーの割合 期限付きの行動計画を公開している直接サプライヤーの割合 	所有または管理する加工施設の業績 <ul style="list-style-type: none"> 森林減少／転換モニタリングシステムを導入している加工施設の割合 DCF/NDPE コミットメントのある加工施設の割合 DCF/NDPE コミットメントに適合した加工施設の割合 公開された期限付き行動計画が実施されている加工施設の割合 その他の所有または管理する加工施設のパフォーマンス目標指標、具体的に記入 バリューチェーンにおける加工施設の業績 <ul style="list-style-type: none"> 公開された期限付き行動計画が実施されている加工施設の割合 DCF/NDPE を約束したバリューチェーンの加工施設の割合 DCF/NDPE コミットメントを遵守しているバリューチェーンの加工施設の割合 バリューチェーンに含まれる加工施設のうち、森林減少または転換のモニタリングシステムを導入している施設の割合 バリューチェーンにおけるその他の加工施設のパフォーマンス目標指標、具体的に記入 ランドスケープ／管轄区域におけるエンゲージメント <ul style="list-style-type: none"> 管轄／ランドスケープアプローチに基づき投資された土地面積ハクター ランドスケープと管轄区域への投資 支援したランドスケープ／管轄地域のイニシアティブの数 その他のランドスケープ／管轄区域のエンゲージメント目標指標、具体的にご記入ください。 自然生態系の回復と長期的保護 <ul style="list-style-type: none"> 直接事業による絶対農地面積の減少率 直接事業による農地フットプリント強度の減少率

<ul style="list-style-type: none"> ● 森林減少なしまたは転換なしの目標に適合する直接サプライヤーからの調達量の割合 ● その他の直接サプライヤーのエンゲージメント目標指標、具体的にご記入ください。 <p>間接サプライヤーとの関わり</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 森林減少なしまたは転換なしの目標に準拠した間接以上のサプライヤーからの調達支出の割合 ● エンゲージメントする間接サプライヤー割合 ● 期限付きの行動計画を公開している間接サプライヤーの割合 ● 森林減少なしまたは転換なしの目標に適合する間接サプライヤーからの調達量の割合 ● その他の間接サプライヤーのエンゲージメント目標指標、具体的にご記入ください。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 植林面積 ● 再植林面積 ● 保護面積 ● 修復中の面積 ● 修復および保全プロジェクトへの投資 ● 創出された炭素クレジットの数(トン CO2e) ● 修復および/または保全プロジェクトの総数 ● その他の自然生態系の回復と長期的保護に関する目標指標を具体的に示す。 <p>資源の利用と効率</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 廃棄物として処分されたコモディティ量の割合 ● 製品 1 個あたりの包装材平均重量の減少率(グラム) ● ライフサイクル全体、生物多様性、食料安全保障への影響を考慮した代替繊維を使用した紙および包装製品の割合 ● 紙および包装製品に使用されている再生資源の割合 ● 代替供給源(代替蛋白質など)に置き換えた牛肉からの収入の割合[牛肉製品のみ] ● 紙および包装用製品の原材料投入量の減少率(トン) ● その他の資源使用および効率に関する目標指標、具体的に記入 <p>その他の対象カテゴリ、具体的に</p> <ul style="list-style-type: none"> ● その他の目標指標、具体的に
--	--

第三者認証スキーム(8 列目)	
<p>森林管理単位／生産者認証</p> <ul style="list-style-type: none"> ● FSC Forest Management certification ● FSC Controlled Wood certification ● RSPO producer/grower certification ● Preferred by Nature Sustainability Framework ● RTRS standard for Responsible Soy Production ● RA Sustainable Agriculture standard: Farm certificate ● ProTerra certification ● ISCC CORSIA ● ISCC Japan FIT ● ISCC EU ● ISCC PLUS ● RSB Global Advanced Products ● RSB Japan FIT Biomass ● RSB Global Fuels ● RSB ICAO CORSIA ● Biosuisse organic ● Naturland ● Soil Association Organic Farming & Growing (GB and Northern Ireland) ● Europe Soja ● Donau Soja ● PEFC Sustainable Forest Management certification ● SFI Forest Management standard ● Sustainable Biomass Program ● SURE ● Other forest management/producer certification, please specify 	<p>CoC 認証</p> <ul style="list-style-type: none"> ● FSC Chain-of-Custody certification (any type) ● FSC Recycled certification ● RSPO supply chain certification – Identity Preserved ● RSPO supply chain certification – Segregated ● Preferred by Nature Sustainability Framework Chain-of-Custody – Segregated ● RTRS chain-of custody standard – Segregated ● RA Sustainable Agriculture standard: Supply chain certificate – Identity preserved ● RA Sustainable Agriculture standard: Supply chain certificate – Segregated ● ProTerra certification – Identity preserved ● ProTerra certification – Segregated ● ISCC Japan FIT – Identity preserved ● ISCC Japan FIT – Segregated ● ISCC EU – Identity preserved ● ISCC EU – Segregated ● ISCC PLUS – Identity preserved ● ISCC PLUS – Segregated ● ISCC CORSIA – Identity preserved ● ISCC CORSIA – Segregated ● RSB Japan FIT Biomass – Identity Preserved ● RSB Japan FIT Biomass – Segregated ● RSB Global Advanced Products – Identity preserved ● RSB Global Advanced Products – Segregated ● RSB Global Fuels – Identity preserved ● RSB Global Fuels – Segregated ● RSB ICAO CORSIA – Identity preserved ● RSB ICAO CORSIA – Segregated

<ul style="list-style-type: none"> • その他の森林管理／生産者認証、具体的に記入 	<ul style="list-style-type: none"> • Europe Soja – Segregated • Donau Soja – Segregated • PEFC Chain-of-Custody (any type) • PEFC Recycled certification • SFI Chain-of-Custody – Physical separation • SFI Chain-of-Custody – Percentage • Sustainable Biomass Program Chain-of-Custody – Separation method • SURE – Mass balance • RTRS chain-of custody standard – Mass balance • ProTerra certification – Mass balance • RA Sustainable Agriculture standard: Supply chain certificate – Mass balance • Preferred by Nature Sustainability Framework Chain-of-Custody – Mass Balance • RSB Global Fuels - Controlled Blending • RSB Global Fuels - Mass Balance • RSB Global Advanced Products - Controlled Blending • RSB Global Advanced Products - Mass Balance • RSPO - Mass Balance • RSB EU RED Fuel - Mass balance • RSB Global Advanced Products - Controlled Blending • RSB Global Advanced Products - Mass Balance • RSB Global Fuels - Controlled Blending • RSB Global Fuels - Mass Balance • RSB ICAO CORSIA - Mass Balance • ISCC EU - Mass Balance • ISCC CORSIA - Mass Balance • ISCC PLUS - Mass Balance • ISCC PLUS - Controlled blending • ISCC CORSIA – Mass balance • その他の CoC 認証(具体的に記入ください)
---	---

トレーサビリティ

(8.8) 貴組織が調達量の原産地を特定するためのトレーサビリティシステムを有しているかどうかを示し、使用した方法とツールの詳細を説明してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、8.2 の ”量の種類”列のいずれかの行で ”調達 ”を選択した場合にのみ表示される。
前年との比較	質問の修正(2023 F6.2, F6.2b)
説明	組織は、バリューチェーンにおける森林減少やその他の自然生態系の転換を排除するために、調達するコモディティの原産地を把握または管理すべきです。強固なトレーサビリティ・システムにより、組織は、コモディティの原産地の生産・加工単位が森林減少や転換のないものであることを確認することができます。この情報は、投資家やその他のデータ利用者が、組織が、調達量が自社の森林減少・転換防止方針、目標、目標に適合しているかどうかを判断するために必要なトレーサビリティ・システムを備えているかどうか、また、そのための方法論や手段を有しているかどうかを評価するのに役立ちます。

0	1	2	3	4	5
---	---	---	---	---	---

コモディティ	トレーサビリティ・システム	トレーサビリティ・システムで使用される方法／ツール	トレーサビリティ・システムで使用される方法／ツールの説明	貴組織にトレーサビリティ・システムがない主な理由	貴組織にトレーサビリティ・システムがない理由を説明してください。
木材製品	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • はい • いいえ、しかし今後 2 年以内に導入する予定です • いいえ、また今後 2 年以内に導入する予定はない 	該当するものをすべて選んでください: <ul style="list-style-type: none"> • CoC 認証 • バリューチェーン・マッピング • サプライヤーエンゲージメント/コミュニケーション • 内部トレーサビリティ・システム • ランドスケープ・管轄アプローチ • その他、具体的に 	文章記入欄[最大 2,500 文字]	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • 内部リソース、能力、または専門知識の欠如 (例: 組織の規模が原因) • 標準化された手順がない • 当面の戦略的優先事項ではない • 重要でないか、関連性がないと判断した • その他、具体的に お答えください 	文章記入欄[最大 2,500 文字]
パーム油					
畜牛品					
大豆					
天然ゴム					
ココア					
コーヒー					

[固定列]

(8.8.1) 貴組織がその調達量をトレースできるポイントの詳細を示してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、8.8 の「トレーサビリティ・システム」の欄で「はい」を選択した場合にのみ表示されます。
前年との比較	質問の修正(2023 F6.2a)
説明	組織は森林減少なし、転換なしの方針、目標、ゴールへの準拠を評価する能力を証明するために、調達量のトレーサビリティ・レベルを理解し、開示しなければなりません。この質問は、投資家やその他のデータ利用者が、組織がどの程度までコモディティの原産地を把握しているか、したがって、森林減少と転換を伴わない(DCF)ステータスを決定する能力、依存、影響、リスク、機会を特定する能力を理解するのに役立ちます。

0	1	2	3	4	5	6
コモディティ	生産単位まで追跡可能な調達量の割合	生産単位ではなく、調達地域まで追跡可能な調達量の割合	調達地域や生産単位ではなく、原産国/地域まで追跡可能な調達量の割合	原産国・地域以外の地点(加工施設/第一輸入業者など)まで追跡可能な調達量の割合	原産地不明の調達量の割合	報告された調達量の割合 [自動計算]
木材製品	数値記入欄[小数点以下 2 桁以内で 0~100 の数値を入力]。	数値記入欄[小数点以下 2 桁以内で 0~100 の数値を入力]。	[自動計算]			
パーム油						
畜牛品						
大豆						
天然ゴム						
ココア						
コーヒー						

森林減少なし、転換なし(DCF)の状態の指標とDCFを決定する方法

セクション概要

セクション概要	<p>このセクションでは、組織の直接操業とバリューチェーン上流において、森林減少を伴わない(DF)または森林減少と転換を伴わない(DCF)と評価・判定された量の割合に関する情報を収集します。DFまたはDCFの指定は、コモディティ量の生産と調達、指定された期限日以降、森林減少と転換を引き起こしていないか、またはそれに寄与していないことを意味します。このセクションへの回答は、8.7.1で開示した森林減少と転換の防止に関する貴組織のコミットメント/目標に沿ったものでなければなりません。</p> <p>このセクションでは、開示ボリュームのDF/DCFステータスを決定するために使用される方法について、さらなる情報を求めます。DF/DCFステータスは、これら3つの方法のいずれかを通じて評価することができます：</p> <p>完全なDF/DCF保証を提供するスキームによる認証</p> <p>生産ユニット・レベルのモニタリング</p> <p>調達エリア・レベルのモニタリング</p>
---------	---

(8.9) 貴組織が開示するコモディティの森林減少なし(DF)または森林減少なし、転換なし(DCF)のステータスに関する評価の詳細を記入してください。

質問内容	
前年との比較	質問の修正(2023 F1.5a, F1.5b)
説明	<p>組織は、直接事業およびバリューチェーン上流において、DFまたはDCFと判定された数量の割合を開示すべきです。DFの指定は、コモディティ量の生産と調達、指定された期日以降、森林減少を引き起こしていないか、または森林減少に寄与していないことを意味し、DCFの指定は、コモディティ量の生産と調達、指定された期日以降、森林減少やその他の自然生態系の転換を引き起こしていないか、または森林減少に寄与していないことを意味します。この質問は、データ利用者が、組織のパフォーマンスとDCFに向けた進捗状況、およびDF/DCFステータスを確認するために使用した方法を理解するのに役立ちます。</p>

0	1	2	3	4	5
コモディティ	このコモディティのDF/DCFステータス評価	報告年度においてDF/DCFとして決定された開示量の割合	完全なDF/DCF保証を提供する第三者認証制度を通じてDF/DCFと判定された開示量の割合	生産単位のモニタリングを通じてDF/DCFとして決定された開示量の割合	調達先のモニタリングを通じてDF/DCFと判断された開示量の割合
木材製品	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> はい、森林減少なし、転換なし(DCF)のステータスを評価しています はい、森林減少なし(DF)のステータスの評価しています いいえ、しかし今後2年以内にそうする予定です いいえ、また今後2年間はその予定はない 	数値記入欄[小数点以下2桁以内で0~100の数値を入力]。	数値記入欄[小数点以下2桁以内で0~100の数値を入力]。	数値記入欄[小数点以下2桁以内で0~100の数値を入力]。	数値記入欄[小数点以下2桁以内で0~100の数値を入力]。

パーム油					
畜牛品					
大豆					
天然ゴム					
ココア					
コーヒー					

6	7	8
貴組織の開示量のうち、完全な DF/DCF 保証を提供しないスキームによって認証された割合がありますか。	DF/DCF ステータスを評価しなかった理由	DF/DCF ステータスを評価しなかった理由を説明してください
選択肢: <ul style="list-style-type: none"> はい いいえ 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 内部リソース、能力、または専門知識の欠如 (例: 組織の規模が原因) 標準化された手順がない 当面の戦略的優先事項ではない 重要でないか、関連性がないと判断した その他、具体的にお答えください 	文章記入欄[最大 2,500 文字]

[固定列]

(8.9.1)開示量に関して、設定した期限日以降の森林減少なし(DF)または森林減少なし、転換なし(DCF)ステータスを決定するために使用された第三者認証スキームの詳細を記入してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、8.9の「完全なDF/DCF保証を提供するスキームを通じてDF/DCFとして決定された開示量の割合」の欄に「0」以外の値を報告した場合にのみ表示されます。
前年との比較	質問の修正(2023 F6.3, F6.3a)
説明	この質問は、DF/DCFの完全な保証を提供する第三者認証スキームを用いてDFまたはDCFと判定された開示量の割合に関する情報を収集するものである。信頼できる第三者認証は、組織が、指定された期日以降に森林減少や転換が起きていないことを判断し、投資家や他のデータ利用者にコモディティ量がDF/DCFであることを保証するために使用できる方法の一つです。

1	2a	2b	3	4	5
8.9の3列目に "0" 以外が開示されているコモディティに基づいて行が表示		コモディティ行に応じたドロップダウンオプションが表示			
コモディティ	第三者認証タイプ	完全な DF/DCF 保証を提供する第三者認証スキーム	完全な DF/DCF 保証を提供する認証制度を通じて DF/DCF と判定された開示量の割合	コメント	認証文書
木材製品	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 森林管理単位/生産者認証 CoC 認証 	下のドロップダウンリストから選択してください:	数値記入欄[小数点以下2桁以内で0~100の数値を入力]。	文章記入欄[最大2,500文字]	[証明書を添付すること]
パーム油					
畜牛品					
大豆					

天然ゴム					
ココア					
コーヒー					
選択肢: <ul style="list-style-type: none"> ● 木材製品 ● パーム油 ● 畜牛品 ● 大豆 ● 天然ゴム ● ココア ● コーヒー 					

[行固定、行追加]

完全な DF/DCF 保証を提供する第三者認証スキーム(2b 欄)	
森林管理単位／生産者認証 <ul style="list-style-type: none"> ● FSC Forest Management certification ● FSC Controlled Wood ● RSPO producer/grower certification ● Preferred by Nature Sustainability Framework ● RTRS standard for Responsible Soy Production ● RA Sustainable Agriculture standard: Farm certificate ● ProTerra certification ● ISCC CORSIA ● ISCC Japan FIT ● ISCC EU ● ISCC PLUS ● RSB Global Advanced Products ● RSB Japan FIT Biomass ● RSB Global Fuels ● RSB ICAO CORSIA ● Biosuisse organic ● Naturland ● Soil Association Organic Farming & Growing (GB and Northern Ireland) ● Europe Soja ● Donau Soja ● その他の森林管理／生産者認証、具体的に記入 	CoC 認証 <ul style="list-style-type: none"> ● FSC Chain-of-Custody certification (any type) ● FSC Recycled certification ● RSPO supply chain certification – Identity Preserved ● RSPO supply chain certification – Segregated ● Preferred by Nature Sustainability Framework Chain-of-Custody – Segregated ● RTRS chain-of custody standard – Segregated ● RA Sustainable Agriculture standard: Supply chain certificate – Identity preserved ● RA Sustainable Agriculture standard: Supply chain certificate – Segregated ● ProTerra certification – Identity preserved ● ProTerra certification – Segregated ● ISCC Japan FIT – Identity preserved ● ISCC Japan FIT – Segregated ● ISCC EU – Identity preserved ● ISCC EU – Segregated ● ISCC PLUS – Identity preserved ● ISCC PLUS – Segregated ● ISCC CORSIA – Identity preserved ● ISCC CORSIA – Segregated ● RSB Japan FIT Biomass – Identity Preserved ● RSB Japan FIT Biomass – Segregated ● RSB Global Advanced Products – Identity preserved ● RSB Global Advanced Products – Segregated ● RSB Global Fuels – Identity preserved ● RSB Global Fuels – Segregated ● RSB ICAO CORSIA – Identity preserved ● RSB ICAO CORSIA – Segregated ● Europe Soja – Segregated ● Donau Soja – Segregated ● その他の CoC 認証(具体的にご記入ください)

(8.9.2)完全な DF/DCF 保証を提供しない第三者認証スキームの詳細を提供してください

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、8.9の「完全な DF/DCF 保証を提供しないスキームで認証された開示量の割合はありますか」欄の回答で「はい」を選択した場合のみ表示されます。
前年との比較	質問の修正(2023 F6.3, F6.3a)
説明	この質問は、DF/DCF 状態を決定するための追加的な管理方法と組み合わせて使用される、完全な DF または DCF 保証を提供しない第三者認証制度を通じて認証された開示量の割合に関する情報を収集します。

1	2a	2b	3	4	5	6
コモディティ	第三者認証タイプ	完全な DF/DCF 保証を提供しない第三者認証スキーム	完全な DF/DCF 保証を提供しないスキームを通じて認証された開示量の割合	完全な DF/DCF 保証を提供しないスキームを通じて認証された数量の DF/DCF ステータスを判断するために、追加的な管理方法を導入する。	コメント	認証文書
木材製品	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 森林管理単位／生産者認証 CoC 認証 	下のドロップダウンリストから選択してください:	数値記入欄[小数点以下 2 桁以内で 0~100 の数値を入力]。	該当するものすべてを選んでください: <ul style="list-style-type: none"> 生産ユニットのモニタリング ソーシングエリアのモニタリング 完全な DF/DCF 保証を提供する第三者認証 いいえ 	文章記入欄[最大 2,500 文字]	[証明書を添付すること]
パーム油						
畜牛品						
大豆						
天然ゴム						
ココア						
コーヒー						
選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 木材製品 パーム油 畜牛品 大豆 天然ゴム ココア コーヒー 						

[行固定、行追加]

完全な DF/DCF 保証を提供しない第三者認証スキーム(2b 欄)	
森林管理単位／生産者認証 <ul style="list-style-type: none"> PEFC Sustainable Forest Management certification SFI Forest Management standard Sustainable Biomass Program 	CoC 認証 <ul style="list-style-type: none"> PEFC Chain-of-Custody (any type) PEFC Recycled certification SFI Chain-of-Custody - Physical separation SFI Chain-of-Custody - Percentage

<ul style="list-style-type: none"> SURE その他の森林管理／生産者認証、具体的に記入 	<ul style="list-style-type: none"> Sustainable Biomass Program Chain-of-Custody – Separation method SURE – Mass balance RSB Global Fuels - Controlled Blending RSB Global Fuels - Mass Balance RSB Global Advanced Products - Controlled Blending RSB Global Advanced Products - Mass Balance RSPO - Mass Balance RSB EU RED Fuel - Mass balance RSB Global Advanced Products - Controlled Blending RSB Global Advanced Products - Mass Balance RSB Global Fuels - Controlled Blending RSB Global Fuels - Mass Balance RSB ICAO CORSIA - Mass Balance ISCC EU - Mass Balance ISCC CORSIA - Mass Balance ISCC PLUS - Mass Balance ISCC PLUS - Controlled blending ISCC CORSIA – Mass balance その他の CoC 認証(具体的にご記入ください)
---	---

(8.9.3)指定された期限日以降の数量について、森林減少なし(DF)または森林減少なし、転換なし(DCF)のステータスを決定するために使用した生産単位のモニタリングの詳細を提供してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、8.9の「生産単位のモニタリングによりDF/DCFとして決定された開示量の割合」欄に「0」以外の値を報告した場合にのみ表示されます。
前年との比較	質問の修正(2023 F6.4a)
説明	この質問では、森林減少や転換に関する生産単位のモニタリングを通じて、DFまたはDCFであると判断された開示量の割合に関する情報を収集します。生産単位の定期的なモニタリングは、組織が指定した期限日以降に森林減少や転換が起こっていないことを判断し、投資家や他のデータ利用者にコモディティ量がDF/DCFであることを保証するために使用できる方法の一つの方法です。

0	1	2	3	4	5	6	7	8
コモディティ	生産単位のモニタリングを通じてDF/DCFとして決定された開示量の割合	生産ユニット・モニタリング・アプローチ	生産単位モニタリング手法の説明	DF/DCFの状態を確認	検証の種類	生産単位のモニタリングを通じてDF/DCFと判定され、かつDF/DCFと検証された開示量の割合	DF/DCFステータスの確認プロセスについて説明してください	証明書の添付(オプション)
木材製品	[8.9の4欄で報告された%で自動計算 - 0]。	該当するものをすべて選んでください: ● 地理空間モニタリングまたはリモートセンシングツール	文章記入欄 [最大 2,500 文字]	選択肢: ● はい ● いいえ	該当するものをすべて選んでください: ● 第一者 ● 第二者 ● 第三者	数値記入欄 [小数点以下2桁以内で0~100の数値を入力]。	文章記入欄 [最大 2,500 文字]	[添付ファイル型カラム]

		<ul style="list-style-type: none"> • 地上監視システム • コミュニティ・ベースのモニタリング • その他、具体的に 						
パーム油								
畜牛品								
大豆								
天然ゴム								
ココア								
コーヒー								

[固定列]

(8.9.4)指定された期限日以降の数量について、森林減少なし(DF)または森林減少なし、転換なし(DCF)のステータスを決定するために使用された調達エリアのモニタリングの詳細を提供してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、8.9の「調達先のモニタリングによりDF/DCFと判断された開示量の割合」欄で「0」以外の値を報告した場合のみ表示されます
前年との比較	質問の修正(2023 F2.3)
説明	コモディティ量がDFまたはDCFであると主張できるのは、適切な期限日以降に、そのコモディティに関連する森林減少および/または転換が発生したリスクがないか、または無視できる調達地域に由来する場合です。このリスクを判断するためには、調達地域の継続的なモニタリングが必要である。この質問は、データ利用者が、貴組織が調達地域レベルのリスクアセスメントに基づいてDF/DCFの主張を行っているかどうか、また、貴組織が森林減少や転換のリスクがないことを確実にするために、それらの調達地域をどのように監視しているかを理解するのに役立ちます。

0	1	2	3	4	5	6
コモディティ	調達地域内の森林減少と転換のモニタリングを通じてDF/DCFとして決定された開示量の割合	調達地域が森林減少や転換のリスクがない、あるいは無視できると判断するためのモニタリング手法	評価頻度を含むアプローチの説明	原産国・地域	調達地域	DF/DCFの状態を確認
木材製品	[8.9-0]の5列目で報告された数量で自動計算される。	該当するものをすべて選んでください: <ul style="list-style-type: none"> • 他組織と協力してリスクプロファイルを作成・共有する • 権利者およびその他のステークホルダーとの協議 • 地上モニタリング • 自主研究 • 苦情処理メカニズムを通じて収集された情報 • ランドスケープ・管轄区域のアプローチ 	文章記入欄[最大4,000文字]	該当するものをすべて選んでください: [国・地域一覧]	文章記入欄[最大2,500文字]	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • はい • いいえ

		<ul style="list-style-type: none"> ● 既存の現在および信頼できるリスク・プロフィール/指標 ● リモートセンシングやその他の地理空間データ ● 第三者評価ツール ● その他、具体的に 				
パーム油						
畜牛品						
大豆						
天然ゴム						
ココア						
コーヒー						

[固定列]

7	8	9	10	11	12
検証の種類	調達先のモニタリングを通じて DF/DCF と判断され、かつ DF/DCF であると検証された開示量の割合	DF/DCF ステータスの検証プロセスについて説明してください	証明書の添付 (オプション)	リスク分類の利用	各調達区域のリスク分類を示す添付書類 (任意)
該当するものをすべて選んでください: ● 第一者 ● 第二者 ● 第三者	数値記入欄 [小数点以下 2 桁以内で 0~100 の数値を入力]。	文章記入欄 [最大 2,500 文字]	[ファイル添付]	文章記入欄 [最大 4,000 文字]	[ファイル添付]

森林減少なし、転換なし(DCF)に向けた現状と進捗状況

(8.10) 開示するコモディティについて、森林減少やその他の自然生態系の転換のフットプリントをモニタリングまたは推定しているかどうかを記載してください。

質問内容	
前年との比較	質問の修正(2023 F1.3、F1.7)
説明	コモディティの生産または調達に関連する森林減少と転換のフットプリントをモニタリングし、推定することは、影響の規模を理解する上で重要です。

0	1	2	3
コモディティ	森林減少と転換のフットプリントのモニタリングまたは推定	森林減少と転換のフットプリントをモニタリングまたは推定していない主な理由	森林減少および転換のフットプリントをモニタリングまたは推定しない理由を説明してください。
木材製品	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> ● はい ● いいえ。しかし、今後 2 年間で、森林減少と転換のフットプリントをモニタリングまたは推定する予定です。 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> ● 内部リソース、能力、または専門知識の欠如 (例: 組織の規模が原因) ● 標準化された手順がない 	文章記入欄 [最大 2,500 文字]

	<ul style="list-style-type: none"> 今後2年間は、森林減少と転換のフットプリントをモニタリングまたは推定する予定はない。 	<ul style="list-style-type: none"> 当面の戦略的優先事項ではない 重要でないか、関連性がないと判断した その他、具体的にお答えください 	
パーム油			
畜牛品			
大豆			
天然ゴム			
ココア			
コーヒー			

[固定列]

(8.10.1) 森林減少と転換のフットプリントのモニタリングまたは推定に関する詳細を記入してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、8.10の回答で「はい」を選択した場合のみ表示されます。
前年との比較	質問の修正(2023 F1.3、F1.7)
説明	貴組織が所有・管理・支配する土地、および／またはバリューチェーン上流において、森林減少と転換のフットプリントをどの程度モニタリングまたは推定しているかを開示することは、投資家や他のデータ利用者に、他の自然生態系の森林減少と転換に関連する貴組織の影響の規模についての理解を提供します。この質問により、組織は、自然生態系と事業活動との関係の透明性と認識を示すことができます。

1	2	3	4	5
コモディティ	森林減少と転換のフットプリントのモニタリングと推定	モニタリングまたは推定される開示量の割合	森林減少と転換のフットプリントの報告	期限年
木材製品	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 私たちは、私たちが所有、管理、または支配する土地の森林減少と転換のフットプリントをモニタリングします。 私たちは、バリューチェーンにおける森林減少と転換のフットプリントをモニタリングします。 森林減少と転換のフットプリントは、調達地域に基づいて推定される。 	数値記入欄[小数点以下2桁以内で0~100の数値を入力]。	該当するものをすべて選んでください: <ul style="list-style-type: none"> 報告期間中 指定された期限日以降 過去5年間 その他、具体的に 	数値記入欄[1900~2024の数値を小数点以下0桁で入力]。
パーム油				
畜牛品				
大豆				
天然ゴム				
ココア				
コーヒー				
選択肢:				
<ul style="list-style-type: none"> 木材製品 パーム油 畜牛品 大豆 天然ゴム ココア コーヒー 				

--	--	--	--	--

6	7	8	9	10
報告期間中の森林減少および転換の既知または推定フットプリント(ヘクタール)	指定された期限日以降の既知または推定森林減少・転換フットプリント(ヘクタール)	過去 5 年間の森林減少および転換の既知または推定フットプリント(ヘクタール)	その他の特定時点からの森林減少・転換の既知または推定フットプリント(ヘクタール)	森林減少および転換のフットプリントをモニタリングまたは推定するために使用した方法とデータソースを説明してください。
数値記入欄[0~999,999,999,999 の数値を小数点以下 2 桁以内で入力]。	文章記入欄 [最大 1,500 文字]			

[行固定、行追加]

(8.11) 森林減少と転換を伴わない(DCF)と評価、決定されなかった数量について、報告年に DCF の数量の生産または調達を増やすための行動をとったかどうかを回答してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、「このコモディティについて評価されたDF/DCFの状況」欄で「はい、評価された森林減少と転換のない(DCF)状況」以外の選択肢を選択した場合、または8.9の「報告年にDF/DCFと判定された開示量の割合」欄で「100」以外の値を開示した場合にのみ表示されます。
前年との比較	新規質問
説明	この質問により、組織は、まだ評価されておらず、DCF として決定されていない量に関連する報告年に実施した行動を開示することができます。森林減少と転換のないバリューチェーンを達成するためには、調達ランドスケープ全体にわたって変革的な行動に取り組む組織にとっては、より長い時間がかかる可能性があります。この質問により、データ利用者は、貴組織がコモディティ生産/調達に関連する環境的または社会的問題に対処するために行っている行動を理解することができ、また、これらの行動がコモディティ量の DCF ステータスの決定や過去の転換の是正に寄与しているかどうか、またどのように寄与しているかを理解することができます。

0	1
コモディティ	DCF の生産量または調達量を増やすために取られた措置
木材製品	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> ● はい ● いいえ、しかし今後 2 年以内に計画しています ● 今後 2 年間は予定していない
パーム油	
畜牛品	
大豆	
天然ゴム	
ココア	
コーヒー	

[固定列]

(8.11.1) 森林減少や転換を伴わない(DCF)量の生産/調達を評価し、増加させるために報告年にとった措置の詳細を説明してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、8.11 の「DCF 数量の生産または調達を増加させるためにとった措置」の欄で「はい」を選択した場合にのみ表示される。

前年との比較	新規質問
説明	DCFステータスを達成するための組織のアプローチは、非適合サプライヤーとの協働、小規模農家の取り込みの確保、生産ランドスケープにおける協働作業によって、現場での森林減少と転換を食い止める努力を支援すべきです。森林減少・転換のないバリューチェーンを達成するためには、調達ランドスケープの変革に取り組む組織ほど時間がかかるかもしれません。この質問により、データ利用者は、貴組織がコモディティ生産／調達に関連する環境問題や社会問題に対処するための行動をとっているかどうか、また、それらの行動がコモディティ量のDCFステータスの決定に寄与しているかどうか、また、どのように寄与しているかを理解することができます。

1	2	3	4	5	6
コモディティ	アクションの種類	本措置の対象となる開示量の割合	報告年において、このアクションに関する主な障壁や課題がありましたか	課題を管理または解決するために特定された主な対策	実施した措置の詳細、DCFステータス達成への貢献、関連する障壁や課題について説明してください
木材製品	選択肢： <ul style="list-style-type: none"> • トレーサビリティの向上 • 物理的な認定を増やす • 生産ユニットのモニタリング強化 • 調達エリア・レベルのモニタリングを強化 • サプライヤー管理体制の強化 • コンプライアンスを遵守しないサプライヤーとのエンゲージメント • 小規模農家とのエンゲージメント • ランドスケープ／管轄地域の取り組みに参加し、協力する • セクター・イニシアチブにおける協働 • 過去の転換の是正に取り組む • その他、具体的に 	数値記入欄[小数点以下3桁以内で0~100の数値を入力]。	選択肢： <ul style="list-style-type: none"> • はい • いいえ 	以下の回答ドロップダウンリストより選択	文章記入欄[最大2,500文字]
パーム油					
畜牛品					
大豆					
天然ゴム					
ココア					
コーヒー					
選択肢： <ul style="list-style-type: none"> • 木材製品 • パーム油 • 畜牛品 • 大豆 • 天然ゴム • ココア • コーヒー 					

[行固定、行追加]

課題を管理または解決するために特定された主な対策(コラム 5)	
<ul style="list-style-type: none"> • 認証および持続可能性基準の開発 	<ul style="list-style-type: none"> • 認証製品に対する需要の高まり

<ul style="list-style-type: none"> • ランドスケープ／管轄区域全体にわたる認証および持続可能性基準の開発 • 会社の目標と、ランドスケープ・管轄レベルの目標との整合性の向上 • 持続可能な農業を促進するための地域社会の支援拡大 • 顧客意識の向上 • 規制の強化 • ステークホルダーのエンゲージメントの拡大 • サプライヤーの意識／エンゲージメントの向上 • 透明性の向上 	<ul style="list-style-type: none"> • コモディティによる森林減少、森林劣化、転換に関する知識の向上 • モニタリング・ツールとトレーサビリティ・システムへの投資 • データ収集と質の向上 • ランドスケープおよび／または管轄地域のイニシアティブへの関与 • マルチステークホルダー・イニシアティブへの関与 • 食品ロスと廃棄の最小化 • 認証素材の価格プレミアム • 認証／認証製品のコスト削減 • その他、具体的に
---	---

認証コモディティの販売量

(8.12)回答要請をしている CDP サプライチェーンメンバーに販売されたコモディティ量について、認証の詳細が入手可能かどうかを回答してください。

質問内容	
前年との比較	質問の修正(2023 F6.3、SF1.1、SF1.1b)
説明	この情報は、CDP サプライチェーンメンバーに、貴組織から購入するコモディティ総量のうち、第三者によって認証されたものの割合に関するデータが入手可能かどうかを明確にするものです。これは、要求しているメンバーからの透明性への期待に応えるものであり、組織は持続可能な原材料や製品の供給確保に向けた進捗状況を開示することができます。さらに、この質問により、CDP サプライチェーンメンバーは、貴組織が販売した数量について、認証の詳細を開示していない主な理由を理解することができます。これにより、この分野における主な課題についての洞察が得られ、これらの課題に取り組む計画についてメンバーに情報を提供することができます。

0	1	2	3	4	5	6
コモディティ	第三者認証スキームの採用	認証の詳細は、CDP サプライチェーンメンバーに要請があれば、販売数量に応じて入手可能ですか	CDP サプライチェーンメンバーへの販売数量について、認証の詳細が入手できない主な理由	要求している CDP サプライチェーンメンバーへの販売数量について、認証の詳細が入手できない理由を説明してください	第三者認証が採用されない主な理由	第三者認証が採用されていない理由を説明してください
木材製品	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • はい • いいえ。しかし、今後 2 年以内に第三者認証を導入する予定です。 • 今後 2 年以内に第三者認証を導入する予定はない。 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • はい • いいえ • 不明 • 回答要請メンバーに対し、本コモディティおよびサービスを提供しません。 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • このコモディティを認証を取得中 • データの機密性 • データ収集を完了するためのリソース不足 • 過去に顧客から認証レベルのトラッキングを要求されたことはない • 認証レベルは企業レベルでは記録されない • 回答要請メンバーへの販売内容に関するデータが不十分 • 重要でない、関係ないと判断された 	文章記入欄[最大 2,400 文字]	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • 内部のリソース、能力、専門知識の不足(組織の規模によるものなど) • 標準化された手順なし • 当面の戦略的優先事項ではない • 重要でない、関係ないと判断された • その他、具体的に 	文章記入欄[最大 2,400 文字]

			•その他、具体的に			
パーム油						
畜牛品						
大豆						
天然ゴム						
ココア						
コーヒー						

[固定列]

(8.12.1)回答要請している CDP サプライチェーンメンバーに販売した認証数量の詳細を提供してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、8.12の2列目「回答要請 CDP サプライチェーンメンバーに販売された数量について、認証の詳細が入手可能ですか」の回答で「はい」を選択した場合のみ表示されます。
前年との比較	質問の修正(2023 SF1.1a)
説明	この質問では、貴組織から購入するコモディティ総量のうち、第三者認証を受けている割合、使用されている認証スキーム、および認証を受けているコモディティの形態に関する詳細を収集します

1	2	3	4	5	6	7	8
回答要請メンバー	コモディティ	コモディティ形態	メンバーに販売されたコモディティ	単位	第三者認証スキーム	メンバーに販売され、認証されたコモディティ	コメント(任意)
選択肢: •メンバードロップダウンリスト	ドロップダウンは、8.12の2列目で「はい」が選択されているコモディティに基づいて表示される。 2列目で選択したコモディティに応じてオプションが表示される	以下のドロップダウンメニューから該当するものをすべて選択してください。	数値記入欄[0~999,999,999,999の数値を小数点以下2桁以内で入力]。	2列目で選択したコモディティに応じてオプションが表示される 2列目で選択したコモディティに応じてオプションが表示される 4列目に「0」が報告されている場合は表示されない	以下のドロップダウンメニューから選択してください。	数値記入欄[小数点以下2桁以内で0~100の数値を入力]。	文章記入欄[最大1,000文字]
•木材製品 •パーム油 •畜牛品 •大豆 •天然ゴム •ココア •コーヒー				•トン •使う •リットル •ガロン •丸材換算(RWE) •木材原料換算(WRME) •立方メートル •平方メートル •その他、具体的に			

[行を追加]

コモディティの形態(第3欄)	
木材製品:	牛肉製品:

<ul style="list-style-type: none"> ● ボード、合板、人工木材 ● セルロース系繊維 ● 再販目的でないコモディティ(GNFR) ● 広葉樹の丸太 ● 紙 ● 一次梱包 ● パルプ ● 製材、単板、チップ ● 二次梱包 ● 針葉樹丸太 ● 三次梱包 ● 未加工木材繊維 ● 木質バイオエネルギー ● その他の木材製品 <p>パーム油:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 粗パーム核油(CPKO) ● 粗パーム油(CPO) ● 生鮮果房(FFB) ● パームバイオディーゼル ● パーム核ミール (PKM) ● パーム核油誘導体 ● パーム油誘導体 ● 精製パーム油 ● その他のパーム油、具体的に 	<ul style="list-style-type: none"> ● 牛肉 ● 副産物(グリセリン、ゼラチンなど) ● 牛 ● 皮革 ● タロー ● タローバイオディーゼル ● その他の牛肉製品 <p>大豆:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 組み込み大豆 ● 大豆粕 ● 大豆油 ● 大豆バイオディーゼル ● 大豆誘導体 ● 丸大豆 ● その他の大豆の形態、具体的に <p>その他、具体的に</p>
---	--

第三者認証スキーム(6 列目)	
<p>森林管理単位/生産者認証</p> <ul style="list-style-type: none"> ● FSC Forest Management certification ● FSC Controlled Wood certification ● RSPO producer/grower certification ● Preferred by Nature Sustainability Framework ● RTRS standard for Responsible Soy Production ● RA Sustainable Agriculture standard: Farm certificate ● ProTerra certification ● ISCC CORSIA ● ISCC Japan FIT ● ISCC EU ● ISCC PLUS ● RSB Global Advanced Products ● RSB Japan FIT Biomass ● RSB Global Fuels ● RSB ICAO CORSIA ● Biosuisse organic ● Naturland ● Soil Association Organic Farming & Growing (GB and Northern Ireland) ● Europe Soja ● Donau Soja ● PEFC Sustainable Forest Management certification ● SFI Forest Management standard ● Sustainable Biomass Program ● SURE 	<p>CoC 認証</p> <ul style="list-style-type: none"> ● FSC Chain-of-Custody certification (any type) ● FSC Recycled certification ● RSPO supply chain certification – Identity Preserved ● RSPO supply chain certification – Segregated ● Preferred by Nature Sustainability Framework Chain-of-Custody – Segregated ● RTRS chain-of custody standard – Segregated ● RA Sustainable Agriculture standard: Supply chain certificate – Identity preserved ● RA Sustainable Agriculture standard: Supply chain certificate – Segregated ● ProTerra certification – Identity preserved ● ProTerra certification – Segregated ● ISCC Japan FIT – Identity preserved ● ISCC Japan FIT – Segregated ● ISCC EU – Identity preserved ● ISCC EU – Segregated ● ISCC PLUS – Identity preserved ● ISCC PLUS – Segregated ● ISCC CORSIA – Identity preserved ● ISCC CORSIA – Segregated ● RSB Japan FIT Biomass – Identity Preserved ● RSB Japan FIT Biomass – Segregated ● RSB Global Advanced Products – Identity preserved ● RSB Global Advanced Products – Segregated ● RSB Global Fuels – Identity preserved ● RSB Global Fuels – Segregated ● RSB ICAO CORSIA – Identity preserved

<ul style="list-style-type: none"> • Other forest management/producer certification, please specify • その他の森林管理／生産者認証、具体的に記入 	<ul style="list-style-type: none"> • RSB ICAO CORSIA – Segregated • Europe Soja – Segregated • Donau Soja – Segregated • PEFC Chain-of-Custody (any type) • PEFC Recycled certification • SFI Chain-of-Custody – Physical separation • SFI Chain-of-Custody – Percentage • Sustainable Biomass Program Chain-of-Custody – Separation method • SURE – Mass balance • RTRS chain-of custody standard – Mass balance • ProTerra certification – Mass balance • RA Sustainable Agriculture standard: Supply chain certificate – Mass balance • Preferred by Nature Sustainability Framework Chain-of-Custody – Mass Balance • RSB Global Fuels - Controlled Blending • RSB Global Fuels - Mass Balance • RSB Global Advanced Products - Controlled Blending • RSB Global Advanced Products - Mass Balance • RSPO - Mass Balance • RSB EU RED Fuel - Mass balance • RSB Global Advanced Products - Controlled Blending • RSB Global Advanced Products - Mass Balance • RSB Global Fuels - Controlled Blending • RSB Global Fuels - Mass Balance • RSB ICAO CORSIA - Mass Balance • ISCC EU - Mass Balance • ISCC CORSIA - Mass Balance • ISCC PLUS - Mass Balance • ISCC PLUS - Controlled blending • ISCC CORSIA – Mass balance • その他の CoC 認証(具体的に記入ください)
---	---

排出量

(8.13) 貴組織は、直接操業及び/又はバリューチェーン上流で発生した土地利用管理と土地利用変化による GHG 排出削減及び/又は除去を計算していますか？

質問内容	
前年との比較	質問の修正(2023 SF3.1)
説明	土地利用管理及び土地利用変化による GHG 排出削減/除去を理解することで、緩和戦略に役立てることができます。この質問により、CDP サプライチェーンで回答要請しているメンバーは、排出削減目標に向けた進捗状況を把握することができ、また、組織は、BAU シナリオを超える排出削減(標準的なメンテナンス/交換活動を超えるもの)に関して、進捗状況を評価することができます。

対応する開示タグがある場合、行が表示される		1 列目で「いいえ」を選択した場合のみ表示される。	
0	1	2	3

コモディティ	土地利用管理と土地利用変化による GHG 排出削減量と除去量の計算	貴団体が土地利用管理および土地利用変化による温室効果ガスの排出削減量および除去量を計算していない主な理由	貴組織が、土地利用管理および土地利用変化による GHG 排出削減・除去量を算定しない理由を説明してください。
木材製品	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • はい。また、CDP サプライチェーンの回答要請しているメンバーと詳細を共有する意思がある。 • はい、しかし CDP サプライチェーンの回答要請しているメンバーとは詳細を共有したくない。 • ないが、今後 2 年以内に予定 • 今後 2 年間はその予定はない 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • 内部のリソース、能力、専門知識の不足(組織の規模によるものなど) • 標準化された手順なし • 当面の戦略的優先事項ではない • 重要でない、関係ないと判断された • その他、具体的に 	文章記入欄[最大 2,400 文字]
パーム油			
畜牛品			
大豆			
天然ゴム			
ココア			
コーヒー			

[固定列]

(8.13.1)温室効果ガスの排出削減及び／又は除去強化につながった、直接的な事業活動及び／又はバリューチェーン上流において、貴組織が実施した活動の詳細を記述してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、8.13 の 1 列目「土地利用管理及び土地利用変更による温室効果ガス排出削減量及び除去量の算定」に対して、「はい、かつ CDP サプライチェーン・メンバーに詳細を共有する意思がある」を選択した場合にのみ表示されます。
前年との比較	軽微な変更(2023 SF3.1a)
説明	土地利用管理及び土地利用変化による温室効果ガス排出量／排出削減量を把握することは、緩和戦略に反映させることができます。この質問により、CDPのサプライチェーン要請メンバーは、排出量目標に向けた進捗状況を把握することができ、また、組織は、(標準的な維持・交換活動以上の)BAUシナリオを超える排出量削減に関する進捗状況を評価することができます。

1	2	3	4	5	6	7	8
コモディティ	活動内容	基準年からの CO2 排出量削減・除去量(トン CO2e)	基準年	排出量算定バウンダリ	スコープ	排出量計算の方法論と基準	計算の説明
選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • 木材製品 • パーム油 • 畜牛品 • 大豆 • 天然ゴム • ココア • コーヒー 	文章記入欄 [最大 2,400 文字]	数値記入欄[0~999,999,999,999 の数値を小数点以下 2 桁以内で入力]。	数値記入欄[1900~2024 の数字を入力してください]	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • 企業 GHG インベントリーのバウンダリに含まれる • 企業 GHG インベントリー 	下のドロップダウンリストより選択	該当するものすべてを選んでください: <ul style="list-style-type: none"> • GHG プロトコル コーポレート基準 • 企業バリューチェーン(スコープ 3) 基準 	文章記入欄 [最大 1,000 文字]

				のバウンダリーに一部含まれる ●企業のGHGインベントリには含まれない ●不明		●プロジェクト会計のためのGHGプロトコル ●GHGプロジェクト会計のためのLULUCFガイダンス ●バリューチェーン(スコープ3)介入ガイダンス ●GHGプロトコル農業ガイダンス ●自然気候解決ガイダンス ●ISO 14064-1:2018 ●確立されたプロジェクトレベルの方法論。	
--	--	--	--	---	--	--	--

[行を追加]

スコープ(6列目)
●スコープ1
●スコープ2(ロケーションベース)
●スコープ2(マーケットベース)
●スコープ1+2(ロケーションベース)
●スコープ1+2(マーケットベース)
●スコープ1+2(ロケーションベース)+3(上流)
●スコープ1+2(ロケーションベース)+3(下流)
●スコープ1+2(ロケーションベース)+3(上流・下流)
●スコープ1+2(マーケットベース)+3(川上)
●スコープ1+2(マーケットベース)+3(川下)
●スコープ1+2(マーケットベース)+3(上流・下流)
●スコープ3(上流)
●スコープ3(下流)
●スコープ3(上流・下流)
●スコープ3:購入商品とサービス
●スコープ3:資本財
●スコープ3:燃料およびエネルギー関連活動(スコープ1または2に含まれない)
●スコープ3:上流の輸送と流通
●スコープ3:事業活動で発生する廃棄物
●スコープ3:出張
●スコープ3:従業員の通勤
●スコープ3:上流のリース資産
●スコープ3:投資
●スコープ3:下流の輸送と流通
●スコープ3:販売製品の加工
●スコープ3:販売製品の使用
●スコープ3:販売した製品の使用済み処理
●スコープ3:川下のリース資産
●スコープ3:フランチャイズ

●その他、具体的に

法令遵守

(8.14) 森林規制および/または必須基準への自社および/またはサプライヤーの遵守を評価する場合、その詳細を示してください

質問内容	
前年との比較	質問の修正(2023 F6.5、F6.6、F6.6a)
説明	この設問は、報告年度内に貴組織が直接操業とその他のバリューチェーンにおいて、森林法規制の遵守をどのように評価したかについてのデータを収集するものです。適用される法律の評価は、社会的・環境的デューデリジエンスの重要な側面であり、土地や資源の取得時を含め、コモディティの原産国・地域での法令遵守を促進するグッドプラクティスです。ブラジルで事業を展開する組織の場合、ブラジル森林法の遵守は、組織がブラジルでの生産が国内法を遵守していることを確実にするために取り組んでいることを示します。

1	2	3	4	5
森林規制の法令順守を評価する	検討された法律の側面	法令遵守を確保するための手続き	ブラジル森林法の遵守に関するデータを収集していますか	説明してください
選択肢: <ul style="list-style-type: none"> はい、サプライヤーから はい、所有および/または管理した土地から はい、サプライヤーと、所有および/または管理した土地の両方から いいえ、しかし今後2年以内に計画しています いいえ、また2年間はその予定はない 	該当するものをすべて選んでください: <ul style="list-style-type: none"> 土地使用权 環境保護 木材伐採に直接関係する場合、森林管理および生物多様性保全を含む森林関連規則 第三者の権利 労働者の権利 国際法で保護される人権 先住民族の権利に関する国連宣言に規定されているものを含む、自由で事前の十分な情報に基づく同意(FPIC)の原則。 税、腐敗防止、貿易、関税に関する規制 	該当するものをすべて選んでください: <ul style="list-style-type: none"> 認証 第三者監査 地上モニタリング リモートセンシングやその他の地理空間モニタリング 第三者監査 サプライヤーの自己宣言 第三者製ツール 第三者のデータベース 第三者監査 その他、具体的に 	選択肢 <ul style="list-style-type: none"> はい いいえ、しかし今後2年以内にこの指標に関するデータを収集する予定です。 今後2年間はこの指標に関するデータを収集する予定はない。 	文章記入欄[最大5,000文字]

[固定列]

ランドスケープ・管轄アプローチとイニシアチブ

(8.15) 持続可能な土地利用の目標を共有するために、ランドスケープ(管轄区域を含む)の取り組みを行っていますか。

質問内容	
前年との比較	軽微な変更(2023 F6.10)

説明	<p>コンシューマー・グッズ・フォーラムやソフト・コモディティーズ・フォーラムのようなプラットフォームだけでなく、企業の持続可能性戦略の一環として、ランドスケープ/管轄アプローチのイニシアティブを取り入れる組織も増えてきています。ランドスケープ/管轄アプローチのスケールで複数のアクターと協働することは、特に生産ランドスケープに体系的な課題がある場合、保全と回復のインパクトをスケールで推進し、バリューチェーンを通じて森林減少と転換に取り組み、持続可能性目標を達成するためのベストプラクティスアプローチとして、ますます受け入れられています。この質問は、データ利用者が、どの組織がこのようなアプローチをとり、ランドスケープ/管轄アプローチでの取り組みを行っているかを理解するのに役立ちます。</p>
----	--

1	2	3
ランドスケープ/管轄アプローチでエンゲージメントを行っていますか	ランドスケープ/管轄アプローチでエンゲージメントしない主な理由は何ですか	ランドスケープ/管轄アプローチでエンゲージメントしない主な理由を説明してください
<p>選択肢:</p> <ul style="list-style-type: none"> はい、ランドスケープ/管轄アプローチでエンゲージメントを行っています いいえ、しかし今後2年以内にランドスケープ/管轄アプローチでエンゲージメントを行う予定です いいえ、ランドスケープ/管轄アプローチでエンゲージメントを行っておらず、今後2年以内に行う予定もありません 	<p>選択肢:</p> <ul style="list-style-type: none"> ランドスケープ/管轄アプローチでエンゲージメントするメリットが不明確 事業活動に関するデータ不足 社内のリソース、能力、専門知識の不足(組織の規模によるものなど) ランドスケープ/管轄アプローチでエンゲージメントを行う方法に関する知識または情報の不足 標準化された手順なし 適切な取り組みがない 当面の戦略的優先事項ではない 重要でない、関係ないと判断された その他、具体的に 	<p>文章記入欄[最大 1,500 文字]</p>

[固定列]

(8.15.1)持続可能な土地利用のための協働アプローチのエンゲージメントに関して、ランドスケープ・管轄地域の優先順位を決める際に考慮する基準を示し、それについて説明してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、8.15の「ランドスケープ/管轄アプローチでエンゲージメントを行っていますか」欄で「はい...」を選択した場合にのみ表示されます。
前年との比較	軽微なチェンジ(2023 F6.10a)
説明	<p>森林減少に効果的に対処し、持続可能性目標を達成し、サプライチェーンのオペレーションを確保するためには、組織は、自分たちが依存しているランドスケープ/管轄地域に積極的にエンゲージメントする必要があります。これらの組織は、既存のイニシアティブと共有すべき重要な知識や専門性を持っている可能性が高く、共有する目標を効果的に推進することができます。投資家やその他のデータ利用者は、組織がどのようにして価値とプラスの影響を最大化するような協力関係を特定するのかを知りたがっています。</p> <p>ランドスケープの優先順位付けは、国や地域レベルの分析にとどまらず、バリューチェーン内で森林減少や転換によるリスクが最も高い地域を特定する必要があります。また、政府のコミットメントや、生産、保全、回復活動を含む既存のイニシアティブの存在など、協力の機会をもたらすランドスケープを特定する。そのためには、これらの生産ランドスケープにおけるフットプリントとリスク/機会の重なりを理解する必要があります。</p> <p>組織は、調達フットプリント内の優先ランドスケープの定義と、どのランドスケープに関与するかを選択するための一連の基準(例えば、調達方針の不遵守のリスクや、有意義な関与を促進する条件の存在など)を確立することが極めて重要です。これにより、エンゲージメントの種類が、組織の持</p>

	<p>持続可能性戦略やリスク評価アプローチと統合されることが保証されます。行動の優先順位付けは、エンゲージメントの潜在的影響を最大化するために重要です。ランドスケープ/管轄区域と組織の両方において、それを可能にする条件を検討することが重要です。</p>
--	--

1	2
優先順位を決定するための基準	優先順位を決定するためのプロセスについて説明してください。
<p>該当するものをすべて選んでください:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 既存のランドスケープ/管轄アプローチに貢献またはそれをもとに構築していく能力 • 新市場への参入 • コモディティ調達フットプリント • 企業は地域で事業を展開している • 現在および未来の調達リスク • 持続可能な土地利用に対する地方自治体の取り組み • 大規模なレジリエンスを構築する機会 • 地域での人々の幸福増大の機会 • 小規模農家と地域コミュニティが市場へのアクセスを拡大する機会 • 農業セクターの新規市場や融資メカニズムに参加する機会 • 自然生態系を保護・復元する機会 • 中立的な招集者または実施者の存在 • 信頼できる複数のステークホルダーグループにより優先度の高いランドスケープと認識している • 規制への対応 • 自発的なセクター別の合意に対する対応 • 生物多様性の喪失リスク • その他の自然生態系での森林減少、森林/土地劣化、転換のリスク • 火災のリスク • 人権問題のリスク • 土地所有権と関連する問題のリスク • 地域でのサプライヤー不順守のリスク • 水ストレス/水不足のリスク • ステークホルダー/投資家の要請 • 戦略的に重要なコモディティの供給 • 基準を検討していません • その他、具体的にお答えください 	<p>文章記入欄[最大 2,500 文字]</p>

(8.15.2) 報告年中の、持続可能な土地利用に対するランドスケープ/管轄アプローチによる貴社のエンゲージメントについて説明してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、8.15の「ランドスケープ/管轄アプローチでエンゲージメントを行っていますか」欄で「はい...」を選択した場合にのみ表示されます。
前年との比較	質問の修正(2023 F6.10b)
説明	<p>この質問により、データ利用者は、エンゲージメントしているランドスケープ/管轄地域のイニシアティブ、エンゲージメントの性質、組織の活動によって支援される持続可能性の目標、投資、および進捗のモニタリング方法を理解することができます。</p> <p>ランドスケープや管轄区域のスケールで複数のアクターと協働することは、特に生産ランドスケープに体系的な課題がある場合、保全と回復の成果をスケールで推進し、森林減少や転換のない生産へと移行し、持続可能な目標を達成するためのベストプラクティスのアプローチとして受け入れられつつあります。本質問では、企業がランドスケープや管轄区域のイニシアティブに参加する際のグッドプラクティスについて、貴重な洞察を提供します。</p>

1	2	3	4	5	6	7	8
---	---	---	---	---	---	---	---

ランドスケープ/管轄 ID	イニシアチブの名称	国・地域	ランドスケープまたは管轄区域の名称	イニシアチブに関する公開情報を添付する(任意)	イニシアチブの対象となる地域の面積を提供できますか	イニシアチブの対象面積(ヘクタール)	エンゲージメントの種類
LJ1~LJ25から選択	文章記入欄[最大500文字]	選択肢: • 森林-国・地域一覧 • その他、具体的に	文章記入欄[最大500文字]	[ファイル添付]	選択肢: • はい • 地域は不明 • いいえ、その他の理由を具体的に	数値記入欄[0~999,999,999,999の数値を小数点以下4桁以内で入力]。	該当するものをすべて選んでください: • 招集者:設立、設計、管理、および実施における高いレベルのエンゲージメント • パートナー:複数の目標の実行における共同責任 • 実行者:集団目標に基づいて行動を実行する • 資金提供者資金の全額または一部を提供する。 • その他、具体的にお答えください

9	10	11	12	13	14
エンゲージメント開始年	エンゲージメント終了年	プロジェクト期間中の推定投資額	エンゲージメントが支援するランドスケープ目標	イニシアチブを支える組織の行動	イニシアチブの設計と実施に関与したパートナーの種類
数値記入欄[1900年~2050年の間の数値を入力する]	選択肢: • 指定してください • 定義なし	数値記入欄[0~999,999,999,999の数値を小数点以下2桁まで、カンマなしで入力]。	該当するものをすべて選んでください: • 表の下のドロップダウンリスト	該当するものをすべて選んでください: • 表の下のドロップダウンリスト	該当するものをすべて選んでください: • 金融機関 • 国家政府 • サブナショナル • 先住民族 • 地域社会 • NGO および/または市民社会 • 生産者 • 民間セクター • その他、具体的に

15	16	17	18	19	20
エンゲージメントの内容	ランドスケープの目標と行動に対する進捗を測定するために使用される集团的モニタリングの枠組み	これまでのエンゲージメントの実績と、進捗状況のモニタリング方法を明記してください	要請	要請の種類	要請の詳細
文章記入欄[最大2,500文字]	選択肢: • はい、進捗は共有の外部フレームワークを用いて集团的にモニタリングされています。 • はい、進捗は社内定義されたフレームワークを使用してモニタリングされます。 • いいえ、しかし、今後2年間で進捗をモニタリングする予定です • 今後2年間は進捗状況をモニタリ	文章記入欄[最大2,500文字]	選択肢: • はい • いいえ、まだ出していないが、今後2年以内に要請を出す予定です • いいえ、要請は出していないし、今後2年以内に要請を出す予定もない	選択肢: • 個人から • 集団から • 個人と集団の両方から • その他、具体的に	文章記入欄[最大2,500文字]

	ングする予定はない			
--	-----------	--	--	--

[行を追加]

エンゲージメントが支援するランドスケープ目標(12 列目)	
<p>環境:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 森林伐採の回避／他の自然生態系の転換、および／または劣化率の減少 ● 生物多様性の保護・回復 ● カーボン・オフセット ● 生態系劣化率の低下 ● 生態系サービスの維持・向上 ● 森林火災の監視と防止 ● 気候への適応計画や緩和努力により、地域社会のレジリエンスが向上する ● 炭素貯留率の向上(修復などによる) ● 保護区の増加および／または維持 ● 自然生態系の保全・復元 ● 生態系サービス向け支払い(PES)スキームの導入 ● 土地利用の変化および／または農業生産による排出の削減 ● 十分な水の利用可能性、水質、または WASH(上下水道、衛生)サービスへのアクセス ● エンゲージメントによって達成されたその他の環境目標(具体的にご記入ください) <p>ガバナンス</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 関連するすべてのステークホルダーを代表するガバナンス・フォーラムを設置し、維持する。 ● ランドスケープ政策、計画、管理における透明性、参加、包摂、調整の促進 ● エンゲージメントによって達成されたその他のガバナンスの目標(具体的にご記入ください) <p>社会的</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 家族経営農場および／または地域社会が利用できるクレジット ● ランドスケープ／管轄イニシアティブの成果から、地元コミュニティや小規模農家が利益を得られるようにする。 ● 森林への圧力を軽減する生計活動／生業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ● インクルージョンを可能にするビジネスモデルの改善(小規模農家を含む) ● マルチステークホルダー・プロセスにおけるコミュニティエンゲージメント能力の向上 ● 特に社会的弱者や社会から疎外された人々の生活水準の向上 ● 地域の生産者の所得多様化 ● 農村経済における雇用率の向上 ● 人権の尊重、保護、実現 ● 土地と資源に対する権利が認められ、保護され、関連する紛争が減少する。 ● エンゲージメントが支援するその他の社会的目標(具体的にご記入ください) <p>生産</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 土壌の健全性の改善および／または維持 ● 持続可能な生産慣行の採用拡大(投入資材の使用効率や水管理慣行など) ● 認証取得の増加 ● 多品目生産が促進され、農家／サプライヤーの個別企業への依存度が低下する。 ● 信頼性の高いコモディティトレーサビリティと景観モニタリング／データ収集システム ● 関係ステークホルダーに推進され、認識されている、その他の天然資源に基づく生産部門の持続可能性(鉱業、自然林管理、非搾取的利用など) ● 再生農業(アグロフォレストリーなど)の普及 ● エンゲージメントによってサポートされるその他の生産目標(具体的にご記入ください) <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ● その他、具体的に

イニシアチブを支える組織の行動(13 列目)	
<p>計画とマルチステークホルダーの調整に参加する:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● イニシアチブの目標、戦略、期限付き目標およびマイルストーンを含む行動計画を共同設計し、策定する。 ● 森林減少、自然生態系の転換、劣化に関するモニタリング・システムの確立と管理に協力する。 ● 優先地域における生物多様性、生息地の分断化、IUCN レッドリスト種への脅威に関するモニタリングシステムの確立と管理に協力する。 ● 生活と人間の幸福のためのモニタリング・システムの確立と管理に関する協力 ● 参加型マッピングを通じたランドスケープ持続可能性評価の協力 ● ランドスケープ／管轄区域の管理／土地利用計画について協力する。 ● イニシアチブのガバナンス構造において、すべての関連ステークホルダーからの代表を維持するために協力する。 	<p>政府とキャパシティを強化する:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地方自治体(またはそれに準ずるもの)を支援し、ランドスケープ・ガバナンス体制を強化し、持続可能なランドスケープ政策や管理計画を策定・実施するためのリソースを提供する。 ● 土地利用および／またはゾーニング計画の実施を支援する。 ● 政府とキャパシティの向上に関するその他の活動(具体的に記入のこと <p>持続可能な生産と地域社会の土地利用を支援し、奨励する:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 農民、小規模農家、地域社会が適切な農業慣行(効率改善、作物の多様化、認証の採用を含む)を実施できるよう、能力開発を行う。 ● 総合的な流域管理および修復活動の協力 ● 廃棄物管理の持続可能性の向上 ● FPIC プロセスおよび／または労働者の権利の体系的侵害を阻止する活動に資金援助を行う。

<ul style="list-style-type: none"> ● 明確な役割、責任、バランスの取れた意思決定により、イニシアティブとその活動を管理する透明性の高いガバナンス・プラットフォームの確立を支援する。 ● 人権デューデリジェンス、リスク管理、モニタリング、検証、苦情解決を行うための効果的なメカニズムの確立を支援する。 ● 同セクターとの競争前の協力の機会を特定し、行動する。 ● ステークホルダー（社会的弱者や周縁化されたグループを含む）を特定し、マップを作成し、マルチステークホルダー・プロセスへの参加を促す。 ● 空間データおよび土地管理計画を、ランドスケープ／管轄区域内の他のステークホルダーと共有する。 ● 計画やマルチステークホルダーへの参加に関するその他の活動（具体的に記入のこと） <p>コミュニティとマルチステークホルダーの能力を構築する：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ランドスケープ／地域に対する投資のビジネス・ケースを対外的に発信する。 ● 保全、修復、再生の重要性についてステークホルダーを巻き込む ● ランドスケープ／管轄地域における REDD+活動の実施 ● 気候変動への適応・緩和活動の推進と実施 ● サプライヤーのコンプライアンス違反、バリューチェーンマッピング、トレーサビリティに関する情報を、ランドスケープ／管轄地域の他のステークホルダーと共有する。 ● コミュニティや小規模農家がインセンティブを得られるよう支援する（認証取得支援、グループ結成、土地所有権の取得、融資のパッケージ化、優先調達など）。 ● 気候変動脆弱性評価の実施を支援する ● 地域社会とマルチステークホルダーの能力構築に関するその他の活動（具体的に記入してください） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 土地の所有権を明確化し、確保するために、先住民族と地域社会を支援する。 ● 持続可能な生産および地域社会の土地利用慣行の支援と奨励に関するその他の行動（具体的に記入のこと） <p>民間セクターの協力を通じて、バリューチェーン活動をランドスケープ／管轄地域のイニシアティブにつなげる：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● コモディティのトレーサビリティに関する協力 ● 進捗が見られるランドスケープ／管轄地域のイニシアティブを支援するために、優先的な調達を利用する。 ● 民間セクターの協力を通じて、バリューチェーン活動を景観／管轄地域のイニシアティブにつなげることに関連するその他の行動 <p>革新的な金融メカニズムを支援する：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 炭素クレジットのファイナンス ● 革新的な金融メカニズムの支援に関するその他の行動（具体的に記入のこと） <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ● その他、具体的に
---	--

(8.15.3) 貴組織の開示コモディティごとに、貴組織がエンゲージメントする各ランドスケープ／管轄区域からの開示量の詳細を提供してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、8.15の「ランドスケープ/管轄アプローチでエンゲージメントを行っていますか」欄で「はい...」を選択した場合にのみ表示されます。
前年との比較	軽微な変更(2023 F6.10c)
説明	各ランドスケープ／管轄区域からの生産量または調達量を開示することで、協働による取り組みが、持続可能な生産／調達を増やすための自社の戦略に貢献しているかどうかを示すことができます。また、データ利用者が、ランドスケープ・管轄区域のイニシアティブへの参加とコモディティ調達との関連性を理解するのに役立ちます。

1	2	3	4
ランドスケープ／管轄 ID	貴社の生産および/または調達するコモディティの量のいずれかが、このランドスケープ・管轄区域を原産地としていますか。また、その量に関する情報を開示できますか/開示する意思がありますか。	コモディティ	このランドスケープ・管轄区域からの開示量の割合
LJ1～LJ25 から選択	<p>選択肢：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● はい、このランドスケープ／管轄から生産／調達しており、数量データを開示することが可能です。 ● はい、このランドスケープ／管轄から生産／調達していますが、数量データを開示することはできません。 	<p>選択肢：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 木材製品 ● パーム油 ● 畜牛品 ● 大豆 ● 天然ゴム ● ココア ● コーヒー 	数値記入欄[小数点以下 2 桁以内で 0～100 の数値を入力]。

	<ul style="list-style-type: none"> • いいえ、私たちはこのランドスケープ／管轄から生産／調達していません。 		
--	--	--	--

[行を追加]

社外活動

(8.16) コモディティバリューチェーンにおける森林減少、生態系転換、人権問題に関連する方針やコミットメントの実行を促進するため、その他の社外活動に参加していますか。

質問内容	
前年との比較	質問の修正(2023 F6.11)
説明	ランドスケープ・管轄アプローチにとどまらず、他の外部活動に参加することで、セクターのアクターが一堂に会し、共通の目標を設定し、計画を策定し、課題を克服するための行動を起こすことができ、組織の生産／調達慣行を改善し、セクターや生産ランドスケープにおけるより広範な問題に取り組むことができます。また、市場においてイノベーションを推進し、持続可能な原材料の生産と調達に関連する課題の解決策を見出す機会もあるかもしれません。
回答オプション	以下のオプションのいずれかを選択します： <ul style="list-style-type: none"> • はい • いいえ。しかし、今後2年のうちにそうする予定です • 今後2年間はその予定はない

(8.16.1) コモディティバリューチェーンにおける森林減少、生態系転換、人権問題に関連する方針やコミットメントの実行を促進するため、参加しているその他の社外活動について説明してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、8.16で「はい」を選択した場合のみ表示されます。
前年との比較	質問の修正(2023 F6.11)
説明	ランドスケープ・管轄アプローチにとどまらず、他の外部活動に参加することで、セクターのアクターが一堂に会し、共通の目標を設定し、計画を策定し、課題を克服するための行動を起こすことができ、組織の生産／調達慣行を改善し、セクターや生産ランドスケープにおけるより広範な問題に取り組むことができます。また、市場においてイノベーションを推進し、持続可能な原材料の生産と調達に関連する課題の解決策を見出す機会もあるかもしれません。

1	2	3	4	5
コモディティ	活動内容	国・地域	サブナショナル・エリア	活動の詳細
該当するものをすべて選んでください： <ul style="list-style-type: none"> • 木材製品 • パーム油 • 畜牛品 • 大豆 • 天然ゴム • ココア • コーヒー 	該当するものをすべて選んでください： <ul style="list-style-type: none"> • 業界プラットフォームへの参加 • 地域社会とのエンゲージメント • 非政府組織との関わり • 研究機関への資金提供 • その他、具体的に 	選択肢： <ul style="list-style-type: none"> • 該当なし • 国・地域別森林リスト • その他、具体的に 	選択肢： <ul style="list-style-type: none"> • 該当なし • ご指定ください 	文章記入欄[最大2,500文字]

[行を追加]

生態系復元プロジェクト

(8.17) 貴組織は、生態系復元や長期保護に焦点を当てたプロジェクトを支援または実施していますか。

質問内容	
前年との比較	変更なし(2023 F6.12)
説明	この質問では、貴組織が支援または実施した、あるいは2年以内に実施する予定の、生態系の回復、森林再生、および/または森林やその他の生態系の保護に関連するプロジェクトに関するデータを収集します。この情報は、投資家や他のデータ利用者に、貴組織が森林スチュワードシップに積極的に取り組んでいることを示すものです。
回答オプション	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • はい • いいえ。しかし、今後2年以内にプロジェクトを実施する予定です。 • 今後2年以内にプロジェクトを実施する予定はない。

(8.17.1) プロジェクトの規模、期間、およびモニタリング頻度を含むプロジェクトの詳細をお答えください。また評価した成果をがあれば記載してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、8.17の回答で「はい」を選択した場合のみ表示されます。
前年との比較	変更なし(2023 F6.12a)
説明	この質問では、貴組織が支援または実施した、生態系の回復、森林再生、および/または森林やその他の生態系の保全に関連するプロジェクトに関するデータを収集します。この情報は、CDPの投資家や他のデータ利用者に、あなたの組織が持続可能な森林スチュワードシップに強くコミットし、積極的に取り組んでいることを示すものです。

1	2	3	4	5	6	7
プロジェクト参照番号	プロジェクトの種類	プロジェクトに期待される利益	このプロジェクトは炭素クレジットを創出していますか	プロジェクトの内容	プロジェクトは、バリューチェーンのどこで実施されますか？	開始年
選択肢: [プロジェクト1~プロジェクト10]	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • 森林生態系の回復 • マングローブの保護と回復 • 泥炭地の保護と回復 • その他の生態系修復 • 森林再生 • 自然再生 • アグロフォレストリー • 植林 	該当するものをすべて選んでください: 表の下のドロップダウンリスト	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • はい • いいえ 	文章記入欄 [最大2,400文字]	該当するものをすべて選んでください: <ul style="list-style-type: none"> • 直接操業を行う地域を拠点とするプロジェクト • 調達地域でのプロジェクトベース • 他の場所でのプロジェクト 	数値記入欄 [1900から2023の間の数値を小数点以下なしで入力]。

	<ul style="list-style-type: none"> • 土壌の炭素隔離 • 農業 • バイオ炭 • 絶滅危惧種と保護種 • 休耕地 • 生物多様性オフセット • その他、具体的に 					
--	---	--	--	--	--	--

8	9	10	11	12	13	14
目標年	これまでのプロジェクト面積(ヘクタール)	対象年のプロジェクト面積(ヘクタール)	国/地域	緯度	経度	モニタリング頻度
選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • <2019 • 2020 • 2021 • 2022 • 2023 • 2024 • 2025 • 2026 • 2027 • 2028 • 2029 • 2030 • 2031-2035 • 2036-2040 • 2041-2045 • 2046-2050 • >2050 • 無期限 • その他、具体的に 	数値記入欄 [0~999,999,999,999の 数値を小数点以下2 桁以内で入力]。	数値記入欄[0~ 999,999,999,999の 数値を小数点以下2 桁以内で入力]。	選択肢: [国・地域一覽]	数値記入欄 [-90.000000から 90.000000までの 数値を小数点以下6 桁以内で入力]。	数値記入欄 [-180.000000 から180.000000 までの数値を小数 点以下6桁以内 で入力]。	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • 半年に1回またはそれ以上の頻度 • 毎年 • 2年ごと • 5年ごと • モニタリングを実施したことはない

15	16	17
プロジェクト期間中の総投資額(通貨)	期待される利益のうち、どれについて進捗状況を把握していますか	説明してください

数値記入欄[0~999,999,999.999 の数値を小数点以下 10 桁まで、カンマなしで入力]。	該当するものをすべて選んでください: 表の下のドロップダウンリスト	文章記入欄[最大 2,400 文字]
---	--------------------------------------	--------------------

[行を追加]

プロジェクトに期待される利益(コラム 3)

<ul style="list-style-type: none"> ● 獲得した炭素クレジット ● 認証の遵守 ● 規制の遵守 ● ネットゼロ目標への貢献 ● SBTi 目標への貢献 ● グリーン・ジョブと持続可能な生活の創出 ● 災害リスク軽減 ● プロジェクトの設計、実施、教訓を共有することにより、変革を促進する。 ● 特に社会的弱者や社会から疎外された人々の生活水準の向上 ● 水の利用可能性と水質の改善 ● 環境規制の改善 	<ul style="list-style-type: none"> ● 土壌の健全性向上 ● 生産活動の持続可能性の向上 ● 炭素貯留量の増加 ● より包括的で透明性が高く、権限を与えるガバナンス・プロセス ● 生物多様性と生態系の完全性の純増 ● 人権の保護 ● 土地所有権の保護 ● 生物多様性の損失を削減/抑制する ● 大気汚染の削減 ● GHG 排出量の削減 ● 自然生態系の回復 ● 農産物の継続的な供給確保 ● その他、具体的に ● 測定された利益はない
--	--

プロジェクトで期待される便益のうち、進捗状況をモニタリングしているものはどれですか。(16 列目)

<ul style="list-style-type: none"> ● 獲得した炭素クレジット ● 認証の遵守 ● 規制の遵守 ● ネット・ゼロ目標への貢献 ● SBTi 目標への貢献 ● グリーン・ジョブと持続可能な生活の創出 ● 災害リスク軽減 ● プロジェクトの設計、実施、教訓を共有することにより、変革を促進する。 ● 特に社会的弱者や社会から疎外された人々の生活水準の向上 ● 水の利用可能性と水質の改善 ● 環境規制の改善 	<ul style="list-style-type: none"> ● 土壌の健全性向上 ● 生産活動の持続可能性の向上 ● 炭素貯留量の増加 ● より包括的で透明性が高く、権限を与えるガバナンス・プロセス ● 生物多様性と生態系の完全性の純増 ● 人権の保護 ● 土地所有権の保護 ● 生物多様性の損失を削減/抑制する ● 大気汚染の削減 ● GHG 排出量の削減 ● 自然生態系の回復 ● 農産物の継続的な供給確保 ● その他、具体的に
---	--

モジュール 9: 環境パフォーマンス – ウォーター

モジュール概要

モジュール概要	<p>すべての人のための水セキュリティの推進は、企業が支援しています:</p> <ul style="list-style-type: none">• 淡水資源への依存を減らし、その進捗を追跡する;• 水資源との相互作用に関する容積データを収集し、共有する。• 価値創造における水の原単位を認識している。• バリュー・チェーン全体、つまり直接操業を越えて、水を考慮する。 <p>きれいな淡水はますます不足しつつあり、これは大量の水に依存する事業に影響を与える可能性があります。このモジュールの情報により、CDP のデータ利用者は、組織の除外項目、組織全体の水会計、施設レベルの水会計と検証、水の効率性と原単位、製品とサービス、水関連の目標を理解することができます。</p> <p>このモジュールの質問により、組織は、関連する水側面のモニタリングに関する情報を提供することで、自社の水文学をどの程度理解しているかを示すことができます。これには、水不足地域を含む取水量、処理レベル別の排出量、消費量に関するデータが含まれます。CDP はまた、水会計データの予測に関するコメントを企業に求めています。</p> <p>水質保全のため、量的データに加え、企業は水域への排出量と有害物質の使用量を報告するよう求められています。</p> <p>CDP サプライチェーンメンバーからの要請に応える組織のために、このモジュールには、回答要請するサプライチェーンメンバーに対する施設の影響に関する質問も含まれています(質問 9.4)。</p> <p>注:</p> <p>ウォーターモジュールを通じて、CDP はサプライチェーンに関する質問の範囲を広げ、バリューチェーンの他の段階も含めるようにしました。これは、直接操業やサプライチェーンを超えて、水関連の問題によって活動が制約を受けたり、その他の影響を受けたりする可能性のある企業に特に関連するものです。これは、バリューチェーンにおけるリスク・エクスポージャー、機会、影響に対する企業の関心の広がりや投資家の関心の高まりを反映しています</p>
---------	---

除外事項

(9.1) 水関連データの開示から除外されるものはありますか？

質問内容	
前年との比較	質問の修正(2023 W0.6)
説明	CDP は、包括的かつ代表的な水データの共有を目指しています。もし、組織が事業の一部を開示対象から除外する必要がある場合は、分析に影響を与える可能性があるため、データ利用者にその旨を通知しなければなりません。
回答オプション	以下の選択肢のいずれかを選択します: <ul style="list-style-type: none">• はい• いいえ

(9.1.1)これらの除外事項の詳細を示してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、9.1で「はい」を選択した場合のみ表示されます。
前年との比較	質問の修正(2023 W0.6a)
説明	報告された情報に対するデータ利用者の信頼を確保するため、組織の情報開示は包括的かつ代表的でなければなりません。そのため、組織は、地域、施設、その他の水の側面を含む、情報開示の除外事項について報告することが推奨されています。
回答オプション	以下の表を完成させてください。表の下にある「行を追加」ボタンを使って行を追加することができます。

1	2	3	4
除外対象	除外項目	除外理由	データが入手できない主な理由
選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 事業活動 国・地域 設備 特定のグループ、事業、組織 水の側面 その他、具体的に 	文章記入欄[最大 1,500 文字]	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> データがない 売却 直近の買収または合併 少量[雨水] 共用施設 社内の WASH サービスに使用される水 給水ネットワーク その他、具体的に 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> データ収集および/または品質に関する課題 データ収集中 重要でない、関係ないと判断された 社内リソースの能力や専門知識の不足(組織の規模によるものなど) データ収集のための標準化された手順がない 当面の戦略的優先事項ではない 今後 2 年以内にデータを収集する予定である。 その他、具体的に

5	6	7	8
買収または合併の完了日	合併/買収のデータは、次年度の報告に反映される予定ですか	除外する水量の割合	説明してください
[DD/MM/YYYY].]	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> はい いいえ 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 1%未満 1-5% 6-10% 11-20% 21-30% 31-40% 41-50% 51-60% 61-70% 71-80% 81-90% 91-99% 100% 不明 	文章記入欄[最大 1,500 文字]

[行を追加]

モニタリング

9.2 水に関する以下の側面について、貴組織の事業全体でどの程度の割合を定期的に測定・モニタリングしていますか。

質問内容	
他の質問との関連性	9.2 に対する回答によって、それ以降に提示される質問が決定されます。9.2 への回答が修正された場合、後続の質問のデータが消去されることがあります。この場合、関連するすべての質問のデータを再入力してください。 9.2.の回答で「モニタリングしていない」または「関連性がない」を選択した場合、このセクションでは関連する容積データを開示することはできません。各質問のガイダンスには、質問同士の関連性が示されています。
前年との比較	変更なし(2023 W1.2)
説明	この質問により、投資家、顧客、その他のデータ利用者に対して、水使用の様々な側面をどの程度モニタリングしているかを示すことができる。包括的な水会計は、事業にとっての水の重要性と、事業に潜在する水関連の影響を理解するための第一歩です。また、このデータは、企業の法令遵守にも関連する可能性があります。

0	1	2	3	4
水面	サイト/施設/ 事業の比率	測定頻度	測定方法	説明してください
取水 - 総取水量	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> モニタリングなし 1%未満 1-25 26-50 51-75 76-99 100% 関連なし 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 常時 毎日 毎月 四半期に1回 1年に1回 不明 その他、具体的に 	文章記入欄[最大 500 文字]	文章記入欄[最大 1,000 文字]
取水 - 水源別取水量				
取水 - 水質				
排水 - 総排水量				
排水 - 放流先別排水量				
排水 - 処理方法別排水量				
排水の質 - 標準的排水基準別				
排水の質 - 水への排出(硝酸塩、リン酸塩、殺虫剤、その他の優先有害物質)				
排水の質 - 温度				
水消費量 - 総消費量				
リサイクル水/再利用水				
適正に機能し安全に管理された上下水道・衛生(WASH)サービスを全従業員に提供				

[固定列]

総量

(9.2.2)全事業における水の総取水量、総排水量、総消費量、前年度との比較、および今後の予測値を回答してください。

質問内容	
前年との比較	変更なし(2023 W1.2b)
説明	<p>この質問は、企業が企業レベルで水収支を完全に把握し、予測される今後の水需要の動向を評価する動機付けとなり、河川、湖沼、帯水層、河川に脅威を与えないビジネスモデルへの移行を促します。</p> <p>水の総量は、水の利用者としての組織の相対的な重要性を示し、他の計算のための基準値を提供することができます。傾向データとともに、これらの水量データは、将来的な水供給の途絶や水道料金の値上がりをもたらすリスクの程度を示唆することもできます。</p> <p>水の消費量は、報告期間中に生態系や地域社会が使用できなくなった水を測定しています。水の消費量を報告することは、下流の水の利用可能性に及ぼす取水による影響の全体的な規模を組織が理解できるようになります。</p>
回答オプション	以下の表に記入してください:

0	1	2	3	4	5	6
水に関する側面	量(メガリットル/年)	前年度との比較	前年度との比較の主な理由	5年後の予測	見通しの主な理由	説明してください
総取水量	数値記入欄[小数点以下2桁以内で、0～±999,999,999,999の範囲を入力]。	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 大幅に低い 少ない ほぼ同じ 多い 大幅に多い 今年が測定初年度 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 会計方法の変更 水を大量に利用する技術・プロセスからの撤退 施設の閉鎖 施設の拡大 事業活動の拡大/縮小 効率性の向上/低下 効率的な水利用ができる技術/プロセスへの投資 水使用量の最大削減可能性を既に達成済み 合併買収(M&A) 不明 その他、具体的に 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 大幅に低い 少ない ほぼ同じ 多い 大幅に多い 不明 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 会計方法の変更 水を大量に利用する技術・プロセスからの撤退 施設の閉鎖 施設の拡大 事業活動の拡大/縮小 効率性の向上/低下 効率的な水利用ができる技術/プロセスへの投資 水使用量の最大削減可能性を既に達成済み 合併買収(M&A) 不明 その他、具体的に 	文章記入欄[最大 2,000 文字]
総排水量						
総消費量						

[固定列]

水ストレス地域からの取水

(9.2.4)水ストレスのある地域からの取水の有無、その量、前年度との比較、および今後の変化の予測を回答してください。

質問内容	
前年との比較	質問の修正(2023 W1.2d)
説明	<p>水は共有資源であり、水に関連する影響は局地的であるため、組織は水ストレスのある地域での行動を優先し、地域の状況を理解して対応することがますます奨励されています。</p> <p>水ストレスのある地域からの水に関する質問は、企業の水に関する報告や目標設定において、地域の状況に基づいた指標を求める傾向をサポートするものであり、さらに TCFD は、水ストレスのある地域からの水への依存について開示することを推奨しています。また、この質問は、水不足地域からの取水量の今後の予測される傾向を評価し、河川、湖沼、帯水層、河川に脅威を与えないビジネスモデルへの移行を促すものであろう。</p> <p>要求されるデータは、潜在的に争点となりうる情報源(施設そのものがストレスのかかる地域にあるかどうかに関係なく)への貴組織の依存や、影響を受けやすい場所への潜在的な影響を評価するのに役立ちます。</p> <p>水ストレスは事業リスクの要因であり、ストレスが悪化する可能性が高いため、透明性を確保することが重要です。水ストレスのある地域での事業による事業リスクの上昇を理解することは、投資家コミュニティにとって重要であり、この質問により、データ利用者は水ストレスのある流域からの水への依存の傾向を確認することができます。</p> <p>水に関するホットスポットの知識は、水ストレスが現在または将来の業務に影響を及ぼす可能性のある場所を特定し、持続可能な水管理の実践に優先順位をつけるのに役立ちます。</p>

1	2	3	4	5
水ストレスのある地域からの取水	水ストレス地域からの取水量(メガリットル)	前年度との比較	前年度との比較の主な理由	5年後の予測
選択肢: <ul style="list-style-type: none"> はい いいえ 不明 	数値記入欄[0~999,999,999,999の数値を小数点以下2桁以内で入力]。	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 大幅に低い 少ない ほぼ同じ 多い 大幅に多い 今年が測定初年度 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 会計方法の変更 水を大量に利用する技術・プロセスからの撤退 施設の閉鎖 施設の拡大 事業活動の拡大/縮小 効率性の向上/低下 効率的な水利用ができる技術/プロセスへの投資 水使用量の最大削減可能性を既に達成済み 合併買収(M&A) 不明 その他、具体的に 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 大幅に低い 少ない ほぼ同じ 多い 大幅に多い 不明

6	7	8	9
予測の主な理由	水ストレスのある地域からの取水量が総取水量に占める割合	ツール	説明してください
選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 会計方法の変更 水を大量に利用する技術・プロセスからの撤退 施設の閉鎖 施設の拡大 事業活動の拡大/縮小 	[自動計算]	該当するものをすべて選んでください: <ul style="list-style-type: none"> WRI アキダクト WWF ウォーター・リスク・フィルター その他、具体的に 	文章記入欄[最大 5,000 文字]

<ul style="list-style-type: none"> 効率性の向上/低下 効率的な水利用ができる技術/プロセスへの投資 水使用量の最大削減可能量を既に達成済み 合併買収(M&A) 不明 その他、具体的に 			
---	--	--	--

水源別の総取水量

(9.2.7) 水源別の総取水量データを回答してください。

質問テキスト	
他の質問との関連性	この質問は、9.2.で以下の水の側面をモニタリングしていると回答した場合のみ表示されます： 水源別取水量
前年との比較	変更なし(2023 W1.2h)
説明	水源の種類を区別し、水源ごとの取水量を報告することは、組織の水利用に関連する潜在的なリスクや影響を理解する上で、重要な意味を持ちます。例えば、枯渇した帯水層から水を取水することは、海水を取水することとは異なり、地域の水ストレスや企業の水セキュリティに異なる結果をもたらします。きれいな淡水はますます不足しつつあり、これは大量の水に依存する生産工程に影響を与える可能性があります。 水源が大きく制限されている地域では、組織の水消費パターンが他のステークホルダーとの関係にも影響を及ぼす可能性があります。
回答オプション	以下の表に記入してください：

0	1	2	3	4	5
水源	事業への関連性	量(メガリットル/年)	前年度との比較	前年度との比較の主な理由	説明してください
雨水、湿地、河川、湖沼からの水を含む新鮮な地表水	選択肢： <ul style="list-style-type: none"> 関連性あり 関連性はあるが、数量は不明 関連なし 	数値記入欄[0~999,999,999,999の数値を小数点以下2桁以内で入力]。	選択肢： <ul style="list-style-type: none"> 大幅に低い 少ない ほぼ同じ 多い 大幅に多い 今年が測定初年度 	選択肢： <ul style="list-style-type: none"> 会計方法の変更 水を大量に利用する技術・プロセスからの撤退 施設の閉鎖 施設の拡大 事業活動の拡大/縮小 効率性の向上/低下 効率的な水利用ができる技術/プロセスへの投資 水使用量の最大削減可能量を既に達成済み 合併買収(M&A) 不明 その他、具体的に 	文章記入欄[最大1,000文字]
汽水地表水/海水					
地下水 - 再生可能					
地下水 - 再生不可能					
随伴水/混入水					

第三者の水源					
--------	--	--	--	--	--

[固定列]

放流先別排水量

(9.2.8) 放流先別の総排水量をお答えください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、9.2.で以下の水の側面をモニタリングしていると回答した場合のみ表示されます： 水の排出-目的地別排出量
前年との比較	変更なし(2023 W1.2i)
説明	特定の放流先への排水量を報告することは、組織の排水に関連する特定のリスクと影響を理解することに寄与します。
回答オプション	以下の表に記入してください：

0	1	2	3	4	5
放流先	事業への関連性	量(メガリットル/年)	前年度との比較	前年度との比較の主な理由	説明してください
淡水地表水	選択肢： <ul style="list-style-type: none"> 関連性あり 関連性はあるが、数量は不明 関連なし 	数値記入欄[小数点以下2桁以内で0~999,999,999,999の範囲を入力]。	選択肢： <ul style="list-style-type: none"> 大幅に低い 少ない ほぼ同じ 多い 大幅に多い 今年が測定初年度 	選択肢： <ul style="list-style-type: none"> 会計方法の変更 水を大量に利用する技術・プロセスからの撤退 施設の閉鎖 施設の拡大 事業活動の拡大/縮小 効率性の向上/低下 効率的な水利用ができる技術/プロセスへの投資 水使用量の最大削減可能性を既に達成済み 合併買収(M&A) 不明 その他、具体的に 	文章記入欄[最大1,000文字]
汽水地表水/海水					
地下水					
第三者の放流先					

[固定列]

処理方法別排水量

(9.2.9) 直接操業内で、貴組織が排水を処理する最高レベルを示してください。

質問テキスト	
他の質問との関連性	この質問は、9.2.で以下の水の側面を監視していると回答した場合のみ表示されます： 排水 - 処理方法別排水量
前年との比較	変更なし(2023 W1.2j)
説明	処理レベルの報告は、その組織が排出をモニタリングし、その活動が水質に与える影響の程度を理解できることを示しています。

	汚染はビジネスリスクの原動力であり、公衆衛生、食糧安全保障、経済回復力に対する潜在的脅威であると同時に、淡水の生物多様性を劣化させる原因でもあります。そのため、排水の処理は非常に重要であり、これに関する透明性は、投資家、顧客、その他のデータ利用者がリスクと機会を評価するのに役立ちます。
回答オプション	以下の表に記入してください:

0	1	2	3	4	5
直接操業内での処理の最高レベル	排水する処理レベルの事業への関連性	量(メガリットル/年)	処理量の前年度との比較	前年度との比較の主な理由	この量が適用されるサイト/施設/事業の割合(%)
三次処理	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 関連性あり 関連性はあるが、数量は不明 関連なし 	数値記入欄[0~999,999,999,999の数値を小数点以下2桁以内で入力]。	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 大幅に低い 少ない ほぼ同じ 多い 大幅に多い 今年が測定初年度 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 会計方法の変更 水を大量に利用する技術・プロセスからの撤退 施設の閉鎖 施設の拡大 事業活動の拡大/縮小 効率性の向上/低下 効率的な水利用ができる技術/プロセスへの投資 水使用量の最大削減可能量を既に達成済み 合併買収(M&A) 不明 その他、具体的に 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> モニタリングなし 1%未満 1-10 11-20 21-30 31-40 41-50 51-60 61-70 71-80 81-90 91-99 100% 不明
二次処理					
一次処理のみ					
未処理のまま自然環境に排水					
未処理のまま第三者に排水					
その他					

[固定列]

水への排出

(9.2.10) 報告年における硝酸塩、リン酸塩、殺虫剤、およびその他の優先有害物質の水域への貴社の排出量について具体的にお答えください。

質問テキスト	
他の質問との関連性	この質問は、質問 9.2「水への排出(硝酸塩、リン酸塩、殺虫剤、その他の優先有害物質)」の行の「サイト/施設/事業所の割合」で、「モニタリングしていない」または「関連性がない」以外の回答を選択した場合にのみ表示されます。
前年との比較	追加ガイダンス (2023 W1.2k)
説明	この質問により、組織は優先物質の水への排出量を示すことができ、硝酸塩、リン酸塩、農薬、その他の優先物質の使用量を理解し、管理し、削減するのに役立ちます。
回答オプション	以下の表に記入してください:

1	2	3	4
報告年における水域への排出量(トン)	含まれる物質のカテゴリ	含まれる特定物質のリスト	説明してください
数値記入欄[0~999,999,999,999の数値を小数点以下2桁以内で入力]。	該当するものをすべて選んでください: <ul style="list-style-type: none"> 硝酸塩 リン酸塩 農薬 EU水枠組み指令の優先物質リスト 	文章記入欄[最大1,000文字]	文章記入欄[最大1,500文字]

[固定列]

施設レベルの水会計と検証

セクション概要

セクション概要	<p>このセクションでは、水に関する重大な依存、影響、リスク、および／または機会を有する施設の数特定し、これらの施設の水会計データを報告するよう組織に求めています。</p> <p>データ利用者は、施設や組織レベルでの健全な評価と管理に代わって、このような詳細な会計データを測定、モニタリング、開示する組織の能力に関心があります。この開示を、水に関する重大な依存、影響、リスク、および／または機会を有する施設に限定することで、企業は、「ホットスポット」となる場所での水資源の使用法と影響について重点的に理解することができます。水リスクの局所的な性質を考慮すると、このレベルでの報告はグッドプラクティスと考えられます。</p> <p>データがない施設については、空欄のままにしてください。透明性をもって報告し、測定データの不足、データの不確実性、または推定データの説明を提供することに重点を置くべきです。</p>
---------	--

(9.3)直接操業とバリューチェーン上流において、水に関する重大な依存、影響、リスク、機会を特定した施設について回答してください。

質問内容	
前年との比較	質問の修正(2023 W4.1, W4.1b)
説明	水は地域の問題であり、データ利用者は、組織が施設レベルで依存、影響、リスク、機会を検討していることを知りたがっています。水に関する重大的な依存、影響、リスク、および／または機会が特定された施設の総数を報告することで、基本的ではあるが、これらの分野に対する組織の依存を示すことができます。また、直接事業における施設全体のうち、特定された施設の割合を報告することで、データ利用者は組織の規模に対するこれらの施設の重要性を理解することができます。
回答オプション	以下の表に記入してください:

0	1	2	3	4
バリューチェーンの段階	バリューチェーンの段階の施設の特定	特定された施設の総数	直接操業の施設の割合	説明してください
直接操業	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> はい、このバリューチェーンの段階を評価し、水関連の依存、影響、リスク、機会を持つ施設を特定しました。 いいえ、このバリューチェーンの段階を評価したが、水に関連する依存、影響、リスク、機会を持つ施設は特定されなかった。 	数値記入欄[0~1,000の数値を小数点やカンマなしで入力する]。	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 1%未満 1-25 26-50 51-75 76-99 100% 不明 	文章記入欄[最大2,000]

	<ul style="list-style-type: none"> • いいえ、水関連の依存、影響、リスク、機会を持つ施設について、このバリューチェーンの段階を評価したことはなく、今後2年間も評価する予定はない。 • いいえ、水関連の依存、影響、リスク、機会を持つ施設について、このバリューチェーンの段階を評価していませんが、今後2年間で評価する予定です。 			
バリューチェーン上流				

(9.3.1) 質問 9.3 で言及した各施設について、地理座標、水会計データ、前報告年との比較内容をお答えください。

質問テキスト	
他の質問との関連性	この質問は、9.3 の 1 行または 2 行の「このバリューチェーンの段階における施設の特定」の欄で、「はい、このバリューチェーンの段階を評価し、重大な水関連の依存、影響、リスク、および/または機会を有する施設を特定しました」を選択した場合にのみ表示されます。
前年との比較	質問の修正(2023 W5.1)
説明	<p>水関連の重大な依存、影響、リスク、および/または機会を特定した施設に関する情報を報告することは、データ利用者が、組織が地域の水側面をモニタリングしていることを確信するのに役立ちます。また、様々な水源への依存や、取水・排水に関連する潜在的な影響についての洞察を提供します。</p> <p>例えば、海水からではなく淡水の帯水層から取水することは、水ストレスのある地域や組織の水セキュリティにとって、大きく異なる結果をもたらします。水源が非常に制限されている地域では、組織の水消費パターンが他のステークホルダーとの関係に影響を与える可能性があります。</p> <p>施設レベルの情報を提供することは、規制遵守の証明(例: 地域環境への排出)、リスク評価、およびリスク対応への洞察(例: 水効率改善の追跡)のために有用です。</p> <p>水関連の重大な依存、影響、リスク、および/または機会を持つ施設の地理的位置座標は、データユーザーが地理的にリンクされた依存、影響、リスク、および機会を分析し、複数の企業間で分析することを可能にします。また、CDP の水データと他の地理的にリンクされたデータとの統合も容易になります。</p>
回答オプション	以下の表に記入してください。表の下にある「行を追加」ボタンを使って行を追加することができます。

1	2	3	4	5	6	7a	7b	8	9
施設参照番号	施設名(任意)	バリューチェーンの段階	当施設で確認された依存、影響、リスク、機会	報告年度における取水または排水	取水および/または排水がない理由	国/地域	河川流域	緯度	経度
選択肢: • 施設の参照番号施設 1-100	文章記入欄[最大 500 文字]	選択肢: • 直接操業 • バリューチェーン上流	該当するものをすべて選んでください: • 依存 • 影響 • リスク	選択肢: • はい、取水と排水の両方 • はい、取水のみ • はい、排水のみ	文章記入欄[最大 1,000 文字]	選択肢: 国・地域のドロップダウンリスト	選択肢: 河川流域のドロップダウンリスト その他、具体的に	数値記入欄[0 から +/- 90.0 0000 0 までの数値を小数点以下	数値記入欄には、0 から +/- 180.0 0000 0 までの数値を小数点以下

			• 機会	• いいえ				6 桁以内で入力。	6 桁以内で入力。
--	--	--	------	-------	--	--	--	-----------	-----------

10	11	12	13	14
水ストレスのある地域に立地	この施設の総取水量(メガリットル)	総取水量の前年度との比較	雨水、湿地、河川、湖沼からの水を含む淡水地表水からの取水量	汽水地表水・海水からの取水量
選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • はい • いいえ • 不明 	数値記入欄[0~999,999,999,999 の数値を小数点以下 2 桁以内で入力]。	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • 大幅に低い • 少ない • ほぼ同じ • 多い • 大幅に多い • 今年が測定初年度 	数値記入欄[0~999,999,999,999 の数値を小数点以下 2 桁以内で入力]。	数値記入欄[0~999,999,999,999 の数値を小数点以下 2 桁以内で入力]。

15	16	17	18	19	20
地下水からの取水量 - 再生可能	地下水からの取水量 - 再生不可能	生産水/随伴水からの取水量	第三者からの取水量	この施設の総排水量(メガリットル)	総排水量の前年度との比較
数値記入欄[0~999,999,999,999 の数値を小数点以下 2 桁以内で入力]。	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • 大幅に低い • 少ない • ほぼ同じ • 多い • 大幅に多い • 今年が測定初年度 				

21	22	23	24	25	26	27
淡水地表水への排水	汽水地表水/海水への排水	地下水への排水	第三者への排水	この施設の総水使用量(メガリットル)	総消費量の前年度との比較	説明してください
数値記入欄[0~999,999,999,999 の数値を小数点以下 2 桁以内で入力]。	数値記入欄 [0 から +/- 999,999,999,999 までの数値を小数点以下 2 桁以内で入力]。	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • 大幅に低い • 少ない • ほぼ同じ • 多い • 大幅に多い • 今年が測定初年度 	文章記入欄[最大 1,500 文字]			

[行を追加]

(9.3.2)9.3.1 で言及した直接事業における施設について、第三者検証を受けている水会計データの比率をお答えください。

質問テキスト	
他の質問との関連性	この質問は、9.3 の「直接操業」の行の「このバリューチェーンの段階における施設の特定」の欄で、「はい、このバリューチェーンステージを評価し、重大な水関連の依存、影響、リスク、および/または機会を有する施設を特定しました」を選択した場合にのみ表示されます。
前年との比較	質問の修正(2023 W5.1a)
説明	水に関する重大な依存、影響、リスク、および/または機会を有する施設における水会計データについて、第三者による検証を提供することで、CDP データ利用者は、報告するデータに対する信頼性を高めることができます。
回答オプション	以下の表に記入してください:

0	1	2	3
水の側面	検証割合(%)	使用した検証基準	説明してください
取水 - 総取水量	選択肢: • 未確認 • 1-25 • 26-50 • 51-75 • 76-100 • 関連なし	文章記入欄[最大 1,500 文字]	文章記入欄[最大 2,500 文字]
取水 - 水源別取水量			
取水 - 標準的排水基準別取水量			
排水 - 総排水量			
排水 - 目的地別排出量			
排水 - 最終処理レベル別量			
排水 - 標準的排水基準別			
水使用 - 総量			

[固定列]

CDPサプライチェーンメンバーに及ぼす影響

(9.4)9.3.1 で報告された貴施設のいずれかが、回答要請している CDP サプライチェーンメンバーに影響を及ぼす可能性はありますか。

質問テキスト	
他の質問との関連性	9.4 に対する貴組織の回答によって、このセクションに続く質問が提示されるかどうかが決まります。9.4 への回答が修正された場合、後続の質問のデータが消去されることがあります。この場合、関連するすべての質問のデータを再入力してください。各質問のガイダンスには、関連する質問かどうかを示されています。
前年との比較	変更なし(2023 SW1.1)
説明	9.3 では、水に関する重大な依存、影響、リスク、機会を有する施設の数特定を求められ、9.3.1 では、これらの施設の水会計データを報告しました。

	この質問は、これらの施設のいずれかが、貴組織に回答要請している CDP サプライチェーンメンバーに影響を及ぼす可能性があるかどうかを尋ねるものです。
回答オプション	<p>以下の選択肢のいずれかを選択します：</p> <ul style="list-style-type: none"> • はい、CDP サプライチェーン・メンバーは、9.3.1 に記載されている施設から製品またはサービスを購入している。 • いいえ、CDP サプライチェーン・メンバーは、9.3.1 に記載されている施設から製品やサービスを購入していません。 • 9.3.1 で報告された施設はない • このデータはないが、2 年以内に収集する予定である。 • 私たちはこのデータを持っておらず、収集する予定もない • 機密情報であり、開示できません。

(9.4.1)9.3.1 で言及した施設のうち、回答を要請している CDP サプライチェーンメンバー企業に影響を及ぼす可能性がある施設を示してください。

質問テキスト	
他の質問との関連性	この質問は、9.4 への回答で「はい、CDP サプライチェーンメンバーは 9.3.1 に記載されている施設から製品またはサービスを購入しています」を選択した場合にのみ表示されます。
前年との比較	変更なし (2023 SW1.1a)
説明	貴組織の顧客が、9.3.1 で言及した施設によって生産された製品やサービスをどのように使用しているかを示すことは、重大な水関連の依存、影響、リスク、および/または機会に対応するために、顧客が理解し、行動を起こすのに役立ちます。
回答オプション	以下の表に記入してください。表の下にある「行を追加」ボタンを使って行を追加することができます。

1	2	3	4	5
施設参照番号	施設名	回答要請メンバー	メンバーの潜在的影響の説明	コメント
選択肢: 参照番号 ドロップダウン	文章記入欄[最大 500 文字]	選択肢: メンバードロップダウンリスト	文章記入欄[最大 1,000 文字]	文章記入欄[最大 1,000 文字]

[行を追加]

水の効率と水の原単位

(9.5) 組織の総取水効率を数字で示してください。

質問内容	
前年との比較	質問の修正(2023 W1.3)
説明	<p>取水効率の指標を用いることで、企業は売上における水の依存を追跡し、水の使用量をベンチマークすることができます。水効率を意識することで、コスト削減、ブランド価値の向上、製品やサービスの革新が促進されます。</p> <p>この指標は、データ利用者が水の安全な未来に向けた組織の移行を追跡するのに役立ちます。</p>
回答オプション	以下の表に記入してください：

1	2	3
売上高(通貨)	総取水効率	予想される今後の動向
数値記入欄 [0 ~ 999,999,999,999 の数値を小数点以下 2 桁以内で入力]。	[自動計算]	文章記入欄 [最大 500 文字]

[固定列]

(9.12) 貴組織の製品またはサービスについて、利用可能な水の原単位の値をすべて記入してください。

質問内容	
前年との比較	変更なし(2023 SW3.1)
説明	水の原単위를計算し報告するための方法論は、現在、特に ISO-14046 の開発により、より標準化されつつあります。CDP サプライチェーンメンバーは、購入した製品やサービスの水使用量にますます関心を寄せています。特に、水リスク(そのリスクが水へのアクセスや物理的な欠乏に関連する場合)にさらされる施設で生産される場合、購入する製品やサービスの水原単位に関心を寄せています。
回答オプション	以下の表を完成させてください。表の下にある「行を追加」ボタンを使って、この表に行を追加することができます。

1	2	3	4	5
製品名	水の原単位	分子: 水の側面	分母	コメント
文章記入欄[最大 500 文字]	数値記入欄[0~ 999,999,999,999 の数値を小数点以下 4 桁以内で入力]。	選択肢: 取水 水消費 その他、具体的に	文章記入欄[最大 100 文字]	文章記入欄[最大 1,000 文字]

[行を追加]

有害物質

(9.13) 規制当局により有害と分類される物質を含んだ貴組織の製品はありますか。

質問内容	
他の質問との関連性	9.13 への回答は、その後の質問設定に影響します。9.13 への回答が修正された場合、後続の質問のデータが消去されることがあります。この場合、関連するすべての質問のデータを再入力してください。
前年との比較	変更なし(2023 W1.4)
説明	水域の水質、ひいては人間や生態系への影響を守るためには、あらゆる分野で有害物質の追跡と使用廃止が極めて重要です。製品に含まれる有害物質を把握することで、企業は計画的に段階的廃止に取り組むことができます。
回答オプション	以下の表に記入してください:

1	2

有害物質を含む製品	コメント
選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • はい • いいえ • 不明 	文章記入欄[1,000 文字]

(9.13.1) 貴組織の売上高のうち、規制当局により有害物質として分類された物質を含む製品の売上高は何パーセントですか。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、9.13 で「はい」を選択した場合のみ表示されます。
前年との比較	変化なし(2023 W1.4a)
説明	この質問は、有害物質がもたらすリスクから人の健康と環境の保護を改善する目的で、貴社が製品中の有害物質をモニタリングしているかどうかを評価するものです。
回答オプション	以下の表に記入してください。表の下にある「行を追加」ボタンを使って行を追加することができます。

1	2	3
規制当局による有害物質指定	このリストにある物質を含んだ製品が売上に占める割合	説明してください
選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • EU REACH 規則の附属書 XVII • Candidate List of Substances of Very High Concern for Authorisation above 0.1% by weight(EU 規制) • EU 残留性有機汚染物質(POPs)規制 • UK REACH 規則附属書 XIV • Candidate List of Substances of Very High Concern(英国規制) • Federal Water Pollution Control Act / Clean Water Act (米国規制) • 水質汚濁防止法 (日本規制) • Guidelines for Controlling the Use of Key Chemical Substances in Consumer Products(中国規制) • Brazilian Regulatory Standards • Official Mexican Standards (NOMs) / National Inventory of Chemical Substances • 物質リスト(カナダ環境保護法) • その他、具体的にお答えください 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • 不明 • 10%未満 • 10-20 • 21-40 • 41-60 • 61-80 • 80%以上 	文章記入欄[最大 1,500 文字]

[行を追加]

製品とサービス

(9.14) 貴組織が現在製造や提供をしている製品やサービスの中で、水の影響を少なく抑えているものはありますか。

質問内容	
前年との比較	変更なし(2023 W7.5)
説明	バリューチェーンの生産段階や使用段階における製品の水への影響を減らすことは、水の安全な未来への移行を早めることとなります。この質問は、投資家やその他のデータ利用者に、企業がこのために取っている行動を知らせるものです 水への負荷が低い製品やサービスを構成するものについての一般的な定義はないため、企業は、製品やサービスを水への負荷が低いものとして分類するための基準と閾値について説明するよう求められています。
回答オプション	以下の表に記入してください

1	2	3	4
水への影響が少ないと分類される製品および/またはサービス	水への影響が少ないものを分類するための定義	現在の製品および/またはサービスを水資源への影響が少ないと分類しない主な理由	説明してください
選択肢: <ul style="list-style-type: none"> はい いいえ、しかし今後 2 年以内に対処する予定です また、今後 2 年以内にこの問題に取り組む予定もない 	文章記入欄 [最大 5,000 文字]	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 重要だが、差し迫った事業上の優先事項ではない 重要でないと判断し、理由も説明 社内リソースの不足 経営陣から指示がないため その他、具体的にお答えください 	文章記入欄 [最大 1,000 文字]

[固定列]

水関連目標:水量、水質、WASH、その他

セクション概要

セクション概要	<p>このセクションでは、ウォーター・スチュワードシップと水セキュリティの進展、および水管理の改善へのコミットメントを示すために、組織の水関連の定量的目標に関する情報を収集します。</p> <p>特に、取水量を減らし、水質汚染を減らし、上下水道・衛生(WASH)サービスへのアクセスを改善するための目標を設定し、進捗させることは、水の安全な未来への移行にとって重要です。</p>
---------	---

(9.15) 水に関する目標はありますか？

質問内容	
他の質問との関連性	<p>9.15 に対するあなたの回答が、このセクションの後続の質問の提示に関係します。9.15 への回答が修正された場合、後続の質問のデータが消去されることがあります。この場合、関連するすべての質問のデータを再入力してください。各質問のガイダンスには、関連する質問かどうかが示されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「はい」を選択すると、9.15.1 と 9.15.2 が表示されます。 「いいえ」を選択すると、9.15.3 が表示されます。
前年との比較	変更なし(2023 W8.1)

説明	目標設定は水管理において重要な役割を果たし、企業戦略の成功をサポートします。目標を設定し、それに対して進捗を図ることは、水への依存から成長を切り離すことにつながります。CDPのデータ利用者は、水に関する方針とコミットメントの達成、水管理の改善、現在および将来の水リスクへの対応について、追跡可能で期限付きの定量的な目標を設定した組織を知りたがっています。
回答オプション	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • はい • いいえ、しかし今後 2 年以内に計画しています • いいえ、今後 2 年間は予定していない

(9.15.1) 水質汚染、取水量、WASH、その他の水関連カテゴリーに関する目標を設定していますか。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、9.15 の回答で「はい」を選択した場合のみ表示されます。
前年との比較	変更なし(2023 W8.1a)
説明	企業が、取水量の削減、水質汚濁の削減、上下水道・衛生(WASH)サービスの改善に向けた目標を設定することは、事業活動が水セキュリティに与える影響に関連する場合、グッドプラクティスです。
回答オプション	以下の表に記入してください:

0	1	2
対象カテゴリー	このカテゴリーで設定された目標	説明してください
水質汚染	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • はい • いいえ、しかし今後 2 年以内に計画しています • 今後 2 年間は予定していない 	文章記入欄[最大 1,000 文字]
取水量		
水と衛生(WASH)サービス		
その他		

[固定列]

(9.15.2) 水に関する目標と進捗状況の詳細を示してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、9.15の回答で「はい」を選択した場合のみ表示されます。”
前年との比較	質問の修正(2023 W8.1b)
説明	データ利用者は、水に関する目標が、貴組織の活動に関連する依存、影響、リスク、機会と関連しているかどうか、また、これらの目標に向けた進捗状況を理解したいと考えています。
回答オプション	以下の表を完成させてください。表は見やすくするために数行にわたって表示されています。複数のターゲットがある場合は、表の下にある「行を追加」ボタンを使って行を追加することができます。

1	2	3	4	5	6	7
目標参照番号	対象カテゴリー	対象範囲	定量的指標	目標設定日	基準年終了日	基準年の数字

選択肢: • 参照番号ド ロップダウン	選択肢: • 水質汚染 • 取水量 • 水と衛生(WASH) サービス • 水使用量 • 製品水強度 • 水のリサイクル/ 再利用 • 水使用効率 • 水使用のモニタリ ング • 製品使用段階 • 地域社会とのエン ゲージメント • サプライヤー・エン ゲージメント • 流域の修復と生息 地の回復、生態系 の保全 • その他、具体的に	選択肢: • 組織全体(直接 操業のみ) • 組織全体(サブ ライヤーを含 む) • 事業部門 • 事業活動 • サイト/施設 • 製品レベル • 国・地域 • 流域レベル • サプライヤー • その他、具体的 に	選択肢: • 表の下のド ロップダウン メニュー	[DD/MM/YYYY]	[DD/MM/YYYY]	数値記入欄[0 から 999,999,999 ,999,999 まで の数値を小数点 以下 2 桁以内で 入力]。
---------------------------	--	---	-----------------------------------	--------------	--------------	--

8	9	10	11	12	13
目標年終了日	目標年の数字	報告年の数字	報告年の目標状況	基準年に対する目標達成率	本目標に沿った、あるいは本目標が支援する地球環境条約/イニシアティブ/枠組み
[DD/MM/YYYY]	数値記入欄[0 から 999,999,999,999,999 までの数値を小数点以下 2 桁以内で入力]。	数値記入欄[0 から 999,999,999,999,999 までの数値を小数点以下 2 桁以内で入力]。	選択肢: • 新規 • 進行中 • 達成 • 達成と維持 • 期限切れ • 改訂 • 置き換え • 取り下げ	[自動計算]	該当するものをすべて選んでください: • フェア・ウォーター・フットプリント • 昆明-モンリオール生物多様性枠組み • プラネタリーバウンダリー • 自然に関する科学に基づく目標 • 持続可能な開発目標6 • ウォーター・レジリエンス連合 • 廃水ゼロへのコミットメント • 有害化学物質の排出ゼロ (ZDHC) • なし、整合性を評価していない • なし、評価したが整合していない • その他、具体的に

14	15	16	17
対象範囲を説明し、除外項目を特定する	目標達成のための計画および報告年度末までの進捗状況	この目標の達成または維持に最も貢献した行動	目標の詳細

文章記入欄[最大 1,000 文字]	文章記入欄[最大 1,000 文字]	文章記入欄[最大 1,000 文字]	文章記入欄[最大 1,500 文字]
-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------

定量的指標(4 列目)	
<p>地域社会とのエンゲージメント</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域社会参加活動への参加人口の増加 地域社会参画イニシアチブへの投資の増加 その他の地域社会とのエンゲージメント(具体的にご記入ください) <p>水使用のモニタリング</p> <ul style="list-style-type: none"> 総取水量をモニタリングする施設の割合の増加 水源別の取水量をモニタリングしている施設の割合の増加 水のリサイクル/再利用をモニタリングしている施設の割合の増加 総排水量を監視する施設の割合の増加 ハウスイ先別に排水をモニタリングしている事業所の割合の増加 排水の水質をモニタリングしている施設の割合の増加-処理方法別 放流水水質をモニタリングしている施設の割合の増加 - 標準放流水パラメータ別 放流水水質(温度)をモニタリングする施設の割合の増加 水使用総量をモニタリングしている事業所の割合の増加 施設および事業所周辺において、従業員が安全に管理された飲料水および衛生サービスを利用できるよう監視している事業所の割合の増加 施設および事業所周辺において、住民が安全に管理された飲料水および衛生設備にアクセスできることを監視する事業所の割合の増加 その他のモニタリング用水の使用、具体的に <p>製品使用段階</p> <ul style="list-style-type: none"> 使用段階での資源効率に配慮した製品による収益の増加 水質汚染製品に関連する総収入の減少 その他の製品使用段階、具体的に <p>製品の水原単位</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業単位あたりの削減額 売上あたりの削減額 製品あたりの削減額 単位生産量当たりの削減量 製品水使用量に関連する投資の増加 水使用量の増加は、リサイクル/再利用によって賄われる その他の製品の強度、具体的に <p>サプライヤー・エンゲージメント</p> <ul style="list-style-type: none"> エンゲージメントするサプライヤーの割合の増加 エンゲージメントするサプライヤー数の増加 サプライヤー・エンゲージメント・イニシアチブへの投資の増加 水関連要件を遵守するサプライヤーの割合の増加 	<p>水質汚染</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全に処理される廃水の割合の増加 放水量の削減 事業単位あたりの水排出量の削減 収入あたりの排水量の削減 製品1個当たりの排水量削減 単位生産量当たりの水排出量の削減 汚染物質の濃度低減 有害物質の使用削減 有害物質からより有害性の低い物質への代替 水使用量の増加は、リサイクル/再利用によって賄われる 水質汚染削減関連投資の増加 その他の水質汚染、具体的に <p>水のリサイクル/再利用</p> <ul style="list-style-type: none"> 水使用量の増加は、リサイクル/再利用によって賄われる 水のリサイクル/再利用関連投資の増加 その他の水のリサイクル/再利用(具体的に) <p>水使用効率</p> <ul style="list-style-type: none"> 総取水量の削減 地表水からの取水量の削減 地下水からの取水量の削減 自治体の給水源やその他の第三者水源からの取水量の削減 取水効率の向上(=取水量あたりの売上増) 総排水量の削減 リサイクル/再利用による水使用量の増加 その他の水使用効率(具体的に) <p>取水量</p> <ul style="list-style-type: none"> 総取水量の削減 表流水からの取水量の削減 地下水からの取水量の削減 自治体の給水源やその他の第三者水源からの取水量の削減 雨水利用の増加 水使用量の増加は、リサイクル/再利用によって賄われる 事業単位当たりの引き出しの減少 収入あたりの引き出しの減少 製品ごとの引き出しの減少 生産量当たりの取水量の削減 取水量削減関連投資の増加 その他の取水、具体的に <p>水と衛生(WASH)サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全に管理された飲料水サービスを利用する従業員の割合の増加

<ul style="list-style-type: none"> その他のサプライヤーとのエンゲージメント、具体的に <p>水使用量</p> <ul style="list-style-type: none"> 総水使用量の削減 事業単位あたりの削減額 収益あたりの削減額 製品あたりの削減額 単位生産量当たりの削減量 水使用量削減関連投資の増加 その他の水使用量(具体的に 	<ul style="list-style-type: none"> 石鹸と水による手洗い施設を含む、安全に管理された衛生サービスを利用する従業員の割合の増加 当社の施設や事業所周辺で、安全に管理された飲料水サービスを利用する地域住民の割合の増加 施設や事業所の周辺に石鹸と水を備えた手洗い施設を設けるなど、安全な衛生管理サービスを利用する地域住民の割合の増加 その他のWASH、具体的に <p>流域の修復と生息地の回復、生態系の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> 流域の修復と生息地の回復、生態系の保全活動の増加 水関連生態系の健全性の経年的改善 流域の修復と生息地の回復、生態系保全活動への投資の増加 その他 流域の修復と生息地の回復、生態系の保全 具体的に記述してください <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> その他、具体的に
---	---

(9.15.3)水に関する目標を設定していない理由と、今後設定する計画を教えてください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、9.15 で「いいえ」を選択した場合のみ表示されます。
前年との比較	変更なし(2023 W8.1c)
説明	投資家は、特に水への依存が高い組織や重大な水リスクがある組織について、水関連の目標を設定していない理由を説明してほしいと考えています。
回答オプション	以下の表に記入してください:

1	2
主な理由	説明してください
選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 今後2年以内に目標を導入する予定である。 重要だが、緊急のビジネス優先事項ではない 重要でないと判断、説明あり 社内リソースの不足 操業に関するデータが不十分 経営陣からの指示なし その他、具体的に 	文章記入欄[最大 1,500 文字]

モジュール 10: 環境パフォーマンス - プラスチック

モジュール概要

モジュール概要	<p>プラスチック汚染と廃棄物に取り組むことは、世界の海洋、淡水、陸上の生態系、そして経済と地域社会を守るために重要である。</p> <p>このモジュールには、プラスチック関連の目標や活動に関する質問が含まれています。また、プラスチックポリマー、耐久消費財・部品、プラスチック包装材については、総重量、原材料含有量、循環可能性(包装材のみ)に関する指標があり、プラスチックのライフサイクル全体をカバーするために、使用済み製品管理に関する設問もあります。</p> <p>これらの質問は、エレン・マッカーサー財団と国連環境計画のグローバル・コミットメント・フレームワーク、WWF ReSource Tracker、ESRS、GRI 306 を含む、既存のプラスチック情報開示の枠組み、基準、ガイドラインを参考にしています。</p> <p>これにより、意思決定者は、世界経済全体におけるプラスチックの生産、商業化、使用、廃棄に関する明確かつ包括的で比較可能なデータを得ることができます。</p>
---------	--

目標

(10.1)プラスチック関連の目標を設定していますか、設定している場合、どのようなものですか。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、1.24.1 の「プラスチックのマッピング」欄で「はい...」を選択した場合のみ表示されます。
前年との比較	質問の修正(2023 W10.4)
説明	組織は、プラスチックに関連する依存、影響、リスク、機会に対処する目標を設定し、進捗させる必要があります。この質問により、組織はデータ利用者に対して、プラスチック使用量の削減、プラスチック中のバージン含有量の削減または排除、問題のある不要なプラスチックの排除、再利用システムへの移行、マイクロプラスチック排出量の削減、循環性の向上に対するコミットメントを示すことができます。
回答オプション	以下の表に記入してください:

1	2a	2b	3
目標設定	目標の種類	目標指標	説明してください
選択肢: <ul style="list-style-type: none"> はい いいえ、しかし今後 2 年以内に計画しています 今後 2 年間は予定していません 	該当するものをすべて選んでください: <ul style="list-style-type: none"> プラスチックポリマー プラスチック包装 プラスチック製品 マイクロプラスチック End-of-Life 管理 拡大生産者責任(EPR) その他 	該当するものをすべて選んでください: プラスチックポリマー <ul style="list-style-type: none"> 生産・販売するプラスチックポリマーのバージンプラスチックの総重量を削減する。 生産・販売するプラスチックポリマーに占める、消費者使用後のリサイクル材の割合を増やす。 有害物質の使用を削減または排除する。 再利用、リサイクル、廃棄に支障をきたすような性質を 	文章記入欄[最大 5,000 文字]

		<p>持つポリマーの使用を減らす。</p> <ul style="list-style-type: none"> • その他のプラスチックポリマー <p>プラスチック包装</p> <ul style="list-style-type: none"> • 使用および/または生産されるプラスチック包装の総重量を削減する。 • 問題のある不必要なプラスチック包装を排除する • 使い捨てプラスチック包装の廃止 • プラスチック包装のバージンコンテンツの総重量を削減する。 • プラスチック包装材に占める消費者使用後の再生資源の割合を増やす。 • プラスチック包装に占める、責任を持って管理された供給源からの再生可能な原材料の割合を増やす。 • リサイクル可能なプラスチック包装の割合を実際のかつ大規模に増やす。 • 再利用可能なプラスチック包装の割合を増やす。 • 堆肥化可能なプラスチック包装の割合を増やす。 • 有害物質の使用を削減または排除する。 • その他のプラスチック包装対象、具体的に <p>プラスチック製品</p> <ul style="list-style-type: none"> • 使い捨てプラスチック製品の廃止 • 製品に含まれるプラスチックの総重量を削減する。 • 再利用可能なプラスチック製品・コモディティの割合を増やす。 • 製品に含まれる問題のある不要なプラスチックを排除する。 • 製品に含まれるバージンプラスチックの総重量を削減する。 • プラスチック製品に含まれる、消費者使用後の再生材の割合を増やす。 • プラスチック製品に占める、責任を持って管理された供給源からの再生可能な原材料の割合を増やす。 • リサイクル可能なコモディティ／製品の割合を実際のかつ大規模に増やす。 • 堆肥化可能なコモディティ／製品の割合を増やす 	
--	--	--	--

		<ul style="list-style-type: none"> • その他のプラスチック製品、製品対象、具体的に記入 <p>マイクロプラスチック</p> <ul style="list-style-type: none"> • 一次マイクロプラスチックとプラスチック粒子の使用を排除する。 • マイクロプラスチックやプラスチック粒子の放出の可能性を減らす。 • その他のマイクロプラスチックの対象、具体的に <p>End-of-Life 管理</p> <ul style="list-style-type: none"> • 回収、分別、リサイクルするリサイクル可能なプラスチック廃棄物の割合を増やす。 • 回収、分別、リサイクルされるリサイクル可能なプラスチック廃棄物の割合を増やす。 • 再利用または堆肥化されるプラスチック廃棄物の割合を増やす。 • 埋め立てや焼却に回されるプラスチック廃棄物の割合を減らす。 • 誤処理されたプラスチック廃棄物の割合を減らす。 • その他の使用済み製品管理目標(具体的に記入ください) <p>拡大生産者責任(EPR)</p> <ul style="list-style-type: none"> • EPR 方針およびスキームへの確実な準拠 • エコデザイン要件への準拠 • その他の拡大生産者責任目標(具体的に記入ください) <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> • その他、具体的に 	
--	--	---	--

[固定列]

活動内容

(10.2)貴組織が以下の活動を行っているかどうかを説明してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、1.24.1の「プラスチックのマッピング」欄で「はい...」を選択した場合のみ表示されません。 この質問に対する貴組織の回答によって、それ以降に提示される質問が決まります。10.2への回答が修正された場合、それらの後続の質問のデータは消去されることがあります。

前年との比較	質問の修正(2023 W10.5)
説明	プラスチックの生産、商業化、使用に関連するさまざまな活動が、さまざまな依存、影響、リスク、機会をもたらす可能性があります。この質問により、データ利用者はこのモジュールで提供された情報を文脈化することができます。
回答オプション	以下の表に記入してください:

0	1	2
活動	活動が適用される	コメント
プラスチックポリマーの製造/商業化 (プラスチックコンバーターを含む)	選択肢: • はい • いいえ	文章記入欄[最大 2,000 文字]
耐久性のあるプラスチック製品および/ または部品(混合材料を含む)の製造/ 商業化		
耐久性プラスチック製品および/または 部品(混合材料を含む)の使用量		
プラスチック包装の製造/商業化		
プラスチックで包装された製品の生産/ 商業化		
プラスチック包装を使用するサービスの 提供/商業化(フードサービスなど)		
廃棄物管理および/または水管理サー ビスの提供		
プラスチック関連の金融コモディティお よび/またはサービスの提供		
その他の活動		

[固定列]

プラスチックポリマーの指標

(10.3) 販売したプラスチックポリマーの総重量を記入し、原材料の含有量を示してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、10.2の行「プラスチックポリマーの製造/商業化(プラスチックコンバーターを含む)」の「該当する活動」の欄で「はい」を選択した場合にのみ表示されます。
前年との比較	質問の修正(2023 W10.6)
説明	プラスチックポリマーを製造するために使用する原材料の種類と量をモニタリングしている組織は、プラスチック関連の依存、影響、リスク、機会をよりよく理解することができます、その結果、販売されるプラスチックの循環性を高めるための行動をとることができます
回答オプション	以下の表に記入してください:

1	2	3	4	5	6	7
報告年に販売したプラスチックポリマーの総重量(トン)	報告可能な原材料の含有率	含まれるバージョンの化石燃料ベースの割合	含まれるバージョンの再生可能ベース材料の割合	含まれるポストインダストリアルリサイクル材料の割合	含まれるポストコンシューマールリサイクル材料の割合	説明してください
数値記入欄[0~999,999,999,999の数値を小数点以下2桁以内で入力]。	該当するものすべてを選んでください:	パーセンテージ欄[小数点以下2桁以内で0	パーセンテージ欄[小数点以下2桁以内で0	パーセンテージ欄[小数点以下2桁以内で0	パーセンテージ欄[小数点以下2桁以内で0	文章記入欄[最大 1,000 文字]

	<ul style="list-style-type: none"> 含まれるバージンの化石燃料ベースの割合 含まれるバージンの再生ベースの割合 含まれるポストインダストリアルリサイクル材料の割合 含まれるポストコンシューマーリサイクル材料の割合なし 	~100の数値を入力]。	~100の数値を入力]。	~100の数値を入力]。	~100の数値を入力]。	
--	---	--------------	--------------	--------------	--------------	--

[固定列]

耐久消費財および耐久消費財部品の指標

(10.4)生産、販売、および/または使用されたプラスチック製耐久消費財および耐久消費財部品の総重量とそれに含まれる原料を具体的にお答えください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、10.2の「耐久性プラスチック製品および/または部品(混合材料を含む)の生産/商業化」および「耐久性プラスチック製品および/または部品(混合材料を含む)の使用」の行の「該当する活動」の欄で「はい」を選択した場合にのみ表示されます。
前年との比較	質問の修正(2023 W10.7)
説明	販売および/または使用するプラスチック製耐久消費財や耐久消費財部品の量と内容をモニタリングしている組織は、プラスチックに関連する依存、影響、リスク、機会をよりよく理解することができ、化石燃料由来のバージン材使用を削減する可能性が高まります。
回答オプション	以下の表に記入してください:

0	1	2	3	4	5
アクティビティ	報告年度中の総重量(メートル・トン)	報告可能な原材料の含有率	含まれるバージンの化石燃料ベースの割合	含まれるバージンの再生可能ベース材料の割合	含まれるポストインダストリアルリサイクル材料の割合
販売された耐久消費財および耐久消費財部品	数値記入欄[0~999,999,999,999の数値を小数点以下2桁以内で入力]。	該当するものをすべて選んでください: <ul style="list-style-type: none"> 含まれるバージンの化石燃料ベースの割合 含まれるバージンの再生ベースの割合 含まれるポストインダストリアルリサイクル材料の割合 	パーセンテージ欄[小数点以下2桁以内で0~100の数値を入力]。	パーセンテージ欄[小数点以下2桁以内で0~100の数値を入力]。	パーセンテージ欄[小数点以下2桁以内で0~100の数値を入力]。

		<ul style="list-style-type: none"> 含まれるポストコンシューマーリサイクル材料の割合なし 			
使用された耐久財および耐久部品					

6	7
含まれるポストコンシューマーリサイクル材料の割合	説明してください
パーセンテージ欄[小数点以下 2 桁以内で 0~100 の数値を入力]。	文章記入欄[最大 1,000 文字]

[固定列]

プラスチック包装の指標

(10.5) 販売および/または使用したプラスチック包装材の総重量を記入し、原材料の含有量を示してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、「該当する活動」の欄で「はい」を選択した場合にのみ表示されます。この質問は、質問 10.2 の「プラスチック製包装材の生産/商業化」、「プラスチック製包装材で包装されたコモディティ/製品の生産/商業化」、および/または「プラスチック製包装材を使用するサービスの提供/商業化(例: フードサービス)」の行の「該当する活動」の欄で「はい」を選択した場合にのみ表示されます。
前年との比較	質問の修正(2023 W10.8)
説明	使用または販売するプラスチック包装の量と内容をモニタリングしている組織は、プラスチック関連の依存、影響、リスク、機会をよりよく理解することができ、化石燃料由来のバージン材の使用を削減する可能性を高めることができます。
回答オプション	以下の表に記入してください:

0	1	2	3	4	5
活動	報告年中の総重量(トン)	報告可能な原材料の含有率	含まれるバージンの化石燃料ベースの割合	含まれるバージンの再生可能ベース材料の割合	含まれるポストインダストリアルリサイクル材料の割合
プラスチック包装の販売	数値記入欄[0~999,999,999,999 の数値を小数点以下 2 桁以内で入力]。	該当するものをすべて選んでください: <ul style="list-style-type: none"> 含まれるバージンの化石燃料ベースの割合 含まれるバージンの再生可能ベースの割合 含まれるポストインダストリアルリ 	パーセンテージ欄[小数点以下 2 桁以内で 0~100 の数値を入力]。	パーセンテージ欄[小数点以下 2 桁以内で 0~100 の数値を入力]。	パーセンテージ欄[小数点以下 2 桁以内で 0~100 の数値を入力]。

		サイクル材料の割合 ・ 含まれるポストコンシューマーリサイクル材料の割合なし			
使用したプラスチック包装					

表は続く...

6	7
含まれるポストコンシューマーリサイクル材料の割合	説明してください
パーセンテージ欄[小数点以下2桁以内で0~100の数値を入力]。	文章記入欄[最大1,000文字]

[固定列]

(10.5.1)販売および/または使用したプラスチック包装材の循環性を回答してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、「該当する活動」の欄で「はい」を選択した場合にのみ表示されます。この質問は、質問10.2 項の「プラスチック製包装材の生産/商業化」、「プラスチック製包装材で包装されたコモディティ/製品の生産/商業化」、および/または「プラスチック製包装材を使用するサービスの提供/商業化(例:フードサービス)」の行の「該当する活動」の欄で「はい」を選択した場合にのみ表示されます。
前年との比較	変更なし(2023 W10.8a)
説明	プラスチック包装の再利用可能性とリサイクル可能性をモニタリングしている企業は、循環可能な包装の割合を増やし、プラスチック汚染の危機に取り組むというコミットメントを示しています。
回答オプション	以下の表に記入してください

0	1	2	3	4	5
活動	循環性として報告可能な割合	再利用可能なプラスチック包装の割合	技術的にリサイクル可能なプラスチック包装の割合	規模に応じた、かつ実際にリサイクル可能なプラスチック包装材の割合	説明してください
プラスチック包装の販売	該当するものをすべて選んでください： <ul style="list-style-type: none"> 再利用可能な割合 技術的にリサイクル可能な割合 規模に応じた、かつ実際にリサイクル可能な割合 なし 	パーセンテージ欄 [小数点以下2桁以内で0~100の数値を入力]。	パーセンテージ欄 [小数点以下2桁以内で0~100の数値を入力]。	パーセンテージ欄 [小数点以下2桁以内で0~100の数値を入力]。	文章記入欄 [最大1,000文字]
プラスチック包装の使用					

使用済み製品管理のための指標

(10.6) 貴社が生産、販売、使用、および/または加工するプラスチックから発生する廃棄物の総重量を記入し、End-of-Life 管理経路を示してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、1.24.1の「マッピングの対象となるバリューチェーンステージ」欄で「使用済み製品管理」を選択した場合にのみ表示されます。
前年との比較	新規質問
説明	プラスチックを生産、販売、使用、加工している組織にとって、プラスチック汚染に取り組むための重要なステップは、プラスチックのEnd-of-Life管理を理解することである。この質問では、組織が排出するプラスチック廃棄物の量と、廃棄物ヒエラルキーに沿った進捗を推進するための管理方法を示すことができます。
回答オプション	以下の表に記入してください：

0	1	2	3	4	5
活動	報告年度中に発生した廃棄物の総重量(トン)	報告可能な End-of-Life 管理経路	再利用のための準備割合	リサイクル割合	コンポスト(工業用/家庭用)割合
プラスチックの生産	数値記入欄 [0~999,999,999,999 の数値を小数点以下2桁以内で入力]。	該当するものをすべて選んでください： <ul style="list-style-type: none"> 再利用の準備 リサイクル コンポスト (産業用/家庭用) 廃棄物発電 	パーセンテージ欄 [小数点以下2桁以内で0~100の数値を入力]。	パーセンテージ欄 [小数点以下2桁以内で0~100の数値を入力]。	パーセンテージ欄 [小数点以下2桁以内で0~100の数値を入力]。

		<ul style="list-style-type: none"> • 焼却 • 埋立地 • 廃棄物の不始末 • リークージ • その他の End-of-Life 管理経路(具体的にご記入ください) 			
プラスチックの販売					
プラスチックの使用					
プラスチック廃棄物の処理					

6	7	8	9	10	11	12
廃棄物発電割合	焼却割合	埋め立て割合	廃棄物の不始末の割合	リークージ割合	その他	説明してください
パーセンテージ欄[小数点以下2桁以内で0~100の数値を入力]。	パーセンテージ欄[小数点以下2桁以内で0~100の数値を入力]。	パーセンテージ欄[小数点以下2桁以内で0~100の数値を入力]。	パーセンテージ欄[小数点以下2桁以内で0~100の数値を入力]。	パーセンテージ欄[小数点以下2桁以内で0~100の数値を入力]。	パーセンテージ欄[小数点以下2桁以内で0~100の数値を入力]。	文章記入欄[最大1,000文字]

[固定列]

モジュール 11:環境パフォーマンス - 生物多様性

モジュール概要

モジュール概要	<p>本モジュールで開示されるデータは、生物多様性とビジネスのれし離縁すとの相互依存関係の理解に役立ちます。金融機関が投資戦略を策定し、バリューチェーン全体を通じてリスクにさらされている森林や生物多様性の喪失に対処するために、組織と効果的に関わることを可能にする生物多様性関連データへの需要が高まっています</p> <p>生物多様性を保全または改善するための行動に関する開示は、組織がそのコミットメントの妥当性と有効性を評価し、事業慣行の生物多様性に関連するリスクと影響を検討するのに役立ちます。</p> <p>このモジュールには、除外項目、生物多様性に関するコミットメント、生物多様性指標、生物多様性にとって重要な地域、土地資源と土地攪乱に関する質問が含まれています。</p>
---------	---

生物多様性に関するコミットメントに関する行動

11.2 生物多様性に関するコミットメントを進展させるために、貴組織は報告年にどのような行動を取りましたか。

質問内容	
前年との比較	変更なし(2023 C15.5)
説明	この設問は、企業が特定し、取り組むことを約束した課題への取り組みを通じて、生物多様性のビジョンと野心をどのように達成しているかを示すものです。この設問への回答は、IUCNの「 企業の生物多様性実績の計画とモニタリングのためのガイドライン 」の「ステージ2:野心」の要件に沿ったものであり、企業が生物多様性の目標と目的を策定し、実現することを推奨しています。
回答オプション	以下の表に記入してください

1	2
生物多様性関連コミットメントを進展させるために報告対象期間に行動を取りましたか。	生物多様性関連コミットメントを進展させるために実施した行動の種類
<p>選択肢:</p> <ul style="list-style-type: none"> はい、生物多様性関連コミットメントを進展させるために措置を講じています いいえ、生物多様性関連コミットメントを進展させるために措置を講じていません いいえ、生物多様性関連コミットメントを進展させるために措置を講じていませんが、今後2年以内にそうする予定です いいえ、そして生物多様性関連の行動に着手する予定はありません 	<p>該当するものをすべて選んでください:</p> <ul style="list-style-type: none"> 土地/水の保護 土地/水管理 生物種の管理 教育と意識向上 法律と政策 生活、経済、その他のインセンティブ その他、具体的に

生物多様性指標

11.3 貴組織は、活動全体のパフォーマンスをモニタリングするために生物多様性指標を使用していますか。

質問内容	
前年との比較	変更なし(2023 C15.6)
説明	堅牢な指標は、異なる活動や地域からのデータの集約を可能にすることにより、生物多様性への影響を企業レベルで評価するために不可欠である。 この設問では、組織が生物多様性の目標や目的に対する進捗を追跡し、介入の成功を評価するために指標を使用していることを示すことができる。 この質問に対する回答は、IUCN の「 企業の生物多様性実績の計画とモニタリングのためのガイドライン 」の「ステージ 3: 指標」の要件に沿ったものであり、企業は、学習と改善を促す生物多様性データを収集、共有、分析することを推奨しています。
回答オプション	以下の表に記入してください:

貴組織では、生物多様性のパフォーマンスを監視するために指標を使用していますか。	生物多様性のパフォーマンスをモニタリングするための指標
選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • はい。 • いいえ、指標は使用していませんが、今後 2 年以内に使用する予定です。 • いいえ 	該当するものをすべて選んでください: <ul style="list-style-type: none"> • 状態と便益の指標 • 外部圧力の指標 • 対応の指標 • その他、具体的に

生物多様性にとって重要な地域

11.4 貴組織は、報告年度において、生物多様性にとって重要な地域またはその近くで活動を行っていますか。

質問内容	
前年との比較	修正問題 (2023 C15.4, C15.4a, F-MM9.3/F-CO9.3)
説明	生物多様性にとって重要な地域と組織の活動が近接していることを認識することは、両者の関係を理解していることを示します。この認識により、生物多様性にとって重要な地域に対する組織の活動の潜在的な悪影響を緩和することができます。
回答オプション	以下の表に記入してください:

0	1	2
生物多様性にとって重要な地域の種類	貴組織の活動が、生物多様性にとって重要なこの種の地域内または近隣にありますか	コメント
法的保護地域	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • はい • はい(部分的に評価) • いいえ • 未評価 • データなし 	文章記入欄[最大 2,500 文字]
ユネスコ世界遺産		
ユネスコ人間と生物圏保護区		

ラムサール条約登録地		
生物多様性重要地域(KBA)		
生物多様性にとって重要なその他の地域		

11.4.1 報告年度における、生物多様性にとって重要な地域またはその近隣における組織の活動の詳細を示す

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、11.4 のいずれかの行の1列目「組織の活動が、生物多様性にとって重要なこの種の地域内またはその近傍にありますか」で「はい」または「はい(部分的に評価)」を選択した場合にのみ表示されます
前年との比較	変更された質問(2023 C15.4a、F-MM9.3a/F-CO9.3a)
説明	自組織の活動が生物多様性にとって重要な地域に近接していることを認識することは、両者の関係を理解していることを示します。そのような地域と貴組織の活動の近接性に関する情報は、潜在的なリスクについて投資家や他のデータ利用者に洞察を提供します。また、この問題に関連するコミットメントや行動に関して、組織に何を期待すればよいかをより理解しやすくなります。このような認識により、組織は生物多様性にとって重要な地域に対する活動の潜在的な悪影響を軽減することができます。
回答オプション	以下の表に記入してください。表の下にある「行を追加」ボタンを使って行を追加することができます。

2	3	4	5	6
生物多様性にとって重要な地域の種類	保護地域カテゴリー(IUCN 分類)	国・地域	生物多様性にとって重要な地域の名称	近接性
該当するものをすべて選んでください: <ul style="list-style-type: none"> 法的保護地域 ユネスコ世界遺産 ユネスコ人間と生物圏保護区 ラムサール条約登録地 生物多様性重要地域 生物多様性にとって重要なその他の地域 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> カテゴリーIa-III カテゴリーIV~VI 不明 該当なし 	選択肢: [国・地域一覧]	文章記入欄[最大500文字]	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 該当している 隣接している 5kmまで 10kmまで 最大25km 最大50km 最大70km データなし

7	8	9	10	11
重複面積(ヘクタール)	選択された地域またはその近隣地域における、報告年における貴団体の活動について簡潔に説明してください。	選択した地域またはその近隣にある組織の活動が、生物多様性に悪影響を及ぼす可能性がありますか	選択された地域内で実施された緩和策	選択した地域内またはその近隣にある組織の活動が、生物多様性にどのような悪影響を及ぼす可能性があるか、それをどのように評価し、実施した緩和策を説明してください
数値記入欄[小数点以下2桁以内で0~999,999の数値を入力]。	文章記入欄[最大2,500文字]	選択肢: あるが、緩和策が実施されている	該当するものをすべて選んでください: 用地選定 プロジェクト設定	文章記入欄[最大3,000文字]

		あるが、緩和策は実施されて いない いいえ 未評価	スケジュール設定 物理的コントロール 業務管理 軽減策 復元 生物多様性オフセット その他、具体的に	
--	--	------------------------------------	--	--

モジュール 13: 詳細情報・最終承認

モジュール概要

モジュール概要	<p>検証と保証は、開示されたデータとプロセスの質を保証するため、環境報告におけるグッドプラクティスです。このモジュールには、CDP回答で提供された環境情報の検証に関する質問が含まれています。この情報は、データ利用者に、貴組織の回答の品質と信頼性に対する信頼を与えます。</p> <p>このモジュールには、回答への最終承認や、必要であればさらなる情報を提供するための質問も含まれています。</p>
---------	--

(13.1) CDP 回答に含まれる環境情報(7.9.1/2/3、8.9.1/2/3/4、9.3.2 で報告済みでないもの)が、第三者によって検証および/または保証されていますか。

質問内容	
前年との比較	修正問題(2023 C10.2、F7.1、F-MM16.1/F-CO16.1、W9.1)
説明	この情報は、データ利用者に対する、貴組織の回答の質と信頼性を高めます。CDP は、第三者による検証・保証を環境報告におけるグッドプラクティスとして支持しています。この質問により、主要な組織は、これに関する取り組みを報告し、投資家や購買組織が関心を持つ検証・保証の傾向を強調することができます。CDP はまた、新たな基準や規制への準拠を実証するために、第三者によって検証された信頼性の高い環境データを開示することの重要性が組織にとって高まっていることを認識しています。

1	2	3
CDP 回答に含まれるその他の環境情報は、第三者によって検証および/または保証されていますか	CDP 回答に含まれるその他の環境情報が第三者によって検証および/または保証されていない主な理由	CDP 回答に含まれるその他の環境情報が、第三者によって検証および/または保証されていない理由を説明してください。
選択肢: <ul style="list-style-type: none"> はい 現在、第三者による検証/保証が進行中である。 いいえ。しかし、今後 2 年以内に、CDP の回答におけるその他の環境情報について、第三者による検証/保証を得る予定です。 また、今後 2 年以内に、CDP の回答におけるその他の環境情報について、第三者による検証/保証を受ける予定はない。 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 社内のリソース、能力、専門知識の不足(組織の規模によるものなど) 標準化された手順なし 当面の戦略的優先事項ではない 重要でない、関係ないと判断された その他、具体的に 	文章記入欄[最大 2,000 文字]

[固定列]

(13.1.1) CDP の回答のうち、第三者によって検証および/または保証されているデータポイントはどれか、またどの基準を使用したか、示してください。

質問内容	
他の質問との関連性	この質問は、13.1「CDP 回答に含まれるその他の環境情報は第三者によって検証されている」の欄で「はい」または「第三者による検証/保証は現在進行中です」を選択した場合にのみ表示されます。

前年との比較	変更された質問(2023 C10.2a、F7.1a、F-MM16.1a/F-CO16.1a、W9.1a)
説明	この情報により、データ利用者は、組織の CDP 対応のどの要素が認定された第三者によって検証／保証されたかを理解することができます。

1	2	3	4	5
データの検証および/または保証が行われた環境課題	検証および/または保証を受けた情報開示モジュールとデータ	検証／保証基準	第三者検証／保証プロセスの詳細	検証／保証の証拠／報告書を添付する(任意)
<p>該当するものをすべて選んでください:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 気候変動 ● フォレスト ● ウォーター ● プラスチック ● 生物多様性 	<p>選択肢:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 1: イントロダクション ● 2: 依存、影響、リスク、機会の特定、評価、管理 ● 3: リスクと機会の開示 ● 4: ガバナンス ● 5: 事業戦略 ● 6: 環境パフォーマンス - 連結アプローチ ● 7: 環境パフォーマンス - 気候変動 ● 8: 環境パフォーマンス - フォレスト ● 9: 環境パフォーマンス - ウォーター ● 10: 環境パフォーマンス - プラスチック ● 11: 環境パフォーマンス - 生物多様性 ● 12: 環境パフォーマンス - 金融サービス ● CDP の回答の全データポイント 	<p>該当するものをすべて選んでください:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 一般規格 ● ウォーター関連基準 ● フォレスト関連基準 ● 気候変動関連基準 ● プラスチック関連規格 ● 生物多様性関連基準 	<p>文章記入欄[最大 2,000 文字]</p>	<p>[ファイル添付]</p>

[行を追加]

検証および/または保証を受けた情報開示モジュールとデータ(2 列目)	
<p>イントロダクション</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 施設の地理情報データ[W のみ]、[SC のみ] ● モジュール 1 の全データポイント ● モジュール 1 のその他のデータポイント、具体的に <p>依存、影響、リスク、機会の特定、評価、管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ● テーリングダム[W のみ]、[MM/CO のみ]の分類 ● 優先知己の特定[F、W、B のみ] ● 識別、評価、管理プロセス ● モジュール 2 の全データポイント ● モジュール 2 のその他のデータポイント、具体的に <p>リスクと機会の開示</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 環境機会の財務的影響[CC、F、W、B のみ] ● 環境リスクの財務的影響 ● 河川流域別リスク・エクスポージャー[W のみ] ● モジュール 3 の全データポイント ● モジュール 3 のその他のデータポイント、具体的に <p>ガバナンス</p>	<p>環境パフォーマンス - フォレスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 生態系の回復と長期保護プロジェクト ● 調達量の原産地 ● トレーサビリティ・データ ● モジュール 8 の全データポイント ● モジュール 8 のその他のデータポイント、具体的に <p>環境パフォーマンス - ウォーター</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 報告年における水域への排水量 ● 水に関する依存、影響、リスク、機会を有する施設 ● 有害物質を含む製品に関する収益 ● 水ストレス地域からの取水量(メガリットル) ● 水使用量-総量 ● 総排水量 ● 排水 - 放流先別排出量 ● 排水 - 処理方法別排水量 ● 製品およびサービスの水原単位 ● 取水量-総量 ● 水源別取水量 ● モジュール 9 の全データポイント

<ul style="list-style-type: none"> ● 環境方針[CC、F、W、Bのみ] ● モジュール 4 の全データポイント ● モジュール 4 のその他のデータポイント、具体的に <p>事業戦略</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 環境外部性のインターナルプライシング[CC、Wのみ] ● シナリオ分析[CC、F、Wのみ] ● サプライヤーによる環境要求事項の遵守[CC、F、W、Pのみ] ● サステナブルファイナンス・タクソノミー 支出／収益の整合性[CCのみ] ● 移行計画[CCのみ] ● モジュール 5 の全データポイント ● モジュール 5 のその他のデータポイント、具体的に <p>環境パフォーマンス - 連結アプローチ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 連結アプローチ ● モジュール 6 の全データポイント ● モジュール 6 のその他のデータポイント、具体的に <p>環境パフォーマンス - 気候変動</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 顧客への排出量の割り当て[SCのみ] ● 基準年排出量 ● 炭素除去 ● 電気／熱／蒸気／冷熱消費量 ● 電気／蒸気／熱／冷熱の生成 ● 事業部門別排出量内訳 ● 国・地域別排出量内訳 ● 排出削減の取り組み／活動 ● エネルギー属性証明書(EAC) ● 燃料消費量 ● メタン排出量 ● 製品フットプリント ● 目標に対する進捗状況 ● プロジェクトベースの炭素クレジット ● 再生可能な電力／蒸気／熱／冷熱の消費量 ● 再生可能電力／蒸気／熱／冷熱の生成量 ● 再生可能燃料消費量 ● 目標設定方法 ● 廃棄物データ ● 排出量総量の前年との比較変化(スコープ 1 と 2) ● 排出量総量の前年との比較変化(スコープ 3) ● 排出原単位の前年との比較変化(スコープ 1 と 2) ● 排出原単位の前年との比較変化(スコープ 3) ● 土地利用変化排出量の前年との比較変化 ● モジュール 7 の全データポイント ● モジュール 7 のその他のデータポイント、具体的に 	<ul style="list-style-type: none"> ● モジュール 9 のその他のデータポイント、具体的に <p>環境性能 - プラスチック</p> <ul style="list-style-type: none"> ● プラスチック包装の循環可能性 ● 終末期管理パスウェイ ● 原材料含有量 - 耐久財／製品および／または耐久部品 ● 原材料含有量 - プラスチック包装 ● 原材料 - プラスチックポリマー ● 廃棄物発生量 ● モジュール 10 の全データポイント ● モジュール 10 のその他のデータポイント、具体的に <p>環境パフォーマンス - 生物多様性</p> <ul style="list-style-type: none"> ● モジュール 11 の全データポイント ● モジュール 11 のその他のデータポイント、具体的に
---	--

検証／保証基準(3列目)	
<p>一般規格</p> <ul style="list-style-type: none"> ● AA1000AS ● Aluminium Stewardship Initiative (ASW) ● ASAE 3000 ● Attestation Standards (AT-C Section 105 & 210/205) established by the American Institute of Certified Public Accountants (AICPA) ● Compagnie Nationale des Commissaires aux Comptes (CNCC) 	<p>気候変動関連基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ABNT NBR ISO 14064-3:2007 (Associação Brasileira de Normas Técnicas) ● Advanced technologies promotion Subsidy Scheme with Emission reduction Target (ASSET) ● Airport Carbon Accreditation (ACA) des Airports Council International Europe ● Alberta Specified Gas Emitters ● ASAE 3410

<ul style="list-style-type: none"> • CRevR 6 Bestyrkande av hållbarhetsredovisning (RevR 6 Assurance of Sustainability) • CSAE 3000 • DNV Verisustain Protocol / Verification Protocol for Sustainability Reporting • Dutch Standard 3000A • IDW AsS 821: IDW Assurance Standard: Generally Accepted Assurance Principles for the Audit or Review of Reports on Sustainability Issues • International Sustainability and Carbon Certification (ISCC) • ISAE 3000 • ISAE 3410, Assurance Engagements on Greenhouse Gas Statements • RevR6 Procedure for assurance of sustainability report from Far, the Swedish auditors professional body • Roundtable on Sustainable Biomaterials (RSB) • SGS Sustainability Report Assurance Standard 3810N Assurance engagements relating to sustainability reports of the Royal Netherlands Institute of Registered Accountants • SURE (Sustainable Resources Verification Scheme) • Sustainable Biomass Program (SBP) • Verified Carbon Standard (VCS) • その他の一般的な検証基準、具体的に <p>ウォーター関連基準</p> <ul style="list-style-type: none"> • Alliance for Water Stewardship certification • その他の水質検査基準(具体的に) <p>フォレスト関連基準</p> <ul style="list-style-type: none"> • Forest Stewardship Council (FSC) • IRF data verification protocol • Programme for the Endorsement of Forest Certification (PEFC) • ProTerra • Rainforest Alliance • Round Table on Responsible Soy (RTRS) • Roundtable on Sustainable Palm Oil (RSPO) • Sustainable Forestry Initiative (SFI) • その他の森林検証基準、具体的に 	<ul style="list-style-type: none"> • Australia National Greenhouse and Energy Regulations (NGER Act) • California Mandatory GHG Reporting Regulations (Californian Air Resources Board regulations) • Canadian Institute of Chartered Accountants (CICA) Handbook: Assurance Section 5025 • Carbon Trust Standard • Chicago Climate Exchange verification standard • Climate Action Reserve • Corporate GHG Verification Guidelines from ERT • CSAE 3410 • Earthcheck Certified • ERM GHG Performance Data Assurance Methodology • ERT Standard “Corporate Greenhouse Gas Verification” • IDW PS 821: IDW IDW Prüfungsstandard: Grundsätze ordnungsmäßiger Prüfung oder prüferischer Durchsicht von Berichten im Bereich der Nachhaltigkeit • IRECS (International Renewable Energy Certificate services) • ISO 14064-1 • ISO 14064-3 • JVETS (Japanese Voluntary Emissions Trading Scheme) Guideline for Verification • Korean GHG and energy target management system • NMX-SAA-14064-3-IMNC: Instituto Mexicano de Normalización y Certificación A.C • Saitama Prefecture Target-Setting Emissions Trading Program • Spanish Institute of Registered Auditors (ICJCE) • SSAE 3000 • State of Israel Ministry of Environmental Protection, VERIFICATION OF GREENHOUSE GAS EMISSIONS AND EMISSIONS REDUCTION IN ISRAEL GUIDANCE DOCUMENT FOR CONDUCTING VERIFICATION, Process A • Swiss Climate CO2 label • Thai Greenhouse Gas Management Organization (TGO) • The Climate Registry’s General Verification Protocol (GVP) • Toitū carbon reduce • Toitū climate positive • Toitū net carbon zero • Tokyo Emissions Trading Scheme • Verification under the EU Emissions Trading Scheme (EU ETS) Directive and EU ETS related national implementation laws • その他の気候変動検証基準(具体的に) <p>プラスチック関連規格</p> <ul style="list-style-type: none"> • Plastic Waste Reduction Standard • ISO 15270:2008 • SCS Recycled Content Certification • その他のプラスチック検証規格、具体的に
--	--

詳細情報

(13.2)この欄には、組織の回答に関連すると思われる追加情報や背景を記入してください。この欄は任意であり、採点の対象ではありません。

質問内容	
前年との比較	変更なし(2023年 C-FI, F-FI, W-FI)

1	2
追加情報	添付(オプション)
文章記入欄[最大 10,000 文字]	[ファイル添付]
[固定列]	

最終承認

(13.3) CDP への回答に最終承認した人について、以下の情報を提供してください。

質問内容	
前年との比較	変更なし (2023 C16.1, F17.1, W11.1)
説明	CDP は、組織に対し、CDP の回答を最終承認する人の職位と対応する職種を特定するよう求めています。この情報は、投資家に対して、回答やそこに含まれる情報に対して、企業構造のどこで直接的な責任を負っているかを示すものです。
回答オプション	以下の表に記入してください:

1	2
役職名	対応する職種
文章記入欄[最大 200 文字]	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • 取締役会議長 • 取締役 • 最高経営責任者(CEO) • 最高財務責任者(CFO) • 最高執行責任者(COO) • 最高調達責任者(CPO) • チーフ・リスク・オフィサー(CRO) • チーフ・サステナビリティ・オフィサー(CSO) • その他の経営幹部 • 社長 • 法律顧問 • 事業部長 • エネルギー部長 • 環境・安全衛生部長 • 環境/サステナビリティ部長 • 設備管理部長 • プロセス・オペレーション・マネージャー • 調達部長 • 広報部長 • リスク管理部長 • その他、具体的に

ウォーター・アクション・ハブ

(13.4) CDP がパシフィック・インスティテュートと連絡先を共有し、ウォーター・アクション・ハブのウェブサイト のコンテンツをサポートすることに同意しますか。

質問内容	
前年との比較	変更なし(投稿ページ)
説明	<p>CEO ウォーター・マンドートのウォーター・アクション・ハブは、世界中のウォーター・スチュワードシップ・プロジェクトをカタログ化したオンライン・プラットフォームで、関係者がつながり、地域や地方の水問題を解決するために協力することを可能にしています。</p> <p>CDP は、3.1.1 の公開回答データをパシフィック・インスティテュートと共有し、ウォーター・アクション・ハブのウェブサイトアップロードし、ウォーター・スチュワードシップ・プロジェクトの候補として検討します。アップロードの対象となるのは、以下のデータポイントに対する回答のみです：</p> <ul style="list-style-type: none">水環境課題について、リスクが発生している国／地域、リスクが発生している河川流域、リスクに対する主な対応、対応の説明。 <p>CDP のプライバシーポリシーはこちらをご覧ください。</p>
回答オプション	<p>選択肢：</p> <ul style="list-style-type: none">はい、CDPが回答提出責任者の連絡先をパシフィック・インスティテュートと共有しても構いません。いいえ